

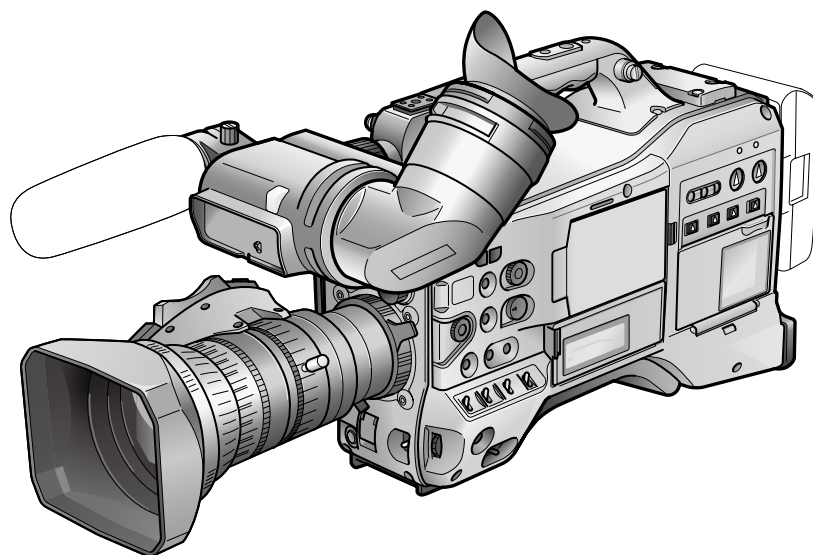
Panasonic®

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー

P2HD

品番 **AG-HPX375**



AVC INTRA

DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、および各国における商標、または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Apple、Macintosh、Mac OSは、Apple Inc.の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- Unislotは池上通信機株式会社の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - － AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - － 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - － ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00ページ）のように示しています。

用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらもSD メモリーカードと記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード（別売のAJ-P2C064AGなど）を「P2カード」と記載しています。
- 1回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。
 この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

目次

安全上のご注意 必ずお守りください	6
ご使用の前に	9

第1章 概要

カメラ部の特長	10
記録・再生部の特長	12
本機の使い方	14
外部機器を使った編集、保存	14
システム構成	15
付属品	16

第2章 各部の名称

電源部、およびアクセサリ取り付け部	17
音声機能部（入力系）	18
音声機能部（出力系）	19
撮影・記録/再生機能部	20
メニュー操作部、およびサムネール操作部	24
タイムコード関連部	25
警告/状態表示部	26
液晶モニター部	26
ビューファインダー部	27

第3章 記録と再生

内蔵時計の日付/時刻の設定	28
P2カードについて	30
P2カードを入れる	30
P2カードを取り出す	30
誤消去を防ぐには	31
P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について	31
P2カードの記録時間について	32
P2カード記録データの取り扱いについて	33
基本手順	34
撮影するには	35
通常の記録	35
通常記録とNative記録	36
通常記録（プルダウン記録）	36
Native記録	36
バリエーションフレームレート（VFR）記録機能	37
Native VFR記録	37
スタンダードVFR記録（プルダウン記録）	37
VFR記録機能の活用	38
特殊な記録機能について	40
プリレック（PRE REC）	40
インターバル記録（INTERVAL REC）	40
ワンショット記録（ONE SHOT REC）	41
ループレック（LOOP REC）	41
ワンクリップレック（ONE CLIP REC）	42
プロキシ（PROXY）記録機能（オプション）	43
ホットスワップ記録	43
レックレビュー（REC REVIEW）機能	43
ショットマーク（SHOT MARK）記録機能	44
テキストメモ記録機能	44
通常再生、および変速再生	45

第4章 記録のための調整と設定

記録信号の選択	46
記録フォーマットと、記録機能一覧	47
記録設定と記録機能表	48
映像出力の選択	48
記録/再生と出力フォーマット一覧	49
ホワイトバランス/ブラックバランスの調整	51
ホワイトバランスの調整	51
ブラックバランスの調整	52
電子シャッターの設定	53
シャッターモード/スピードの設定	53
シンクロスキャンモードの設定	53
FBC（フラッシュバンド補正）機能	54
FBC機能の設定	54
USER ボタンへの機能割り当て	55

音声入力の選択と録音レベルの調整	56
音声入力信号の選択	56
録音レベルの調整	56
FRONT AUDIO LEVEL つまみの機能の選択	57
CH3/CH4の録音レベルについて	57
タイムデータの設定	58
タイムコード、およびユーザーズビットの記録と出力	59
ユーザーズビットの設定	60
ユーザーズビットの入力方法	60
タイムコードの設定	62
タイムコードを外部ロックさせる	64
タイムコードを外部に供給する	65
GENLOCKとタイムコード入出力の接続と設定	66
カウンターの設定と表示	66
ビューファインダーの状態表示	67
ビューファインダー画面の状態表示の構成	67
ビューファインダー画面の表示項目の選択	67
画面の表示	68
中央部の情報表示	71
撮影状態の確認と表示	73
MODE CHECKでの表示	74
センターマーカー表示	75
セーフティーゾーンの表示	75
オーディオ拡大表示	75
ゼブラパターンの表示	76
フォーカスアシスト機能	77
液晶モニターの調整と設定	78
ウェーブフォームモニター機能	79
ビューファインダーの調整と設定	80
ビューファインダーの左右位置調整	80
視度調整	80
ビューファインダーを使う	80
映像の輪郭を強調する	81
ビューファインダーの映像を白黒モードにする	81
設定データの取り扱い	82
設定データのファイル構成	82
SDメモリーカードの取り扱い	83
SDメモリーカードの操作	83
シーンファイルデータの使い方	84
SDメモリーカードにシーンファイルなどを保存する	85

第5章 準備

電源の供給	88
バッテリーの取り付け、および設定	88
外部DC電源の使用	90
レンズの取り付けと調整	91
レンズの取り付け	91
フランジバック調整	92
ホワイトシェーディング補正機能	93
色収差補正機能 (CAC)	94
音声入力の準備	97
フロントマイクを使用する場合	97
ワイヤレスレシーバーを使用する場合	97
オーディオ機器を使用する場合	98
アクセサリーの取り付け	99
三脚への取り付け	99
ショルダーベルトの取り付け	99
レインカバーの取り付け	100
FRONT AUDIO LEVEL ノブの取り付け	100
アイカップの取り付け	100
DC OUT 端子と外部RECスタート/ストップスイッチの接続	101
リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続	102
エクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) の接続	102

第6章 クリップのサムネール操作

サムネール操作について	103
サムネール操作の概要	103
サムネール画面	104
サムネールの選択	106
クリップの再生	106
サムネール表示の切り替え	107
サムネールの変更	108

ショットマーク	108
テキストメモ	109
クリップの削除	110
クリップの修復	111
不完全クリップの連結	111
クリップのコピー	111
クリップメタデータの設定	112
プロキシー機能の設定 (オプション)	116
P2カードのフォーマット	116
SDメモリーカードのフォーマット	117
サムネールの表示設定	117
プロパティ	118

第7章 メニュー操作

ビューファインダー / LCD画面の設定メニュー表示	122
設定メニューの基本操作	122
設定メニュー項目の初期化	123
設定メニューの構成	124
メニューの一覧	126
SCENE FILE 画面	126
SYSTEM SETUP 画面	128
SW MODE 画面	130
RECORDING SETUP 画面	131
AUDIO SETUP 画面	133
OUTPUT SEL 画面	135
DISPLAY SETUP 画面	136
BATTERY SETUP 画面	138
CARD FUNCTIONS 画面	139
LENS SETUP 画面	140
OTHER FUNCTIONS 画面	140
DIAGNOSTIC 画面	141
OPTION MENU 画面	142

第8章 外部機器との接続

USB2.0 端子での接続機能	143
USBデバイスモードでのパーソナルコンピューターとの接続	143
USBホストモード	144
DVCPRO/DV 端子での接続	149
DVCPRO/DV 端子に入力された信号の記録	149
1394接続による外部機器制御	150

第9章 保守・点検

撮影前の点検	151
点検の準備	151
カメラ部の点検	151
メモリー記録部の点検	152
メンテナンス	154
アイピースのお手入れ	154
ビューファインダー内のクリーニング	154
内蔵電池の充電	154
警告システム	155
警告内容一覧	155
サムネール操作およびUSB ホストモードでの警告/エラー表示	157

第10章 保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証とアフターサービスについて	159
本機搭載ファームウェアのアップデート	160

第11章 さくいん




第12章 仕様

寸法図・定格	165
寸法図	165
定格	165
コネクタ信号の内容	169




安全上のご注意 **必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

	<ul style="list-style-type: none">■ バッテリーの端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない■ バッテリーは、分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない■ バッテリーは、電子レンジやオーブンなどで加熱しない■ バッテリーは、炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない （液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。） ⇒使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。 ⇒バッテリーは、本機と接続検証済みのものを推奨します。 バッテリーに付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 （接続検証済みバッテリーについては、88ページを参照してください。） ⇒バッテリーは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。
	<ul style="list-style-type: none">■ 充電するときは、必ずバッテリーメーカー指定の充電器を使用する （指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。） ⇒充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。

警告

異常、故障時には直ちに使用を中止する	
	<ul style="list-style-type: none">■ 異常があった時は、直ちにバッテリーを外す [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき] （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。） ⇒外部DC電源で使っている場合は、DCコードを外してください。 ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。

(次ページにつづく)



警告 (つづき)

**■ DCコードのプラグは、根元まで確実に差し込む**

(差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。)

⇒傷んだプラグは使用しないでください。

(DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)

■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする

(火災の原因になります。)

⇒雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

⇒機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する

(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

■ 外部 DC 電源を使用するときは、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する

(誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると火災や故障の原因になります。)

⇒詳しくは 90 ページを参照してください。


(DC 電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)

■ 外部 DC 電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する

(不適切な外部 DC 電源を使用すると火災の原因になります。)

⇒詳しくは 90 ページをご覧ください。

⇒外部 DC 電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

⇒外部 DC 電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。

■ レンズの取り付け・締め付けは確実にを行う

(落下すると事故の原因になります。)

**■ DCコードが破損するようなことはしない**

[傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]

(傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。)

⇒DCコードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)

■ 乗り物を運転しながら使わない

(事故の誘発につながります。)

⇒歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

■ ハンドルのアクセサリ取り付け穴を使い本機を吊り下げない

(ハンドルが破損し、本機が落下してけがの原因になります。)

■ メモリーカード (別売品) や付属品 (FRONT AUDIO LEVEL ノブ、ノブ用ネジ、BNC キャップ、XLR コネクターキャップ、レンズキャップ (後レンズ用)、ズームレバー、コネクターキャップ) は、乳幼児の手の届く所に置かない

(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)

⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



分解禁止

■ ワイヤレススロット以外のカバーは外さない

(火災や感電の原因になります。)

⇒点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 分解や改造をしない

(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)

⇒内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。



注意



- **本機の放熱を妨げない**
[押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない]
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- **三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない**
(三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
⇒三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
- **レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない**
(レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、故障の原因となります。)
- **イヤホン使用時は音量を上げすぎない**
(イヤホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)
- **コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない**
(コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
- **油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない**
(電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。)
- **直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない**
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
- **電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない**
(本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります。)
⇒長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人など(高齢者)は、低温やけどになりやすい傾向があります。



- **長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す**
(火災の原因になります。)
- **移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する**
(コードが傷つき、火災の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)
- **飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う**
(本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。)
⇒病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。
- **コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどをする**
(足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)

ご使用の前に

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



Ni-MH
Ni-Cd
Li-ion

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

レーザー光線についてのご注意

レーザー光線がMOSセンサーに照射されると、MOSセンサーを破壊するおそれがあります。
レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機、およびP2カードの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。

メモリーカードを破棄/譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューター機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
GPL/LGPLの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOCという名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文【英文】で記載しております。)
また、ソースコードの入手については、下記のウェブサイトを参照してください。
<http://panasonic.biz/sav/>
なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。
2. 本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
MITの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOCという名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文【英文】で記載しております。)

USBドライバーインストール時のご注意

本機 (AG-HPX375) 付属のCD-ROMから、USBドライバーをパーソナルコンピューターにインストールするときは、“AG-HPX370”を選択してください。

第1章 概要

P2メモリーカードカメラレコーダー AG-HPX375は、カメラ部に新規開発した1/3型220万画素3MOSセンサーを搭載し、記録・再生部にAVC-Intra100圧縮記録を標準装備することによりHDフルピクセル、フルサンプリングの高感度、高画質、高品質の映像を得ることができます。

HD/SDマルチフォーマットに対応。AVC-Intra、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DVの圧縮記録方式が選択でき、P2ならではの信頼性・即時性・IT機能で、収録・編集のワークフロー革新をもたらします。

■ HD/SDマルチフォーマット

HD/SD映像フォーマット収録をサポート。ニュース取材・番組制作・映画制作のほかあらゆる用途とコンテンツ制作に応えます。1080i/720P HD収録は放送用として信頼の高いAVC-Intra/DVCPRO HDコーデック、SD映像はDVCPRO50/DVCPRO/DVのマルチコーデックが選択できます。

音声は全フォーマットで16ビット/48 kHz非圧縮の高音質オーディオを4チャンネル記録可能です。

■ スピードエフェクトを可能にするバリエابلフレームレート機能を搭載（720Pフォーマット選択時）

シネマ用HDカメラVARICAMのために開発されて好評のバリエابلフレームレート機能を搭載。720Pモード時¹、12P～60P間の20ステップからフレームレートを選択できます。フィルムの撮影手法であるアンダークランク（コマ落とし撮影）/オーバークランク（高速度撮影）を駆使して、クイックモーション/スローモーションの演出が可能です。

■ Nativeモード/over 60Pモード切り替え

● Nativeモード：

カメラのフレームレートのままで、収録した素材をノーマルレートで再生することにより、フレームレートコンバーターなしでスピードエフェクトの効果を実現できます。記録時間も長く確保できます。

● 720P over 60Pモード：

DVCPRO/DV端子からDVCPRO HDストリームが出力でき、DVCPRO HDレコーダーAJ-HD1400やP2ポータブルレコーダーAG-HPG20などを用いたバックアップ収録が可能。²

■ 1080/480 24Pアドバンスモード

1080/24P、または480/24P収録では24PA（アドバンス）モードが選択可能³。24PAモードは2：3：3：2プルダウン方式で60i変換を行うことにより、一般の24P（2：3プルダウン）よりも高画質を維持したノンリニア編集⁴ができます。30P収録は2：2プルダウン方式です。

カメラ部の特長

■ プログレッシブ3MOSセンサー

新規開発の1/3型220万画素3MOSセンサーを搭載し、高感度でHDフルピクセル撮影による高画質な映像を実現します。

■ 14 bit デジタル回路

14-bit信号入力・20-bit内部演算処理の高性能DSP（デジタル・シグナル・プロセッサー）を搭載。1080/60i映像のR/G/B各色に対してガンマ設定やその他の調整を行い、各種HD/SDフォーマットへの変換（P/I変換、ラインコンバート、ダウンコンバート）までを一括して処理します。これにより、どの映像フォーマットにおいても高画質の映像出力が得られます。

■ シネライクガンマなど7モードのガンマカーブ

フィルムトーンが容易に得られるシネライクガンマをはじめ、7モードのガンマカーブが選べ、映像制作の幅を広げます。

■ スロー/シンクロ/ハイスピード・シャッター

最長1/6秒のスローから最短1/7200秒⁵までのハイスピードまで、シャッター速度を任意に選べます。バリエابلフレームレートと組み合わせることで、ブラー効果やコマ落とし効果が得られます。モニター画面等の収録に適したシンクロスキャン機能も備えています。

*1 1080、および480では24P/30Pの固定フレームレートとなります。

*2 AVC-Intraモードは、DVCPRO/DV端子からDVCPRO HDストリーム出力はできません。

*3 AVC-Intraコーデック時は選択できません。

*4 対応システムの詳細は下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。

（日本語）<http://panasonic.biz/sav/>

（英語）<http://pro-av.panasonic.net/>

24Pは23.98P、30Pは29.97P、60P/60iは59.94P/59.94iで記録されます。

*5 シンクロスキャンモードで3.0dを設定したときのシャッター値です。

■ シーンファイルダイアル

撮影状況に応じた設定を瞬時に呼び出せる専用ダイアルを装備。6つのプリセットファイルがすぐ使用できるほか、名称・設定値を任意に変更できます。また、ファイルはSD/SDHCメモリーカード（以降、両カードともSDメモリーカードと記載します）に4ファイルまで保存/読み込むことができます。

■ シューティングアシスト機能

- **USER ボタン：**
3個のUSERボタンそれぞれに使用頻度の高い機能を割り当て、ワンタッチで実行。
- **フォーカスアシスト：**
画面中央部分の拡大表示およびフォーカスバー表示することにより、ピント合わせをアシスト。
- **交換レンズに対応する、レンズ色収差補正8ファイルとシェーディング補正4ファイルを装備。**
- **色温度可変：**
ホワイトバランス設定後に微調整可能。
- **レックレビュー：**
直前に撮影したクリップの最後の数秒間の記録をすばやくチェック。
- **4ポジションの光学NDフィルターを装備。**

■ 色収差補正機能（CAC）

レンズ自体で補正しきれない、わずかな色収差などが主な原因で起こるレジストレーションエラーをカメラレコーダー本体にて自動的に補正し、周辺画像の色にじみを最小限に抑える機能を搭載しました。

■ リモートコントロール対応

リモートコントロールユニット（別売/AJ-RC10G）、およびエクステンションコントロールユニット（別売/AG-EC4G）対応。リモート側でカメラ映像をモニターしながら、カメラ映像の調整や収録操作など本機をコントロールできます。

■ 自動追尾型オートホワイトバランス（ATW）

被写体に応じて、リアルタイムにホワイトバランスを自動調整します。緊急時の収録など、ホワイトバランスの調整を行う余裕がないときに、威力を発揮します。

■ DRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能

通常の撮影では白とびする、高輝度な部分の映像信号レベルを、コントラストを保ちながら圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。^{*1}

■ カメラ延長システム対応

本機は、カメラアダプター（別売/AG-CA300G）、およびベースステーション（別売/AG-BS300）と組み合わせて、カメラ延長システムとしての運用が可能です。これらの装置との接続については、AG-CA300GとAG-BS300の取扱説明書に記載の接続や注意事項を参照の上、AG-HPX305に準じてご使用ください。

*1 1080/24P、1080/30PモードではDRS機能は動作しません。

記録・再生部の特長

■ 多彩なインターフェース

● USB2.0端子 (HOST/DEVICE) 搭載

外部パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続し、本機に挿入したP2カードをマストレージとして扱うことが可能です。

また、USBホスト機能を搭載し、USB2.0で接続された外部ハードディスクにP2カードのデータを保存したり、ハードディスクに保存されているクリップの閲覧やP2カードへの書き戻しが可能です。

● DVCPRO/DV入出力標準装備

IEEE1394準拠の外部デバイスを接続して、デジタルインターフェースでの入出力を行うことができます。

コネクタは6ピンタイプを使用してください。バスパワーには対応していません。

AVC-Intraコーデック選択時は、IEEE1394での入出力はできません。

■ 大容量・高速転送・高信頼性のP2カード

P2 (Professional Plug-in) カードは、衝撃・振動・温度変化に強い半導体メモリー自体の特性に加え、記録再生時にテープやディスクのような回転や接触がなく高い信頼性を誇るとともに、長期にわたって記録/初期化の反復使用が可能です。また、コネクタ部のプロセス設計により、抜き差しの耐久性を高めています。

P2カードには収録A/Vデータはカットごとのファイルとして記録され、デジサイズ不要でノンリニア編集やネットワーク転送が可能。光ディスクを圧倒する転送速度で軽快に作業できます。また、PCカード規格に準拠しており、パーソナルコンピューターのPCカードスロットにダイレクトにプラグインすることも可能です。^{*1}

P2カードスロットは2つ装備されており、P2カード2枚分の連続記録ができるほか、メモリーカードレコーダーならではの下記の記録機能を備えています。

● カードセレクト：

記録スロットの選択 (切り替え) はスタンバイ状態で瞬時に行えます^{*2}。収録したばかりの素材をすぐに編集・送出しに回す場合、テープやディスクの交換に比べてはるかに短い中断で収録を続けられます。

● ホットスワップレック：

収録中でもカード交換できます。別のカードスロットで収録を続けながら、収録済カードをブランクカードと順次交換することで、中断することのないエンドレス記録が可能です。

● ループレック：

指定した記録領域内で順次ループ記録することにより、常に過去の一定時間の収録を保持することができます。

■ 瞬時のスタートと安全なデータ保護

スタンバイ状態からの記録スタートは瞬時。収録はカードの空き領域に自動的に行われるため、VTRのようにブランク部分を頭出しする必要もありません。プレビュー中でもRECボタンを押すだけで即座に収録が開始できます。また、通常モードでは収録済データが上書きによって消失することはありません。ファイル消去やカードの初期化を行わない限り安心です。

■ そのほかの特長

● プリレック：

決定的な瞬間の撮り逃がしをリカバリー。スタンバイ状態でカメラに入る映像・音声をHDは約3秒、SDは約7秒間メモリー。RECボタンを押したときから数秒間さかのぼって記録します。

● ワンショット記録：

RECボタンを押すごとに設定した時間 (1フレーム～1秒) の収録を行う、アニメーション制作に便利な機能です。

● インターバル記録：

設定した間隔 (2フレーム～10分) で1フレームの収録を続ける間欠記録モード。監視・観察、または超アンダークランク撮影として特殊な演出することができます。

● ワンクリップレック：

1回の記録 (REC開始から終了まで) を1つのクリップとするのではなく、複数回の記録を1つの連結したクリップとして記録することができます。連結したクリップは、サムネール操作や編集時に1つのクリップとして扱えるので、転送やコピーなどの取り扱いが簡単です。最大で99回の記録を1つのクリップに連結できます。

● プロキシー記録 (AJ-YAX800G装着時)：

別売のビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G) をP2スロット2に挿入することによって、本機で撮影した本素材の映像、音声とは別に、MPEG4形式の映像記録と、タイムコードデータなどのリアルタイムメタデータをP2カードおよびSDメモリーカードに同時記録できます。クリップ確認や編集作業に効果的です。

*1 P2カードドライバー (各機器に付属) のインストールが必要です。P2カードドライバーの動作環境については、下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

*2 USERボタン (USER MAIN/USER1/USER2) にSLOT SEL機能を設定してください。

■ クリップサムネールのプレビュー

収録はカットごとにクリップ（ファイル）として記録。各クリップにはサムネール画像とファイル情報が自動的に付属。液晶モニター（LCD）でのプレビュー時に、サムネールの一覧表示から選択したクリップをすぐに再生したり、クリップのデータを確認することができます。また、このサムネールとファイル情報はパーソナルコンピューター（P2 Viewer^{*1}）、またはノンリニア編集ソフトでも表示されます。

■ ショットマークとテキストメモ

OK/NGなどのマーキングに便利なショットマークはクリップごとに付けられます。収録中はもちろん、収録後でも行えます。パーソナルコンピューター（P2 Viewer）にマウント時にはマークしたクリップだけを表示することができます。テキストメモ機能も装備しており、収録中、またはプレビュー中にクリップ中の任意の場所（最大100カ所）でテキストメモを割り当てたUSERボタンを押すことで、付せんのように空のテキストメモが登録されます。あとから、パーソナルコンピューター（P2 Viewer）でメモを検索してテキストを書き込むことができます。また、テキストメモ区間単位でのコピー機能を利用すると、1つのクリップから必要な部分だけを抜き出すことが本機だけでできます。

■ SDメモリーカードスロット

SDメモリーカードスロットを装備。シーンファイル、ユーザー設定ファイルのセーブ/ロードが可能です。また、撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報を記述したメタデータアップロードファイル（P2 Viewerにて作成）をSDメモリーカードに記録しておき、クリップメタデータとして読み込むことができます。

■ HD/SD SDI出力とダウンコンバーター装備

映像ライン出力系統（BNC3個）を標準装備。モニターやライン収録にフレキシブルに対応します。ダウンコンバーターも内蔵しており、アスペクトモードも選択できます。

● SDI OUT（HD/SD）1系統2出力：

HD-SDI出力では外部VTR（HD-SDI入力対応）で記録スタート/ストップと連動したバックアップ収録が可能。SD-SDIはHDダウンコンバート出力も可能です。

● VIDEO OUT：

ダウンコンバートSD映像（コンポジット）を出力。

■ 音声記録レベルと微調整用ボリューム装備

FRONT 音声レベル調整ボリューム機構を搭載。本機の前面部に、音声記録レベルの微調整用ボリュームを装備しています。特に、一人での撮影時における音声レベルの調整に有効です。なお、このボリュームを無効にする事も可能です。

■ Unislotワイヤレス内蔵機構対応

本機は、別売のスロットインワイヤレスレシーバーに対応した構造になっています。（97ページ）2チャンネル方式のワイヤレスレシーバーにも対応可能です。

*1 P2 ViewerはP2ユーザーに無償ダウンロード提供されるWindows PC用のビューイングソフトです。

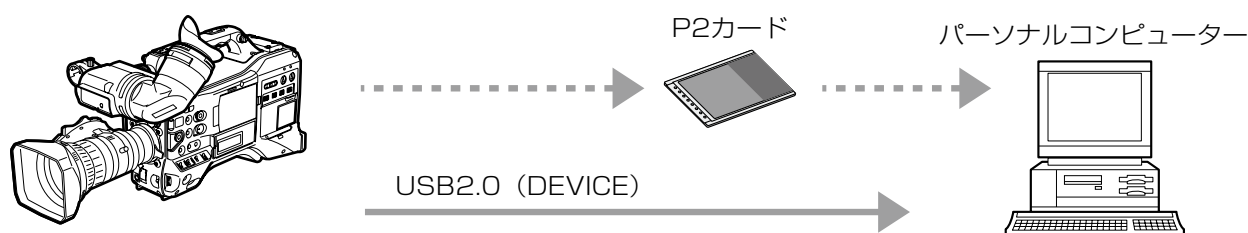
本機の使い方

本機では、P2カードに記録します。大容量で転送速度にすぐれたP2カードは、HD記録を始めとして、スムーズな編集やダビングが行えます。

外部機器を使った編集、保存

USB2.0端子経由USB DEVICEモードで外部機器と接続 (→143ページ)

パーソナルコンピュータなどでノンリニア編集を行うためのデータ(ファイル)転送をします。



USB2.0端子経由USB HOSTモードで外部機器と接続 (→144ページ)

本機が直接外部ハードディスクをコントロールして、データ転送します。

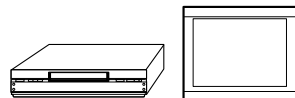


DVCPRO/DV端子 (IEEE1394端子) 経由で 外部機器と接続 (→149ページ)

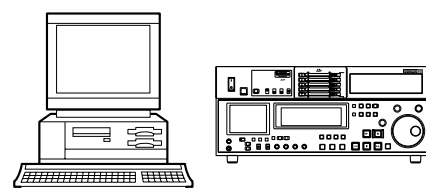
DVCPRO/DV (IEEE1394)
(Windows/Macintosh)

BNCケーブル
(コンポジット/SDI)

ビデオ機器/モニター



パーソナルコンピューター/
メモリーカードレコーダー

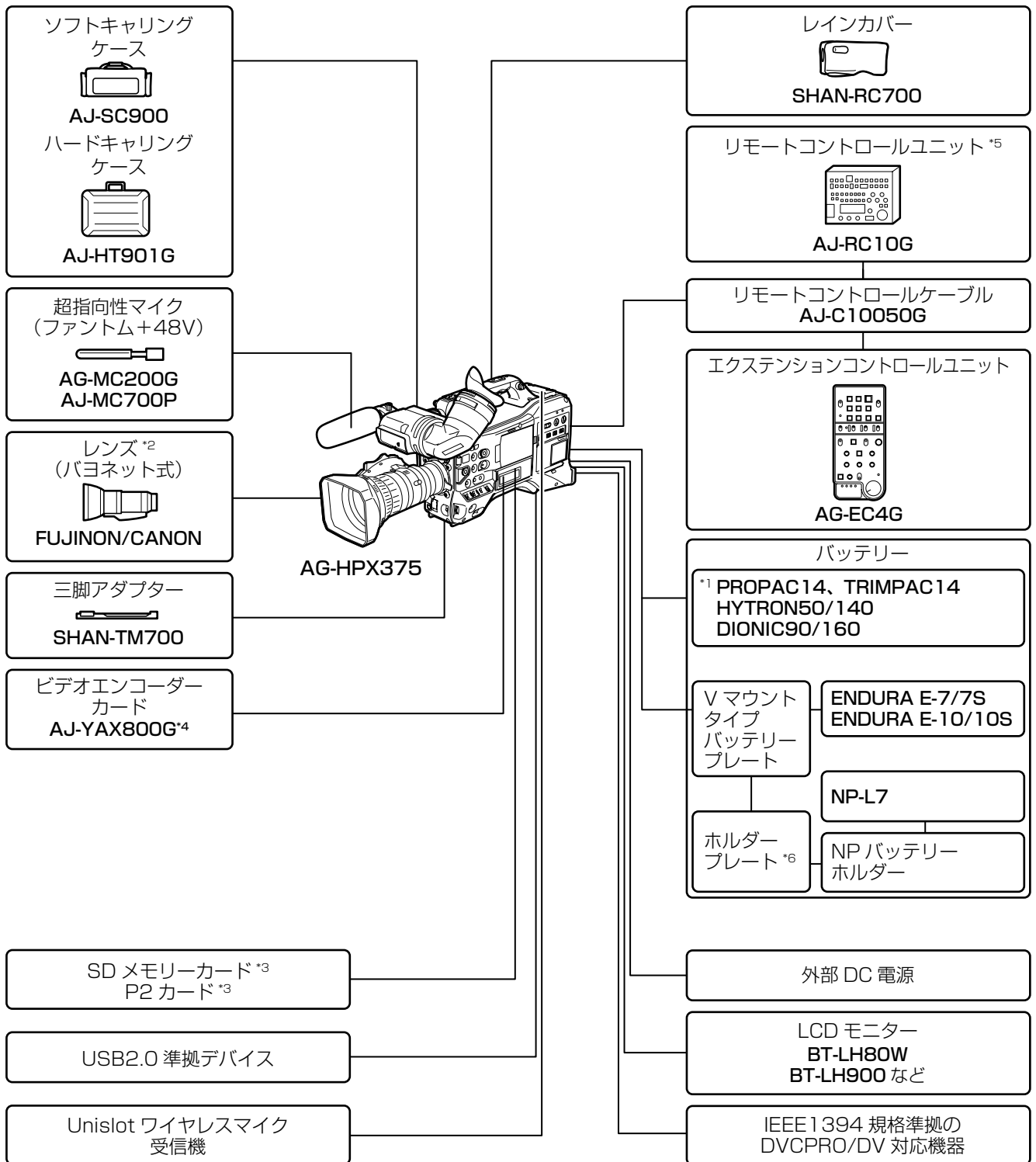


コンテンツをストリーム転送します。
(デジタルダビング)

・IEEE1394(SBP-2*)には対応していません。

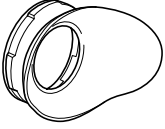
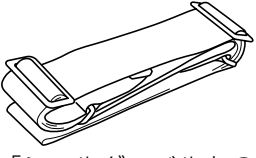




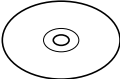
* Serial Bus Protocol-2

システム構成



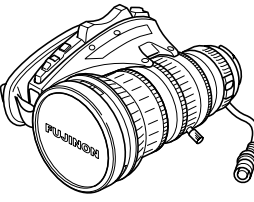
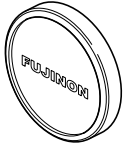



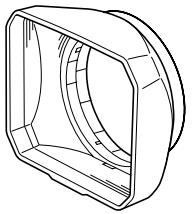
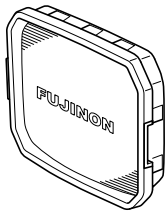
- *1 バッテリーホルダーは、本体に標準装備しています。
- *2 本機にはフジノン（株）製が付属しています。
- *3 P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。
 (日本語) <http://panasonic.biz/sav/>
 (英語) <http://pro-av.panasonic.net/>
- *4 同梱されているCD-ROMのAJ-YAX800Gの取扱いガイドを参照してください。
- *5 同梱されているCD-ROMのAJ-RC10Gの取扱いガイドを参照してください。
- *6 NPバッテリーホルダーは、ホルダープレートを取り付けてからVマウントタイプバッテリープレートに取り付けてください。

付属品

<p>アイカップ</p>  <p>→ 「アイカップの取り付け」 (100ページ) 参照</p>	<p>ショルダーベルト</p>  <p>→ 「ショルダーベルトの取り付け」 (99ページ) 参照</p>	<p>FRONT AUDIO LEVEL ノブ (ネジ付)</p>  <p>→ 「FRONT AUDIO LEVELノブの取り付け」 (100ページ) 参照</p>	<p>マウントキャップ^{*1}</p> 
<p>XLRコネクターキャップ^{*1}</p> 	<p>BNCキャップ^{*1}</p> 	<p>CD-ROM</p> 	

*1 製品本体にあらかじめ取り付けられています。

■ フジノン (株) 製

<p>レンズ</p>  <p>→ 「レンズの取り付け」 (91ページ) 参照</p>	<p>レンズキャップ (前レンズ用)^{*2}</p> 	<p>レンズキャップ (後レンズ用)^{*2}</p> 	<p>ズームレバー^{*2}</p> 
<p>コネクターキャップ^{*2}</p> 	<p>レンズフード</p> 	<p>レンズフード用キャップ^{*3}</p> 	

*2 レンズにあらかじめ取り付けられています。

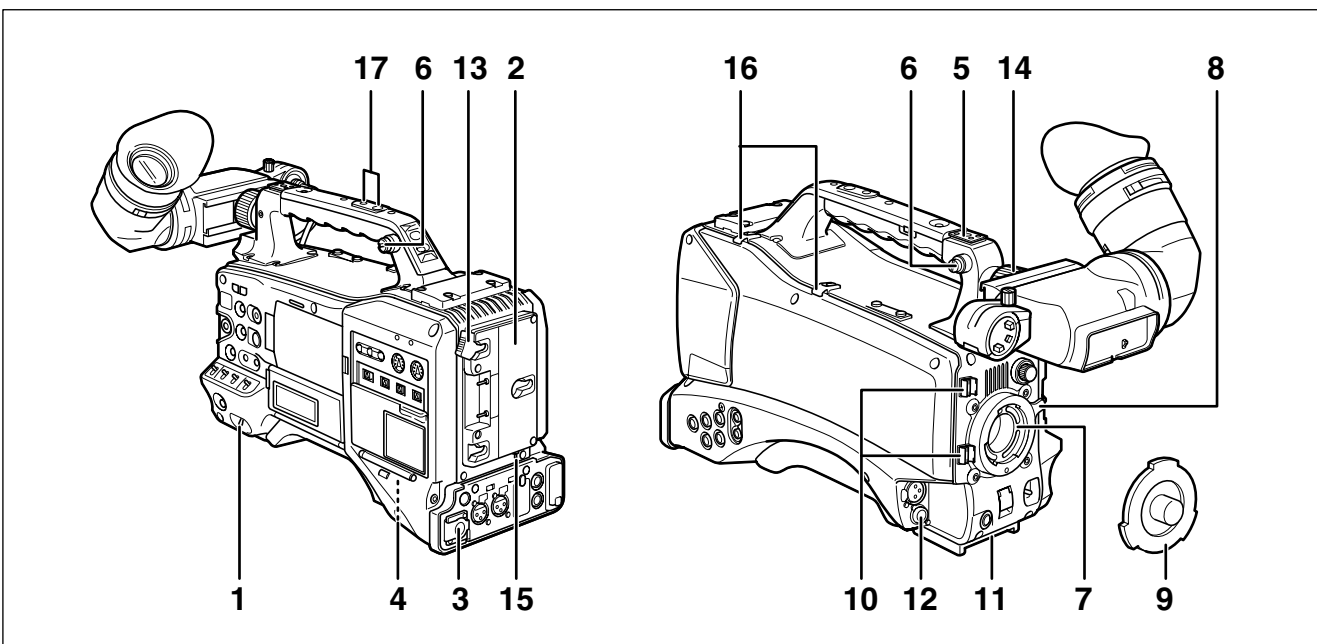
*3 レンズフードにあらかじめ取り付けられています。

◆ NOTE

- ・包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- ・付属品の追加購入は販売店にご相談ください。フジノン (株) 製品につきましてはフジノン販売店または代理店にご相談ください。

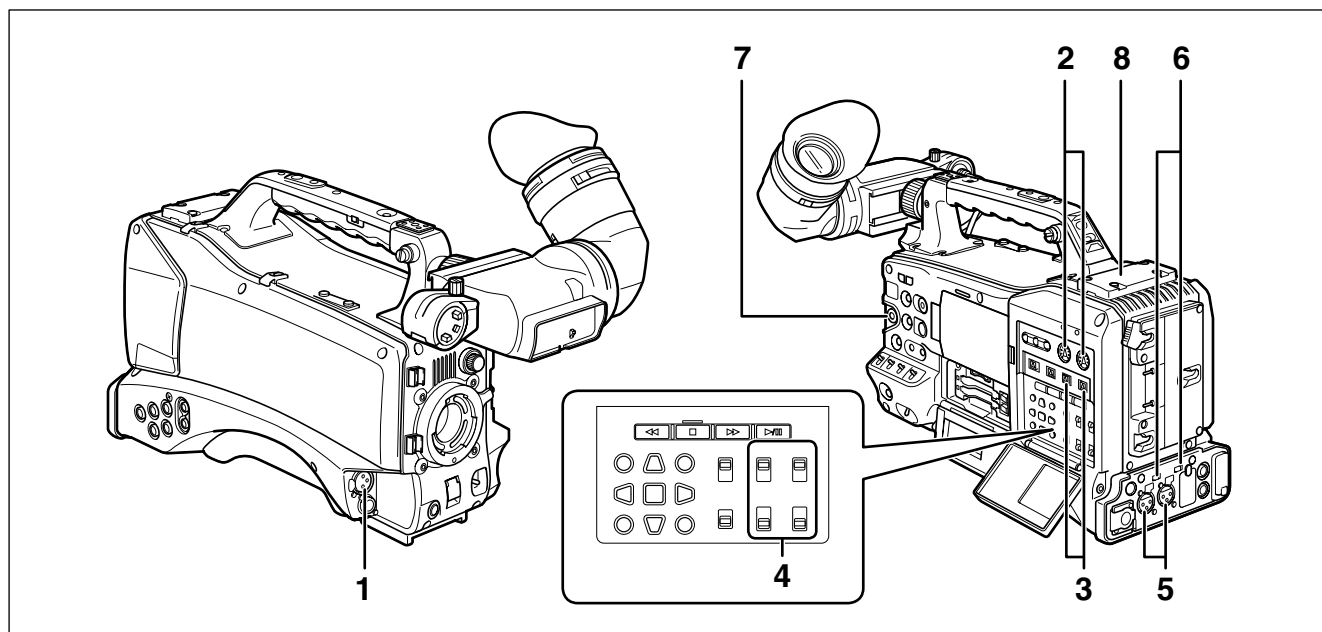
第2章 各部の名称

電源部、およびアクセサリ取り付け部



- 1 POWERスイッチ**
電源をON/OFFするスイッチです。
- 2 バッテリーホルダー**
アントン・パワー製のバッテリーを取り付けます。
→「バッテリーの取り付け、および設定」(88ページ) 参照
- 3 DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)**
外部DC電源と接続します。
→「外部DC電源の使用」(90ページ) 参照
- 4 BREAKERスイッチ**
本体底面にあります。
何らかの異常で、本機内部に過大な電流が流れると、ブレーカーが動作して自動的に電源OFFになり、機器を保護します。本機内部の点検、および修理を行ったあと、このボタンを押し込んでください。異常がなければ、再び電源ONになります。
- 5 ライトシュー**
ビデオライトなどを取り付けます。
(取り付け穴サイズ)
・1/4-20 UNC (ネジ長さ6 mm以下)
- 6 ショルダーベルト取付金具**
ショルダーベルトを取り付けます。
→「ショルダーベルトの取り付け」(99ページ) 参照
- 7 レンズマウント (1/3型バヨネット式)**
レンズを取り付けます。
→「レンズの取り付け」(91ページ) 参照
- 8 レンズ固定レバー**
レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。
→「レンズの取り付け」(91ページ) 参照
- 9 マウントキャップ**
レンズ固定レバーを押し上げて、キャップを取り外します。レンズを取り付けていないときは、キャップを取り付けます。
- 10 レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ**
レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。
→「レンズの取り付け」(91ページ) 参照
- 11 三脚マウント**
本機を三脚に固定するときに、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。
→「三脚への取り付け」(99ページ) 参照
- 12 LENS端子 (12ピン)**
レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書を参照してください。
- 13 バッテリー取り外しレバー**
バッテリー取り外しレバーを下まで倒してバッテリーを取り外します。
- 14 ビューファインダー左右位置固定リング**
→「ビューファインダーの左右位置調整」(80ページ) 参照
- 15 照明コントロールスイッチ**
→「電源の供給」(88ページ) 参照
- 16 ケーブルホルダー**
ライトケーブル、マイクケーブルの固定に使用します。
- 17 アクセサリ取り付け穴**
アクセサリを取り付けます。アクセサリ取り付けの用途以外には使用しないでください。
(取り付け穴サイズ)
・1/4-20 UNC (ネジ長さ10 mm以下)
・3/8-16 UNC (ネジ長さ10 mm以下)

音声機能部（入力系）



1 MIC IN（マイク入力）端子（XLR、3ピン）

- ・マイクロホン（別売品）を接続します。
- ・ファントムマイクの使用も可能です。使用するときは、設定メニューのAUDIO SETUP画面のF.MIC POWER項目をONに設定してください。
- 「音声入力の準備」（97ページ）参照

2 AUDIO LEVEL CH1/CH2（音声チャンネル1/2録音レベル調整）つまみ

- ・AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをMANにすると、これらのつまみで音声チャンネル1/2の録音レベルが調整できます。
- ・つまみには、ロック機構がありますので、調整するときは、つまみを押し込みながら回して調整してください。

3 AUDIO SELECT CH1/CH2（音声チャンネル1/2自動/手動レベル調整切り替え）スイッチ

音声チャンネル1/2の録音レベルを調整する方法を選びます。

AUTO： 自動で調整されます。

MAN： 手動で調整します。

→「録音レベルの調整」（56ページ）参照

4 AUDIO IN（音声入力切り替え）スイッチ

音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選びます。

FRONT： MIC IN端子に接続したマイク入力信号を録音します。

W.L. (WIRELESS)：

ワイヤレスレシーバーからの入力信号を録音します。

REAR： AUDIO IN CH1/CH2端子に接続したオーディオ機器、またはマイクロホンからの音声入力信号を録音します。

◆ NOTE

2チャンネル方式のワイヤレス入力を録音する場合、CH1/CH2の両方をW.L.に切り替えて、設定メニューのAUDIO SETUPメニュー画面のWIRELESS TYPE項目をDUALに設定してください。

5 AUDIO IN CH1/CH2（音声入力チャンネル1/2）端子（XLR、3ピン）

オーディオ機器、またはマイクロホンを接続します。

→「オーディオ機器を使用する場合」（98ページ）参照

6 LINE/MIC/+48V（ライン入力/マイク入力/マイク入力+48V）切り替えスイッチ

AUDIO IN CH1/CH2端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

LINE： ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

MIC： 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号（本体からファントムマイク用の電源を供給しません）

+48V： 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号（本体からファントムマイク用の電源を供給します）

◆ NOTE

設定メニューのAUDIO SETUP画面のR.MIC POWER項目がONに設定されている場合に電源を供給します。

7 FRONT AUDIO LEVEL（音声録音レベル調整）つまみ

・音声チャンネル1、および2の録音レベルが調整できます。

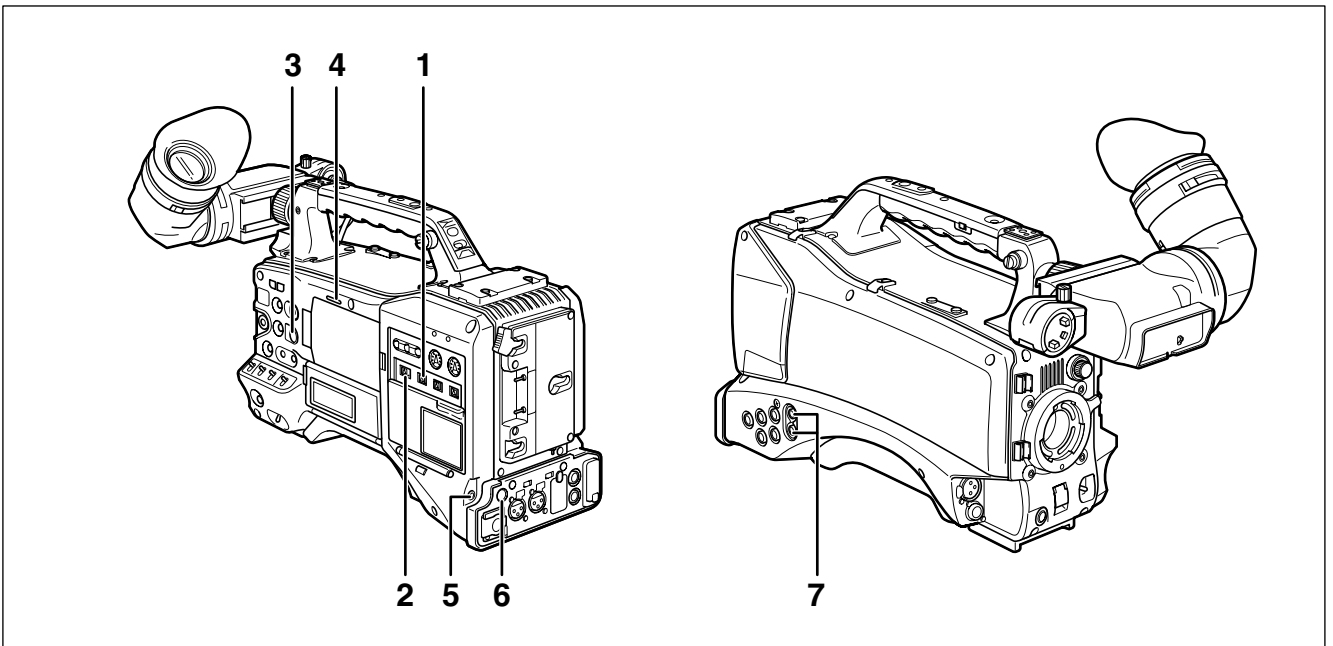
・AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをMANにすると、このつまみで音声チャンネル1/2の録音レベルが調整できます。

・設定メニューのAUDIO SETUP画面のFRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、このボリュームの操作を、どの入力端子に対して有効にするかを設定できます。

8 ワイヤレススロット

Unislotsワイヤレスレシーバー（別売品）を取り付けることができます。

音声機能部（出力系）



1 MONITOR SELECT CH1/2、CH3/4切り替えスイッチ（音声チャンネル選択）

スピーカー、イヤホン、およびAUDIO OUT端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

CH1/2：音声チャンネル1、および2の信号を出力します。

CH3/4：音声チャンネル3、および4の信号を出力します。

また、このスイッチに連動して、ビューファインダー/LCD画面のオーディオレベルメーターのチャンネル表示が切り替わります。

2 MONITOR SELECT CH1/3、ST、CH2/4切り替えスイッチ（音声選択）

MONITOR SELECT CH1/2、CH3/4切り替えスイッチに連動して、スピーカー、イヤホン、およびAUDIO OUT端子からの音声出力を選択します。

MONITOR SELECTスイッチ (左)	MONITOR SELECTスイッチ (右)	
	CH1/2	CH3/4
MONITOR SELECT	CH1/3	音声チャンネル1 音声チャンネル3
	ST	音声チャンネル1 と2のステレオ*1 音声チャンネル3 と4のステレオ*1
	CH2/4	音声チャンネル2 音声チャンネル4

*1 メニュー設定でAUDIO SETUP画面のMONITOR SELECT項目をMIXに設定すると、ステレオ音声をMIX信号に変更することができます。

3 MONITOR（音量調整）つまみ

モニタースピーカー、イヤホン、アラームの音量を調整します。

4 スピーカー

記録中はEE音声を、再生中は再生音声をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告アラームを出します。なお、警告アラーム出力中は、EE音声や再生音声は出力しません。

PHONES端子にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。

5 PHONES（イヤホン）端子（ミニジャック）

オーディオモニター用イヤホン（ステレオ）端子です。

6 DC OUT（DC電源）出力端子

DC12Vの出力端子です。最大1.5Aの電流を取り出すことができます。

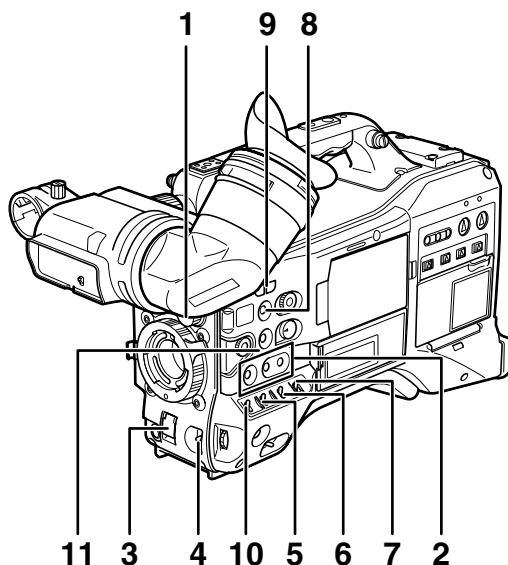
◆ NOTE

外部機器を接続する場合は、極性を十分にご確認のうえ、接続してください。故障の原因となります。

7 AUDIO OUT端子

・音声チャンネル1/2、または音声チャンネル3/4に記録された音声信号を出力します。

・出力される信号は、MONITOR SELECT CH1/2、CH3/4切り替えスイッチで選択します。



■ 撮影・記録 (カメラ部)

1 ND FILTER (フィルター切り替え) つまみ

MOSセンサーに入る光の量を調整します。外光が強いときに使用します。

つまみ位置	設定	内容
1	CLEAR	ND フィルターを使用しない
2	1/4ND	MOSセンサーに入る光の量を1/4にする
3	1/16ND	MOSセンサーに入る光の量を1/16にする
4	1/64ND	MOSセンサーに入る光の量を1/64にする

2 USER MAIN/USER1/USER2 ボタン

メニュー操作で、ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能の動作をします。

→「USER ボタンへの機能割り当て」(55ページ) 参照

3 シャッタースイッチ

電子シャッターのON/OFF切り替えスイッチです。

OFF: 電子シャッターは動作しません。

ON: 電子シャッターが動作します。

SEL: 電子シャッターのスピードを変更することができます。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。SEL側に倒すごとに、シャッタースピードが変化します。

→「電子シャッターの設定」(53ページ) 参照

4 AUTO W/B (WHITE/BLACK) BALスイッチ

AWB: ホワイトバランスを自動調整します。側面のWHITE BALスイッチをA、またはBの位置にして、スイッチを操作すると、数秒で調整され、調整値がメモリーに記録されます。WHITE BALスイッチがPRSTの位置のとき、AUTO W/B BAL スwitchをAWB側に倒して色温度が表示中に、もう一度AWB側に倒すと、プリセット色温度を変更することができます。

ABB: ブラックバランスを自動調整します。

→「ホワイトバランス/ブラックバランスの調整」(51ページ) 参照

5 GAINスイッチ

・撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

・L/M/Hポジションのゲイン値は、設定メニューのSW MODE 画面のLOW GAIN項目、MID GAIN項目とHIGH GAIN項目で設定できます。

・出荷時の設定は、L=0 dB、M=6 dB、H=12 dBです。

6 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号を選択します。

CAM.AUTO KNEE ON :

カメラで撮影している映像が出力され、AUTO KNEE回路が動作します。

また、AUTO KNEE機能の代わりにDRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能を割り付けることも可能です。

→「DRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能」（11ページ）参照

CAM.AUTO KNEE OFF :

カメラで撮影している映像が出力され、AUTO KNEE回路は動作しません。

KNEEポイントはメニュー操作で設定されたレベルに固定されます。

BARS : カラーバー信号が出力されます。AUTO KNEE回路は動作しません。

◆ NOTE**■ AUTO KNEE 機能**

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときに AUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。

AUTO KNEE 機能は下記のような場面の撮影に効果を発揮します。

- ・晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・車内、または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影するとき
- ・コントラストの強い場面を撮るとき

7 WHITE BAL（ホワイトバランスメモリー切り替え）スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

PRST : ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。

- ・工場出荷時は、3200 K に設定しています。
- ・設定メニュー、または AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に倒して色温度表示中にもう一度 AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に倒すと、色温度を 3200 K と 5600 K に切り替えることができます。

A・B : AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に押しとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A、またはメモリー B に記憶されます。

→「ホワイトバランスの調整」（51ページ）参照

設定メニューで、自動追尾方式のオートトラッキングホワイトバランス（ATW）を B に割り当てることも可能です。（52ページ）参照

8 DISP/MODE CHK ボタン

- ・ボタンを押すと、ビューファインダー / LCD 画面の表示が消えます。（タイムコード表示などは除く）
- ・再度押すと、もとの表示状態に戻すことができます。押し続けると、各種撮影状態や USER スイッチの割り当て内容が表示されます。
- ・また、警告時のアラーム音を止めることもできます。

9 シンクロスキャン調整スイッチ

シャッタースイッチを ON にし、シンクロスキャンが選択されているときに有効です。

シンクロスキャンのスピードを調整するスイッチです。- のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、+ のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。

パーソナルコンピューターモニターを撮影する場合などは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

また、VFR（バリアブルフレームレート）モードでジョグダイヤルを押すと、このスイッチでフレームレートを変更することができます。

→「メニュー操作部、およびサムネール操作部 2. ジョグダイヤルボタン」（24ページ）参照

10 ZEBRA（ゼブラパターン）スイッチ

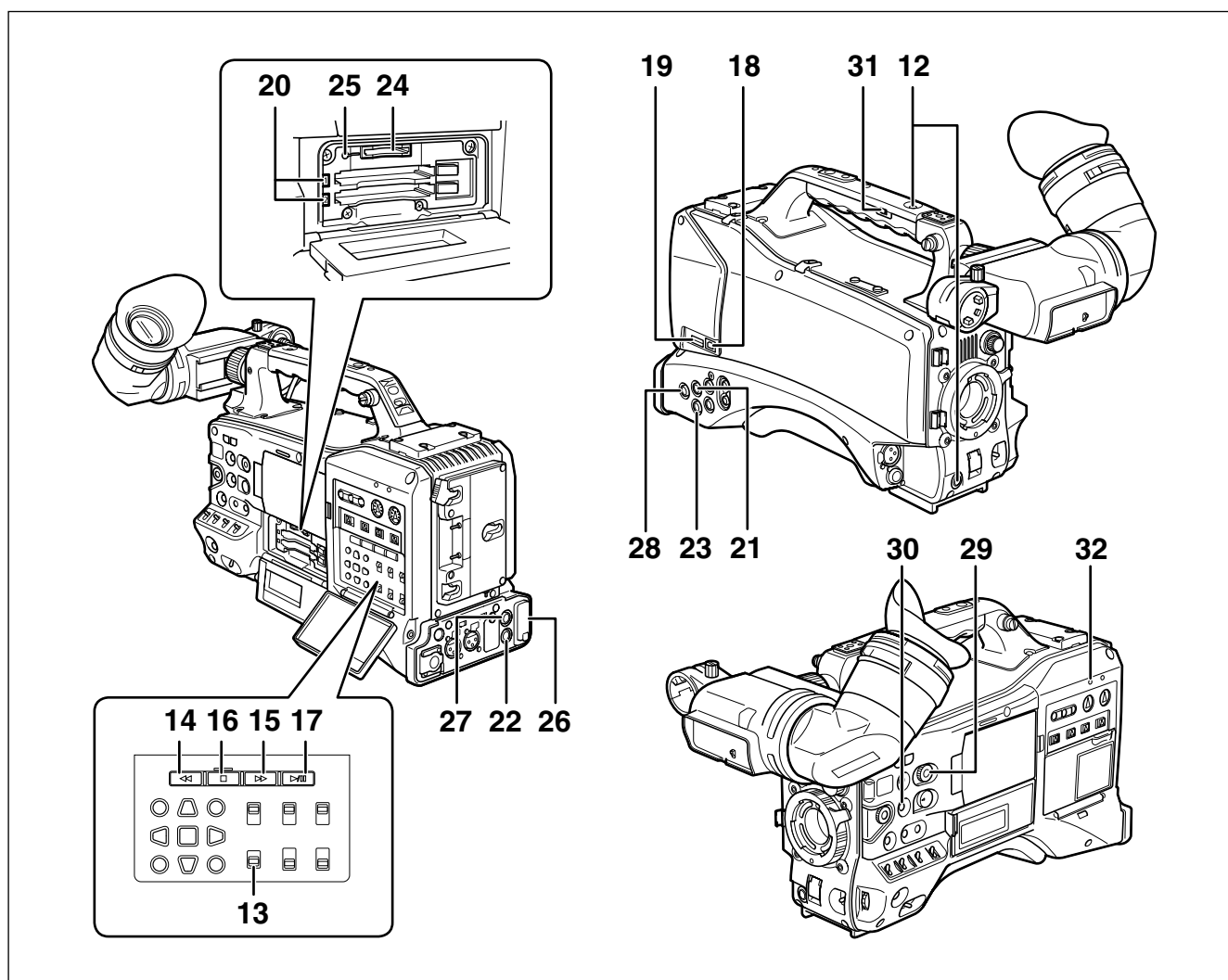
ビューファインダーおよび液晶モニターにゼブラパターンを表示させます。

→「ゼブラパターンの表示」（76ページ）参照

11 焦点マーク（Φ）

MOS センサーの焦点位置を示します。

被写体からの焦点距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。



■ 撮影・記録/再生機能部 (記録部)

12 REC ボタン

ボタンを押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。
このボタンは、レンズ側のVTRボタンと同じはたらきをします。

13 SDI OUT CHARACTER スイッチ

SDI OUTへの各種ステータスや設定メニューなどのキャラクター情報の重畳を制御します。

ON: キャラクターを重畳します。

OFF: キャラクターを重畳しません。

◆ NOTE

VIDEO OUTに対するキャラクターの重畳は、SDI OUTとは別に設定メニューで設定できます。

14 ◀◀REW (早戻し) ボタン

停止中に押すと高速逆再生になります。
再生中に押すと約4倍速の高速逆再生になります。
また、再生の一時停止状態のときに押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態 (頭出し状態) になります。

15 ▶▶FF (早送り) ボタン

停止中に押すと高速再生になります。
再生中に押すと約4倍速の高速再生になります。
また、再生の一時停止状態のときに押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態 (頭出し状態) になります。

16 ■STOP (停止) ボタン

再生を停止するときに押します。
また、インターバル記録、ワンショット記録を停止するときやワンクリップのクリップ連結を一旦終了するときに押します。

17 PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン

ビューファインダー画面やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。
再生中に押すと、再生を一時停止します。

18 USB2.0端子 (DEVICE)

19 USB2.0端子 (HOST)

USB2.0ケーブルを接続します。
設定メニューのSYSTEM SETUP画面のPC MODE項目をONに設定すると、USB2.0を使ったデータ転送が可能になります。

このとき、本機での記録・再生やクリップの操作は制限されます。(144ページ) 参照

20 P2カードアクセスLED

各カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。
→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(31ページ) 参照

21 GENLOCK IN端子

カメラ部にGENLOCKをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに基準信号を入力します。

◆ NOTE

- ・入力基準信号は、HDのY信号(1080/59.94i、720/59.94P)、またはコンポジット信号(480/59.94i)を供給してください。ただし本機のVIDEO OUT端子出力(コンポジット信号)のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。また、SDモード時はHD信号にロックしません。

22 REMOTE端子

リモートコントロールユニットAJ-RC10G(別売品)を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

→「リモートコントロールユニット(AJ-RC10G)の接続」(102ページ)参照

また、エクステンションコントロールユニットAG-EC4G(別売品)を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

→「エクステンションコントロールユニット(AG-EC4G)の接続」(102ページ)参照

23 VIDEO OUT(ビデオ信号出力)端子

映像の出力端子です。

- ・HD時は、ダウンコンバートされたコンポジットビデオ信号を出力します。
- ・信号出力は、設定メニューのOUTPUT SEL画面のDOWNCON MODE項目で設定することができます。(工場出荷時はLETTER BOXに設定されています。)

24 SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード(別売品)の挿入口です。SDメモリーカードは、カメラの設定メニューやレンズファイルの記録/呼び出し、メタデータのアップロードやプロキシの記録(オプション)などで使用します。

◆ NOTE

■SDメモリーカードの使用上の注意

- ・本機には、SD規格、またはSDHC規格に準拠したSDメモリーカードを入れてご使用ください。
- ・MMC(Multi Media Card)は使用できません。(撮影することができなくおそれがありますので、ご注意ください)
- ・miniSD/microSDカードを本機で使用する場合は、必ず、miniSD/microSDカード専用のアダプターを装着してご使用ください。(miniSD/microSDアダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。アダプターには必ず、メモリーカードを入れてご使用ください)
- ・当社製のSDメモリーカード、およびminiSD/microSDカードをご使用いただくことをお勧めします。また、フォーマットは必ず、本機で行ってください。
- ・本機では、8 MBから2 GBのSDメモリーカード、および32 GBまでのSDHCメモリーカードが使用できます。また、プロキシ(オプション)を記録する場合は、SDHCメモリーカード、または「High Speed」などの表示がある256 MBから2 GBのSDメモリーカードをご使用ください。
- ・取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

■SDメモリーカード、SDHCメモリーカードについて

- ・SDHCメモリーカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
- ・SDロゴは登録商標です。
- ・MMC(Multi Media Card)は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。

25 BUSY(動作状態表示)ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプで、動作時に点灯します。

◆ NOTE

ランプ点灯時は、カードを出し入れしないでください。SDメモリーカードを破損するおそれがあります。

26 DVCPRO/DV端子

IEEE1394規格に準拠した映像、音声、データの入出力端子です。

→「DVCPRO/DV端子での接続」(149ページ)参照

27 SDI OUT1端子

28 SDI OUT2端子

- ・SDI信号を出力します。
- ・設定メニューのOUTPUT SEL画面のSDI SELECT項目でAUTO、1080i、480iを設定することができます。アップコンバートには対応していません。SDI OUT1端子と同一の信号が出力されます。

29 SCENE FILEダイヤル

あらかじめ各ポジションに対応して記録したシーンファイルの撮影条件を読み出して設定します。

→「シーンファイルデータの使い方」(84ページ)参照

◆ NOTE

撮影中に記録フレームレートが変わるポジションにダイヤルを変更しても記録フレームレートは変わりません。記録待機状態になったときに変更されます。

30 FOCUS ASSIST ボタン

画面中央部の映像を拡大表示する機能をON/OFFします。

→「フォーカスアシスト機能」(77ページ)参照

31 REC切り替えスイッチ

ハンドル部のRECボタンの操作を切り替えるスイッチです。

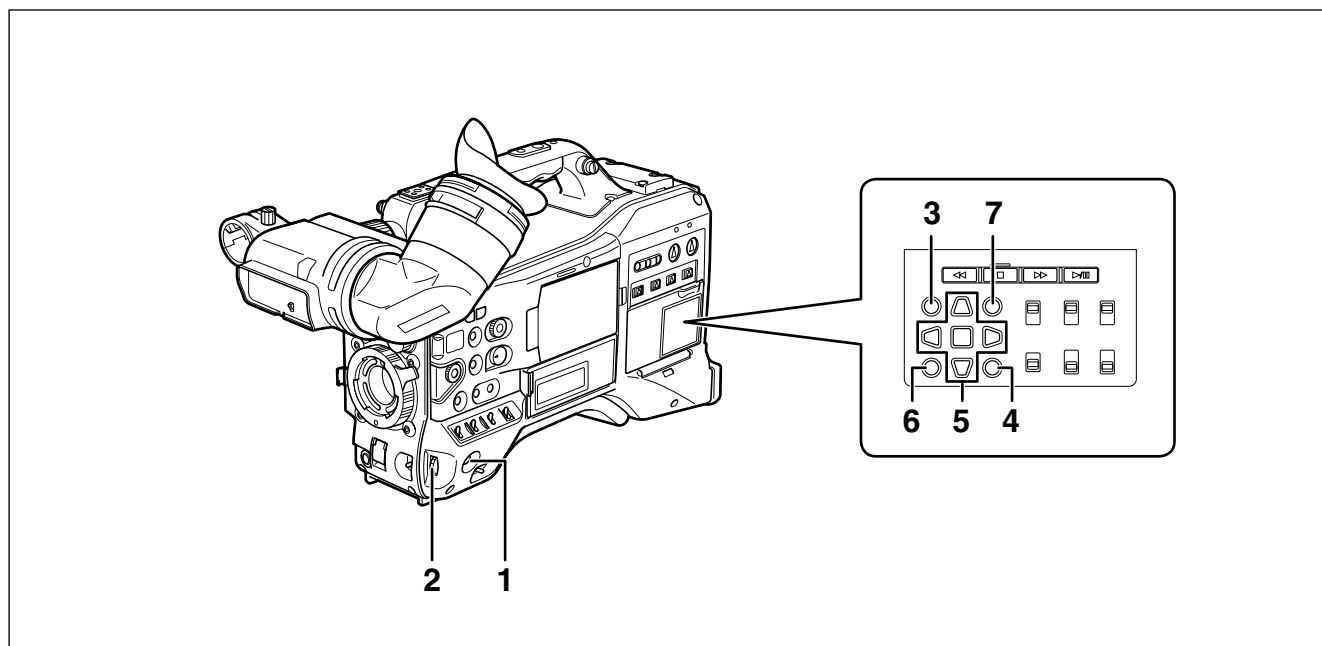
ON: RECボタンの操作が有効になります。

OFF: RECボタンの操作が無効になります。

32 USBランプ

本機がUSBモード(PCモード)のとき、点灯します。

メニュー操作部、およびサムネール操作部



1 MENUボタン

- ・ボタンを長押しすると、設定メニュー画面が表示されます。もう一度押しと、もとの映像に戻ります。
- ・サムネール表示中および記録中は、ボタン操作を受け付けません。

2 ジョグダイヤルボタン

- ・設定メニューを開いている状態で、設定メニューのページ移動、項目の選択や設定を行います。
- ・設定メニュー表示中、ジョグダイヤルボタンを下側に回すとメニューカーソルが下側に移動し、上側に回すとメニューカーソルが上側に移動します。また、ジョグダイヤルボタンを押すと設定内容が設定されます。
→「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照
- ・VFR (バリエブルフレームレート) モードでは、このスイッチを押すとシンクロスキャン調整スイッチでフレームレートを変えることができます。

◆ NOTE

設定メニューのページ移動、項目の選択にはジョグダイヤルボタンを使用します。

→「ビューファインダー/LCD画面の設定メニュー表示」(122ページ) 参照

3 サムネールボタン

ボタンを押すと、サムネール画面に切り替えることができます。ただし、記録・再生中には切り替わりません。

4 サムネールメニューボタン

サムネール表示中に押しと、サムネールメニューの操作に移り、クリップの削除などが可能になります。

◆ NOTE

サムネールの選択やメニューの操作にはカーソル・SETボタン、EXIT/CANCELボタンを使用します。

→「クリップのサムネール操作」(103ページ) 参照

5 カーソル・SETボタン

設定メニューやメニューバー、サムネールの操作を行います。
4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。

6 EXIT/CANCELボタン

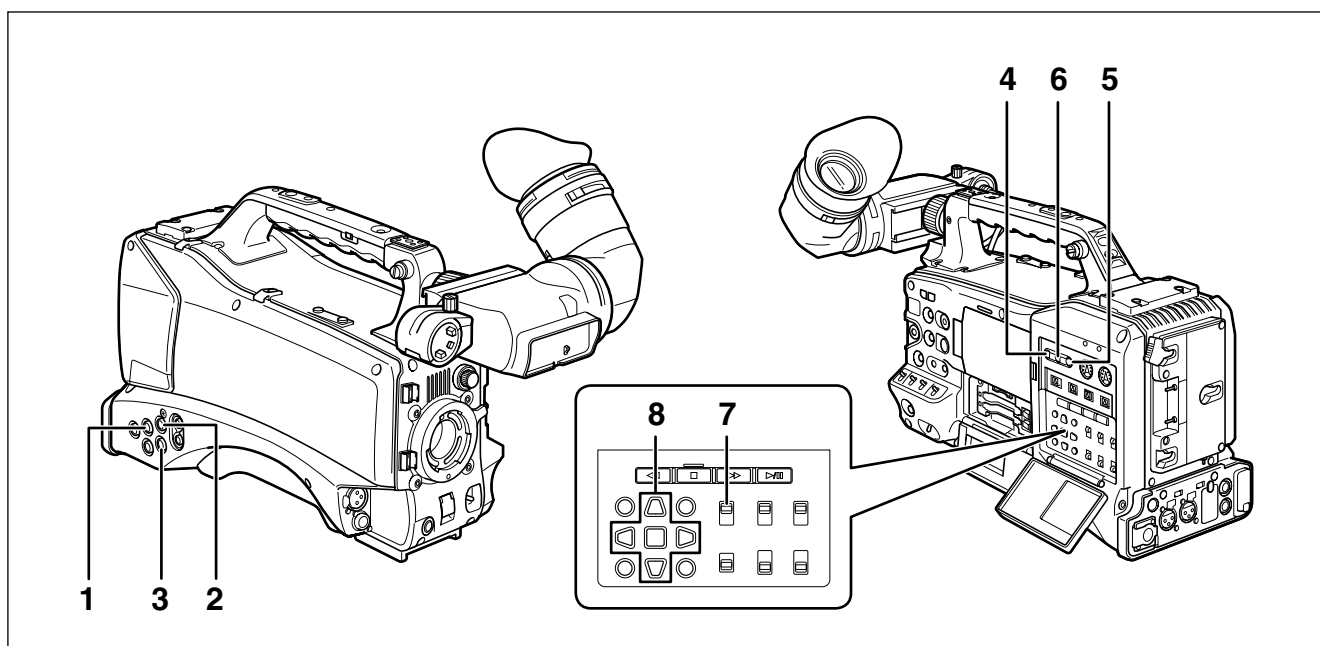
サムネールメニューやプロパティ画面を表示中、表示を前の状態に戻します。
また、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、キャンセル機能としてはたらき、クリップ選択状態を一括で解除する場合などに便利です。

7 SHIFTボタン

他のボタンと同時に押しで使用します。

- ・SHIFTボタン+カーソルボタン(△/▽)
サムネール画面で、先頭または最後のクリップのサムネールにポインターを移動します。
 - ・SHIFTボタン+SETボタン
直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択します。
 - ・SHIFTボタン+EXIT/CANCELボタン
キャンセル機能としてはたらきます。
→(6 EXIT/CANCELボタン) 参照
- SHIFTボタンを押しした状態での動作は、各ボタンの下側に表示しています。

タイムコード関連部

**1 GENLOCK IN 端子 (BNC)**

カメラ部にGENLOCKをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに基準信号を入力します。ただし、本機のVIDEO OUT端子のVBS信号のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。

→「タイムコードを外部ロックさせる」(64ページ) 参照

2 TC IN端子 (BNC)

タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

→「タイムコードを外部ロックさせる」(64ページ) 参照

3 TC OUT端子 (BNC)

外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部機器のタイムコード入力 (TC IN) 端子と接続します。

→「タイムコードを外部に供給する」(65ページ) 参照

4 HOLDボタン

押した瞬間に、カウンター表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。あるシーンを撮影したタイムコード、またはカウンター値を知るときなどに使用します。

5 RESETボタン

タイムコード表示部のカウンター値を0にリセットします。

また、TCGスイッチをSETの位置にして、設定メニューのTC PRESET画面、またはUB PRESET画面表示中に、ボタンを押すと各設定値が0にクリアされます。また、カーソル・SETボタンのSETボタンを押すとPRESETが行われます。

6 COUNTER (カウンター表示切り替え) ボタン

ボタンを押すごとに、カウンター値、タイムコード、ユーザーズビット、およびフレームレート情報をビューファインダー/LCD画面に表示します。

7 TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定します。

F-RUN : P2カード記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。

SET : タイムコードやユーザーズビットを設定するときを使用します。

R-RUN : 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。通常記録されたタイムコードは、連続して記録されます。ただし、クリップを削除したり、24P/24PAのフレームレートにして24P/24PA以外のクリップに続けて記録した場合は、連続して記録されないことがあります。

◆ NOTE

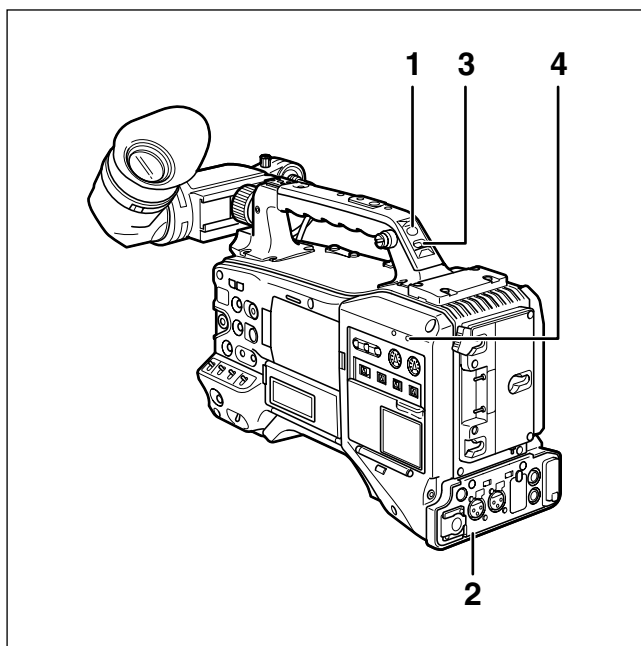
タイムコードやユーザーズビットを設定するときは、カーソル・SETボタンで設定してください。ジョグダイヤルボタンでは設定できません。

8 カーソル・SETボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定に使用します。4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。

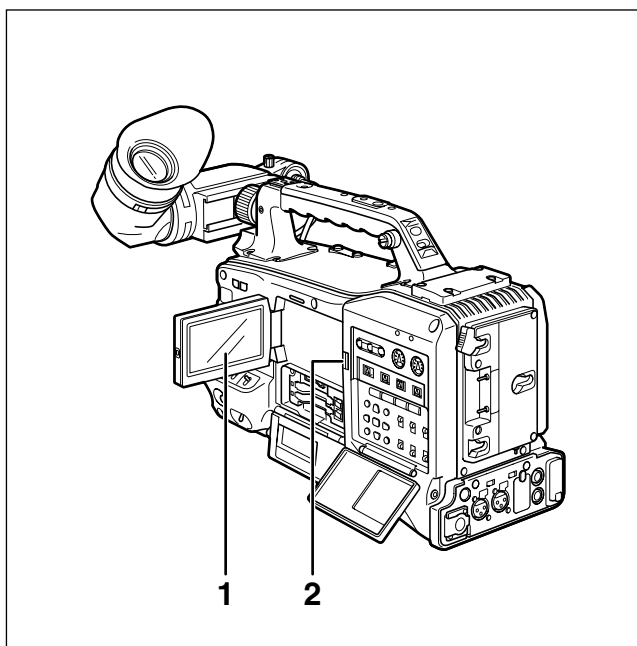
→「タイムデータの設定」(58ページ) 参照

警告 / 状態表示部



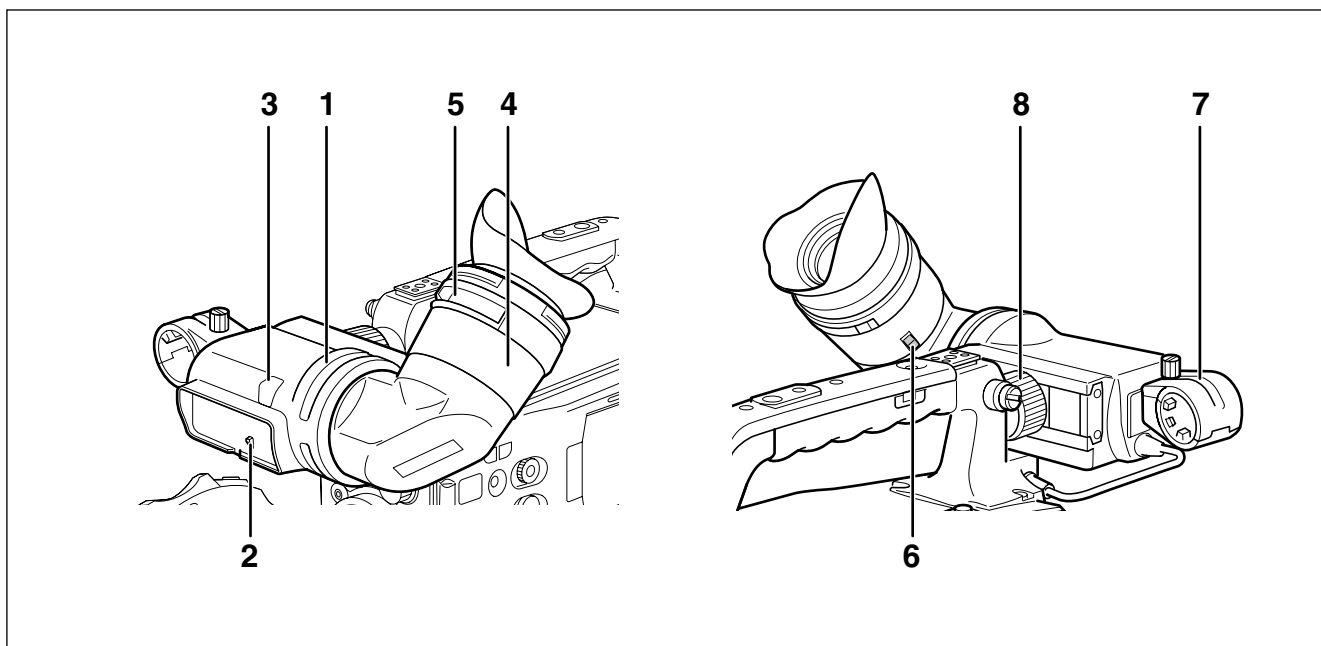
- 1 **バックタリーランプ**
バックタリースイッチをONにすると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。
- 2 **リヤタリーランプ**
バックタリースイッチをONにすると、バックタリーランプと同様に動作します。
- 3 **バックタリースイッチ**
バックタリーランプとリヤタリーランプのはたらきをコントロールします。
ON: バックタリーランプとリヤタリーランプが動作します。
OFF: バックタリーランプとリヤタリーランプが動作しません。
- 4 **WARNINGランプ**
メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅、または点灯します。

液晶モニター一部



- 1 **液晶モニター (LCD)**
ビューファインダー画面の映像を表示します。
また、P2カードのクリップを、サムネール表示することもできます。
液晶モニターの設定については「ビューファインダー/LCD画面の設定メニュー表示」(→122ページ)を参照してください。
サムネール表示時は、サムネールメニューボタンやカーソル・SETボタンを使って、クリップの操作や削除、P2カードのフォーマットなどができます。
→「クリップのサムネール操作」(103ページ)参照
- 2 **OPENボタン**
液晶モニターを開けるときに使用します。

ビューファインダー部

**1 ビューファインダー**

記録・再生中に、カラーの映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ（セーフティゾーンマーカ、センターマーカ）なども見ることができます。

◆ NOTE

設定メニューのDISPLAY SETUP画面のEVF COLOR項目の設定により、白黒にすることもできます。

2 タリースイッチ

フロントタリーランプをコントロールします。

ON： タリーランプが点灯します。

OFF： タリーランプが消灯します。

3 フロントタリーランプ

タリースイッチがONのときに動作し、撮影中に点灯します。また、警告中は点滅します。

4 アイピース**5 視度調整リング**

視度に合わせて、ビューファインダー画面の映像が最もはっきり見えるように調整します。

6 アイピース取り外しロックボタン

→ 「アイピースを取り外すには」(154ページ) 参照

7 マイクホルダー**8 ビューファインダー左右位置固定リング**

ビューファインダーの左右位置を調整する際にゆるめ、調整後、締めて固定します。

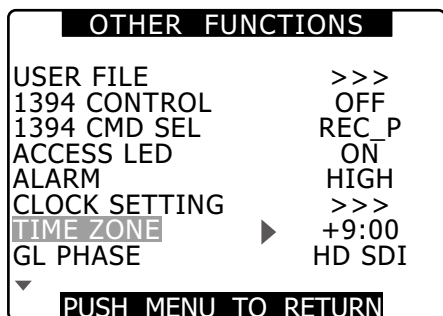
第3章 記録と再生

内蔵時計の日付 / 時刻の設定

時刻 (CLOCK SETTING) の値は、コンテンツ (クリップ) に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ずCLOCK SETTINGとTIME ZONEを確認・設定してください。

■ 例：日時を2010年4月1日午後5時20分に設定する

- 1 POWERスイッチをONにする
- 2 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のTIME ZONE項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照
- 3 グリニッジ標準時間からの時差をジョグダイヤルボタンで設定する
・タイムゾーン表を参考に設定してください。



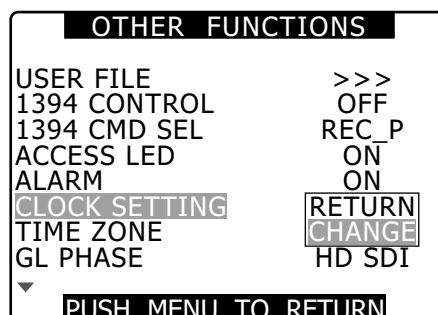
■ タイムゾーン表

時差	地域	時差	地域
00:00	グリニッジ	+01:00	中央ヨーロッパ
-00:30		+01:30	
-01:00	アゾレス諸島	+02:00	東ヨーロッパ
-01:30		+02:30	
-02:00	中部大西洋	+03:00	モスクワ
-02:30		+03:30	テヘラン
-03:00	ブエノスアイレス	+04:00	アブダビ
-03:30	ニューファンドランド島	+04:30	カブール
-04:00	ハリファックス	+05:00	イスラマバード
-04:30		+05:30	ボンベイ
-05:00	ニューヨーク	+06:00	ダッカ
-05:30		+06:30	ヤンゴン
-06:00	シカゴ	+07:00	バンコク
-06:30		+07:30	
-07:00	デンバー	+08:00	北京
-07:30		+08:30	
-08:00	ロスアンジェルス	+09:00	東京
-08:30		+09:30	ダーウィン諸島
-09:00	アラスカ	+10:00	グアム
-09:30	マルケサス諸島	+10:30	ロード・ハウ・アイランド
-10:00	ハワイ	+11:00	ソロモン諸島
-10:30		+11:30	ノーフォーク島
-11:00	ミッドウェイ諸島	+12:00	ニュージーランド
-11:30		+12:45	チャタム諸島
-12:00	クワジャリン	+13:00	
+00:30			

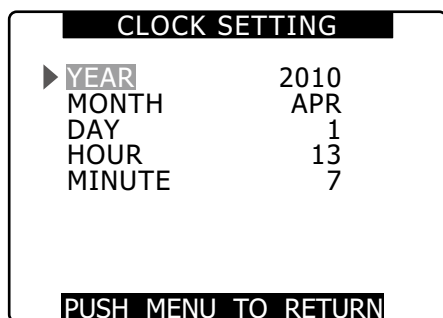
◆ NOTE

- ・時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。
- ・正確な時刻を必要とする場合は、時刻確認、再設定を行ってください。時刻を設定後に、設定メニューのTIME ZONE項目の設定値を変更すると、表示および記録される時刻が時差を加えたものに切り替わります。

- 4 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のCLOCK SETTING項目で、CHANGEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す
・CLOCK SET画面が表示されます。



- 5 ジョグダイヤルボタンを回し、YEARを選び、
ジョグダイヤルボタンを押す



- 6 ジョグダイヤルボタンを回し、YEARを2010
に設定してジョグダイヤルボタンを押す
・2000から2037まで設定できます。

- 7 ジョグダイヤルボタンを回し、MONTHを選び、
ジョグダイヤルボタンを押す

- 8 ジョグダイヤルボタンを回し、MONTHを
APRに設定してジョグダイヤルボタンを押す

- 9 YEAR・MONTHと同様の方法で、DAY・
HOUR・MINUTEを設定する
・HOURは24時間表示です。



P2カードについて

P2カードを入れる

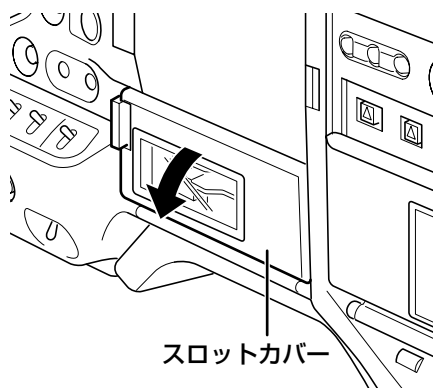
◆ NOTE

本機を最初に使用するときは、必ず時刻の設定を先に行ってください。

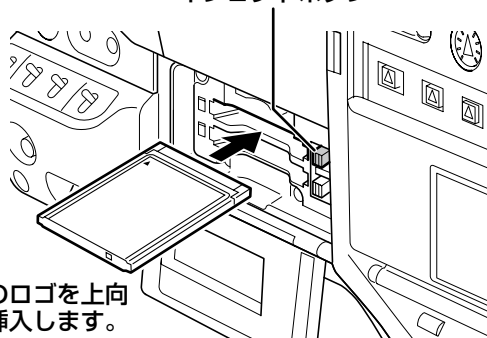
→「内蔵時計の日付/時刻の設定」(28ページ) 参照

1 POWERスイッチをONにする

2 スロットカバーを開ける

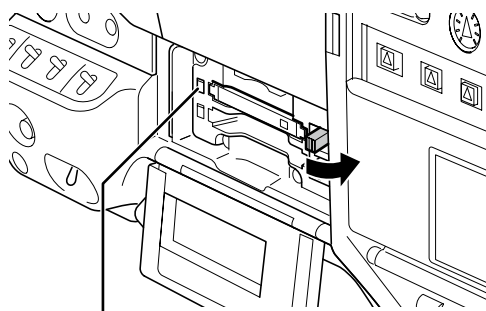


3 P2カードスロットにP2カードを挿入する
・イジェクトボタンが飛び出るまで押し入れます。
イジェクトボタン



4 飛び出たイジェクトボタンを右に倒す

・P2カードを挿入すると、スロットのP2カードアクセスLEDにP2カードの状態が表示されます。
→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(31ページ) 参照



P2カードアクセスLED

5 スロットカバーを閉める

◆ NOTE

・落下防止、防塵・静電気防止のため、スロットカバーを開けた状態のまま、本機を移動しないでください。

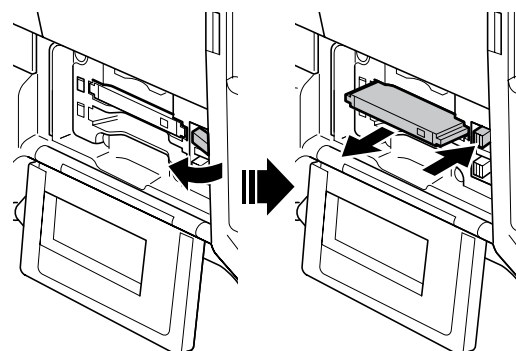
・P2カードは必ず、P2機器でフォーマットしてください。

P2カードを取り出す

1 スロットカバーを開ける

2 イジェクトボタンを起こす

3 イジェクトボタンを押し込んで、P2カードを取り出す



イジェクトボタンを起こします

起こしたイジェクトボタンを押し込むと、P2カードが出てきます

◆ NOTE

・アクセス中や挿入後、認識中(P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅)に、P2カードを取り出さないでください。故障の原因になります。

・万一、アクセス中のP2カードを取り出した場合、ビューファインダー画面にTURN POWER OFFと表示され、アラーム、WARNING LEDなどで警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となりますので、一度、電源OFFにしてください。

→「警告システム」(155ページ) 参照

・アクセス中に取り出されたP2カードは、クリップが不正規の状態になることがあります。クリップを確認のうえ、修復を行ってください。

→「クリップの修復」(111ページ) 参照

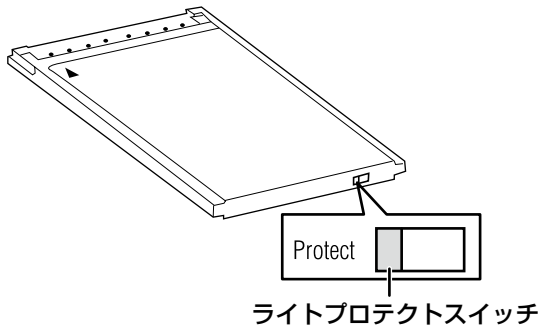
・フォーマット中のP2カードを取り出した場合、取り出したP2カードのフォーマットは保証されません。また、このときビューファインダー画面にTURN POWER OFFと表示されます。一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてから、P2カードのフォーマットをやり直してください。

・再生中は、ほかのスロットにP2カードを挿入しても認識されず、P2カードアクセスLEDは点灯しません。再生が終了してから、P2カードの認識をはじめます。

- ・記録中、空きスロットにP2カードを挿入しても下記の状態はすぐに認識されません。
- ・プリレックの直後
- ・P2カードアクセスLEDは、設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のACCESS LED項目で、常に消灯する設定にできません。この場合、電源OFFにしてから取り出すか、カード装着後、または動作（記録、再生など）停止後、充分時間が経ってから取り出してください。
- ・サムネールが表示されている場合、P2カードを取り出すとサムネール画面は解除されます。

誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードのライトプロテクトスイッチをProtect側にします。



◆ NOTE

ライトプロテクトスイッチは、記録中や再生中など、アクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで機能しません。

P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	P2カードの状態		MODE CHECKでの表示 ^{*1}
緑色に点灯	記録可能	書き込み/読み出しとも可能です。	ACTIVE
オレンジ色に点灯	記録対象	書き込み/読み出しとも可能で、現在記録（ループレック、インターバル記録、ワンショット記録を含む）の対象になっています。	ACTIVE
オレンジ色の点滅 ^{*2}	アクセス中	現在、書き込み/読み出し中です。	ACCESSING
オレンジ色の早い点滅	カード認識中	P2カードを認識中です。	INFO READING
緑色の遅い点滅	カードフル	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。	FULL
	ライトプロテクト	P2カードのライトプロテクトスイッチがProtect側になっています。読み出しのみ可能です。	PROTECTED
消灯	対象外のカード	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。	NOT SUPPORTED
	フォーマットが正しくない	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。	FORMAT ERROR
	カードなし	P2カードが挿入されていません。カード認識待ち。	NO CARD

*1 MODE CHECKはビューファインダー内および液晶モニター内に表示されます。

→「ビューファインダーの状態表示」(67ページ) 参照

*2 SLOT2にPROXYカード（オプション）を装着しているときもオレンジ色の点滅となります。

P2カードの記録時間について

本機で使用できるP2カード

本機では、別売のAJ-P2C064AG (64 GB)、AJ-P2E032XG (32 GB) などの、4 GBから64 GBのP2カードが使用できます。(2010年4月現在)

◆ NOTE

- ・AJ-P2C002SG (2 GB) のカードは使用できません。
- ・P2カードの種類によっては、本機搭載のドライバーのアップデートが必要になることがあります。
→「本機搭載ファームウェアのアップデート」(160ページ) 参照
- ・取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。
(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

P2カードの記録時間

(64 GBカード1枚使用の場合)

システムモード	記録フォーマット (コーデック)	記録時間
HD (1080i、720P)	AVC-I 100 DVCPRO HD	約64分
	AVC-I 50	約128分
	DVCPRO50	約128分
SD (480i)	DVCPRO DV	約256分

◆ NOTE

- ・上記は、通常の記録の値です。Native記録の場合は、システムモードによりさらに長時間記録できます。
→「記録フォーマットと、記録機能一覧」(47ページ) 参照
- ・32 GBのP2カードの場合は上記の各記録時間の1/2、16 GBのP2カードの場合は1/4、8 GBのP2カードの場合は1/8となります。
- ・表示容量には管理領域などが含まれており、記録に使用できる容量は上記より少なくなります。

P2カードに記録されるクリップの分割について

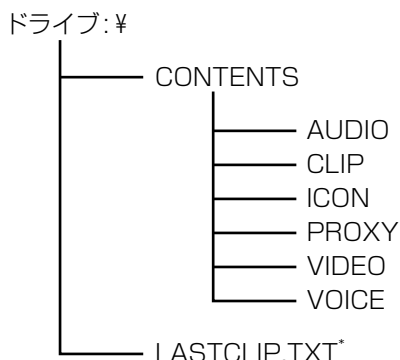
本機で8 GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。なお、P2機器でクリップのサムネール操作(表示、削除、修復など)を行う場合は、1つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフト、およびパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット (Native記録を除く)	連続記録時間
AVC-I 100 DVCPRO HD	約5分
AVC-I 50 DVCPRO50	約10分
DVCPRO DV	約20分

P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器 DVCPRO P2シリーズの記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

- ・ DVCPRO P2フォーマットおよびAVC-Intraの記録データは、ファイル形式のため、パーソナルコンピューターとの親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけでなく、さまざまな重要情報が含まれており、下記のようなフォルダー構成にて関連付けられています。



すべてのフォルダーが必要です。

*P2機器で記録した最後のクリップ情報を書き込んでいるファイルです。

◆ NOTE

これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、P2データとして認識できない、もしくはカードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

- ・ P2カード内のデータをパーソナルコンピューターなどに転送したり、パーソナルコンピューターに保存されているデータをP2カードに書き戻すときは、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2 Viewer」を下記のウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。なお、P2 Viewerの動作環境については、同ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

- ・ Microsoft Windows Explorer や Apple Finder など、一般のITツールを使用してパーソナルコンピューターに転送する場合は、下記のように行ってください。なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2 Viewerをご使用ください。
 - ・ CONTENTS フォルダとLASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。
 - ・ CONTENTSフォルダ以下は、操作しないでください。
 - ・ コピーするときは、CONTENTSフォルダと同時にLASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
 - ・ 複数のP2カードをパーソナルコンピューターに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダを作成してください。
 - ・ P2カード内のデータ消去は行わないでください。
 - ・ P2カードは必ず、P2機器でフォーマットしてご使用ください。

基本手順

ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。実際に撮影に出発するときは、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。
→点検のしかたについては、「撮影前の点検」(151ページ) 参照

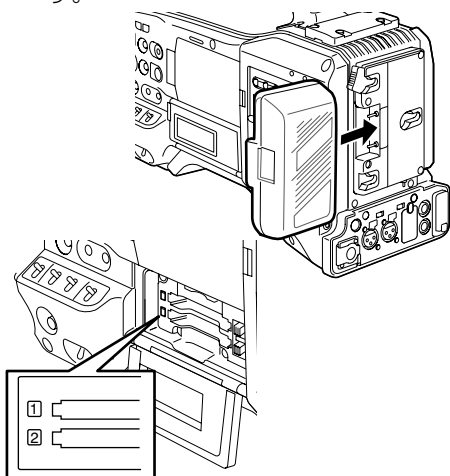
電源の準備からP2カードを入れるまで

- 1 充電済みのバッテリーを装着する
- 2 POWERスイッチをONにし、ビューファインダー画面のバッテリー残量表示を確認する
・バッテリー残量が少ないときは、完全に充電したバッテリーと交換します。

◆ NOTE

完全に充電したバッテリーに交換しても、バッテリー残量が少なく表示されるときは、バッテリーの設定が正しいことを確認してください。
→「BATTERY SETUP画面」(138ページ) 参照

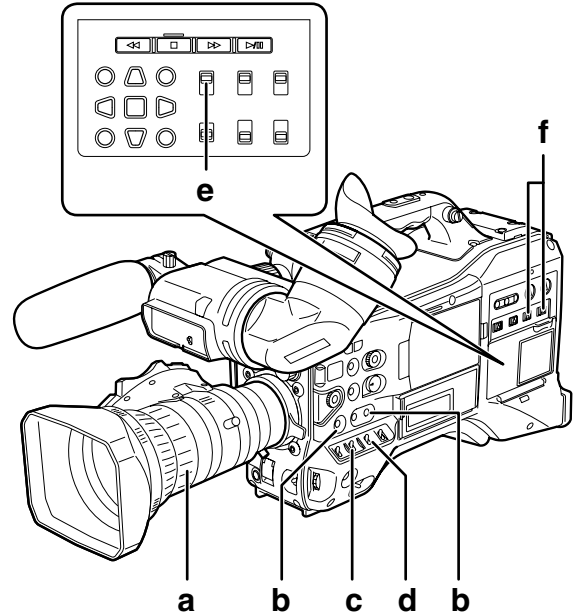
- 3 P2カードを挿入し、P2カードアクセスLEDがオレンジ色、または緑色に点灯しているのを確認し、スロットカバーを閉める
・P2カードスロットに2枚のP2カードが挿入されている場合、スロット番号の小さいP2カードから順番に記録されます。ただしP2カードをあとから挿入すると、そのP2カードが記録対象になるのは、スロット番号に関わらず、それまでに挿入されたP2カードよりあとになります。
例：2つのスロットにP2カードを挿入すると、スロット番号1→2の順で記録対象のP2カードになります。しかし、一度スロット番号1のP2カードを取り出して再び挿入した場合、スロット番号2→1の順で記録対象のP2カードになります。



なお、電源OFFにしたあとも、記録対象のP2カード番号は保持され、次に電源ONにしたときは、電源OFFにする前と同じP2カードに続けて記録できます。

撮影・記録のためのスイッチ設定

電源ONにし、P2カードを入れたあと、各スイッチを下記のように設定してから操作をはじめてください。



- a 絞り
レンズがオートアイリスに設定されていると、自動で絞りが設定されます。
- b USER MAIN/USER1/USER2 ボタン
USERボタンにSLOT SEL機能を割り当てると、2枚挿入されたP2カードから記録対象のP2カードを選択して切り替えることができます。
USERボタンを押すたびに、記録対象のP2カードが切り替わり、記録対象になったP2カードのアクセスLEDがオレンジに点灯します。また、記録対象カードのスロット番号がビューファインダー/LCD画面の情報表示部に緑色で点灯します。
→ビューファインダー画面の表示については、「ビューファインダーの状態表示」(67ページ) 参照

◆ NOTE

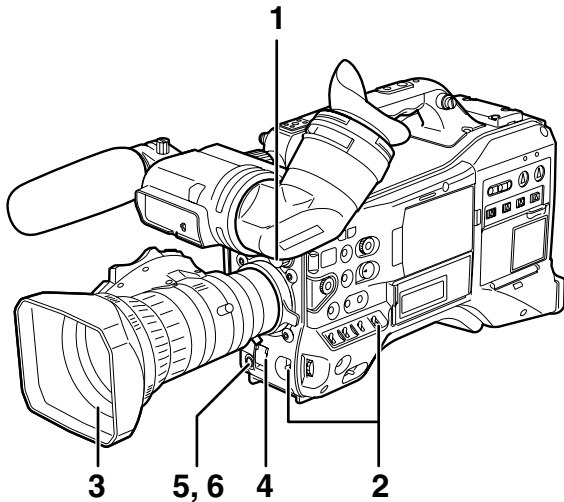
- ・記録中は、記録スロットの切り替えはできません。記録待機中に行ってください。
- ・USER MAIN/USER1/USER2 ボタンの割り当て設定は、設定メニューのSW MODE画面のUSER MAIN/USER1/USER2項目で設定します。

- c GAINスイッチ
通常はL (0 dB) にします。暗すぎるときは、適切なゲインに設定します。
- d AUTO KNEE 選択スイッチ
ON、またはOFFにします。BARSにすると、OFFの状態ではカラーバー信号が出力されません。
- e TCGスイッチ
F-RUN、またはR-RUNにします。
- f AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチ
AUTOにします。

撮影するには

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

撮影するには、下記の手順で操作します。



1 照明条件に合わせて、ND FILTERつまみでフィルターを選ぶ

2 ■ホワイトバランスがすでにメモリーされているとき

・WHITE BALスイッチをA、またはBにします。

■ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされておらず、ホワイトバランスを調整する時間がないとき

・WHITE BALスイッチをPRSTにします。
・3200 Kと5600 Kの切り替えができます。

■その場でホワイトバランスを調整するとき

・照明条件にあったフィルターを選び、WHITE BALスイッチをA、またはBにして画面中央で白い被写体を撮影し、下記の手順でホワイトバランスを調整します。

1. AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒して、ホワイトバランスを調整します。

2. AUTO W/B BALスイッチをABB側に倒して、ブラックバランスを調整します。

3. AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒して、再度ホワイトバランスを調整します。

→「ホワイトバランスの調整」(51ページ)、および「ブラックバランスの調整」(52ページ)参照

3 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整する

4 電子シャッターを使用する場合は、シャッター速度/シャッターモードを設定する
→「電子シャッターの設定」(53ページ)参照

5 RECボタンを押して記録を開始する

6 停止するとき、再度RECボタンを押す

◆ NOTE

・太陽や照明などの高輝度な被写体を撮影した場合に、その周辺に色がつくことがあります。

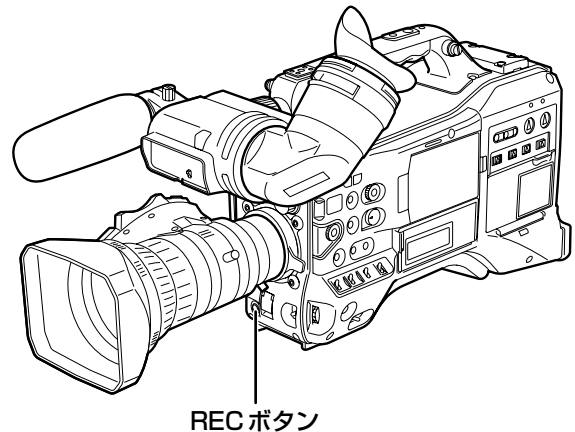
■操作ボタンについて

記録中は、操作ボタン(REW、FF、PLAY/PAUSE、STOP)は動作しません。

通常の記録

・RECボタンを押すと、P2カードに映像・音声の記録をはじめます。

・1回の撮影で生成される画像・音声(付加情報を含む)のひとかたまりのデータをクリップといいます。



◆ NOTE

下記のような場合は、RECボタンを押しても、P2カードへの書き込み完了までに時間を要する場合がありますので、すぐにボタンを押しても動作を受け付けません。

・短時間記録の停止動作

・2枚目のP2カードにわたって記録した直後の停止動作

通常記録とNative記録

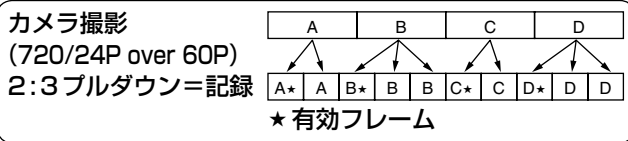
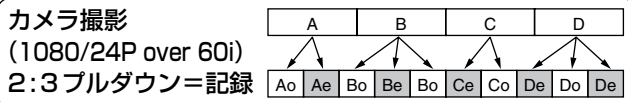
本機は、カメラの撮影フレームレートのまま記録するNative記録方式と、59.94フレームにプルダウンして記録する通常記録方式を選択できます。

通常記録（プルダウン記録）

24Pは2:3プルダウンし、30Pは2:2プルダウンしたまま59.94iまたは59.94Pとして記録します。

24PA（2:3:3:2アドバンスドプルダウン）にも対応しています。

なお、AVC-Intraでは、プルダウン記録に対応していません。

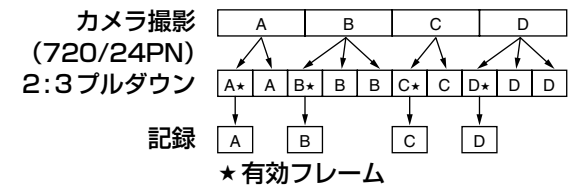
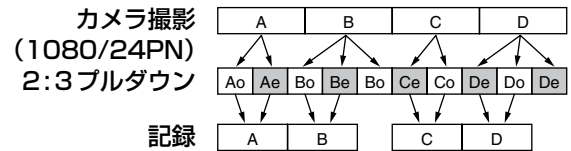


Native記録

1080iのAVC-Intra記録、および720PのDVCPRO HDとAVC-Intra記録で撮影のフレームレートに応じて、有効フレームのみを抜き出して記録する方式です。

720Pの場合、プルダウン記録よりも2～2.5倍長く記録することができます。

なお、Native記録の場合でも、カメラ映像の出力や再生映像の出力はプルダウンされた59.94フレームになります。



◆ NOTE

- ・24P/24PAの場合は5フレーム周期、24PN（Native記録）では4フレーム周期、720Pの30PN（Native記録）では2フレーム周期の先頭から記録が開始されます。そのため、記録周期の異なるシステムモードのクリップに続けて記録すると、タイムコードが不連続になることがあります。
- ・P2カードを挿入後、あるいは電源をONにした直後に記録を開始した場合でも、本機の内部メモリーを使用して記録が開始されます。この場合、P2カードの認識が終わるまで記録を停止できません。P2カードの状態は、DISP/MODE CHKボタンを押し、ビューファインダーに表示されるSLOT1、2の行で確認してください。
- ・24PA（2:3:3:2アドバンスドプルダウン）に対応した編集システムを使用すると、24P（2:3プルダウン）に比べ画質の劣化が少ない編集ができます。
- ・24PAに対応した編集システムを使用しない場合は、通常の24Pで撮影を行ってください。

バリアブルフレームレート (VFR) 記録機能

本機は、720Pモード時にコマ落とし (アンダークランク) や高速度 (オーバークランク) 撮影ができます。Native (PN) 記録モードとスタンダード (OVER) 記録が選択できます。

Native VFR 記録

1 設定メニューの SYSTEM SETUP 画面の SYSTEM MODE 項目を 720-59.94P に、REC FORMAT 項目を AVC-I 100/24PN に設定する

2 設定メニューの SCENE FILE 画面の VFR 項目を ON に設定し、FRAME RATE 項目を撮影意図に合わせて設定する

・フレームレートは、12 フレーム (12P) から 60 フレーム (60P) まで選択することができます。

◆ NOTE

ジョグダイヤルボタンを押してフレームレート表示が点滅している間にシンクロスキャン調整スイッチを押すと、設定メニューを開けずにフレームレートを変更することができます。ただし、記録中はフレームレートを変更することはできません。

3 REC ボタンを押す
VFR モード (Native VFR) で記録されます。

記録フォーマットは AVC-I 100、AVC-I 50、DVCPRO HD、30PN、24PN を組み合わせて選択することができます。

→ 「記録/再生と出力フォーマット一覧」(49ページ) 参照

→ 「SYSTEM SETUP 画面」(128ページ) 参照

◆ NOTE

Native VFR 記録時は、以下の内容にご注意ください。

- 記録中は、記録対象の P2 カードの切り替えはできません。
- ブリレック、ループレック、インターバル記録、ワンショット記録、およびワンクリップレックはできません。
- 記録待機中および記録中は 1394 出力されません。
- 記録中は、シーンダイヤルを切り替えても VFR 項目の ON/OFF は変化しません。
- 音声は記録できません。^{*1}
- タイムコードはレックラン (R-RUN) に固定されます。^{*1}
- P2 カードに記録されている映像より、サムネール画面が 1 フレーム遅れて作成されることがありますが、故障ではありません。

*1 記録モードが 24PN 時にフレームレートが 24 フレームの場合、および記録モードが 30PN 時にフレームレートが 30 フレームの場合は、音声を記録することができます。また、タイムコードをフリーラン (F-RUN) に設定できます。

スタンダード VFR 記録 (プルダウン記録)

1 設定メニューの SYSTEM SETUP 画面の SYSTEM MODE 項目を 720-59.94P に、REC FORMAT 項目を AVC-I 100/60P に設定する

2 設定メニューの SCENE FILE 画面の VFR 項目を ON に設定し、FRAME RATE 項目を撮影意図に合わせて設定する

・フレームレートは、12 フレーム (12P) から 60 フレーム (60P) まで選択することができます。

◆ NOTE

ジョグダイヤルボタンを押してフレームレート表示が点滅している間にシンクロスキャン調整スイッチを押すと、設定メニューを開けずにフレームレートを変更することができます。ただし、記録中はフレームレートを変更することはできません。

3 REC ボタンを押す
VFR モード (OVER 60P) で記録されます。

記録フォーマットは AVC-I 100/60P、AVC-I 50/60P、DVCPRO HD/60P を選択できます。

→ 「記録/再生と出力フォーマット一覧」(49ページ) 参照

→ 「SYSTEM SETUP 画面」(128ページ) 参照

フレームレートの数値を低く設定し、60P で早く動く被写体を撮影すると、再生時に流れる画像を得ることができ、映像効果として使用できます。

◆ NOTE

- ・フレームレートコンバーターでアクティブフレームを抜き出して、オーバークランクやアンダークランクにした場合、音声は再生できなくなります。
- ・スタンダード VFR 記録時には、以下の内容にご注意ください。
 - 記録中は、記録対象の P2 カードの切り替えはできません。
 - ブリレック、ループレック、インターバル記録、ワンショット記録、およびワンクリップレックはできません。
 - 記録待機中および記録中に 1394 出力されません。ただし、AVC-Intra モードのときは出力されません。
 - 記録中は、シーンダイヤルを切り替えても VFR 項目の ON/OFF は変化しません。
 - 音声は記録されます。

VFR記録機能の活用

映画製作のための標準速撮影

スクリーン上映を目的とした制作の場合、フィルム上映時と同じ24 fps（毎秒24コマ）のフレームレートが通常（1倍速）となります。下記の設定にすることにより上映時と同じ再生ができます。720Pプログレッシブとシネライクガンマによりフィルムライクな映像が得られます。

映画製作のための標準設定

SYSTEM MODE設定			記録フレームレート
SYSTEM MODE	その他の項目の設定		
720-59.94P	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN) (DVCPRO HD/24PN)	24フレーム
	VFR	OFF	
1080-59.94i	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN) (DVCPRO HD/60i)	
	CAMERA MODE ^{*1}	24P	

*1 設定メニューのSYSTEM SETUP画面のREC FORMAT項目がDVCPRO HD/60iの場合のみ

CM/ドラマ制作のための標準速撮影

HDTV/SDTV放送などテレビ画面上映を目的とした制作の場合、30 fps（毎秒30コマ）のフレームレートが通常（1倍速）となります。下記の設定にすることにより放送局と同じ再生ができます。CM、ミュージッククリップがフィルムライクな映像で、しかもテレビ放送に適したコマ数で収録できます。

CM/ドラマ制作のための標準設定

SYSTEM MODE設定			記録フレームレート
SYSTEM MODE	その他の項目の設定		
720-59.94P	REC FORMAT	AVC-I 100/30PN (AVC-I 50/30PN) (DVCPRO HD/30PN)	30フレーム
	VFR	OFF	
1080-59.94i	REC FORMAT	AVC-I 100/30PN (AVC-I 50/30PN) (DVCPRO HD/60i)	
	CAMERA MODE ^{*2}	30P	

*2 設定メニューのSYSTEM SETUP画面のREC FORMAT項目がDVCPRO HD/60iの場合のみ

アンダークランク撮影

雲の流れ、雑踏の中に立つ人物、カンフーなどの演出に用いられるクイックモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット24Pで撮影した場合、VFR記録フレームレートを12 fpsにすれば2倍速のクイックモーション効果が得られます。

アンダークランク撮影のための標準設定

SYSTEM MODE 設定			記録フレームレート
SYSTEM MODE	その他の項目の設定		
720-59.94P	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN) (DVCPRO HD/24PN)	12 ~ 22フレーム
	VFR	ON	
	FRAME RATE	22FRAME以下に設定	

・ REC FORMAT 項目がDVCPRO HD/60Pの場合、収録した映像をノンリニア編集システムで処理することでクイックモーションの効果が得られます

オーバークランク撮影

カーチェイスやアクション、クライマックスシーンなどのドラマチックな演出に用いられるスローモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット24Pで撮影した場合、記録フレームレートを60 fpsにすれば2.5倍速のスローモーション効果が得られます。720Pプログレッシブ映像が滑らかで高品質のスローモーションを生み出します。

オーバークランク撮影のための標準設定

SYSTEM MODE 設定			記録フレームレート
SYSTEM MODE	その他の項目の設定		
720-59.94P	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN) (DVCPRO HD/24PN)	25 ~ 60フレーム
	VFR	ON	
	FRAME RATE	25FRAME以上に設定	

・ REC FORMAT 項目がDVCPRO HD/60Pの場合、収録した映像をノンリニア収録システムで処理することでスローモーションの効果が得られます。

特殊な記録機能について

P2カードに記録する場合、設定メニューのRECORDING SETUP画面で設定することにより、プリレック、インターバル記録、ワンショット記録、ループレック、およびワンクリップレックの特殊な記録ができます。

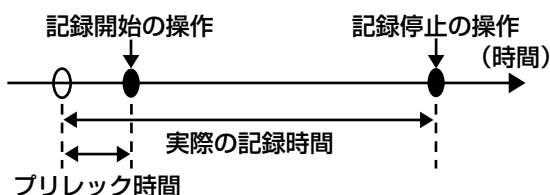
これらの特殊な記録（ワンクリップレックを除く）は下記の設定になっているときのみ可能です。

なお、ワンクリップレックは、720PでVFRがONに設定されている場合を除き、すべての記録モードで使用可能です。

SYSTEM MODE	REC FORMAT	その他の条件
1080-59.94i	DVCPRO HD/60i AVC-I 100/60i AVC-I 50/60i	CAMERA MODE の設定は60iまたは 30Pに設定する
720-59.94P	DVCPRO HD/60P AVC-I 100/60P AVC-I 50/60P	VFRの設定はOFF にする
480-59.94i	DVCPRO 50/60i DVCPRO/60i DV/60i	CAMERA MODE の設定は60iまたは 30Pに設定する

プリレック (PRE REC)

記録開始の操作をした時点より一定時間前（HD記録で約3秒前、SD記録で約7秒前）からの映像と音声を記録します。



1 設定メニューのSYSTEM SETUP画面の各項目が上記の表の設定になっていることを確認する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

2 設定メニューのRECORDING SETUP画面のPREREC MODE項目で、ONに設定する

・ビューファインダーの画面表示の特殊記録表示エリアに下記のように表示されます。

記録中：P-REC点灯

一時停止中：P-PAUSE点灯

→「画面の表示」(68ページ) 参照

3 REC ボタンを押す

一定時間前からの映像と音声を記録します。

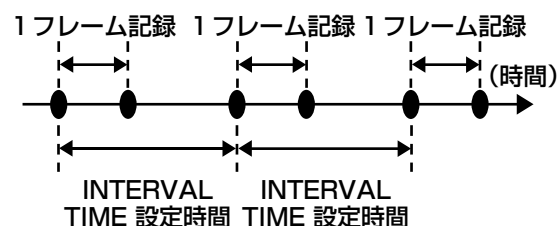
・下記の場合、プリレックは無効となり、それぞれの操作時点からの記録となります。

- ・IEEE1394入力記録時
- ・記録フォーマット切り替え時
- ・再生から記録への移行時
- ・インターバル記録時
- ・ワンショット記録時
- ・ループレック時

・サムネール表示や再生からカメラ映像に切り替え直後、電源ON直後、PREREC MODE項目を変更した直後は、すぐに記録を開始しても一定時間前の映像と音声は記録できません。

インターバル記録 (INTERVAL REC)

INTERVAL TIME項目で設定した時間間隔で1フレーム記録を行います。



1 設定メニューのSYSTEM SETUP画面の各項目が左記の表の設定になっていることを確認する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

2 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目で、INTERVALに設定する

3 設定メニューのRECORDING SETUP画面のINTERVAL TIME項目で時間を設定する

4 REC ボタンを押す

・INTERVAL TIME項目で設定した時間間隔で1フレーム記録する動作を繰り返し行います。

・停止するには、STOPボタンを押します。

・設定を解除するには、電源OFFにするか、設定メニューのREC FUNCTION項目でNORMALに設定します。

・動作状態表示の左に下記のように表示されます。

・記録中：I-REC点灯

・一時停止中：I-PAUSE点灯

ただし、手順3の設定が2秒未満の場合は、設定時間に応じて記録中I-RECが点滅します。

・停止中：I-PAUSEのI点滅

◆ NOTE

・プリレック、およびワンクリップレックははたらきません。

・音声は記録されません。

・このモード中に記録したデータ（STOPボタンが押されるまでのデータ）は、まとめて1つのファイルとなります。

・DVCPRO/DV端子からは出力されません。

ワンショット記録 (ONE SHOT REC)

設定した時間単位で一度だけ記録します。

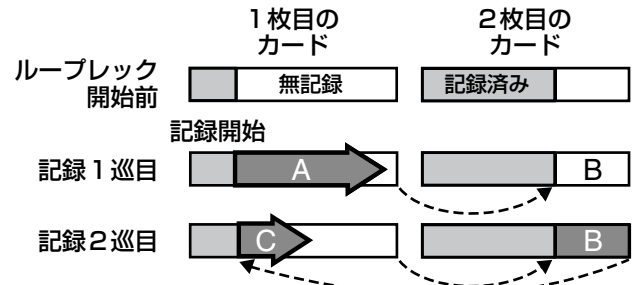
- 1 設定メニューのSYSTEM SETUP画面の各項目が40ページの表の設定になっていることを確認する
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照
- 2 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目で、ONE SHOTに設定する
- 3 設定メニューのRECORDING SETUP画面のONE SHOT TIME項目で時間を設定する
- 4 RECボタンを押す
 - ・手順3で設定した時間の記録を行い、記録一時停止になります。
 - ・停止するには、STOPボタンを押します。
 - ・設定を解除するには、電源OFFにするか、設定メニューのREC FUNCTION項目でNORMALに設定します。
 - ・動作状態表示の左に下記のように表示されます。
 - ・記録中：I-REC点灯
 - ・一時停止中：I-PAUSE点灯
 - ・停止中：I-PAUSEのI-点滅

◆ NOTE

- ・動作中は、ほかの操作を受け付けません。
- ・プリレック、およびワンクリップレックははたらきません。
- ・音声は記録されません。
- ・このモード中に記録したデータ (STOPボタンが押されるまでのデータ) は、まとめて1つのファイルとなります。
- ・DVCPRO/DV端子からは出力されません。
- ・連続でワンショット記録する場合、記録動作の受け付けが遅くなる場合があります。

ループレック (LOOP REC)

- ・P2カードスロットに2枚のP2カードが挿入されているとき、順次カードを切り替えながら記録します。
- ・カードの残量がなくなると1枚目に戻り、保存されている古いクリップを消去しながら新しいクリップを記録します。
→「P2カードに記録されるクリップの分割について」(32ページ) 参照



P2カードの記録のない部分をつないで (A-B-Cの順で) 記録を行います。記録残量がなくなったら、Aを消去して新規の記録 (C) を行います。

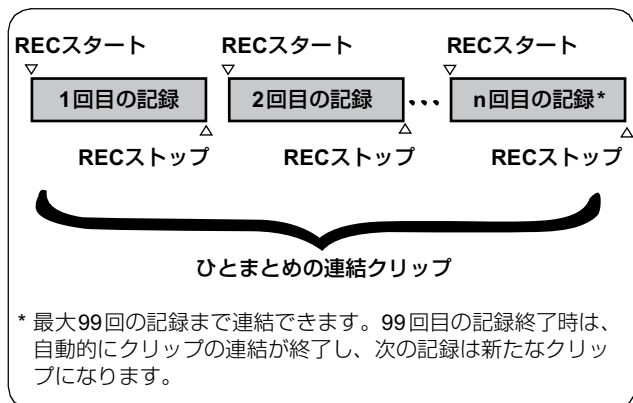
- 1 設定メニューのSYSTEM SETUP画面の各項目が40ページの表の設定になっていることを確認する
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照
- 2 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目で、LOOPに設定する
- 3 RECボタンを押す
 - ・記録を開始します。
 - ・停止するには、RECボタンを押します。
 - ・設定を解除するには、電源OFFにするか、設定メニューのREC FUNCTION項目でNORMALに設定します。
 - ・動作状態表示の左に下記のように表示されます。
 - ・記録中：L-REC点灯
 - ・停止中：L-PAUSE点灯
 - ・メモリー残量少：P2 LACK L-点滅

◆ NOTE

- ・1分以上の記録残量があるP2カードを2枚ご使用ください。
- ・モードチェック画面に切り替えると、P2カード残量は記録フォーマットに応じた標準的な記録時間を表示します。古い記録を消去した直後にループレックを停止した場合、カードに記録されている時間は表示された時間より少なくなることがあります。
- ・IEEE1394入力記録時は動作しません。
- ・プリレック、およびワンクリップレックははたらきません。
- ・停止に時間がかかる場合があります。P2カードアクセスLEDの点滅が点灯に変わるまで、次の動作は受け付けません。
- ・ループレック中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスLEDがすべてオレンジ色に点灯および点滅します。これらのP2カードを抜くと、ループレックは停止するのでご注意ください。
- ・ループレック中にGENLOCKの入力基準信号が乱れると、ループレックが停止することがあります。

ワンクリップレック (ONE CLIP REC)

1回の記録 (REC開始から終了まで) を1つのクリップとするのではなく、複数回の記録をひとまとめの連結されたクリップとして記録することができます。



本機能を使用するには、メニュー操作で、RECORDING SETUP画面のONE CLIP REC項目を「ON」に設定します。ワンクリップレックモードが選択されるとビューファインダー および液晶モニター上部に「1-CLIP」と表示されます。本機のRECボタンを押すと、最初の記録が開始され、「START 1*CLIP」と表示されます。以後、記録する度にクリップは自動的に連結され、最大で99回の記録まで1つにまとめられます。

新たなクリップとして記録するには

新しい別のクリップとして分けたい場合は、次のどちらかの操作により、クリップの連結を一度終了します。

- 記録一時停止中にSTOPボタンを約2秒間押し続けます。(記録一時待機中に操作する場合)

または

- 記録中にRECボタンを約2秒間押し続けて記録を終了させます。(記録中に操作する場合)

上記操作により、クリップ連結を終了し「END 1-CLIP」と表示され、次の記録からは新しい別のクリップになります。

◆ NOTE

- 前述の操作以外でも、以下の場合はクリップ連結を終了し、次の記録からは新たなクリップになります。
 - 電源をOFFにしたとき
 - 直前に記録したP2カードを取り出したとき
 - P2カードのフォーマットや、クリップの削除を行ったとき (連結元クリップが存在しないとき)
- メニューやサムネール表示中は、STOPボタンを押してもクリップ連結を終了することはできません。
- リモートコントロールユニット (AJ-RC10G)、およびエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) のSTOPボタン、RECボタンを押してもクリップ連結を終了することはできません。

ワンクリップレックモードを終了するには

メニュー操作で、ONE CLIP REC項目を「OFF」に設定します

クリップの連結部分の頭出しをするには

記録開始のたび、記録開始点にテキストメモを自動付加して再生時に頭出しをしたり、その位置のサムネールを確認することができます。

記録開始点にテキストメモを自動付加するには、メニュー操作で、RECORDING SETUP画面のSTART TEXT MEMO項目を「ON」に設定します。

付加したテキストメモのポイントを確認、再生するには、サムネールメニューから THUMBNAIL→TEXT MEMO CLIPSを選択し、対象のクリップにカーソルを合わせます。詳しくは「テキストメモ位置からの再生」(109ページ)を参照ください。

また、再生時にテキストメモ位置を頭出しするには、OTHER FUNCTIONS画面のSEEK SELECT項目を「CLIP&T」に設定しておき、再生一時停止中にFFボタンまたはREWボタンを押します。

ワンクリップレックモードでのプロキシ記録について

ワンクリップレックモードにおいてもプロキシ記録は可能です。

プロキシデータも同様に連結したクリップとしてまとめられるため、P2ビューアーなどで、1つのクリップとして取り扱うことが可能です。ただしSDメモリーカードにプロキシデータを記録する場合、以下の点に注意してください。

- クリップ連結を継続している途中でSDメモリーカードを抜いて交換した場合、以後クリップ連結を終了するまではSDメモリーカードにプロキシ記録は行われません。十分な空き容量、ファイル数 (最大1000クリップまで記録可能) を確認してご使用ください。万一、途中でSDメモリーカードを交換した後、プロキシ記録を続けたい場合は、STOPボタンを約2秒間押し続けて連結を一度終了してから、新たなクリップとして記録を開始してください。
- 途中で記録を中止したSDメモリーカード上のプロキシデータは、P2カードに記録されたクリップのデータと一致せず、不完全な状態になります。

ワンクリップレックモードでの注意事項

- インターバル記録、ワンショット記録、ループレック、およびVFR記録機能を選択しているときは、動作しません。
- REC SIGNAL項目で「1394」を選択しているときは動作しません。
- クリップ連結を継続中は、メニュー操作やサムネール操作に以下の制限があります。これらは、STOPボタンを約2秒間押し続けてクリップ連結を終了させてから操作してください。
 - 次のメニュー項目は変更できません。
SYSTEM MODE、REC SIGNAL、CAMERA MODE、REC FORMAT、PC MODE、REC FUNCTION、25M REC CH SEL

◆ NOTE

VFR項目は、シーンダイアルやメニューにより、クリップ連結の継続中でも「ON」に変更できます。その場合にはクリップ連結は終了し、以後の記録は毎回別々のクリップとなります。

- SDメモリーカードの読み込み/書き出しや設定ファイルの読み出しに関する以下のメニュー項目を実行することはできません。
SCENE FILEのLOAD/SAVE/INIT、CARD FUNCTIONSの各項目、LENS SETUPのCAC CARD READ、OTHER FUNCTIONSのUSER FILEおよびMENU INIT
- 以下のサムネールメニュー項目を選択して操作することはできません。
OPERATION → COPY
OPERATION → DEVICE SETUP → PROXY
- 次の記録でクリップの連結を可能にするため、記録の終了処理時間が通常記録より多少かかる場合があります。
- 再生時、クリップ内の記録の連結点で、不連続な音声に対してフェード処理ははたらきません。
- 連結数の多いクリップをノンリニア編集ソフトなどで使用する場合、ソフトウェアの種類によっては正常に動作できないことがあります。(2010年4月現在) 動作確認済みソフトウェアの最新情報は、下記ウェブサイトをサポートデスクをご参照ください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

プロキシー (PROXY) 記録機能 (オプション)

別売のビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G) をP2カードスロット2に装着することによって、本機で撮影した本素材の映像・音声記録とは別に、MPEG4形式の映像とタイムコードデータなどのリアルタイムデータをP2カード、およびSDメモリーカードに同時に記録します。

◆ NOTE

ビデオエンコーダーカードは、本機の電源がOFFの状態では装着していただき。

詳しくはビデオエンコーダーカードの取扱いガイドを参照ください。

ホットスワップ記録

2つのP2カードスロットにP2カードを装着すれば、2枚のカードにわたって連続記録することができます。また、記録中に記録している以外のカードを差し替えて、2枚以上に連続記録することもできます (ホットスワップ記録)。
ただし、空きスロットにP2カードを挿入するタイミング (プリレックの直後や2つのスロットにわたって連続記録するときの前後) によって、P2カードの認識が遅くなる場合があります。P2カードを挿入するときは、記録対象カードの残量が1分以上ある状態で行ってください。

◆ NOTE

ホットスワップ再生には対応していません。

レックレビュー (REC REVIEW) 機能

- 記録後に、レンズのRETボタンを押すと、最新のクリップの最後の約2秒間が自動的に頭出しされます。また、レンズのRETボタンを押し続けると最大10秒前までの再生が可能です。
これにより記録が正しく行われたかどうかを確認できます。再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。ただしクリップが短い場合、クリップの先頭まで戻ると、RETボタンを押し続けても、現在のクリップより以前のクリップは再生されません。
- USER MAIN/USER 1/USER 2項目で、REC REVIEW機能をそれぞれのUSERボタンに割り当てることができます。各項目は、設定メニューのSW MODE画面から設定します。

◆ NOTE

- バックアップ機器をDVCPRO/DV端子、またはSDI OUT端子などに接続して、バックアップ画像を記録中の場合、このレックレビュー中の再生画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。
- ワンクリップレックモードでは、レックレビューの最大戻り位置、および記録一時停止状態からの再生開始位置は、クリップの先頭ではなく、最後に記録開始した位置になります。

ショットマーク (SHOT MARK) 記録機能

ほかのクリップと区別するためにクリップごとにサムネールに付ける目印です。

ショットマークを付けたクリップだけを表示させたり、再生させたりすることができます。

ショットマークを付けるには

- 1 設定メニューのSW MODE画面で割り当てるUSERボタン (USER MAIN/USER1/USER2) またはレンズのRETボタンにSHOT MARKを割り当てる

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

- 2 記録中または記録後の一時停止中にSHOT MARKを割り当てたボタン (USERボタン、またはレンズのRETボタン) を押す

- ・SHOT MARK ONと表示され、現在記録中のクリップにショットマークが付きます。
- ・再度、押すとSHOT MARK OFFと表示され、ショットマークは消えます。

◆ NOTE

- ・記録後の一時停止中にショットマークをつける場合、直前に記録したクリップにつきます。
- ・ショットマークは、サムネール表示中も付けることができます。
- ・ループレック、インターバル記録、ワンショット記録では、ショットマークを付けることはできません。操作が無効な場合は、ボタンを押したときにSHOT MARK INVALIDと表示されます。
- ・再生中のショットマークの設定、または解除はできませんが、再生一時停止中の設定、または解除は可能です。
- ・ホットスワップ記録で1回の撮影によってできた映像データが複数のクリップで構成される場合、その映像データを構成するすべてのP2カードがスロットに挿入されていないと、ショットマークの設定と解除はできません。また、このような複数のクリップで構成される映像データの場合、先頭のクリップにのみショットマークがつきます。

テキストメモ記録機能

クリップを記録/再生中に任意の映像ポイントにテキストメモを付加する機能です。

テキストメモが付いたクリップだけを選んでサムネール表示させたり、テキストメモの位置のサムネール、タイムコードを順に表示させ、テキストメモのポイントから再生させたり、必要な部分だけを選んでコピーしたりすることができます。

→「テキストメモ」(109ページ) 参照

テキストメモを付けるには

- 1 設定メニューのSW MODE画面で割り当てるUSERボタン (USER MAIN/USER1/USER2) またはレンズのRETボタンにTEXT MEMOを割り当てる

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

- 2 記録、または再生中にTEXT MEMOを割り当てたボタン (USERボタン、またはレンズのRETボタン) を押す

- ・TEXT MEMOと表示され、押した瞬間のポイントにTEXT MEMOが付加されます。

◆ NOTE

- ・テキストメモは、1つのクリップに100個まで記録できます。
- ・ループレック、インターバル記録、ワンショット記録ではテキストメモを付けることはできません。操作が無効な場合は、ボタンを押したときにTEXT MEMO INVALIDと表示されます。

通常再生、および変速再生

■通常再生

PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ビューファインダーと液晶モニターでカラーの再生画を見ることができます。同時にVIDEO OUT 端子、SDI OUT 端子にカラービデオモニターを接続すると、カラーの再生画を見ることができます。また、再生中にPLAY/PAUSE ボタンを押すと再生を一時停止します。

■早送り、早戻し再生

FF、REW ボタンを使うと、32倍速や4倍速の高速再生/高速逆再生ができます。停止中に押すと、32倍速、再生中に押すと4倍速になります。

■クリップの頭出し

再生一時停止状態からFF ボタンを押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。再生一時停止状態からREW ボタンを押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

◆ NOTE

- P2カードを抜き差しした直後や、電源ONにした直後に再生したり、サムネール画面に切り替えたりすると、クリップ情報を読み出すために時間がかかることがあります。この間、サムネール画面にはUPDATINGと表示されます。
- 再生中、別のカードスロットにP2カードを挿入しても、そのカードのクリップは再生できません。再生中に挿入したP2カードの認識は、再生を停止したのちに行われます。
- 複数のP2カードにまたがったクリップを変速再生する場合、音声が一瞬途切れることがあります。故障ではありません。
- 異なるSYSTEM MODEのクリップを再生する場合、SYSTEM MODE項目をクリップのフォーマットに合わせて本機を設定し直してから再生してください。
- 他機で記録されたCH5～CH8の音声の再生はできません。

第4章 記録のための調整と設定

記録信号の選択

本機は、HD (1080i、720P) 信号を AVC-Intra または DVCPRO HD のコーデックで、SD (480i) 信号を DVCPRO50、DVCPRO、DV の各コーデックで組み合わせたフォーマットで記録できます。

また、目的に合わせて、種々の撮影フレームや記録フレーム (Native 記録) を選択できます。

下記の設定メニューで記録および撮影信号を選択できます。

設定メニュー画面	設定メニュー項目	設定内容
SYSTEM SETUP 画面	SYSTEM MODE	1080i/720P/480iの信号フォーマットを選択します。 この設定を変更した場合は、TURN POWER OFF と表示されるまで待ち、一度電源をOFFにした後に、再度ONにしてください。
	REC SIGNAL	本機のカメラ撮影の記録 (CAMERA) か、DVCPRO/DV 端子からの記録 (1394) かを選択します。
	REC FORMAT	HDモードではAVC-IntraまたはDVCPRO HDのコーデックと、60i、60P、30PN、24PNのNative記録モードを組み合わせて選択します。 SDモードではDVCPRO50、DVCPRO、DVの各コーデックの選択を行います。
	CAMERA MODE	1080iまたは480iのとき、60i、30P、24P、24PAのブルダウン撮影モードを選択します。
	ASPECT CONV	SDモード (480i) のとき、記録および出力の映像アスペクト比を選択します。
SCENE FILE 画面	VFR	720Pモードで、ONにするとバリエラブルフレームレートでの撮影が可能となり、FRAME RATE 項目の撮影フレームレート設定に従って撮影・記録できます。 → 「バリエラブルフレームレート (VFR) 記録機能」 (37ページ) 参照
	FRAME RATE	VFR項目がONのとき、バリエラブルフレームレート撮影のフレーム数を設定します。

◆ NOTE

- ・SYSTEM MODE項目、REC SIGNAL項目、REC FORMAT項目、CAMERA MODE項目を変更したときに、映像や音声がかかることがあります、異常ではありません。

記録フォーマットと、記録機能一覧

本機がサポートする記録フォーマットと、記録機能は以下の通りです。

カメラ記録モード (REC SIGNAL項目がCAMERAのとき)

設定					記録方式 ^{*1}		記録時間 ^{*2}	記録機能						
SYSTEM MODE	REC FORMAT	CAMERA MODE	VFR	FRAME RATE [FRAME]				PRE REC	PROXY (オプション)	INTERVAL, ONE SHOT	LOOP REC	ONE CLIP REC		
1080-59.94i	AVC-I 100/60i (AVC-I 50/60i)	無効	無効	無効	1080/60i	AVC-I 100 (AVC-I 50)	約64分 (約128分)	○	○	○	○	○		
	AVC-I 100/30PN (AVC-I 50/30PN)				1080/30PN Native			×	×	×	×	○		
	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)				1080/24PN Native			×	×	×	×	○		
	DVCPRO HD/60i	60i			1080/60i	DVCPRO HD	約64分	○	○	○	○	○		
					1080/30P Over60i 2:2 Pull Down			○	○	○	○	○		
					1080/24P Over60i 2:3 Pull Down			×	×	×	×	○		
					1080/24PA Over60i 2:3:3:2 Pull Down			×	×	×	×	○		
720-59.94P	AVC-I 100/60P (AVC-I 50/60P)	無効	OFF	無効	720/60P	AVC-I 100 (AVC-I 50)	約64分 (約128分)	○	○	○	○	○		
	ON		12~60	×				×	×	×	×			
	AVC-I 100/30PN (AVC-I 50/30PN)		OFF	無効	720/30PN Native		約128分 (約256分)	×	×	×	×	○		
			ON	30				×	×	×	×	×		
	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)		OFF	無効	720/24PN Native		約160分 (約320分)	×	×	×	×	○		
			ON	24				×	×	×	×	×		
	DVCPRO HD/60P		無効	OFF	無効		720/60P	DVCPRO HD	約64分	○	○	○	○	○
				ON	60					×	×	×	×	×
				ON	30					×	×	×	×	×
				ON	24					×	×	×	×	×
	DVCPRO HD/30PN		無効	OFF	無効		720/30PN Native	約128分	×	×	×	×	○	
				ON	30				×	×	×	×	×	
	DVCPRO HD/24PN		無効	OFF	無効		720/24PN Native	約160分	×	×	×	×	○	
				ON	24				×	×	×	×	×	
	480-59.94i		DVCPR050/60i DVCPRO/60i DV/60i	無効	無効		480/60i	DVCPR050 DVCPR0 ^{*3} DV ^{*4}	約128分 約256分 ^{*3} 約256分 ^{*4}	○	○	○	○	○
							480/30P Over60i 2:2 Pull Down			○	○	○	○	○
480/24P Over60i 2:3 Pull Down		×				×	×			×	○			
480/24PA Over60i 2:3:3:2 Pull Down		×				×	×			×	○			

*1 24Pは23.98P、30Pは29.97P、60Pと60iは59.94Pと59.94iで記録されます。Nativeモードは有効フレームのみを記録するモードです。

*2 記録時間は64 GB P2カード1枚使用時の値です。2枚使用時は2倍になります。

NativeのVFRのときは有効フレームを抜き出して記録するため、記録時間の値と実際に撮影できる時間は異なります。

例) 24PN記録で、FRAME RATEを60FRAMEで撮影する場合、撮影可能時間は24/60 (0.4倍) の時間になります。

24PN記録で、FRAME RATEを12FRAMEで撮影する場合、撮影可能時間は24/12 (2倍) の時間になります。

*3 DVCPRO/60iの場合

*4 DV/60iの場合

1394入力記録モード (REC SIGNAL項目が1394のとき)

設定					記録方式 ^{*1}		記録時間 ^{*2}	記録機能				
SYSTEM MODE	REC FORMAT	CAMERA MODE	VFR	FRAME RATE [FRAME]				PRE REC	PROXY (オプション)	INTERVAL、ONE SHOT	LOOP REC	ONE CLIP REC
1080-59.94i	無効	無効	無効	無効	1080/60i	DVCPRO	約64分	×	×	×	×	×
720-59.94P	無効	無効	無効	無効	720/60P	HD		×	×	×	×	×
480-59.94i	DVCPRO50/60i	無効	無効	無効	480/60i	DVCPRO50	約128分	×	×	×	×	×
	DVCPRO/60i					×		×	×	×	×	
	DV/60i					DVCPRO	約256分	×	×	×	×	×
	DV	×	×	×	×	×						

*1 60Pと60iは59.94Pと59.94iで記録されます。

*2 記録時間は64 GB P2カード1枚使用時の値です。2枚使用時は2倍になります。

記録設定と記録機能表

本機の記録モードは、メニュー設定によって下記のように動作します。

動作モード	記録関連設定				機能、動作の有効・無効								
	REC SIGNAL (MENU)	REC FUNCTION (MENU)	REC FORMAT、CAMERA MODE (MENU) ^{*5}	VFR (MENU)	PRE REC 機能	ONE CLIP REC 機能	PROXY記録 (サムネールメニュー) (オプション)	1394 出力	TEXT MEMO	SHOT MARK			
1394入力記録	1394	無効	無効 (480i時は有効)	無効	無効	無効	無効	無効	有効	有効			
INTERVAL REC	CAMERA	INTERVAL	60i、60P、30Pのみ					無効	無効	無効	無効 (再生時は有効 ^{*3})	無効	無効
ONE SHOT REC		ONE SHOT									無効 ^{*4}		
LOOP REC		LOOP											
ネイティブVFR	CAMERA	NORMAL	24PN、30PN	ON	無効	無効	無効	無効 (再生時は有効 ^{*3})	有効	有効			
ネイティブ記録 (VFR OFF)				OFF							有効		
スタンダード VFR			ON	無効				有効 ^{*3}					
通常記録 (VFR OFF)			OFF	有効				有効			有効		

*3 DV/DVCPRO系のみ有効です。AVC-Intraモードでは無効です。

*4 LOOP REC後のPAUSE中は有効です。

*5 24Pは23.98P、30Pは29.97P、60Pと60iは59.94Pと59.94iで記録されます。Nativeモードは有効フレームのみを記録するモードです。

映像出力の選択

映像出力方式を選択できます。

下記の設定メニューで映像出力の選択などができます。

設定メニュー項目	設定内容
SDI SELECT (OUTPUT SEL画面)	SDI OUT 端子に出力する信号方式 (AUTO、1080i、480iから) 選択します。 ^{*6}
SETUP (SYSTEM SETUP画面)	VIDEO OUT 端子に出力する信号 (コンポジット) のセットアップレベルを選択します。 ●0% : 出力、記録ともセットアップ0% ●7.5% A : 出力のみセットアップ7.5% (記録は0%) ・再生時もSETUPメニューの設定が有効になります。
DOWNCON MODE (OUTPUT SEL画面)	HDモード (1080i、720P) でダウンコン出力 (VIDEO OUT、およびSDI SELECTを480iにしたときの出力) での画面タイプを選択します。

*6 HD (1080i、720P) 出力時はサムネールが表示できないため、SDI OUTは黒映像になります。

記録/再生と出力フォーマット一覧

カメラ記録モード (REC SIGNAL項目がCAMERAのとき)

設定					記録方式 ^{*1}	SDI OUT ^{*2}		1394出力					
SYSTEM MODE	REC FORMAT	CAMERA MODE	VFR	FRAME RATE [FRAME]		映像フォーマット	オーディオ						
1080-59.94i	AVC-I 100/60i (AVC-I 50/60i)	無効	無効	無効	1080/60i	AVC-I 100 (AVC-I 50)	1080-59.94i	4ch	出力なし				
	AVC-I 100/30PN (AVC-I 50/30PN)				1080/30PN Native		1080-29.97PsF Over59.94i 2:2						
	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)				1080/24PN Native		1080-23.98PsF Over59.94i 2:3						
	DVCPRO HD/60i	60i	無効	無効	1080/60i	DVCPRO HD	1080-59.94i	4ch	1080-59.94i DVCPRO HD				
					1080/30P Over60i 2:2 Pull Down		1080-29.97PsF Over59.94i 2:2						
					1080/24P Over60i 2:3 Pull Down		1080-23.98PsF Over59.94i 2:3						
					1080/24PA Over60i 2:3:3:2 Pull Down		1080-23.98PsF Over59.94i 2:3:3:2						
720-59.94P	AVC-I 100/60P (AVC-I 50/60P)	無効	OFF	無効	720/60P	AVC-I 100 (AVC-I 50)	720-59.94P	4ch	出力なし				
	ON		12~60	720-59.94P VFR									
	AVC-I 100/30PN (AVC-I 50/30PN)		OFF	無効	720/30PN Native		720-29.97P Over59.94P 2:2	4ch					
			ON	30			720-59.94P VFR			無音			
	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)		OFF	無効	720/24PN Native		720-23.98P Over59.94P 2:3	4ch					
			ON	24			720-59.94P VFR			無音			
	DVCPRO HD/60P		60	無効	ON		720/60P	DVCPRO HD		720-59.94P	4ch	720-59.94P DVCPRO HD	
							720/30P Over60P 2:2 Pull Down			720-29.97P Over59.94P 2:2			
							720/24P Over60P 2:3 Pull Down			720-23.98P Over59.94P 2:3			
							720/60P VFR			720-59.94P VFR			
	DVCPRO HD/30PN		30	無効	ON		720/30PN Native	DVCPRO HD		720-29.97P Over59.94P 2:2	4ch	出力なし ^{*4}	
							720/30PN Native VFR (オーディオ記録は不可)			720-59.94P VFR			無音
	DVCPRO HD/24PN		24	無効	ON		720/24PN Native	DVCPRO HD		720-23.98P Over59.94P 2:3	4ch	出力なし ^{*4}	
							720/24PN Native VFR (オーディオ記録は不可)			720-59.94P VFR			無音
	480-59.94i		DVCPRO50/60i DVCPRO/60i DV/60i	60i	無効		無効	480/60i		DVCPRO50 DVCPRO ^{*5} DV ^{*6}	480-59.94i	4ch または 2ch ^{*3}	480-59.94i DVCPRO50 DVCPRO ^{*5} DV ^{*6}
								480/30P Over60i 2:2 Pull Down			480-29.97PsF Over59.94i 2:2		
480/24P Over60i 2:3 Pull Down		480-23.98PsF Over59.94i 2:3											
480/24PA Over60i 2:3:3:2 Pull Down		480-23.98PsF Over59.94i 2:3:3:2											

*1 24Pは23.98P、30Pは29.97P、60Pと60iは59.94Pと59.94iで記録されます。Nativeモードは有効フレームのみを記録するモードです。

*2 SDI SELECT項目によって変化します。表はSDI SELECT項目がAUTOのときの状態です。

AUTO : SYSTEM MODEに従って出力
 1080i : SYSTEM MODEが720Pのときでも1080iで出力
 480i : 常に480iで出力

*3 DVCPRO50では4ch、DVCPROとDVではAUDIO SETUP画面の25M REC CH SEL項目の2CHまたは4CHの設定に従います。

*4 再生時は720-59.94P DVCPRO HDで出力されます。

*5 DVCPRO/60iの場合

*6 DV/60iの場合

◆ NOTE

VIDEO OUTは常にSD信号(480i)を出力します。

1394入力記録モード (REC SIGNAL項目が1394のとき)

SYSTEM MODE	設定				記録方式 ^{*1}		SDI OUT ^{*2}	
	REC FORMAT	CAMERA MODE	VFR	FRAME RATE [FRAME]			映像フォーマット	オーディオ
1080-59.94i	無効	無効	無効	無効	1080/60i	DVCPRO HD	1080-59.94i	4ch
720-59.94P	無効	無効	無効	無効	720/60P		720-59.94P	4ch
480-59.94i	DVCPRO50/60i	無効	無効	無効	480/60i	DVCPRO50	480-59.94i	4ch
	DVCPRO/60i					2ch		
	DV/60i					2chまたは4ch ^{*3}		

*1 60Pと60iは59.94Pと59.94iで記録されます。

*2 SDI SELECT項目によって変化します。表はSDI SELECT項目がAUTOのときの状態です。

AUTO : SYSTEM MODEに従って出力

1080i : SYSTEM MODEが720Pのときでも1080iで出力

480i : 常に480iで出力

*3 32 kHz 4ch入力は、48 kHz 4chに変換して記録し、出力します。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。

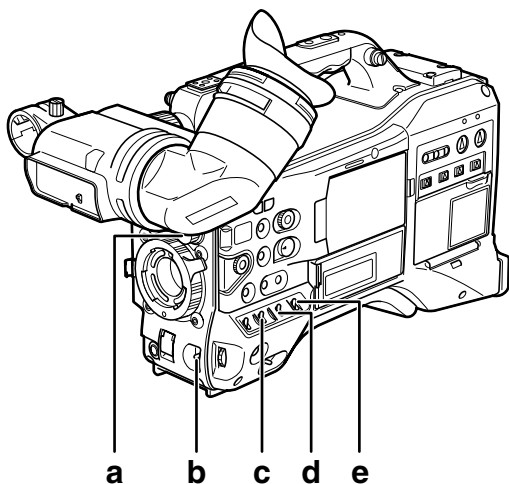
なお、より高画質を得るためには、AWB（ホワイトバランスの調整）→ABB（ブラックバランスの調整）→AWB（ホワイトバランスの調整）の順に行ってください。

◆ NOTE

GENLOCKによって映像が乱れた時に、ホワイトバランスまたはブラックバランスの調整を行うと、正しく調整できない場合があります。映像が正常に戻った後に、再度ホワイトバランスまたはブラックバランスの調整を行ってください。

ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。下記の手順でホワイトバランスを自動調整します。



- a ND FILTERつまみ**
MOSセンサーに入る光の量を調整します。
- b AUTO W/B BALスイッチ**
AWB実行時に使用します。
- c GAINスイッチ**
通常は0 dB。暗すぎるときは、適切なゲインに設定します。
- d OUTPUTスイッチ**
CAMに設定します。
- e WHITE BALスイッチ**
A、またはBに設定します。

1 GAINスイッチ、OUTPUTスイッチ、WHITE BALスイッチを設定する

2 照明条件に合わせて、ND FILTERつまみの設定を切り替える

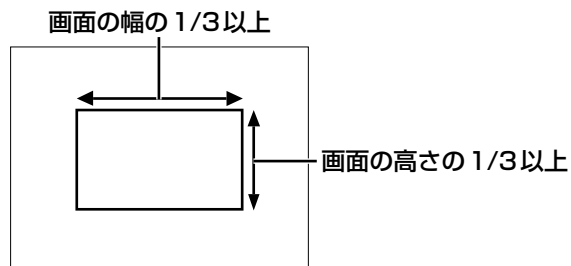
→ND FILTERつまみの設定例については「撮影・記録/再生機能部」(20ページ) 参照

3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す

- ・被写体近くの白い物（白布、白壁）で代用することもできます。必要な白の大きさは、図の通りです。

◆ NOTE

- ・画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- ・白い物は、画面の中心に写してください。



4 レンズの絞りを調整する

- ・Y GET機能(55ページ参照)動作させ、表示が約70%になるようにアイリスを調整します。

5 AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒して、スイッチを離す

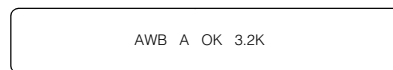
- ・スイッチが中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

6 調整中、ビューファインダー画面には、下記のメッセージが表示される



7 数秒で調整が完了し、下記のメッセージが表示される

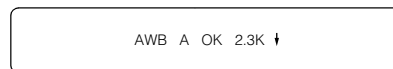
- ・調整値は、設定したメモリー（AまたはB）に自動的に記憶されます。



- ・このときシーンファイルのCOLOR TEMP設定が0以外になっていると、C TEMP +7 ~ -7が表示されます。

8 被写体の色温度が、2300 Kよりも低い場合や9900 Kよりも高い場合は、下記のメッセージが表示される

- ・矢印のうち、下向きの矢印(↓)は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印(↑)は表示色温度よりも高い状態を示します。



ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BALスイッチをPRSTにします。

- ・AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒すたびに、3200 K、5600 Kの変更ができます。

ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	内容
AWB Ach (または Bch) NG	色温度が高すぎる、または低すぎる
LOW LIGHT	光量が不足している
LEVEL OVER	光量が多すぎる

ホワイトバランス関連のビューファインダー表示について

→「ビューファインダーの状態表示」(67ページ) 参照

オートトラッキングホワイトバランス(ATW)の設定

本機は、照明条件に応じて画像のホワイトバランスを自動追尾させる、オートトラッキングホワイトバランス(ATW)機能を備えています。

ATW機能は、設定メニューのSW MODE画面のATW項目をB chに設定することにより、WHITE BALスイッチのBに機能を割り当てることができます。

また、USER MAIN/USER1/USER2ボタンにATW機能を割り当てることができます。

→「USERボタンへの機能割り当て」(55ページ) 参照

SW MODE	
LOW GAIN	0dB
MID GAIN	6dB
HIGH GAIN	9dB
ATW	Bch
ATW TYPE	1
W.BAL.PRESET	3.2K
USER MAIN	DRS
USER1	REC REVIEW
PUSH MENU TO RETURN	

オートトラッキングホワイトバランスを解除するには

ATWを割り付けたUSERボタンを再度押すか、WHITE BALスイッチを切り替えます。ただしWHITE BALスイッチのBにATWを設定している場合は、USERボタンでは解除されません。

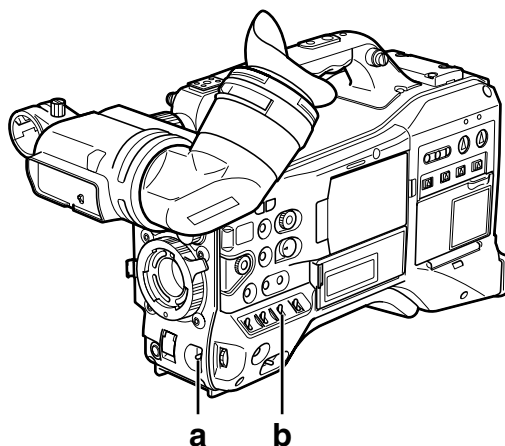
◆ NOTE

本機能は、ホワイトバランスの精度を100%保証する機能ではありません。照明条件の変化に対する追従性およびホワイトバランスの引き込み精度には、多少余裕を持たせていますので、本機能の取り扱いにはご注意ください。

ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、下記の場合に調整が必要です。

- ・本機を初めて使用するとき
 - ・長時間使用しなかったあとに使用するとき
 - ・周囲の温度が大幅に変化した状態で使用するとき
 - ・ゲイン切り替え値を変更したとき
 - ・設定メニューのSYSTEM SETUP画面のSYSTEM MODE項目、REC FORMAT項目を切り替えたとき
- 最適な映像を撮影するために、撮影直前にブラックバランス調整を実施することをお奨めします。



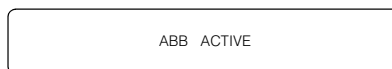
a AUTO W/B BALスイッチ
ABB実行時に使用します。

b OUTPUTスイッチ
CAMに設定します。

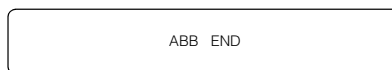
1 AUTO W/B BALスイッチをABB側に倒し、スイッチを離す

- ・スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。

2 調整中、ビューファインダー画面には下記のメッセージが表示される



3 数秒で調整が完了し、下記のメッセージが表示される



- ・調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

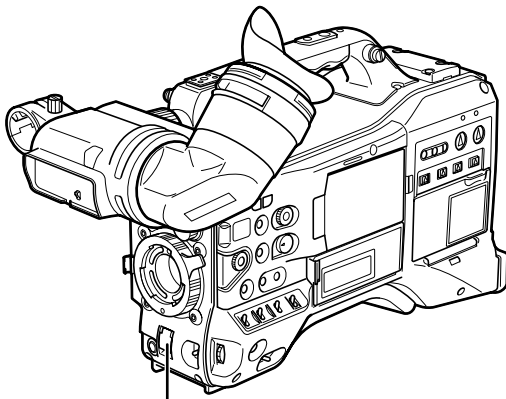
◆ NOTE

- ・レンズコネクターが接続されていること、レンズ絞りがCLOSEになっていることを確認してください。
- ・ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。ただし、レンズコネクターが外れているなどで遮光状態にならない場合には、ABB NG表示がでることがあります。
- ・記録中はブラックバランス調整はできません。
- ・ABB実行中はRECボタンを押してもP2カードへの記録はされません。

電子シャッターの設定

シャッターモード/スピードの設定

- 1 シャッタースイッチをOFFの位置からON側に押す



シャッタースイッチ

- 2 シャッタースイッチをONからSEL側に押し、希望のモード、またはスピードがビューファインダー画面に表示されるまで、この操作を繰り返す
・すべてのモードとスピードが表示される場合は、下記の順序で表示が切り替わります。

60i、60P記録の場合

S/S → (1/15) → (1/30) → 1/60 → 1/100 → 1/120
→ 1/250 → 1/500 → 1/1000 → 1/2000

30P記録の場合

S/S → (1/7.5) → (1/15) → 1/60 → 1/100 → 1/120
→ 1/250 → 1/500 → 1/1000 → 1/2000

24P記録の場合

S/S → (1/6) → (1/12) → 1/60 → 1/100 → 1/120
→ 1/250 → 1/500 → 1/1000 → 1/2000

・VFRがONのときは () 内のスピードは選択できません。

◆ NOTE

- ・電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- ・絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- ・シンクロスキャンおよびシャッターの設定を変更する場合に画面が乱れる場合があります。
- ・蛍光灯などの放電管による照明下では、画面上に横帯が現われることがあります。このとき、シャッタースピードを調整すると改善されることがあります。
- ・すばやく横切る被写体を撮影すると、少し歪んで見えることがあります。これは撮像素子（MOSセンサー）の信号を読み出す方式によるものであり、故障ではありません。
- ・シャッタースピードが遅いときに、画面に赤、青、緑の点が出る場合がありますが、故障ではありません。

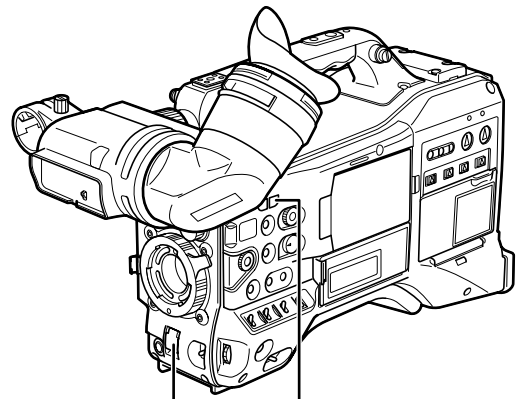
シャッター関連のビューファインダー画面表示について

→ 「ビューファインダーの状態表示」(67ページ) 参照

シンクロスキャンモードの設定

下記の手順で操作します。

- 1 シャッタースイッチをONからSEL側に押し、SYNCHRO SCAN (S/S) モードに設定する



シャッタースイッチ
シンクロスキャン調整スイッチ

- 2 SYNCHRO SCANモード時は、シンクロスキャン調整スイッチを操作して1/60.0秒から1/249.8秒の範囲内で連続的に切り替える(60iモードの場合)

・シンクロスキャン調整スイッチを押し続けると高速で切り替えできます。
切り替え範囲内で止まった後、もう一度スイッチを押すと続けて切り替えできます。

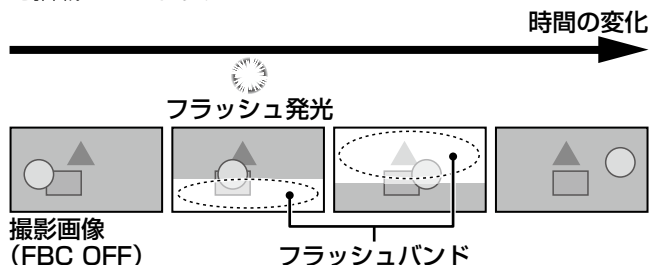
各モードでの可変範囲

- ・60P/60iのとき：1/60.0 ~ 1/249.8
- ・30P/30PNのとき：1/30.0 ~ 1/249.8
- ・24P/24PA/24PNのとき：1/24.0 ~ 1/249.8
- ・設定メニューのDISPLAY SETUPのSYNC SCAN DISP項目がdegのとき：3.0d ~ 359.5d
- ・SYSTEM MODEを切り替えると、切り替えた前後でシャッタースピードが異なることがあります。

設定メニューのDISPLAY SETUP画面のSYNC SCAN DISP項目をdegに設定すると、シャッター開角度のイメージで設定・表示できます。

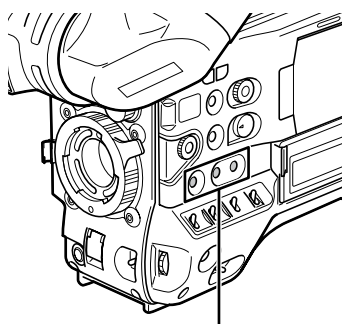
FBC（フラッシュバンド補正）機能

本機は、スチルカメラなどのフラッシュ閃光がある環境で撮影したときに、MOS撮像素子に起因する帯状の妨害（これをフラッシュバンドと呼びます）を補正、軽減する機能を搭載しています。



FBC機能の設定

FBC機能は、USERボタンに割り当てて使用します。FBC機能を割り当てたUSERボタンを押すことで、FBC機能がONとなり、スチルカメラなどのフラッシュ閃光を検出し、補正を行うことができます。
→「USERボタンへの機能割り当て」（55ページ）参照



USER MAIN/USER1/USER2 ボタン

FBC機能が有効になっているときは、ステータス画面にFBCが表示されます。^{*1}

TC 12:34:56:23	[12]	[1]999min	B90%
[P2]LACK	I- PAUSE	USER-1	
[1394]		CAC	
1080i		FBC	
AVC-I100			
[PROXY]		P3.2K	
LT.BOX		0dB	
		ND1	
83% ND1			
	FEB 25	2008	23:59:59
60:24PN	DRS	SPOT	
=== =====	1/250	F5.6	Z99

^{*1} 設定メニューのDISPLAY SETUP画面のOTHER DISPLAY項目がOFFのときは表示されません。

◆NOTE

フラッシュ閃光時、以下の現象が発生することがありますが、FBCの補正によるもので故障ではありません。

- ・動いている被写体が、一瞬止まったように見える。
- ・フラッシュ閃光時の解像度が低下する。
- ・フラッシュ閃光時の映像に横線が見える。

FBCのご使用について

FBCは、フラッシュ閃光の有無に関わらず、画面下部の輝度変化が大きい場合に動作します。明るい窓がズームイン・ズームアウトした場合など、撮影環境下によってはFBCが動作することがありますので、フラッシュ閃光が予想される撮影環境下での使用をお勧めします。

なお、フラッシュ閃光が発生しても、撮影環境によっては十分なFBCの効果を得られない場合があります。

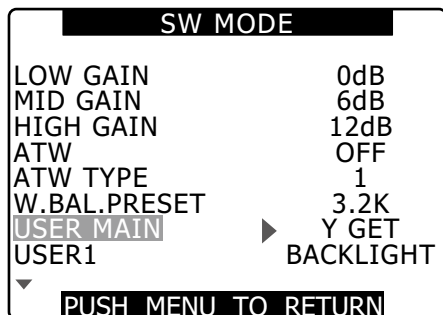
FBC機能動作条件について

- ・FBC機能は、1080/60i、720/60P(VFR OFF)、480/60iモードで、シャッター OFFの場合に使用することができます。
- ・FBC機能がONの状態であっても、1080/60i、720/60P(VFR OFF)、480/60i以外のモードに変更した場合、FBC機能は強制的にOFFになります。再度、ご使用の際は、1080/60i、720/60P (VFR OFF)、480/60iモードに戻した後、USERボタンを押してFBC機能をONにしてください。
- ・FBC機能がONの状態であっても、シャッターをONにした場合、FBC機能は一時的にOFFになります。その後、シャッターがOFFになると、FBC機能はONに戻ります。
- ・一度、電源をOFFにすると、FBC機能はOFFになります。

USER ボタンへの機能割り当て

USER MAIN/USER1/USER2 ボタンに選択した機能を割り当てることができます。

USER MAIN項目とUSER1項目とUSER2項目で、各々に割り当てる機能を設定します。各項目は、設定メニューのSW MODE画面から設定します。



選択可能な機能について

- **REC REVIEW :**
レックレビューを割り当てます。
- **SPOTLIGHT :**
スポットライト用のオートアイリス制御のON/OFFを割り当てます。
- **BACKLIGHT :**
逆光補正用のオートアイリス制御のON/OFFを割り当てます。
- **ATW :**
ATW機能のON/OFFを切り替えます。
- **ATW LOCK :**
ATW機能が動作しているときに押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、ATW機能動作を再開します。
- **GAIN:24dB :**
ゲインを24 dBにアップする機能を割り当てます。
- **Y GET :**
中央付近に表示された枠部分の輝度レベルを表示させる機能を割り当てます。
- **DRS :**
ダイナミックレンジストレッチャーの機能を割り当てます。高輝度部分の映像レベルを圧縮し、ダイナミックレンジを拡大する機能です。
- **TEXT MEMO :**
テキストメモ記録を割り当てます。
- **SLOT SEL :**
P2カードスロットの選択を割り当てます。
- **SHOT MARK :**
ショットマーク機能を割り当てます。
- **MAG A. LVL :**
オーディオ レベルメーターを拡大表示にする機能を割り当てます。
- **PRE REC :**
プリレック機能のON/OFFを切り替える機能を割り当てます。

• PC MODE :

USBデバイスモード、またはUSBホストモードのON/OFFを切り替える機能を割り当てます。USBデバイスモードとUSBホストモードの選択は、設定メニューのSYSTEM SETUP画面のPC MODE SELECT項目で設定します。

• WFM :

WAVE FORMの表示を切り替える機能を割り当てます。WAVE FORM表示の選択は設定メニューのSW MODE画面のWFM項目(131ページ)で選択します。

• FBC :

FBC機能のON/OFFを切り替えます。

◆ NOTE

工場出荷時の割り当ては、以下のように設定されています。

- USER MAIN : Y GET
- USER1 : BACKLIGHT
- USER2 : TEXT MEMO

音声入力の選択と録音レベルの調整

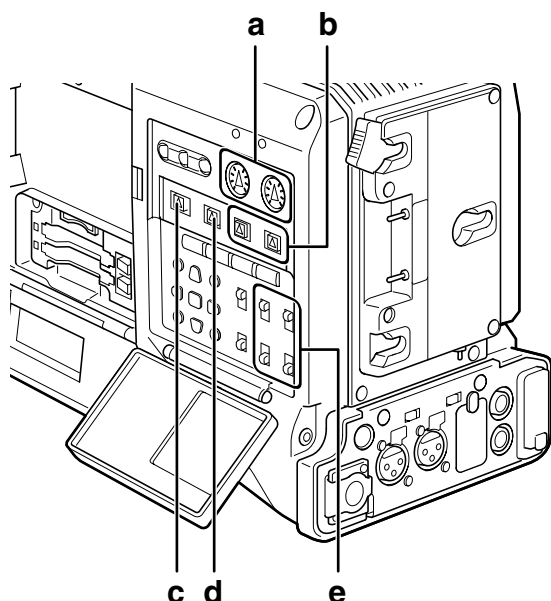
本機は、すべての記録フォーマット（HD、SD）で音声独立4チャンネル記録ができます。

AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをAUTOにすると、音声チャンネル1/2に録音されるレベルは自動的に調整されます。また、MANにすると手動で調整することもできます。

なお、音声チャンネル3/4に録音されるレベルは設定メニューにより自動調整モードかレベル固定を選択できます。

音声入力信号の選択

AUDIO INスイッチで音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選択します。（18ページ）参照。



- a AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみ
- b AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチ
- c MONITOR SELECT CH1/3, ST, CH2/4切り替えスイッチ
- d MONITOR SELECT CH1/2, CH3/4, 切り替えスイッチ
- e AUDIO INスイッチ

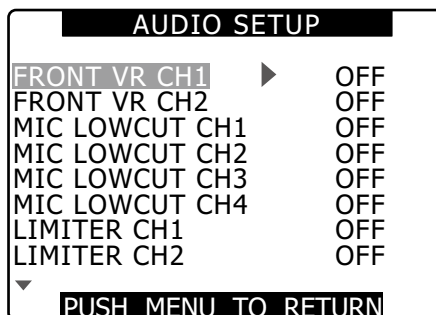
DVCPRO、またはDVフォーマットで使用する場合、工場出荷時の状態では音声チャンネル3/4は記録を行わないように設定されています。4チャンネル記録を行うときは、設定メニューのAUDIO SETUP画面の25M REC CH SEL項目を4CHに設定してください。

→スイッチ設定と入力系統については、「AUDIO INスイッチ」（18ページ）参照

◆ NOTE

- ・4チャンネル記録される音声信号は、そのままSDI出力されます。

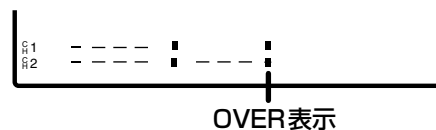
音声関連の詳細設定は、設定メニューのAUDIO SETUP画面で行います。



録音レベルの調整

音声チャンネル1/2に録音されるレベルを手動調整する手順は下記の通りです。

- 1 オーディオレベルメーター表示がCH1、CH2を示すように、MONITOR SELECT CH1/2、CH3/4切り替えスイッチをCH1/2側にし、表示が1、2であることを確認する
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをMANにする
- 3 ビューファインダー画面のオーディオレベルメーター表示を見ながらAUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを調整する
 - ・最上段のバー（0 dB）を超えるとOVER表示が点灯し入力音量が過大であることを示します。最大でも0 dBまで表示しないように調整してください。



◆ NOTE

オーディオレベルメーター拡大表示（MAG A.LVL）を割り当てたUSERボタンを押すと、オーディオレベルメーターが拡大表示されます。

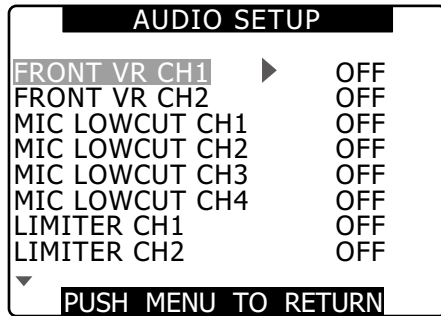
→「オーディオ拡大表示」（75ページ）参照

本機を1人で操作する場合、音声レベルの調整には、FRONT AUDIO LEVELつまみを使用してください。あらかじめ調整するオーディオチャンネルを選択し、ビューファインダー画面のレベルメーターを見ながら、過大入力にならないよう、FRONT AUDIO LEVELつまみで調整します。

FRONT AUDIO LEVEL つまみの機能の選択

設定メニューのAUDIO SETUP画面のFRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、FRONT AUDIO LEVELつまみの操作を有効にするかしないかを設定します。メニューで入力信号を選択すると、その入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみの操作が有効になります。

・FRONT AUDIO LEVELつまみがレベル10のときの音声レベルは、AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみの位置となります。



CH3/CH4の録音レベルについて

設定メニューのAUDIO SETUP画面のAUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH4項目の設定条件と入力レベル設定により、音声チャンネル3/4の録音レベル動作は、以下の表のように変わります。なお、手動での調整はできません。

各項目はAUDIO SETUP画面で選択が可能です。

AUTO LEVEL CH3/CH4	入力レベル	
	LINE	MIC
ON	AGC* ON	AGC ON
OFF	AGC/LIMITER OFF	LIMITER ON

* AGC : オートゲインコントロール

タイムデータの設定

本機はタイムデータとしてタイムコード、ユーザーズビット、日時（リアルタイム）データを備え、映像と同期して毎フレーム記録します。また、クリップメタデータファイルのデータとして記録されます。

タイムデータの概要

■ タイムコード

TCGスイッチでレックランとフリーランに切り替えることができます。

- ・フリーラン：常に歩進し、電源OFFでも歩進が行われ、時刻と同様に扱うことができます。またTC IN端子やDVCPRO/DV端子に入力されたタイムコードにスレープロックして記録することができます。
- ・レックラン：記録のときだけ歩進します。通常、前回記録したクリップに連続した値となり、電源OFFにしたり、記録するP2カードを交換しても値は保持されます。

◆ NOTE

下記の場合は、連続した値になりません。

- ・記録したクリップを削除した場合
- ・24P、24PAのフレームレートに切り替えた場合
- ・24PN、30PNに切り替えた場合
- ・記録中にREC WARNINGなどの異常で記録を中止した場合

■ ユーザーズビット

- ・ユーザーズビット（LTC UB：LTCとして記録し、TC OUT端子から出力およびHD SDIのLTCとして出力される）と、VITC（DVCPROではVIDEO AUX領域に記録され、HD SDIのVITCとして出力される）の2種類を別々に内蔵しています。
- ・LTC UBは、ユーザー設定値、時刻、年月日、タイムコードと同値、カメラ撮影のフレームレート情報、外部（TC IN端子やDVCPRO/DV端子）入力値などを選択して記録することができます。
- ・VITC UBは、カメラ撮影のフレームレート情報が記録されます。
- ・クリップメタデータのユーザーズビットには、記録開始時のLTC UB値が記録されます。

■ 日時（リアルタイム）

- ・内蔵の時計により、年、月、日、時刻を計測し、ビューファインダー/LCD画面、およびVIDEO OUTなどの出力映像に表示することができます。
- ・内蔵時計はフリーランタイムコードの電源OFF中の計測や、ユーザーズビットの時刻、年月日データとして使用されるだけでなく、クリップを記録するときにファイル生成時刻のもととなり、サムネールの並びや再生順序が決まります。
- ・また、クリップメタデータや、UMID（Unique Material Identifier）の生成にも使用されます。
→「内蔵時計の日付/時刻の設定」（28ページ）参照

タイムコード、およびユーザーズビットの記録と出力

SYSTEM MODE	システム設定状態				記録TC		出力TC		表示TC	記録UB		出力UB			
	REC SIGNAL	REC FORMAT	CAMERA MODE	FRAME RATE	LTC	VITC	TC OUT	HD SDIのLTC、VITC	TC tc (24/30変換)	LTC UB	VITC UB	TC OUT端子のUB ^{*1}	HD SDIのLTC UB ^{*1}	HD SDIのVITC UB	
1080-59.94i	CAMERA	DVCPROHD/60i	60i, 30P	-	R-RUN/ F-RUN ³ DF/NDF 30フレーム	LTCと同値	LTCを出力	LTCを出力	TC: 30フレーム tc: 24フレーム	UB MODEに従う ・EXT ² ではTC IN端子のUBをスレープ	フレームレート 情報	LTC UBを 出力	LTC UBを 出力	フレームレート 情報	
			24P, 24PA	-	R-RUN/ F-RUN ⁵ NDF固定 30フレーム										
		AVC-I100/60i AVC-I50/60i AVC-I100/30PN AVC-I50/30PN		-	R-RUN/ F-RUN ³ DF/NDF 30フレーム										
		AVC-I100/24PN AVC-I50/24PN		-	R-RUN/ F-RUN ⁷ NDF固定 24フレーム										
1394	DVCPROHD/60i	-	-	R-RUN/ F-RUN ² DF/NDF 30フレーム	常に1394入力 のVAUX TCを 記録 ^{*6}	LTCを出力	LTCを出力	TC: 30フレーム tc: 24フレーム	UB MODEに従う ・EXT ² では1394入力 のLTC UBをスレープ	1394入力の VITC UBを 記録	LTC UBを 出力	LTC UBを 出力	VITC UBを 出力する		
720-59.94P	CAMERA	DVCPROHD/60P AVC-I100/60P AVC-I50/60P	24FRAME 以外	-	R-RUN/ F-RUN ³ DF/NDF 30フレーム	LTCと同値	LTCを出力	LTCを出力	TC: 30フレーム tc: 24フレーム	UB MODEに従う ・EXT ² ではTC IN端子のUBをスレープ	フレームレート 情報	LTC UBを 出力	LTC UBを 出力	フレームレート 情報	
			24FRAME	-	R-RUN/ F-RUN ⁵ NDF固定 30フレーム										
		DVCPROHD/30PN AVC-I100/30PN AVC-I50/30PN		30FRAME	-										R-RUN/ F-RUN ⁴ DF/NDF 有効フレーム毎 30フレーム
		DVCPROHD/24PN AVC-I100/24PN AVC-I50/24PN		30FRAME 以外	-										R-RUN固定 DF/NDF 有効フレーム毎 30フレーム
		DVCPROHD/24PN AVC-I100/24PN AVC-I50/24PN		24FRAME	-										R-RUN/ F-RUN ⁷ NDF固定 有効フレーム毎 24フレーム
		DVCPROHD/24PN AVC-I100/24PN AVC-I50/24PN		24FRAME 以外	-										R-RUN固定 NDF固定 有効フレーム毎 24フレーム
1394	DVCPROHD/60P	-	-	R-RUN/ F-RUN ² DF/NDF 30フレーム	常に1394入力 のVAUX TCを 記録 ^{*6}	LTCを出力	LTCを出力	TC: 30フレーム tc: 24フレーム	UB MODEに従う ・EXT ² では1394入力 のLTC UBをスレープ	1394入力の VITC UBを 記録	LTC UBを 出力	LTC UBを 出力	VITC UBを 出力する		
480-59.94i	CAMERA	DVCPRO50/60i DVCPRO/60i DV/60i	60i, 30P	-	R-RUN/ F-RUN ³ DF/NDF 30フレーム	LTCと同値 (ただしDV時は なし)	LTCを出力	なし	TC: 30フレーム tc: 24フレーム	UB MODEに従う ・EXT ² ではTC IN端子のUBをスレープ	フレームレート 情報	LTC UBを 出力	なし	なし	
			24P, 24PA	-	R-RUN/ F-RUN ⁵ NDF固定 30フレーム										
1394					R-RUN/ F-RUN ² DF/NDF 30フレーム	常に1394入力 のVAUX TCを 記録 ^{*6} (DVはなし) ^{*6}			UB MODEに従う ・EXT ² では1394入力 のLTC UBをスレープ	1394入力の VITC UBを 記録	LTC UBを 出力				

*1 UB MODEがFRM. RATEの場合、Nativeクリップの再生はVITC UBから読み出したブルダウンフレームレート情報となります。

*2 フリーランではDVCPRO/DV端子に入力された値にスレープします。TC INのTCにはスレープしません。

*3 フリーランではTC IN端子の入力TCにスレープします。

*4 フリーランではTC IN端子の入力TCにスレープします。ただしREC中はスレープできません。

*5 フリーランではTC IN端子の入力TCがノンドロップフレームの場合に、スレープします。ただしREC中はスレープできません。

*6 VAUX TCはDVCフォーマットでビデオAUX領域に記録されたTCのことです。

*7 フリーランでは、TC IN端子の入力TCが30フレームのノンドロップフレームの場合に、24フレームに変換した値にスレープします。ただし、REC中はスレープできません。

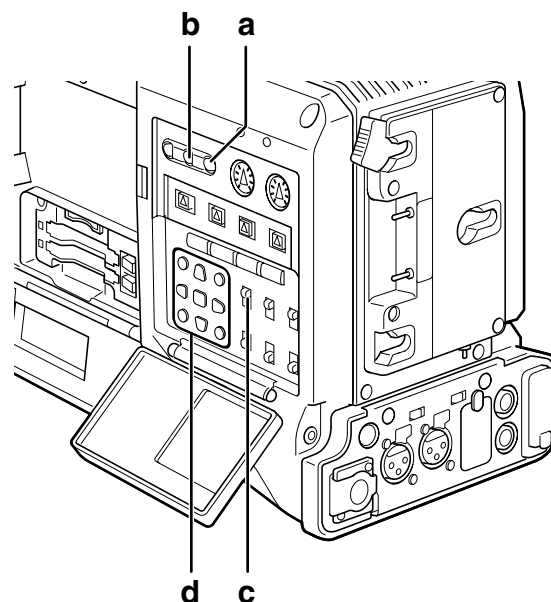
ユーザーズビットの設定

サブコード領域に記録するユーザーズビットを設定メニューのRECORDING SETUP画面のUB MODE項目で設定します。

- ・ **USER :**
内蔵しているユーザー値を記録します。ユーザー値は、TCGスイッチをSETにして設定メニューのTC PRESET画面で設定できます。設定値は、電源OFFでも保持されます。
→ 「ユーザーズビットの入力方法」(このページ) 参照
 - ・ **TIME :**
内蔵時計で計測している時刻を記録します。
 - ・ **DATE :**
内蔵時計で計測している年、月、日時刻の時の桁を記録します。
 - ・ **EXT :**
TC IN端子に入力されているユーザーズビット値を記録します。
また、1394入力記録時は、DVCPRO/DV端子から入力されているユーザーズビット値を記録します。
 - ・ **TCG :**
タイムコード値が記録されます。
 - ・ **FRM. RATE :**
カメラ撮影のフレームレート情報が記録されます。
ネイティブ記録されたクリップの再生時には、記録された値に関わらずVITC UBと同じフレームレート情報を出力します。パーソナルコンピューターなどの編集機器がユーザーズビットのフレームレート情報を使用する場合には、この設定でご使用ください。
→ 「ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報」(61ページ) 参照
- ・ なお、TC IN端子に入力しているユーザーズビット値にスレーブロックする場合は、EXTに設定してください。
 - ・ スレーブしている間は、UB表示が白黒反転文字になります。
 - ・ 一度スレーブしたあとは、TC IN端子やDVCPRO/DV端子入力を止めてもスレーブ状態を継続します。ただし、下記の場合はユーザーズビットのスレーブ状態は解除されます。
 - ・ UB MODE項目をEXT以外に設定した場合。
 - ・ UB PRESETを行った場合。
 - ・ 設定メニューのSYSTEM SETUP画面のREC SIGNAL項目で1394に切り替える。
 - ・ 電源OFFにした場合。
 スレーブ解除後も内蔵のUSER値はスレーブした値を保持します。

ユーザーズビットの入力方法

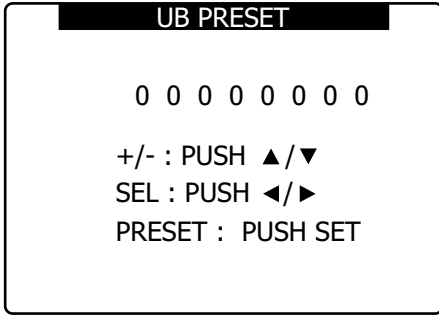
ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ(日付、時刻)などの情報をサブコード領域に記録できます。



- a RESET ボタン
- b COUNTER ボタン
- c TCG スイッチ
- d カーソル・SET ボタン

- 1 COUNTER ボタンでUBにする
- 2 TCG スイッチをSETにする

3 カーソルボタンでユーザーズビットを設定する



- ▶ ボタン：設定を行う（反転表示している）桁が右に移ります。
- ◀ ボタン：設定を行う（反転表示している）桁が左に移ります。
- ▲ ボタン：反転表示している桁の数値を1ずつ大きくします。
- ▼ ボタン：反転表示している桁の数値を1ずつ小さくします。
- SET ボタン：設定したユーザーズビットを確認させます。
- ・ユーザーズビットを設定しているときにRESETボタンを押すと、ユーザーズビットが0にリセットされます。

4 SET ボタンを押してユーザーズビットの設定値を確認させてからTCGスイッチをF-RUN、またはR-RUNにする

◆ NOTE

SET ボタンを押さずにTCGスイッチを切り替えた場合は、設定した値は無効になります。

5 設定メニューからRECORDING SETUP画面を開き、UB MODE項目でUSERを選択する

ユーザーズビットのメモリー機能について

ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源OFFのあとも保持されます。

ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報

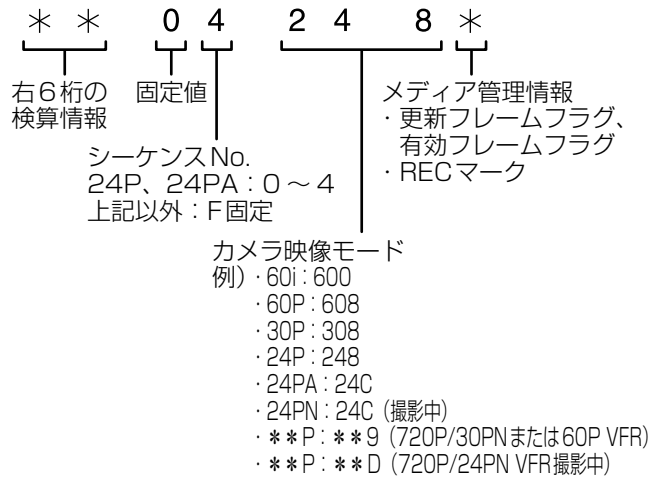
設定メニューのSYSTEM SETUP画面の各項目やFRAME RATE項目で設定されたフレームレートに従って撮影・記録される映像情報のフレームレート値をユーザーズビットに記録しておき、編集機器（パーソナルコンピュータ編集ソフト）で利用できます。

VITC UBには常にこの情報が記録されます。

また、設定メニューのUB MODE項目をFRM.RATEに設定すると、ユーザーズビット（LTC UB）にも記録されます。ネイティブで記録されたクリップの再生では、VIDEO AUX領域のユーザーズビットを再生して得たフレームレート情報と同じ値をサブコード領域のユーザーズビットとしても出力します。

■ フレームレート情報

フレームレート、および映像のプルダウンと、タイムコード・ユーザーズビットの関係は下記のようになっています。



1080i、または480iのとき

フレームレート：24P Over 60i (2:3)
 更新フレームの先頭フィールド

タイムコードフレーム桁

00	01	02	03	04	05	06	...	23	24	25	26	27	28	29
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	...	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

シーケンスNo.

0	1	2	3	4	0	1	...	3	4	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

更新フレーム情報

10	10	01	01	00	10	10	...	01	00	10	10	01	01	00
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

フレームレート : 24PA Over 60i (2:3:3:2)

タイムコードフレーム桁

00 01 02 03 04 05 06 ... 23 24 25 26 27 28 29

映像

A0 A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 B0 B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 C0 C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9

シーケンスNo.

0 1 2 3 4 0 1 ... 3 4 0 1 2 3 4

更新フレーム情報

10 10 01 00 10 10 10 ... 00 10 10 10 01 00 10

フレームレート : 30P Over 60i (2:2)

タイムコードフレーム桁

00 01 02 ...

映像

A0 A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 B0 B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 C0 C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9

更新フレーム情報

10 10 10 ...

720Pのとき

フレームレート : 24P Over 60P (2:3)

更新フレーム

タイムコードフレーム桁

00 01 02 03 04 05 06 ... 23 24 25 26 27 28 29

映像

A0 A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 B0 B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 C0 C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9

更新フレーム情報

10 10 01 01 00 10 10 ... 01 00 10 10 01 01 00

フレームレート : 30P Over 60P (2:2)

タイムコードフレーム桁

00 01 02 ...

映像

A0 A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 B0 B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 C0 C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9

更新フレーム情報

10 10 10 ...

タイムコードの設定

1 設定メニューのRECODING SETUP画面のTC MODE項目をDF、またはNDFに設定する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ)参照

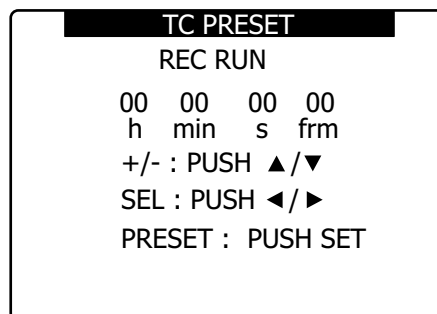
・ドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときはDFに、ノンドロップフレームモードで歩進させるときはNDFに設定します。ただし、24P、24PA、24PNでは常にNDFで動作します。

2 COUNTERボタンでTC表示にする

3 TCGスイッチをSETにする

4 カーソルボタンでタイムコードを設定する

・タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00 ~ 23:59:59:29 (24PN以外)、00:00:00:00 ~ 23:59:59:23 (24PN)です。



▶ボタン：設定を行う（反転表示している）桁が右に移ります。

◀ボタン：設定を行う（反転表示している）桁が左に移ります。

▲ボタン：反転表示している桁の数値を1ずつ大きくします。

▼ボタン：反転表示している桁の数値を1ずつ小さくします。

SETボタン：設定したタイムコード値を確定させます。

・タイムコードを設定しているときにRESETボタンを押すと、タイムコード値が0にリセットされます。

5 SETボタンを押し、タイムコードの設定値を確定して、TCGスイッチを切り替える

・タイムコードをフリーランで歩進させるときはF-RUNに切り替え、レックランで歩進させるときはR-RUNに切り替えます。

◆ NOTE

・24P、または24PAでご使用時は、タイムコードの設定は5フレーム単位に調整されます。24PNの場合は4の倍数に、720/30PNの場合は偶数になるように調整されます。また、記録中にタイムコードの設定はできません。

・SETボタンを押さずにTCGスイッチを切り替えた場合は、設定した値は無効になります。

バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構がはたらいて、タイムコードジェネレーターは動作を続けます。

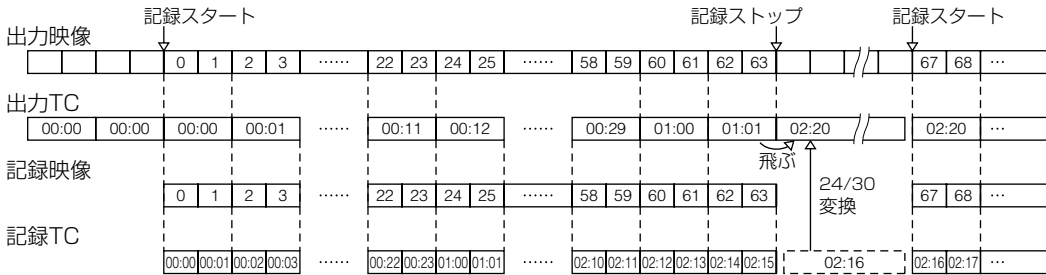
◆ NOTE

POWERスイッチをON→OFF→ONと切り替えた場合、フリーランのタイムコードのバックアップ精度は約±2フレームです。

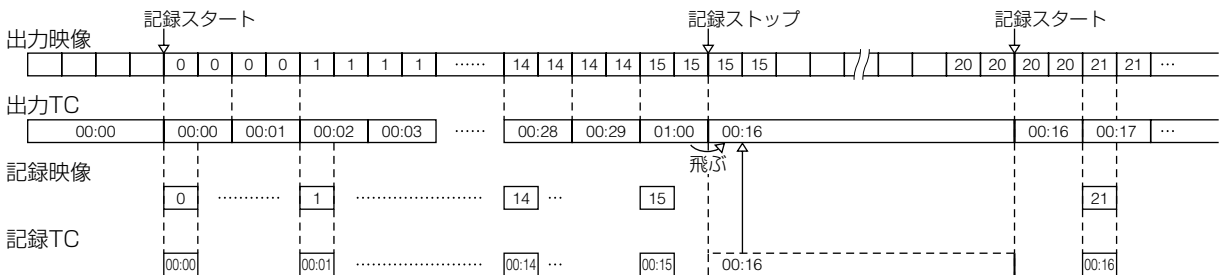
VFR（バリアブルフレームレート）でのタイムコード

- ・24PNでは、記録は24フレームとなり出力は2：3プルダウン映像に合わせ、30フレームとなります。
- ・FRAME RATE（撮影のフレームレート）が24Pのときは、記録と出力のタイムコードの歩進速度は、実時間どおり一致しますが24P以外では一致しません。（例：60Pの場合、記録の歩進速度は60/24倍速となります）
- ・この場合は、レックラン固定動作となり記録開始時に出力するタイムコード値を記録タイムコードに一致させます。
- ・30PNのときの30P撮影以外も同様です。

60P撮影の24PN記録



15P撮影の30PN記録



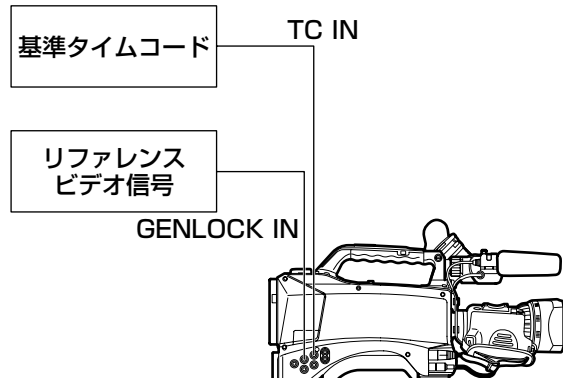
タイムコードを外部ロックさせる

本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部機器のタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

外部ロックさせる為の接続例

図のように、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

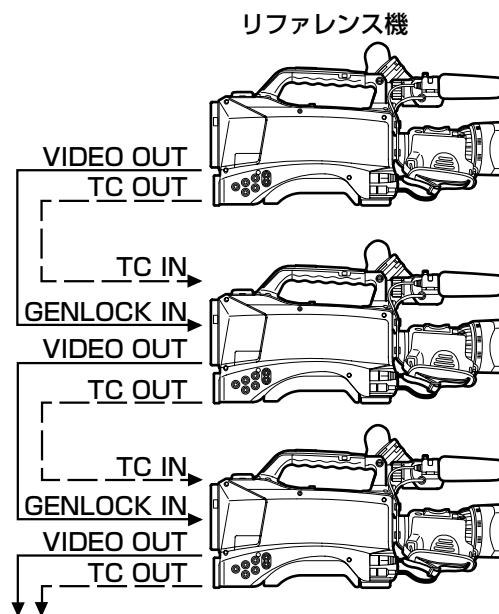
■ 例1：外部の信号にロックさせる場合



◆ NOTE

- リファレンスビデオ信号としては、HDのY基準信号のほかコンポジットビデオ信号も入力可能です。
- システムモードが480i(SD)および720Pの場合は、コンポジットビデオ信号を入力してください。
- システムモードが720Pの場合、HD-Y信号を入力すると映像信号のGENLOCKはかかりますが、タイムコードは1フィールドずれる場合があります。
- GENLOCKの入力基準信号が乱れた場合、正常に記録が行えず、ビューファインダーおよびLCD画面に「TEMPORARY PAUSE IRREGULAR FRM SIG」が赤く点滅し、クリップが分割されます。また、タイムコードの連続性も保証されません。信号が正常に戻ると記録を再開します。ただし、インターバル記録、ワンショット記録、ループレックのときは、記録を再開しません。

■ 例2：本機を複数台つなぎ、1台をリファレンス機とする場合



◆ NOTE

- 各機とも、設定メニューのOUTPUT SEL画面のTC VIDEO SYNCRO項目をTC INに、OTHER FUNCTIONS画面のGL PHASE項目をCOMPOSITEに設定してください。
- 設定メニューのOUTPUT SEL画面のTC VIDEO SYNCROをTC INに設定するとTC INを遅延なく次のスレーブ機に供給することができます。
- 本機のVIDEO OUT端子のVBS信号のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。

外部ロックの操作手順

下記の手順で、外部ロックさせます。

- 1 POWERスイッチをONにする
- 2 TCGスイッチをF-RUNにする
- 3 COUNTERボタンでTCにする
- 4 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ供給する

- これで内蔵タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に出て、TC表示が白黒反転文字になります。シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。

- ・一度、スレーブするとTC IN端子やGENLOCK IN端子の入力がなくなっても、スレーブ状態*を継続します。ただし、下記の場合はスレーブ状態は解除されます。
 - ・ TC PRESETを行った場合
 - ・ 設定メニューのSYSTEM SETUP画面のREC SIGNAL項目を1394に切り替えた場合
 - ・ 電源OFFにした場合
 - ・ TC MODEを切り替えた場合
 - ・ TCGスイッチをR-RUNにした場合
 - ・ REC FORMAT、CAMERA MODEを切り替えた場合
- * スレーブ機能とは、TC IN入力にタイムコードをロックさせ、その後タイムコードがなくなってもそのままタイムコードを連続させている状態です。

外部ロック時のユーザーズビットの設定について

ユーザーズビットを外部ロックさせるには、設定メニューのRECODING SETUP画面のUB MODE項目をEXTに設定してください。
TCGスイッチのF-RUN/R-RUNに関わらず、TC IN端子に入力されたユーザーズビット値にスレーブします。
→「タイムデータの設定」(58ページ)・「ユーザーズビットの設定」(60ページ) 参照

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCGスイッチをR-RUNに設定します。

外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替えるときの注意

タイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーを抜いてください。バッテリーを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部同期について

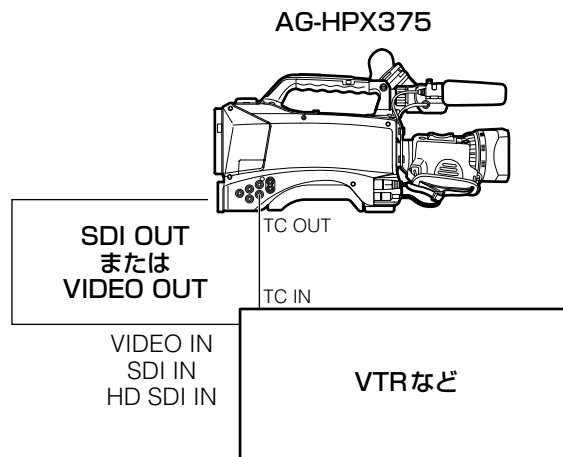
外部ロック中、GENLOCK IN端子に入力されるリファレンスビデオ信号により、カメラ部はGEN LOCKがかかります。

◆ NOTE

- ・ 本機をマスター機として複数台に外部ロックさせる場合は、本機のカメラモードと同一モードにしてください。インターレースとプログレッシブ混在等のシステムでは映像・タイムコードの連続性が保証されませんのでご注意ください。
- ・ 24P、24PAおよび24PN (Native) で外部ロックさせるときは、必ずノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。ドロップフレームでは外部ロックできません。また、外部ロックした瞬間、画像が乱れることがありますが、5フレーム周期を合わせるためであり、異常ではありません。

タイムコードを外部に供給する

本機からカメラ映像、または再生映像に合わせてTC OUTをVTRなどの記録機器に供給する場合は、設定メニューのOUTPUT SEL画面のTC VIDEO SYNCRO項目をVIDEO OUTに設定してください。
また、設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のGL SELECT項目を供給する映像出力に合わせてSDI、またはCOMPOSITEに設定し、OUTPUT SEL画面のTC OUT項目をTCG/TCRに設定してください。



◆ NOTE

TC VIDEO SYNCRO項目をVIDEO OUTに設定すると、TC INをVIDEO OUTの遅延に合わせてTC OUTから出力されます。

GENLOCKとタイムコード入出力の接続と設定

本機の使用条件			本機の設定	GENLOCK入力と本機の出力位相 一致：○、不一致：×		
記録フォーマット	外部に供給する映像・基準信号	GENLOCK入力	GL PHASE	SDI OUT (HD)	VIDEO OUTおよびSDI OUT (SD)	TC OUT
1080i	SDI OUT (1080i)	1080i	SDI	○	90H遅れ	○
	VIDEO OUT		COMPOSITE	90H進み	○	○
	SDI OUT (1080i)	SD (480i)	SDI	○	90H遅れ	○
	VIDEO OUT		COMPOSITE	90H進み	○	○
720P	SDI OUT (720P)	720P	SDI	○	120H遅れ	×
	VIDEO OUT		COMPOSITE	120H進み	○	×
	SDI OUT (720P)	SD (480i)	SDI	○	120H遅れ	○
	VIDEO OUT		COMPOSITE	120H進み	○	○
480i	SDI OUT (480i)	SD (480i)	無効	なし	○	○
	VIDEO OUT					

カウンターの設定と表示

COUNTERボタンでカウンター表示にすると、ビューファインダー / LCD画面のタイムコード表示部にカウンター値を表示します。カウンター値は、時：分：秒で表示されます。再生中は表示されません。

設定メニューのDISPLAY SETUP画面のREC COUNTER項目の設定で2種類のカウントができます。

TOTAL：COUNTER RESETボタンでリセットされるまで積算してカウントを続けます。

P2カードを入れ替えたり、電源をOFFにしたりしてもカウンター値は保持されます。

CLIP：記録開始のたびにカウンター値がクリアされ、0からカウントを開始します。

常に現在記録中のクリップの記録時間を確認しながら撮影できます。

◆ NOTE

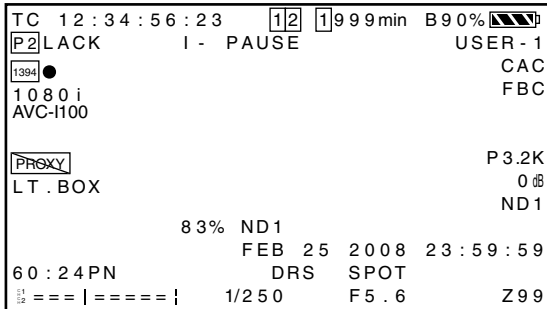
- ・カウンター値を表示中にRESETボタンを押すと、カウンター値がリセットされ、ふたたび0からカウントを開始します。
- ・カウンター値は、0:00.00～9:59.59の1秒単位です。

ビューファインダーの状態表示

ビューファインダーでは、映像のほかに本機の設定や動作の状態を示すメッセージ、センターマーカ、セーフティゾーンマーカ、ゼブラパターンなどが表示されます。

ビューファインダー画面の状態表示の構成

表示できる項目 (MODE CHECKを除く) は、下の図のように配置されています。

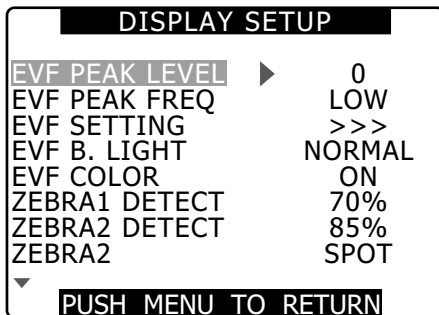


→次ページ以降参照

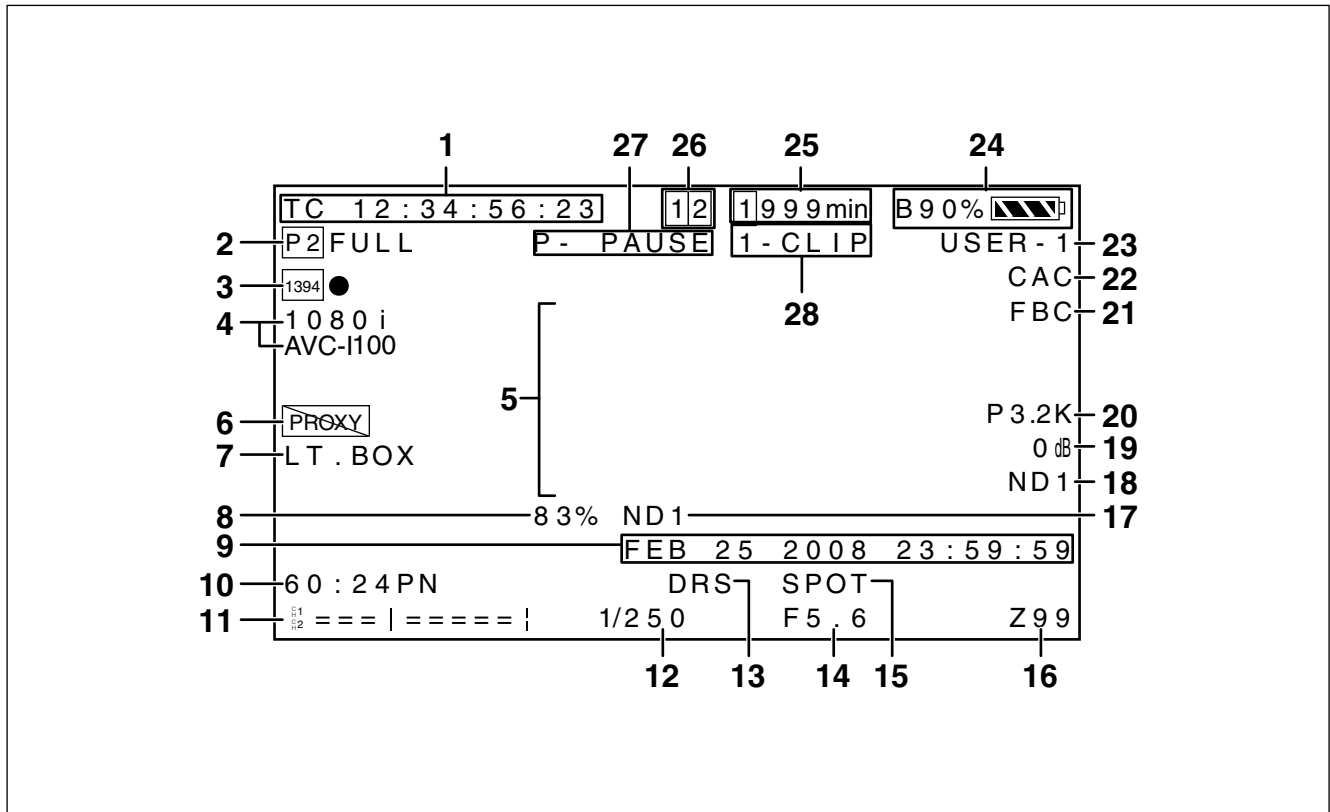
ビューファインダー画面の表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示項目の選択は、設定メニューのDISPLAY SETUP画面の各項目で表示のON/OFF、または種類を切り替えます。

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照



画面の表示



1 タイムコード表示

COUNTER ボタンを押すごとに、下記のデータ（または表示なし）に切り替わります。

- ・(表示なし)
- ・カウンター：
 - カウンター値（記録モードのみ）
- ・TC：
 - タイムコード値
 - タイムコード値がDVCPRO/DV端子から正しく読みとれなかったときには、TC * を表示します。
 - ドロップフレームモード運用しているときは、秒とフレームの間の「:」（コロン）が「.」（ドット）になります。
- ・tc：
 - タイムコード値（フレーム桁を24フレーム変換して表示）
 - タイムコード値がDVCPRO/DV端子から正しく読みとれなかったときには、tc * を表示します。
 - ドロップフレームモード運用しているときは、秒とフレームの間の「:」（コロン）が「.」（ドット）になります。
- ・UB：
 - ユーザーズビット値
 - ユーザーズビット値がDVCPRO/DV端子から正しく読みとれなかったときには、UB * を表示します。
- ・FR：
 - 撮影するフレームレート情報
 - ・FR60I - : 60i インターレースモード (60 フィールド/秒)
 - ・FR60P - : 60P プログレッシブモード (60 フレーム/秒)
 - ・FR30P - : 30P プログレッシブモード (30 フレーム/秒)

- ・FR24P * : 24P プログレッシブモード (24 フレーム/秒)
- ・FR24PA * : 24P アドバンスモード (24 フレーム/秒)
- * : FR24P と FR24PA のモードのときは、最終けたにフレーム変換のシーケンス情報を表示します。

◆ NOTE

TC、tc、UB は、TC IN 入力にロックしている場合、白抜き文字 **TC** → **TC** になります。
また、HOLD ボタンで表示を一時止めた場合は、HOLD 表示が点滅表示します。

2 ワーニング情報表示

- ・： P2 カードが挿入されていないときや記録禁止状態のときに点滅します。
- ・ FULL： P2 カードの残量がないときに点滅します。
- ・ LACK： ループレックモードで P2 カードの残量が不足しているときに点滅します。
- ・： 内蔵時計用の内蔵電池が消耗しているときに点灯します。
→ 「内蔵電池の充電」(154 ページ) 参照

3 バックアップ用機器の状態表示

- ・ DVCPRO/DV 端子に接続されている、バックアップ機器の状態を表示します。
- ・ 設定メニューの OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目を OFF に設定していると表示されません。
- ・ **1394 ●** : 記録
- ・ **1394 II** : 記録待機
- ・ **1394 罇** : バックアップ機器が制御できない状態
- ・ **1394** : バックアップ機器が未接続
- ・ **1394 --** :
バックアップ機器は接続されているが、記録や記録待機状態になっていない

4 記録フォーマット、およびシステムモード表示

- ・ **システムモード**
 - ・ 1080i
 - ・ 720P
 - ・ 480i
- ・ **記録フォーマット**
 - (システムモードが 1080i、720P のとき)
 - ・ AVC-I 100 : AVC-Intra 100 フォーマット
 - ・ AVC-I 50 : AVC-Intra 50 フォーマット
 - ・ DVCPRO HD : DVCPRO HD フォーマット
 - (システムモードが 480i のとき)
 - ・ DVCPRO50、DVCPRO、DV

5 情報表示

- 状況に応じて、下記の情報を表示します。
- ・ オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示
 - ・ 警告表示、エラー表示
 - ・ 各スイッチやボタン操作の情報
- 「中央部の情報表示」(71 ページ) 参照

6 プロキシー情報表示 (オプション)

プロキシーカードのエラー情報や、SDメモリーカードのプロキシー記録残量の情報を表示します。

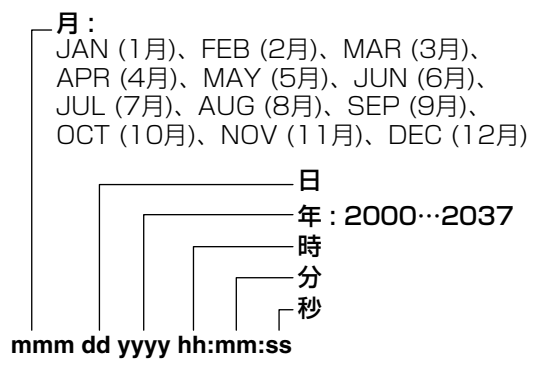
7 レターボックス記録表示

記録フォーマットが 480i のとき、設定メニューの SYSTEM SETUP 画面の ASPECT CONV 項目で LETTER BOX を選択してレターボックス記録を行っているときに表示します。

8 Y GET の輝度表示

Y GET のとき、画面中央付近に表示される枠内の映像レベルを 0% ~ 109% で表示します。

9 日付と時刻表示



10 撮影/記録・再生フレームレート表示

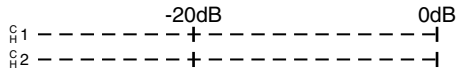
Native 記録のとき、撮影フレーム数と、記録・再生のフレーム数を表示します。

例) 60:24PN (60P 撮影のバリエブルフレームレート 24PN 記録)

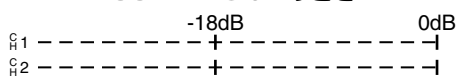
再生では、2:3 プルダウンで 24P over 60P となり、24/60 倍速スロー再生であることを示します。通常記録のときは撮影フレームレートのみを表示します。

例) 24PA (24PA での 2:3:3:2 プルダウン over 60i 記録)

11 オーディオレベルメーター表示 HEAD ROOM -20 dB のとき



HEAD ROOM -18 dB のとき



USER ボタンに MAG A. LVL (レベルメーターの拡大表示) を割り当てることにより、拡大表示に切り替えることができます。

→ 「オーディオ拡大表示」(75 ページ)

12 シャッタースピード表示

シャッタースピードを表示します。

シンクロスキャンのときは、設定メニューの DISPLAY SETUP 画面の SYNC SCAN DISP 項目で設定されている表示 (時間 (分数) 表示、または開角度のイメージでの表示) となります。

13 DRS 表示

ダイナミックレンジストレッチャー機能が動作しているときに表示します。

14 アイリス表示

F 値を表示します。

- ・ レンズコネクター未接続時は、NC と表示します。

15 オートアイリス制御表示

- ・ **SPOT** : スポットライト用のオートアイリス制御
 - ・ **BACK** : 逆光補正用のオートアイリス制御
- レンズのアイリスがマニュアルに設定されているときも表示されますが、動作は行われません。

16 ズームポジション表示

Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。

17 推奨NDフィルター表示

現在の撮影条件下で、推奨する ND フィルターを表示します。

18 ND フィルター表示

- ・ 選択している ND フィルターを表示します。
- ・ ND -- が表示されているときは、ND FILTER つまみがずれている (ND1 ~ ND4 以外の位置) ので、ND FILTER つまみの位置を確認してください。

19 ゲイン表示

設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。

20 WHITE BALスイッチポジション表示

現在選ばれているポジションを表示します。また、AWBがプリセット時のホワイトバランスの動作を表示します。また、ATW（自動追尾方式のオートホワイトバランス）モードのときはATWと表示し、ATWのLOCK状態のときは、LOCKと表示します。

21 FBC表示

FBC機能が動作しているときに、表示します。

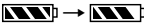

22 CAC表示

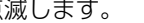

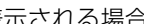
レンズの色収差補正機能が動作しているときに、表示します。

23 シーンファイル名表示

SCENE FILE (F1 ~ F6) のシーンファイル名を表示します。

24 バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、 →  → と変わります。

容量がなくなると、 () が点滅します。(ACアダプター使用時に  以外が表示される場合がありますが、問題ありません)

バッテリー残量の% (パーセント) 表示に対応しているバッテリーの場合

バッテリーの残量が以下のように表示されます。

- **B * * %** : 10 % ~ 99 %
バッテリー残量表示 (%) を行います。
- **MAX** : 満充電状態のときに表示します。
- **EMP** : 10 %未満のときに表示します。

バッテリー残量の% (パーセント) 表示に対応していないバッテリーの場合

バッテリーの電圧が表示されます。

- **13.5V** : 現在の電圧値を表示します。

25 メディア残量表示

- 設定メニューのDISPLAY SETUP 画面のP2CARD REMAIN項目をONE-CARDに設定すると、現在記録対象のP2カード1枚の残量の左側にスロット番号を表示します。TOTALに設定すると2枚の残量合計を表示します。
- なお、MODE CHECKではONE-CARD とTOTALが入れ替わって表示されます。
- 残量の計算中、およびUSBデバイスモードでは無表示になります。ループレック中は、LOOPと表示されます。
- ループレック中のMODE CHECKでは、ループレックで記録できる標準的な記録時間を表示します。
- 残量は、0 ~ 999分の1分単位表示です。999分以上は999分と表示されます。
- 残量が2分以下になると表示が点滅します。

26 メディア情報表示

P2カードが挿入されているカードスロット、および基本情報を表示します。

- **1 点灯** :
記録可能なP2カード
- **1 緑色点灯** :
記録対象のP2カード
- **1 点滅** :
カード認識中
- **-** : カード未挿入
- **P** : ライトプロテクトがかかっている
- **F** : 残量なし
- **X** : 認識不可
- **E** : 不正なフォーマットのP2カード(フォーマットすれば、正常になります)
- **o** : P2カードスロット2にPROXYカードが挿入されている(オプション)

27 記録・再生の動作状態表示

- **REC** : 記録
- **PAUSE** :
記録待機
- **||** : 再生一時停止
- **▶** : 再生
- **▶▶ (◀◀)** :
早送り/早送り再生 (早戻し/早戻し再生)
- **4 × ▶▶ (4 × ◀◀)** :
4倍速のサーチ
- **CLIP ||▶ (CLIP ◀||)** :
クリップ送り(クリップ戻し)、クリップ単位での頭出し
- **CLIP&T ||▶ (CLIP&T ◀||)** :
クリップとテキストメモ単位の送り(戻し)での頭出し(メニューOTHER FUNCTIONS画面のSEEK SELECT項目を「CLIP&T」に設定しているとき)
- **START** :
ワンクリップレックで、新たなクリップを記録開始したときに表示します。
- **END** : ワンクリップレックで、クリップの連結を終了したときに表示します。

DISPLAY OFFの状態では、REC、START、END表示のみ右上に表示されます。また、プリレック、ループレック、インターバル記録、ワンショット記録が設定されている場合も右上に表示されます

特殊記録状態表示

設定メニューRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目をINTERVAL、ONE SHOT、LOOPに設定しているとき、またはプリレックをONに設定しているときに表示します。

- **L-** : LOOP (ループレック)
- **I-** : INTERVAL(インターバル記録)、ONE SHOT(ワンショット記録)
- **P-** : PRE REC (プリレック)

28 ワンクリップレックモードの状態表示

- **1-CLIP** : ワンクリップレックで、新たなクリップがこれから記録される状態
- **1*CLIP** : ワンクリップレックで、前のクリップに連結して記録が可能な状態

中央部の情報表示

情報表示（69ページ参照）には以下のものがあります。

P2カード記録・再生の情報表示

- **BOS**
ストリームの最初です。これ以上、逆方向再生できません。
- **CANNOT PLAY**
再生できないときに表示します。
 - ・ **CARD ERR (1) (2) (1/2)** :
数字の Slots の P2 カード異常
 - ・ **UPDATING** : カード情報読み取り中
- **CANNOT REC**
REC ボタンを押しても収録開始できないときに表示されます。
- **EOS**
ストリームの終わりです。これ以上、正方向再生できません。
- **PRE REC ON (OFF) (INVALID)**
プリレックを割り当てたユーザーボタンを押した時表示されます。
- **SHOT MARK ON (OFF) (INVALID)**
SHOT MARK を割り当てたユーザーボタン、レンズの RET ボタンを押したときに表示されます。
- **SLOT SEL (INVALID)**
SLOT SEL を割り当てたユーザーボタンを押したとき表示されます。
- **TEXTMEMO (INVALID)**
TEXTMEMO を割り当てたユーザーボタン、レンズの RET ボタンを押したときに表示されます。

エラーと警告表示

本機や P2 カードなどに異常が発生したときに表示します。一度電源 OFF にしても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

- **1394**
1394 接続や信号に異常が発生したときに表示します。
 - ・ **1394 INITIAL ERROR** : 接続異常
 - ・ **1394 INPUT ERROR** : 入力異常
 - ・ **1394 INPUT ERROR (OTHER FORMAT)** :
(入力フォーマット違い)
 - ・ **COPY INHIBITED** :
DVCPRO/DV 端子から DV フォーマットで入力しているとき、コピーガードされた信号が入力されている。
- **CLIP DISCONTINUED**
ワンクリップレックで、連結クリップとしての整合性がとれず、次のクリップ記録時にクリップの連結ができない場合に表示します。
- **DIR ENTRY NG CARD**
P2 カードのディレクトリー配置が不正規となっているため、動作は継続しますが、正常に記録できないことがあります。速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。

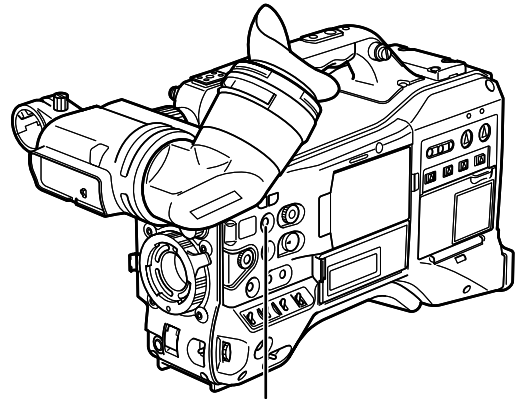
- **EXTERNAL 1394 DISCONNECT**
設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目を EXT に設定して、DVCPRO/DV 端子に外部機器を接続しないで撮影を行ったときに表示します。
- **FORMAT ERR !**
P2 規格に準拠していないカードです。
- **INCOMPATIBLE CARD**
規格が違うカードなので、使用することができません。また、電源が ON の状態で PROXY カードを挿入した場合も、この表示が出ます。
- **LOW BATTERY**
バッテリー残量がなくなったときに表示します。
- **REC WARNING**
記録時に異常が生じたときに表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ・ **CARD ERR (1) (2) (1/2)** : 数字の Slots の P2 カード異常
 - ・ 警告が続く場合は電源 OFF にしてください。
 - ・ 再度記録しても警告が出る場合は、別のカードに取り替えてください。
 - ・ **ERROR** : その他
 - ・ **OVER MAX# CLIPS** : 1 枚の P2 カードに記録できるクリップ数の最大値 (1000 個) を超えて記録しようとした。
 - ・ **PULL DOWN ERROR** : 24P などのとき、映像プルダウンシーケンスの異常
 - ・ **REC RAM OVERFLOW** : 記録用メモリーのオーバーフロー
- **RUN DOWN CARD**
P2 カードの規定の書き換え回数を超過しているため、動作は継続しますが、正常に記録または再生されないことがあります。P2 カードの交換をお勧めします。
- **SYSTEM ERROR**
システムに異常が発生したときに表示します。一度電源 OFF にしたあと、再度 ON にしてください。
 - ・ **CAM MICON ERROR** : カメラマイコン応答なし
 - ・ **P2 CONTROL ERROR** : P2 制御異常
 - ・ **P2 MICON ERROR** : P2 マイコン応答なし
- **TEMPORARY PAUSE**
IRREGULAR FRM SIG :
GEN LOCK 入力などの基準信号が乱れ、記録を一時中断しているときに表示します。
- **TURN POWER OFF**
カードをアクセス中に抜いて異常が発生したときやシステムモードを切り替えたあとなどに表示します。電源を入れ直してください。
- **WIRELESS RF**
ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪いとき表示されます。

カメラ系状態表示

- **ABB**
ABB動作表示
- **ATW ACTIVE**
ATW動作中にAUTO W/B BALスイッチをAWB側に操作したときに表示します。
- **ATW (ATW LOCK)**
WHITE BALスイッチをBに切り替えたとき、ATWが割り当てられている場合に表示します。
- **AUTO KNEE (ON/OFF)**
AUTO KNEE 選択スイッチを切り替えたときに表示します。
- **AWB**
AWB動作表示
- **AWB P3.2K/AWB P5.6K**
WHITE BAL スwitchをPRST の位置にしたとき、PRSTに割り当てた色温度を表示します。また、PRST位置でAWBを実行しようとしたとき表示します。
- **BACK LIGHT (OFF)**
アイリス制御にBACK LIGHTを割り当てたユーザーボタンを押して、状態を切り替えたときに表示されます。
- **DRS ON (OFF)**
DRSの動作を切り替えたことを表示します。
- **GAIN * * dB**
GAINを切り替えたとき表示します。
- **ND NG**
NDフィルターが正しい位置にないときに表示します。
- **SCENE * * * * ***
SCENE FILEダイヤルを回してシーンファイルを切り替えたときそのシーンファイル名を表示します。
- **SHUTTER 1 / * * * * (OFF)**
シャッタースピードを切り替えたときに表示します。
- **SPOT LIGHT (OFF)**
アイリス制御にSPOT LIGHTを割り当てたユーザーボタンを押して、状態を切り替えたときに表示されます。
- **FBC ON (OFF)**
FBCの動作を切り替えたことを表示します。

撮影状態の確認と表示

- 記録待機、または記録中に DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると、各種撮影機能の設定状態、USER ボタンに割り当てた機能の一覧など、すべての情報が表示されます。ボタンから手を離すと通常の表示に戻ります。
- 記録待機、または記録中に DISP/MODE CHK ボタンを押すと、すべての表示が OFF になります。もう一度押すと通常の表示に戻ります。
- 電源 OFF にする、またはメディアや動作モードを切り替えても維持されます。
- ビューファインダー / LCD 画面に表示する下記の項目は、DISP/MODE CHK ボタンを押したときや、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目の設定により表示します。



DISP/MODE CHK ボタン

No	表示項目の名称	MODE CHECKで表示される項目に ○	DISPLAY OFFで消える項目に ○	OTHER DISPLAY項目の設定での表示、非表示 —：影響されない、○：表示される、×：消える			その他のメニュー項目によって個別に非表示にできる —：影響されない
				ALL	PARTIAL	OFF	
1	タイムコード表示	○	消えない	—	—	—	—
2	ワーニング情報	○	消えない	—	—	—	CARD/BATT項目 ^{*1}
3	バックアップ用機器の状態	○	消えない	—	—	—	—
4	記録フォーマット、およびシステムモード	○	○	○	×	×	—
5	情報表示 (中央部)	×	消えない	—	—	—	—
6	PROXY情報 (オプション)	○	消えない	—	—	—	—
7	レターボックス記録	○	○	—	—	—	—
8	Y GETの輝度	○	消えない	—	—	—	—
9	日付と時刻	○	○	—	—	—	DATE/TIME項目
10	撮影/記録・再生フレームレート	○	○	○	○	×	—
11	AUDIOレベルメーター	○	○	—	—	—	LEVEL METER項目
12	シャッタースピード	○	○	○	○	×	—
13	DRS	○	○	○	○	×	—
14	アイリス	○	○	○	○	×	—
15	オートアイリス制御	○	○	○	○	×	—
16	ズームポジション	○	○	—	—	—	ZOOM項目
17	推奨NDフィルター	○	○	○	○	×	—
18	NDフィルター	○	○	○	×	×	—
19	ゲイン	○	○	○	○ 0 dBは表示しない	×	—
20	WHITE BAL スイッチポジション	○	○	○	○ ATW. LOCK、P3.2K、P5.6Kのみ表示	×	—
21	FBC	○	○	○	○	×	—
22	CAC (レンズ収差補正)	○	○	—	—	—	—
23	シーンファイル名	○	○	○	×	×	—
24	バッテリー残量	○	○ 残量が少なくなると表示	—	—	—	CARD/BATT項目
25	メディア残量	○	○ 残量が少なくなると表示	—	—	—	CARD/BATT項目
26	メディア情報	○	○ SLOT SEL実行では点灯	○	○	×	CARD/BATT項目
27	記録再生の動作状態	○	○ 記録中と特殊記録モード時のみ右上に表示	○	○	×	—

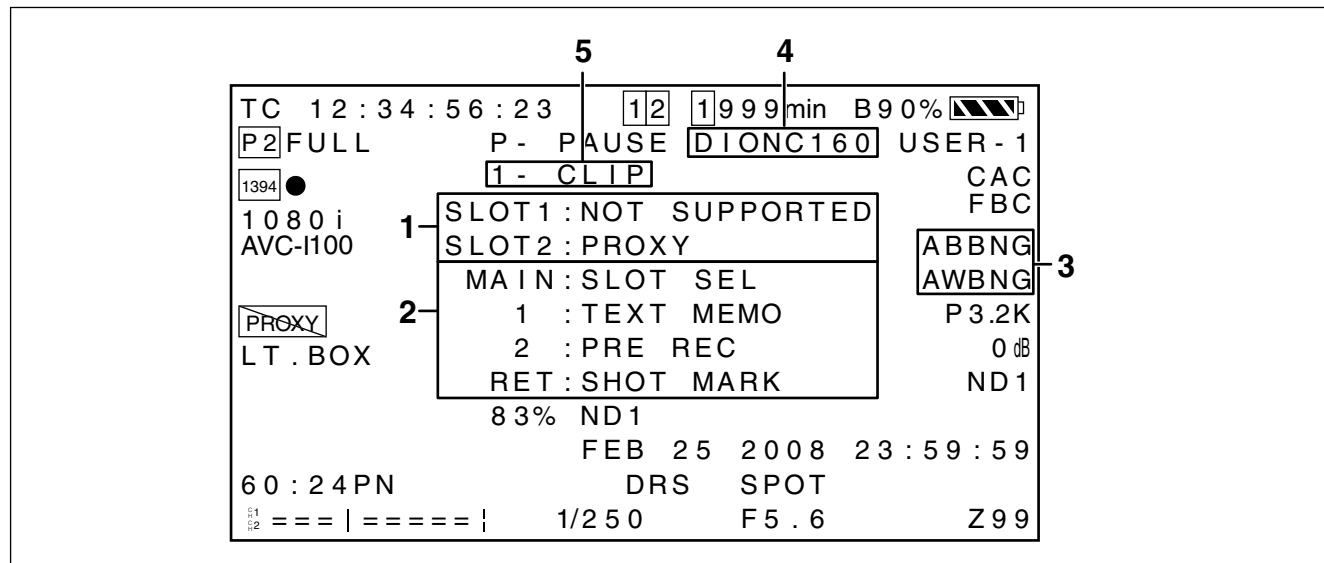
(次ページへつづく)

No	表示項目の名称	MODE CHECKで表示される項目に ○	DISPLAY OFFで消える項目に ○	OTHER DISPLAY項目の設定での表示、非表示 —：影響されない、○：表示される、×：消える			その他のメニュー項目によって個別に非表示にできる —：影響されない
				ALL	PARTIAL	OFF	
28	ワンクリップレックモードの状態	○	○	○	○	× 新たなクリップの記録開始と終了時には表示	—

*1 P2カード未挿入時の警告のみ非表示

MODE CHECKでの表示

MODE CHECKではほとんどの情報が表示されます。
下記の1～5については、MODE CHECK時のみ表示されます。



1 P2カードスロット状態表示

P2カードスロット1/2の各状態を表示します。

- **ACTIVE** :
READ/WRITE可能なカード（記録対象含む）
- **ACCESSING** :
現在READ/WRITE中のカード
- **INFO READING** :
カードを認識中
- **FULL** : 記録残容量がないP2カード
- **PROTECTED** :
ライトプロテクト状態のP2カード
- **NOT SUPPORTED** :
使用できないカード、認識できないカード
- **FORMAT ERROR** :
正規のフォーマットがされていないP2カード
- **NO CARD** :
カードが挿入されていない
- **PROXY (オプション)** :
PROXYカード
- **表示なし** : USB DEVICEモード中

2 USERボタンおよびレンズのRETボタンの割り当て情報表示

各USERボタンおよびレンズのRETボタンに割り当てられている機能の情報を表示します。

- 「USERボタンへの機能割り当て」（55ページ）参照
- 「RET SW」（131ページ）参照

3 AWB、ABB異常表示

AWBおよびABBが正しく動作しなかったとき、MODE CHECKでその状態を表示します。

4 バッテリー種類表示

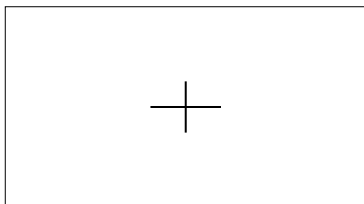
現在、バッテリー残量検出に選択しているバッテリー種類を表示します。

5 ワンクリップレックモードの状態表示

→ 「ワンクリップレックモードの状態表示」（70ページ）参照

センターマーカ表示

設定メニューのDISPLAY SETUP画面のMARKER項目をONに設定しているときに表示します。



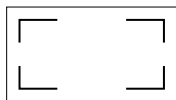
◆ NOTE

センターマーカ表示は、液晶モニター、ビューファインダーのみ表示されます。VIDEO OUT、SDI OUTでは表示されません。

セーフティーゾーンの表示

設定メニューのDISPLAY SETUP画面のSAFETY ZONE項目で選択したものが表示されます。

- ・OFF：表示しません。
- ・90%：一般的な家庭用テレビで表示できる範囲を表示します。



- ・4:3：4:3に切り出した位置を表示します。



- ・13:9：13:9に切り出した位置を表示します。



- ・14:9：14:9に切り出した位置を表示します。



◆ NOTE

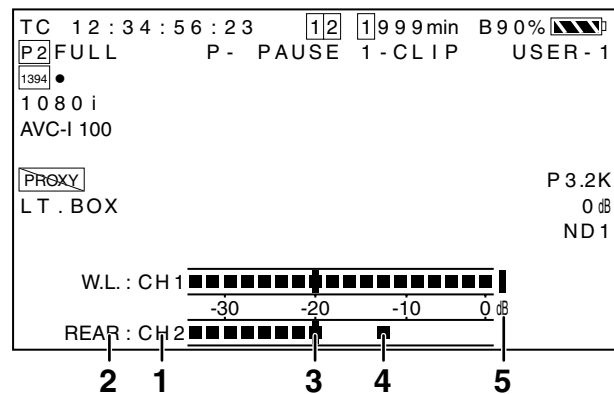
- ・SYSTEM SETUP画面のSYSTEM MODE項目の設定が480-59.94iでASPECT CONV項目がSIDE CROPおよびLETTER BOXのときは、4:3、13:9、14:9を選択しても表示されません。
- ・セーフティーゾーン表示は、液晶モニター、ビューファインダーのみ表示されます。VIDEO OUT、SDI OUTでは表示されません。

オーディオ拡大表示

MAG A. LVLを割り当てたUSERボタンを押すと表示します（設定メニューのDISPLAY SETUPメニューのLEVEL METERの設定がOFFでも表示）。

もう一度押すと通常表示に戻ります。

オーディオ拡大表示中にMODE CHECKを行うと、MODE CHECK表示に切り替わり、MODE CHECK後は通常表示に戻ります。



1 チャンネル表示

モニターしているオーディオチャンネルを表示します。

2 入力系統表示

オーディオの入力系統（AUDIO INスイッチ）を表示します。

- ・FRONT
- ・W.L. (WIRELESS)
- ・REAR

3 基準レベルバー

設定メニューのAUDIO SETUPメニューのHEADROOM項目の設定に従って、-20 dBまたは-18 dBの位置に常時表示します。

4 ピークホールド表示

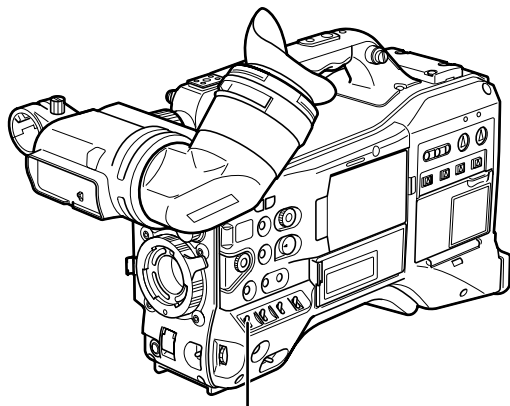
オーディオのピークレベルを1秒間ホールドして表示します。

5 レベルオーバー表示

オーディオレベルがオーバーしたときに赤く表示されます。

ゼブラパターンの表示

本機は2種類のゼブラパターンを表示できます。ZEBRAスイッチをONにすると、ビューファインダーおよび液晶モニターにメニューで設定されているゼブラパターンが表示されます。また、メニュー設定により、VIDEO OUT端子の映像にもゼブラパターンを表示することができます。

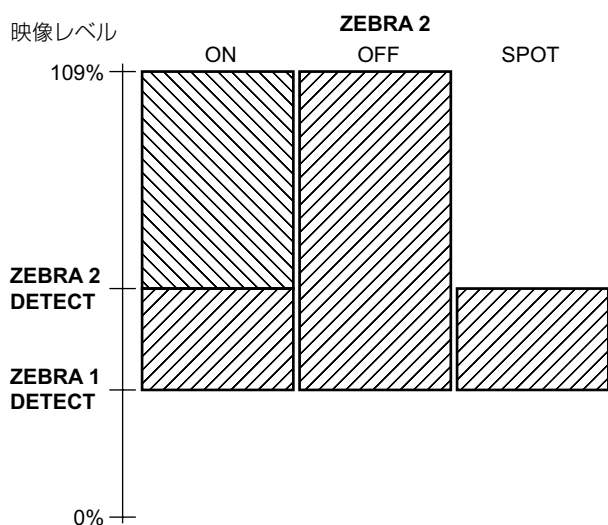


ZEBRAスイッチ

ゼブラパターンを表示するレベルは、設定メニューのDISPLAY SETUP画面で設定できます。

項目	設定値	設定内容
ZEBRA1 DETECT	50%…70%…109%	右側に傾いたゼブラパターン1のレベルを設定します。
ZEBRA2 DETECT	50%…85%…109%	左側に傾いたゼブラパターン2のレベルを設定します。
ZEBRA2	ON、SPOT、OFF	ZEBRA2のタイプを選択します。

下線は工場出荷時の設定です。
SPOT：ZEBRA1の設定値からZEBRA2の設定値までの間の映像レベルがゼブラパターンで表示されます。



VIDEO OUT端子の映像にゼブラパターンを表示させる場合は、設定メニューのOUTPUT SEL画面で設定してください。

OUTPUT SEL画面

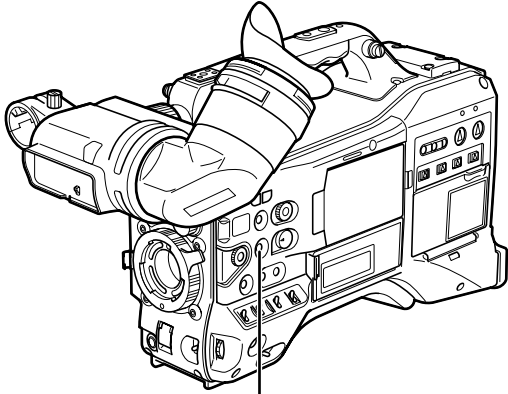
項目	設定値	設定内容
VIDEO OUT ZEBRA	ON： 本機の液晶モニターとビューファインダーに表示されるゼブラパターンがVIDEO OUT端子からの映像にも表示されます。 OFF： VIDEO OUT端子からの映像にはゼブラパターンは表示されません。	VIDEO OUTにゼブラパターンを重畳するかどうかを選択します。

フォーカスアシスト機能

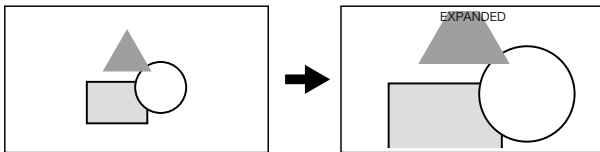
フォーカスを合わせやすくするために、拡大表示とフォーカスバー表示をすることができます。

拡大表示 (EXPANDED) :

FOCUS ASSIST ボタンを押すと、画面中央部分が約3倍に拡大表示されて、フォーカスを容易に合わせることができます。



FOCUS ASSIST ボタン



- ・ 拡大表示中は状態表示およびゼブラパターンが消え、画面上部に「EXPANDED」と表示されます。
- ・ 記録中は拡大表示しません。

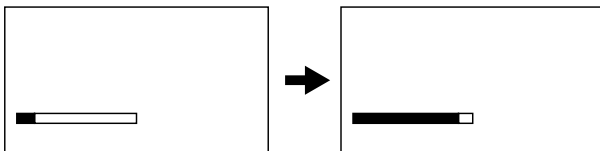
◆ NOTE

液晶モニター、ビューファインダーのみ拡大表示されます。
VIDEO OUT、SDI OUT、HDMI OUTでは拡大表示されませんが、各種ステータスを表示している場合、ステータス表示は消えます。

フォーカスバー表示 (FOCUS BAR) :

設定メニュー DISPLAY SETUP画面のFOCUSBAR項目をONにすると、フォーカスバーを表示することができます。

フォーカスが合っている度合いをバーの長さで表示します。



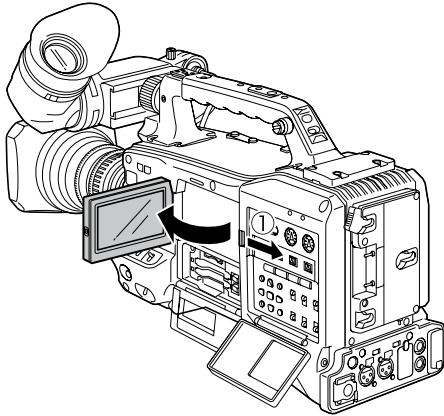
フォーカスが合っていないとき

フォーカスが合ってくると、バーが右方向に伸びる

液晶モニターの調整と設定

液晶モニターを使う

- 1 POWERスイッチをONにする
- 2 OPEN ボタンを矢印①の方向に押し、液晶モニターを開ける



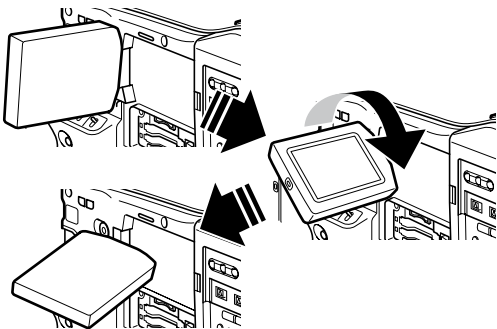
◆ NOTE

開く角度は120°までです。それ以上無理に開けると本機の故障につながります。

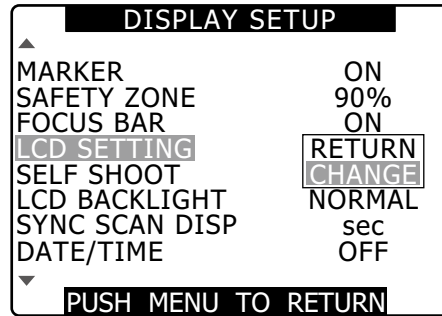
- 3 液晶モニターの画面が、一番見やすい位置にする
・レンズ方向に180°、手前方向に90°まで回転します。

◆ NOTE

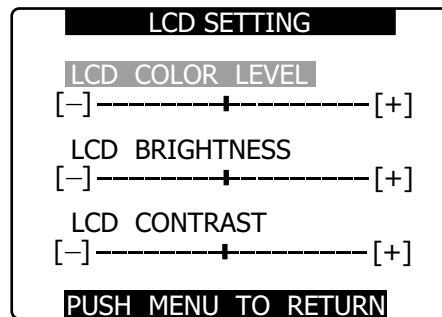
開けた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。



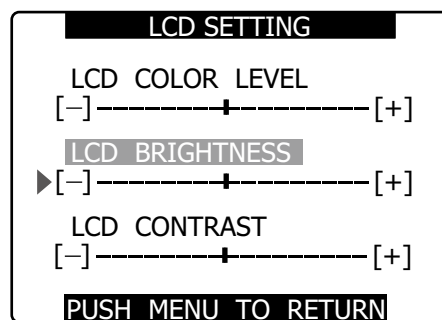
- 4 設定メニューのDISPLAY SETUP画面のLCD SETTING項目のサブ画面で画面のカラーレベル・輝度・コントラストを調整する
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ)参照
・LCD SETTING項目でCHANGEを選びます。



- 5 設定する項目をジョグダイヤルボタンで選択する



- 6 ジョグダイヤルボタンを押して項目を確定し、ジョグダイヤルボタンを回して調整する



◆ NOTE

- ・設定メニューのLCD SETTINGの各項目を設定して、設定値が変更可能な状態のときRESETボタンを押すと、その項目の設定値を工場出荷値にすることができます。
- ・液晶モニターを閉めるときは、確実に閉めてください。
- ・温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。その場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ・液晶画面の露や汚れを乾いた布でこするように拭き取ると画面上に色ムラが残る場合がありますが、故障ではありません。色ムラは数分で消えてなくなります。
- ・カメラレコーダーが冷え切っている場合、電源ONの直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- ・電源を入れた状態でバッテリーをはずしたり、外部DC電源プラグを抜いたりすると、液晶画面にしばらく画像が残る場合がありますが、故障ではありません。そのまま放置しておくことで消えてなくなります。
- ・低温時に残像が増えて見えることがありますが、故障ではありません。

対面撮影について

液晶モニターをレンズ側に180°回転させて撮影を行うとき、設定メニューのDISPLAY SETUP画面のSELF SHOOT項目でMIRRORに設定すると、液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。鏡を見ているイメージでの撮影が可能になります。ただし、左右反転されるのは液晶モニターの表示のみです。記録は通常どおり行われます。このとき、液晶モニターの状態表示およびウェーブフォームのベクトル表示は全て消えます。設定メニューやサムネイル表示中は左右反転しません。

ウェーブフォームモニター 機能

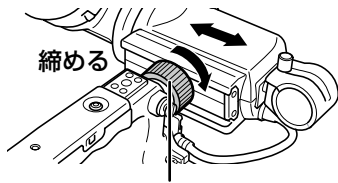
USERボタンにWFM機能を割り当て、そのUSERボタンを押すと、液晶モニターに映像の波形を表示することができます。もう一度ボタンを押すと通常表示に戻ります。

- ・設定メニューのSW MODE画面のWFM項目(→131ページ)で波形表示とベクトル表示を切り替えることができます。
- ・ビューファインダーには波形表示されません。
- ・フォーカスアシスト機能(EXPANDED)の動作中は表示されません。
- ・波形表示は記録することはできません。

ビューファインダーの調整と設定

ビューファインダーの左右位置調整

- 1 ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめる
- 2 ビューファインダーを左右にスライドさせ、見やすい位置に調整する



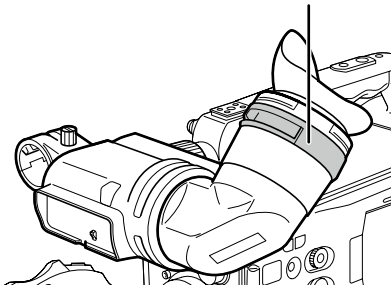
ビューファインダー左右位置固定リング

- 3 ビューファインダー左右位置固定リングを締める

視度調整

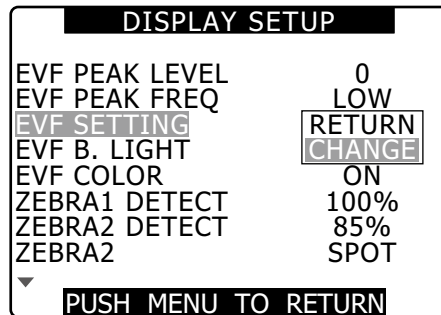
- 1 カメラのPOWERスイッチをONにする
・ビューファインダーに画像が見えます。
- 2 視度調整リングを回して、ビューファインダーの画像がはっきり見えるように調整する

視度調整リング

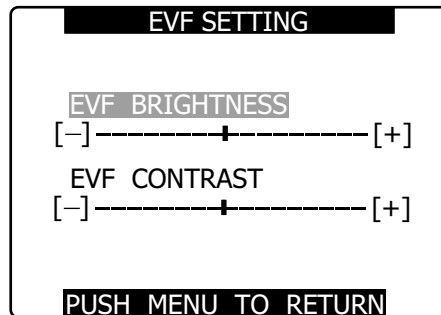


ビューファインダーを使う

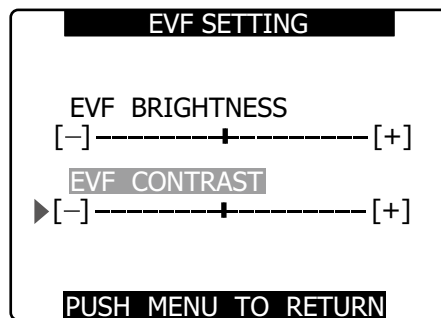
- 1 POWERスイッチをONにする
- 2 設定メニューのDISPLAY SETUP画面のEVF SETTING項目のサブ画面で、画面の輝度・コントラストを調整する
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ)参照
・EVF SETTING項目でCHANGEを選びます。



- 3 設定する項目をジョグダイヤルボタンで選択する



- 4 ジョグダイヤルボタンを押して項目を確定し、ジョグダイヤルボタンを回して調整する



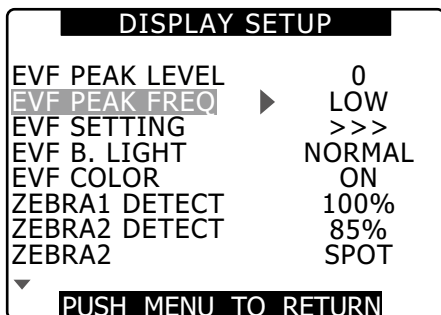
◆ NOTE

- ・設定メニューのEVF SETTINGの各項目を設定して、設定値が変更可能な状態のときRESETボタンを押すと、その項目の設定値を工場出荷値にすることができます。
- ・カメラレコーダーが冷え切っている場合、電源ONの直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- ・以下はいずれもビューファインダー上の現象であり、故障ではありません。また、本体の記録および出力信号には影響ありません。
 - ビューファインダー内で視線を動かした場合などに、原色（赤、青、緑）が見えることがあります。
 - 低温時に画面にピンクの色ムラが見えることがあります。
 - 本体に通電していない状態で、画面に黒いしみが見えることがありますが、通電するとなくなります。
- ・低温時に残像が増えて見えることがありますが、故障ではありません。

映像の輪郭を強調する

ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭を強調することで、フォーカスが合わせやすくなります。輪郭を強調しても、カメラから出力される映像や記録される映像には影響ありません。

- 1 設定メニューのDISPLAY SETUP画面のEVF PEAK LEVEL、EVF PEAK FREQを調整する



ビューファインダーの映像を白黒モードにする

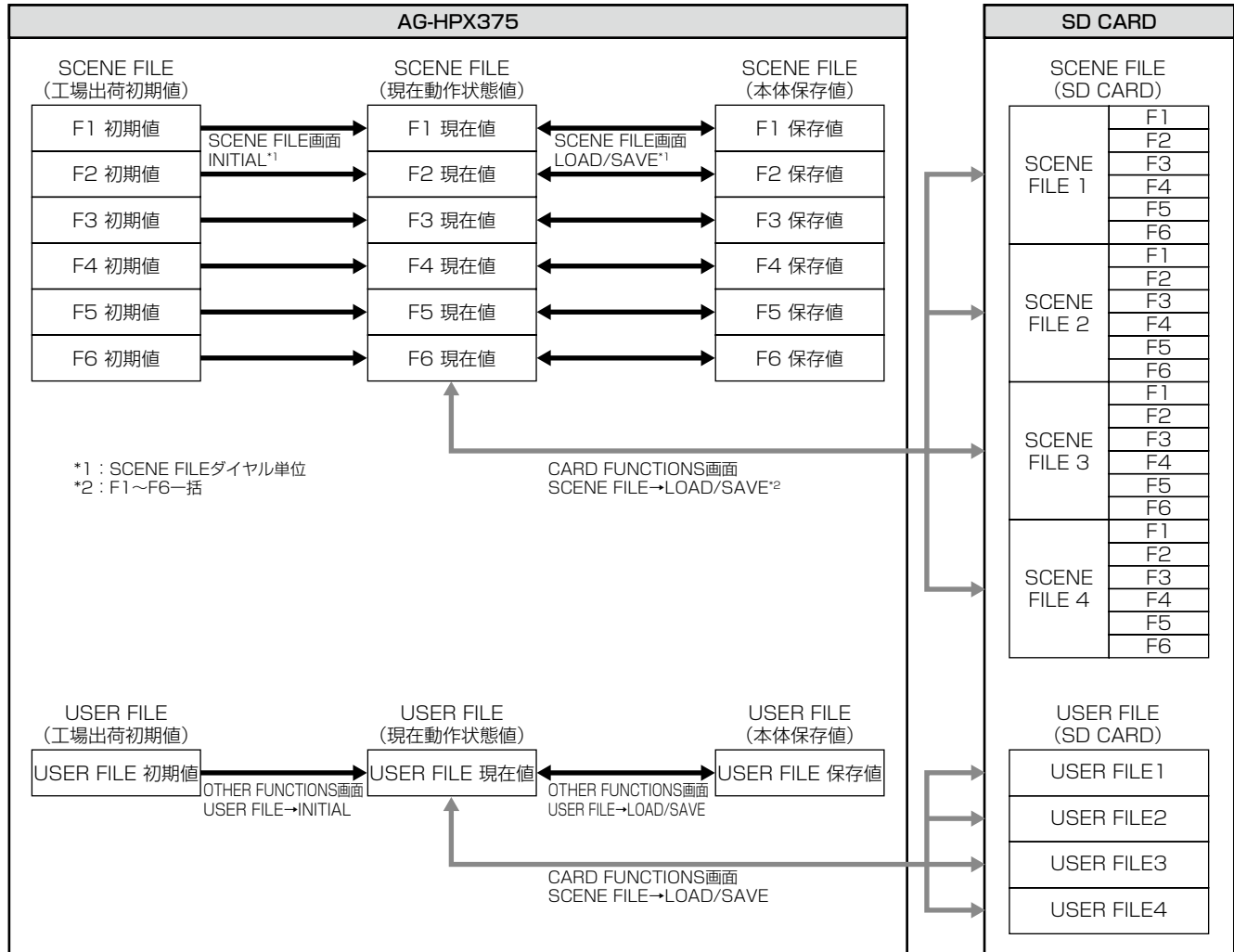
DISPLAY SETUP画面のEVF COLOR項目をOFFに設定すると、ビューファインダーの映像を白黒にできます。

設定データの取り扱い

設定データのファイル構成

本機は、SCENE FILE ダイアルに合わせて F1 ~ F6 の SCENE FILE を本機内に保存できます。SDメモリーカードを使用すると、F1 ~ F6 のデータを一括して最大4つまでカード内のファイルに保存し、読み出して使用することができます。

また、設定メニュー値をユーザーファイルとして本機内に1つ、SDメモリーカードに最大4つまで保存することができます。本機の設定データファイルの構成は、下記のようになっています。



◆ NOTE

- 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のMENU INIT項目を実行すると、SCENE FILE F1 ~ F6のすべての現在動作状態の値と本体保存値およびUSER FILEの現在動作状態の値と本体保存値を、一括して工場出荷時の状態に戻すことができます。ただし、TIMEZONEの設定は工場出荷時の設定には戻りません。
- 各設定データファイルの操作は、再生中や設定メニューのSYSTEM SETUP画面のPC MODE項目をONに設定しているときは、エラーになることがあります。PC MODE項目をOFFに設定してから操作してください。
- ワンクリップレックで前のクリップに連結して記録可能な状態のとき(「1*CLIP」と表示されているとき)は、SCENE FILEやUSER FILEを操作できません。一度メニューを閉じた後、STOPボタンを約2秒間押し続けてクリップ連結を終了させてから、再度操作してください。

SDメモリーカードによるセットアップ

SD、またはSDHCメモリーカード（別売品）をセットアップカードとして使用し、設定メニューの内容を4ファイルまで記憶させることができます。

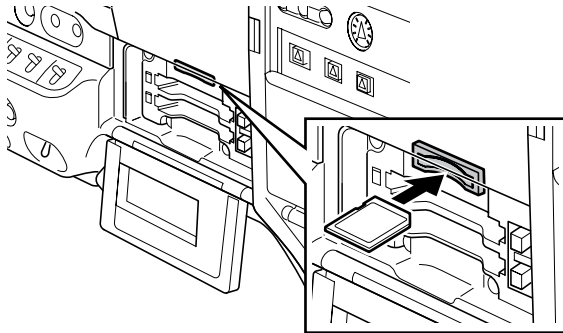
このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

SDメモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードは、電源ONの前でもONのあとでも出し入れすることができます。

SDメモリーカードを入れるには

スロットカバーを開け、SDメモリーカード（別売品）のラベル面を上にして、SDメモリーカード挿入口に差し込み、スロットカバーを閉めます。



◆ NOTE

- ・SDメモリーカードの向きが正しいことを確認してからSDメモリーカードを入れてください。入れるときに抵抗があって入りにくいときは、SDメモリーカードが裏向き、または前後が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。
- ・本機にはSD規格、SDHC規格に準拠したSDメモリーカードをご使用ください。

SDメモリーカードの取り扱いについては「SDメモリーカードの使用上の注意」（23ページ）を参照してください。

SDメモリーカードを取り出すには

スロットカバーを開け、BUSYランプが点灯していないことを確認してからSDメモリーカードをさらに本体側へ押し込み、離します。SDメモリーカードが挿入口から浮いてきますので、SDメモリーカードを引き抜いて、スロットカバーを閉めます。

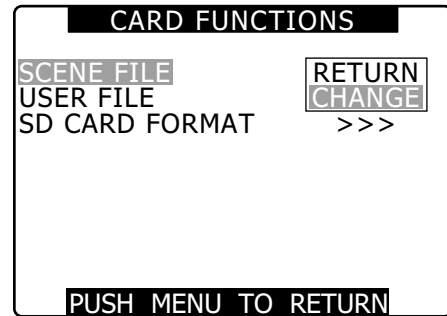
使用時、保管時は下記の項目にご注意ください。

- ・高温・多湿を避ける。
- ・水滴を付けない。
- ・帯電を避ける。

SDメモリーカードは、本機に挿入してとびらを閉めた状態で保存してください。

SDメモリーカードの操作

SDメモリーカードのフォーマットや、設定データのSDメモリーカードへの書き込み、または書き込まれたデータの読み出し操作は、設定メニューのCARD FUNCTIONS画面で行います。



また、本機以外の機器でSD/SDHC規格以外のフォーマットを行ったSDメモリーカードを挿入すると、画面右上にFORMAT ERRORと表示されます。この場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください。

→「SDメモリーカードをフォーマットするには」（このページ）参照

SDメモリーカードをフォーマットするには

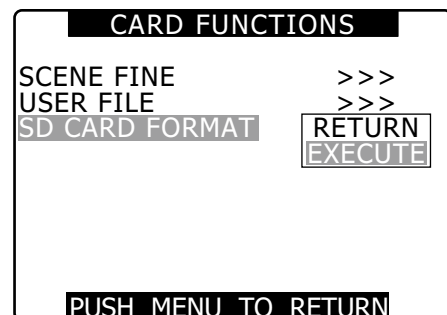
◆ NOTE

SDメモリーカードは、サムネール画面からもフォーマットができます。

→「SDメモリーカードのフォーマット」（117ページ）参照

- 1 設定メニューのCARD FUNCTIONS画面のSD CARD FORMAT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」（122ページ）参照

- 2 EXECUTEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



- 3 確認画面でYESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す
・SD CARD FORMAT OKと表示され、SDメモリーカードがフォーマットされます。

◆ NOTE

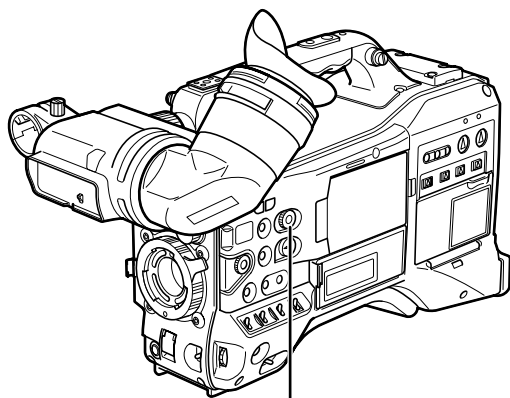
フォーマットにより消去されたデータは、復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

ジョグダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
SD CARD FORMAT NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入 されていません)	SDメモリーカードを挿入 します。
SD CARD FORMAT NG ERROR (フォーマットができません)	SDメモリーカードの不良 が考えられます。 カードを交換します。
SD CARD FORMAT NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされてい ます)	SDメモリーカードを取り 出してプロテクトを解除し てください。
SD CARD FORMAT NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	SDメモリーカードにアク セスできません。 現在のアクセスが終了して から、再度フォーマットを 行ってください。

シーンファイルデータの 使い方

- ・各種撮影状況に応じた設定を、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存しています。
- ・撮影時、シーンファイルダイヤルで瞬時に必要なファイルが読み出せます。
- ・シーンファイルの設定値は、各メニュー項目で変更することもできます。また、変更したシーンファイルを、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存することもできます。



シーンファイルダイヤル

- ・記録中にシーンファイルを変更しても、VFR項目とFRAME RATE項目は変更されません。これらの項目を変更する場合は、記録待機状態にしてください。

工場出荷時の設定

- ・ **F1 (SCENE)**
標準の撮影に適したファイル。
- ・ **F2 (SCENE FLUO.)**
蛍光灯の特性を考慮した撮影（屋内撮影などの撮影）に適したファイル。

- ・ **F3 (SCENE SPARK)**
解像度、色合い、コントラストにメリハリをつけたSD撮影に適したファイル。
- ・ **F4 (SCENE B-STR)**
暗い部分の階調を広げた撮影（夕暮れなどの撮影）に適したファイル。
- ・ **F5 (SCENE CINE V)**
コントラスト重視の映画感覚の撮影に適したファイル。
- ・ **F6 (SCENE CINE D)**
ダイナミックレンジ重視の映画感覚の撮影に適したファイル。

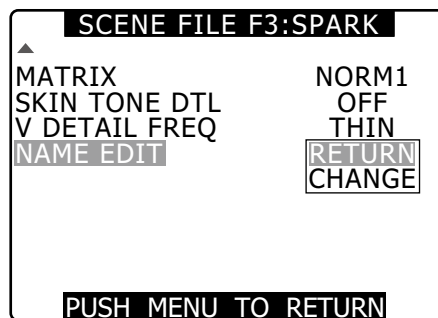
◆ NOTE

シーンファイルを変更しても、SYSTEM MODE項目は変更されません。設定メニューのSYSTEM SETUP画面の各項目で設定してください。

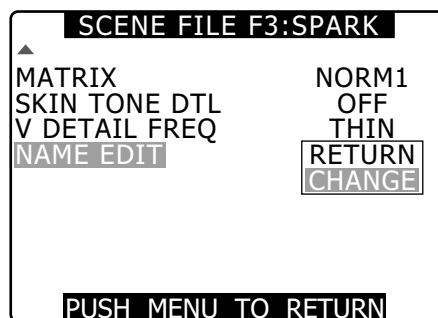
シーンファイルの設定変更

■ 例1：シーンファイルのファイル名を変更する

- 1 シーンファイルダイヤルを回して、変更するシーンファイルを選ぶ
- 2 設定メニューのSCENE FILE画面のNAME EDIT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」（122ページ）参照

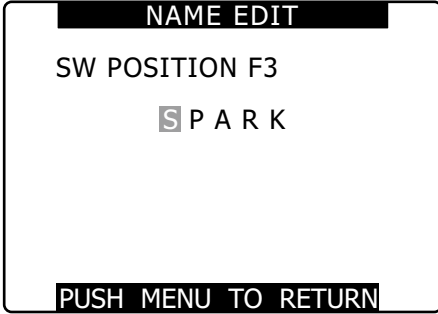


- 3 CHANGEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



4 下記の画面が表示されたら、ジョグダイヤルボタンで6文字のファイル名を設定する

- ・ジョグダイヤルボタンを回すと、文字表示がスペース (□) → アルファベット (A ~ Z) → 数字 (0 ~ 9) → 記号 (:;<=>?@ [¥] ^_./) の順に切り替わります。
- ・ファイル名を設定しているときに、RESET ボタンを押すと、文字がクリアされます。

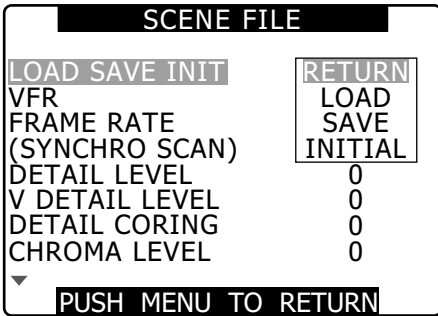


- ・MENU ボタンを押すと、NAME EDIT が終了します。変更した値が確定すると、電源 OFF にしたりダイヤルを変更しても保持されます。また、シーンファイルの各項目の設定も同様に保持されます。

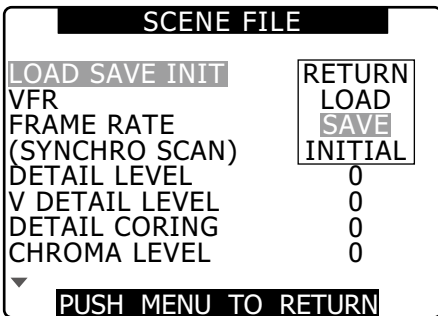
■ 例2：F1のシーンデータを本機に保存する

1 設定メニューのSCENE FILE画面のLOAD/SAVE/INT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

- メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

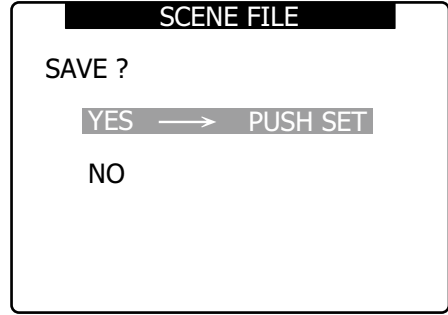


2 SAVEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



3 YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

- ・一階層上の設定メニューに戻るにはMENU ボタンを押します。



- ・PROCESSING と表示され、設定の変更が終了すると、下記のようなメッセージが表示されます。



- ・シーンファイルの設定変更後、前回保存した設定値に戻す場合は、2の操作でLOADを選択して3の操作を同様に行います。
- ・シーンファイルの設定値を工場出荷時の設定に戻す場合は、2の操作でINITIALを選び、3の操作を同様に行います。
- ・ユーザーファイルの設定の保存、読み出し、工場出荷時の設定に戻す場合は、設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のUSER FILE項目で、シーンファイル時と同様に操作を行います。

SDメモリーカードにシーンファイルなどを保存する

設定したシーンファイルやその他の設定値をまとめて、ファイルとしてそれぞれ4つまで、SDメモリーカードに保存、読み出しすることができます。

- ・シーンファイルの場合、現在の設定値は自動的に本機に保存され、その保存したデータをSDメモリーカードに書き込みます。SDメモリーカードから読み出したときは、本機内の保存データと同時に、現在の設定値も書き替わります。
- ・F1 ~ F6すべてのシーンファイルが書き替わります。SDメモリーカードの取り扱いについては「SDメモリーカードの取り扱い」(83ページ)を参照してください。

下記の説明は、シーンファイルの保存を基本に説明しています。

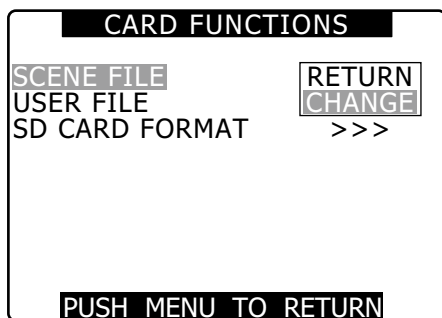
1 POWER スイッチをONにする

2 設定メニューのCARD FUNCTIONS画面のSCENE FILE項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

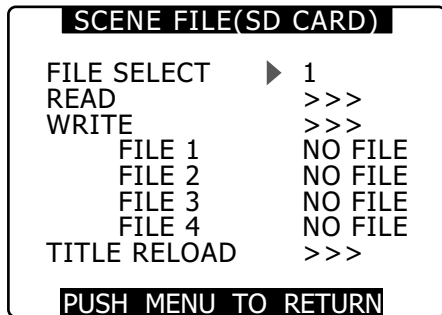
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ)参照

3 CHANGEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

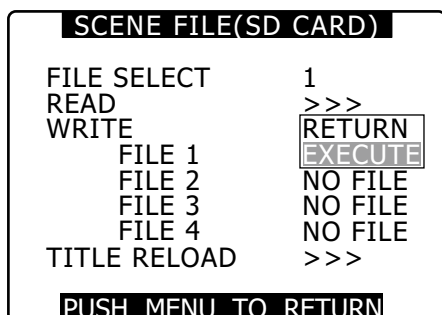
・その他の設定値の場合は、USER FILEを選択します。



4 ジョグダイヤルボタンを押し、ジョグダイヤルボタンを回してファイル番号(1~4)を選び、確定するには再度、ジョグダイヤルボタンを押します。

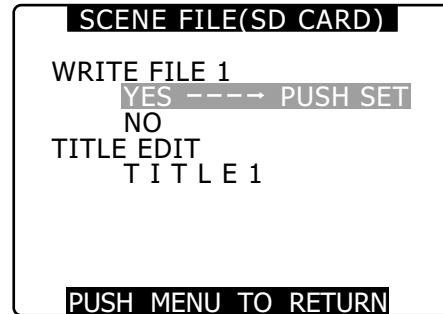


5 WRITEを選んでジョグダイヤルボタンを押し、EXECUTEを選んでジョグダイヤルボタンを押す



6 カーソルボタンを押してジョグダイヤルボタンを回して、YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

・下図の場合は、TITLE1がファイル名になります。
・書き込みが完了すると、WRITE OKが表示されます。



ファイルを読み出すには

手順1~4を行い、手順5でREADを選び、EXECUTEを選択して、ジョグダイヤルボタンを押します。読み込みが完了すると、READ OKが表示されます。ユーザーファイルもCARD FUNCTIONS画面のUSER FILE項目で、シーンファイル時と同様の操作で行います。

SDメモリーカードからファイルを再読み込みするには

手順1~3を行い、手順5でTITLE RELOADを選んだあと、YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押すと、ファイルの再読み込みが行われます。

ファイルにタイトルを付けるには

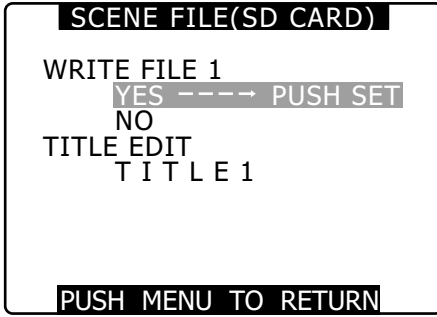
1 手順1~5を行う

2 ジョグダイヤルボタンを回して、文字を選び、ジョグダイヤルボタンを押して次の文字に移動する。

・スペース(□)、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(:;<=>?@[¥]^_./)
・RESETボタンで全文字を消去できます。

3 すべての入力が終わったら、入力したタイトルの右端までカーソルを移動する

4 YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



- ・書き込みが完了すると、WRITE OKが表示されま
す。

◆ NOTE

- ・WRITE NG FORMAT ERRORが表示された場合は、SDメモリー
カードをフォーマットしてください。
- ・WRITE NG WRITE PROTECTが表示された場合は、SDメモ
リーカードのプロテクトを解除してください。
- ・WRITE NG CANNOT ACCESSが表示された場合は、その他
の動作（再生中など）を終了してから操作してください。
- ・WRITE NG ERRORが表示された場合は、SDメモリーカード
の不良が考えられますので、交換してください。

第5章 準備

電源の供給

本機の電源には、バッテリー、または外部DC電源が使用できます。

バッテリーを使用するには

本機との接続検証済みのバッテリーは下記の通りです。

■アントンパワー製

PROPAC14、TRIMPACK14

HYTRON50、HYTRON140

DIONIC90、DIONIC160

■アイ・ディ・エクス (IDX) 製

NP-L7、ENDURA7、ENDURA10

■ソニー製

BP-GL65/95

■PAG製

PAGL95

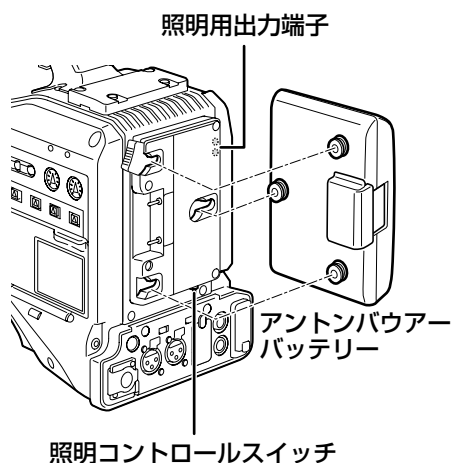
◆ NOTE

- ・ほかのバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応できますが、本機との接続検証済みのバッテリーのご使用を推奨します。
- ・バッテリーをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください)

バッテリーの取り付け、および設定

アントンパワー製バッテリーをご使用の場合

1 アントンパワーバッテリーを取り付ける

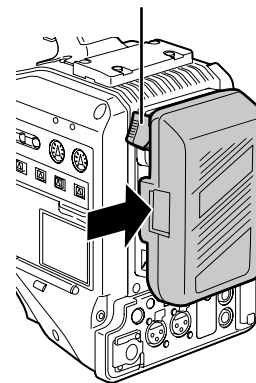


◆ NOTE

アントンパワーバッテリーホルダーには、照明用の電源出力端子と照明コントロールスイッチがついていますので、手軽にライトを取り付けることができます。照明システムの詳細については、アントンパワー社にお問い合わせください。

2 矢印の方向に差し込んでから、スライドさせる

取り外しレバー



◆ NOTE

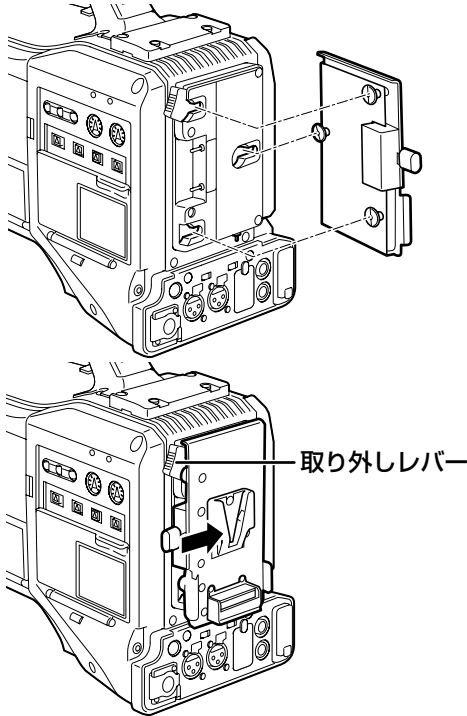
■バッテリーを取り外すには
バッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

3 バッテリーの種類を設定する

- ・設定メニューの BATTERY SETUP 画面の BATTERY SELECT 項目でバッテリーの種類を設定します。

Vマウント式バッテリーをご使用の場合

Vマウントアダプタープレートを取り付けます。下図のように差し込んでから矢印の方向にスライドさせてください。
 ・プレートを取り外すときは、取り外しレバーをスライドさせて取り外してください。



バッテリーの種類を設定します。

- ・設定メニューのBATTERY SETUP画面のBATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を設定します。
 - ・BATTERY SELECT項目にないバッテリーをご使用の場合、ニッケルカドミウムバッテリーはNiCd14 (14 V) に設定して、特性に合わせて各項目を設定してください。ニッケルカドミウムバッテリー以外のバッテリーはTYPE A、またはTYPE Bを設定して、特性に合わせて各項目を設定してください。
- 「BATTERY SETUP画面」(138ページ) 参照

◆ NOTE

- ・Vマウントアダプタープレートに関しては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・Vマウントアダプタープレートを使用する場合は、残量表示機能のあるバッテリーを使用しても% (パーセント) 表示はできません。

NPタイプバッテリーをご使用の場合

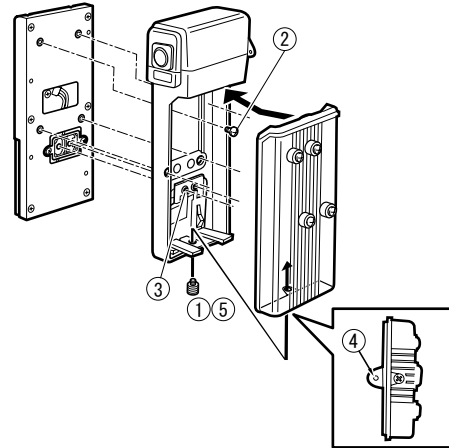
1 Vマウントアダプタープレートを本機に取り付ける

→Vマウント式バッテリーをご使用の場合(このページ) 参照

2 NPタイプバッテリーケースにホルダープレートを取り付ける

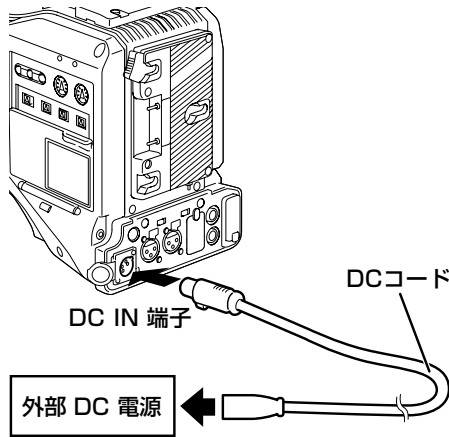
・ホルダープレートにパッキンが付属している場合は、あらかじめバッテリーケースにパッキンを貼り付けてください。

- ①フタ下部のネジを外し、フタを取り外す
- ②バッテリーケースとホルダープレートの穴を合わせて、取り付け用ネジを締める
- ③電源接触用ネジを締める
- ④取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込む
- ⑤フタ下部(金属部分)の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付ける



外部DC電源の使用

1 本機のDC IN端子と外部DC電源を接続する



2 外部DC電源の電源スイッチをONにする（外部DC電源に電源スイッチがある場合）

3 本機のPOWERスイッチをONにする

■外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕のあるものをお選びください。

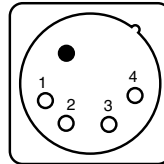
接続機器の合計電流は、

$\text{総消費電力} \div \text{電圧}$

で求めることができます。

本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源投入と連動して電源投入される接続機器（レンズ、ワイヤレスマイク受信機等）の、総消費電力の2倍以上の電力を確保できる外部DC電源のご使用をお勧めします。DCコードはAWG18（公称断面積0.824 mm²）以上の芯線の2芯シールドコードをご使用ください。

・外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。



ピン No.	信号
1	GND
2、3	—
4	+12 V
CASE	Frame GND

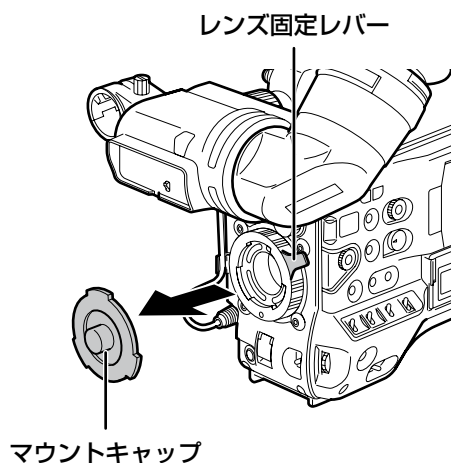
◆ NOTE

- ・バッテリーと外部DC電源の両方を接続した場合、外部DC電源からの電源供給が優先されます。外部DC電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- ・外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにしたあと、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- ・DC IN端子にバッテリーを接続する場合は、設定メニューのBATTERY SETUP画面のEXT DC IN SEL項目でBATTERYに設定し、BATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を設定してください。ただしこの場合、残量表示機能のあるバッテリーでも%表示はできません。

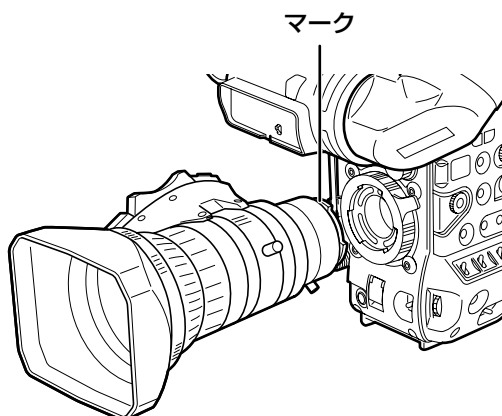
レンズの取り付けと調整

レンズの取り付け

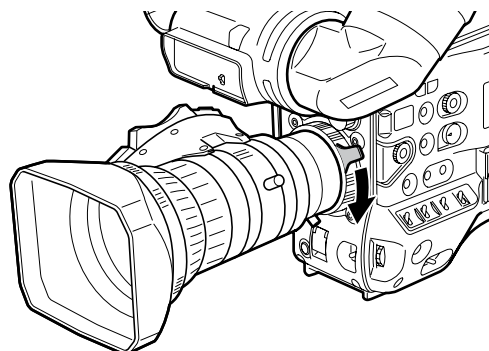
- 1** レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外す



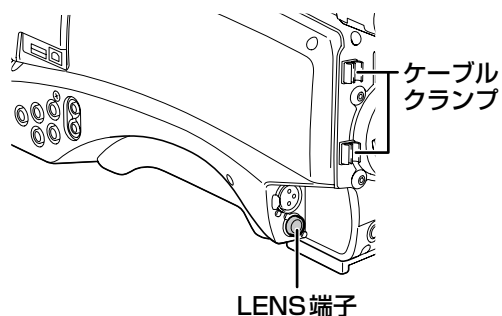
- 2** レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付ける



- 3** レンズ固定レバーを下げて、レンズをしっかり固定する



- 4** ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS端子に接続する



◆ NOTE

レンズ端子から取り出す電流については、170ページを参照してください。

- 5** レンズのフランジバックの調整を行う
→「フランジバック調整」(92ページ) 参照

◆ NOTE

- ・レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書を参照してください。
- ・レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

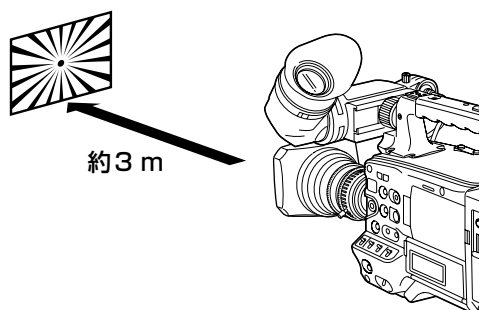
フランジバック調整

ズーム操作のときに望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。一度調整すると、レンズの交換をしない限り、再調整の必要はありません。

◆ NOTE

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。

- 1 カメラにレンズを取り付ける
・レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にする



- 3 フランジバック調整用チャートから約3 m離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定する
・映像レベルが高すぎる場合は、フィルターやシャッターを使用してください。

- 4 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめる

◆ NOTE

レンズによって、F.b（フランジバック）リングと表示されている場合もあります。

- 5 手動、または電動でズームリングを望遠の位置にする
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせる
- 7 ズームリングを広角の位置にし、F.f（フランジフォーカス）リングを回して焦点を合わせる
・このとき、距離リングは動かさないでください。

- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返す

- 9 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジを、確実に閉める

ホワイトシェーディング補正機能

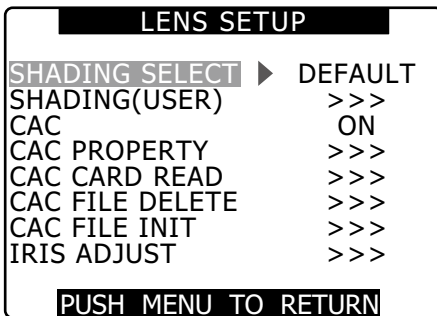
本機は1つの固定のデータ (DEFAULT) と3つの任意に調整可能なデータ (USER1、USER2、USER3) をホワイトシェーディング補正に利用することができます。これらのデータは設定メニューのLENS SETUP画面のSHADING SELECT項目から設定します。OFFに設定すると、シェーディング補正を行いません。

◆ NOTE

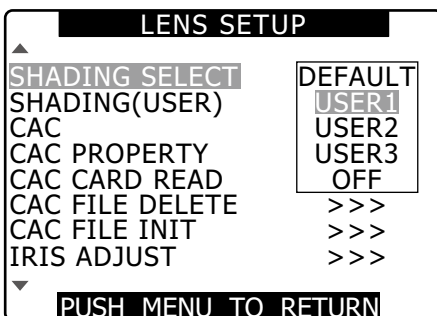
GENLOCKによって映像が乱れた時にホワイトシェーディング調整を行うと、正しく調整できない場合があります。映像が正常に戻った後に、再度ホワイトシェーディング調整を行ってください。

ホワイトシェーディングデータを選択する

- 設定メニューのLENS SETUP画面のSHADING SELECT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照



- ジョグダイヤルボタンで、DEFAULT、USER1、USER2、USER3、OFFのいずれかを選び、ジョグダイヤルボタンを押す
 - ・ホワイトシェーディング調整を行うときは、USER1、USER2、USER3のいずれかを選択してください。
 - ・工場出荷値ではUSER1、USER2、USER3には補正データは記憶されていません。
 - ・DEFAULTにはXT17x4.5BRM-K14に合う補正データが記憶されています。上記以外のレンズを用いる場合は、「ホワイトシェーディング調整を行う」を参照してください。



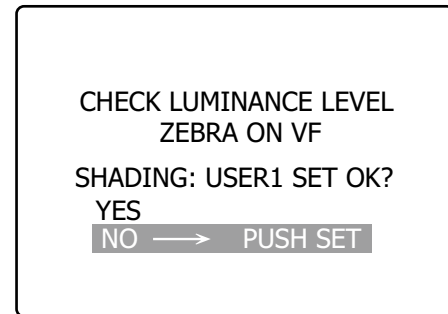
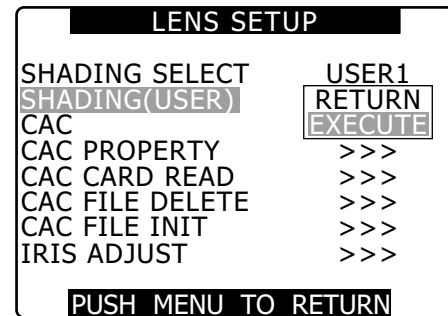
ホワイトシェーディング調整を行う

◆ NOTE

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放 (OPEN) 付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象は光学系の特性で、故障ではありません。

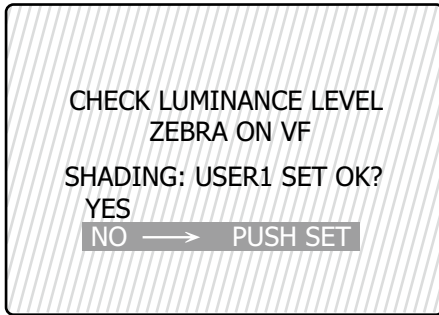
1 調整のためにカメラを設定する

- ①カメラのレンズを取り付けます。
 - ・レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- ②シャッタースイッチをOFFにし、ゲインを0 dB にします。
- ③レンズにエクステンダ機能がついている場合は、エクステンダ機能を外します。
- ④設定メニューのLENS SETUP画面のSHADING SELECT項目でUSER1、USER2、USER3のいずれかが設定されていることを確認します。
- ⑤SHADING (USER) 項目で、EXECUTEを選び、ジョグダイヤルボタンを押します。
 - ・CHECK LUMINANCE LEVEL ZEBRA ON VF というメッセージが表示されます。



2 画面の設定を行う

- ①色ムラの無い白い紙を画面全体に撮影します。
- ②レンズ絞りをマニュアルにして、ビューファインダー画面全体にZEBRAがかかるように、レンズ絞りを調整します。
 - ・照明にムラがあると、画面の一部にZEBRAがかからなくなるので、照明の位置を調整してください。
 - ・白い紙に色温度の異なる複数の光源（例：蛍光灯とハロゲンランプ）が当たらないように調整してください。



◆ NOTE

- ・蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどのフリッカーが発生しにくい光源を用いてください。
- ・レンズ絞りがF4～F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- ・シャッタースイッチは必ずOFFのままにしておいてください。

3 ホワイトバランス/ブラックバランスを調整する

- ①WHITE BAL切り替えスイッチをA、またはBにして、AUTO W/B BALスイッチで、ホワイトバランスの自動調整（AWB）を行います。
- ②AUTO W/B BALスイッチで、ブラックバランスの自動調整（ABB）を行います。
- ③再度、AUTO W/B BALスイッチで、ホワイトバランスの自動調整（AWB）を行います。

4 再度、2-②の操作を行う

5 ホワイトシェーディング調整を実行する

- ①YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押します。
- ②調整中、画面にはSHADING ACTIVEというメッセージが表示されます。
- ③数秒で調整が完了すると、SHADING OKというメッセージが表示されます。
 - ・SHADING NG LEVEL OVER、またはSHADING NG LOW LIGHTなどのエラーメッセージが出たときは、絞りを調節し直してください。
 - ・調整値は設定したメモリー（USER1、USER2、USER3）に自動的に記憶されます。

6 レンズにエクステンダ機能がついている場合は、エクステンダ機能を入れて、2～5の操作を繰り返す

- ・このとき、再度エクステンダ機能を外してホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

色収差補正機能（CAC）

CACは、レンズ自体で補正しきれないわずかな色収差などが主な原因で起こるレジストレーションエラーをカメラレコーダー本体にて自動的に補正し、周辺画像の色にじみを最小限に抑える機能です。

CAC対応レンズを装着したときに、そのレンズのCACデータが本機内にあれば、自動的にCAC動作を開始します。本機の工場出荷時には下記のCACデータを記憶しています。

本機での表示	対応レンズ品番
XT17X4.5BRM-K14	XT17x4.5BRM-K14

◆ NOTE

- ・メニューにおいて、レンズ品番は代表して表示しています。
- ・本機のCACは水平方向にのみ有効です。
- ・+24 dB時はCACは動作しません。
- ・レンズがマクロ撮影のときはCACが正しく動作しないことがあります。
- ・本機の発売以降の対応レンズの追加、変更等に関しては、下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。
<http://panasonic.biz/sav/>

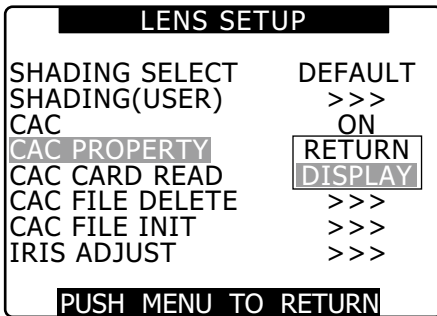
CAC動作状態の確認

メニューが表示されていない状態で、画面右上にCACの文字が表示されれば、CACは動作中です。

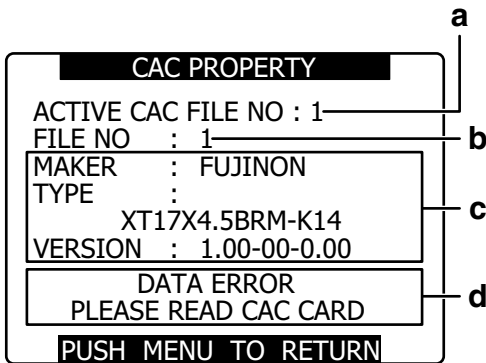
使用中のCACデータ番号、CACデータ情報の確認

- 1 設定メニューのLENS SETUP画面のCAC PROPERTY項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

- 2 DISPLAYを選び、ジョグダイヤルボタンを押す
・CACのプロパティが表示されます。



■ CACのプロパティ

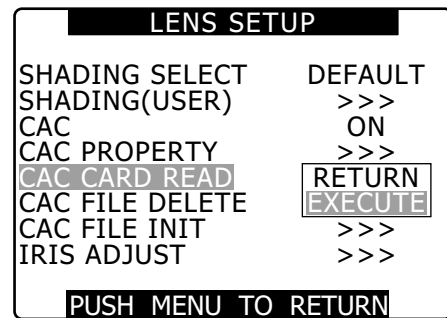


- a 現在使用中のCACデータの番号
- b 確認するCACデータの番号
ジョグダイヤルボタンを回して選択できます。
- c bで番号指定したCACデータの情報
- d エラーメッセージ
エラーメッセージが表示された場合は、使用できないファイルです。CACファイルの初期化を行うか、もう一度SDメモリーカードからCACファイルの読み込みを行ってください。
→ 「CACファイルをSDメモリーカードから読み込む」(このページ)、または「CACファイルを初期化する」(96ページ) 参照

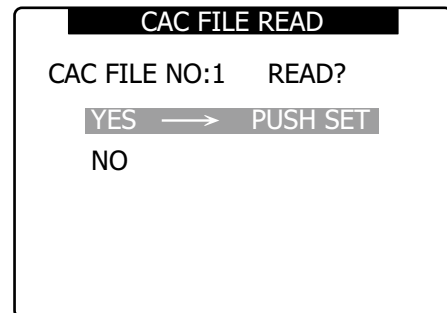
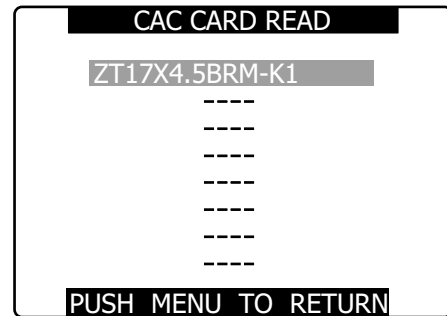
CACファイルをSDメモリーカードから読み込む

- 1 設定メニューのLENS SETUP画面のCAC CARD READ項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

- 2 EXECUTEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



- 3 読み込むCACファイルを選び、確認画面でYESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



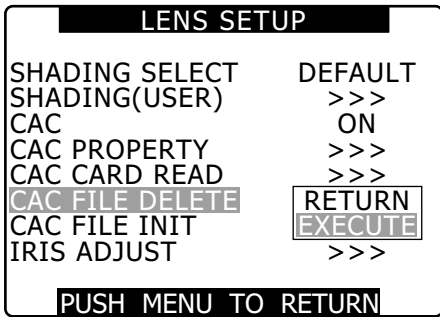
◆ NOTE

- ・本機に読み込みできるファイル数は最大8個です。8個のファイルが本機に読み込まれた状態で読み込み操作を行うとREAD NG CAC FILE FULLと表示されます。新たなファイルを読み込む場合は、いずれかのファイルを消去してから読み込み操作を行ってください。
→「CACファイルの本機から消去する」(このページ) 参照
- ・READ NG FORMAT ERRORが表示された場合、使用できないファイルであるため、読み込みができません。本機で使用可能なファイルであること、もしくはSDメモリーカードに正しくファイルが格納されていることをご確認ください。

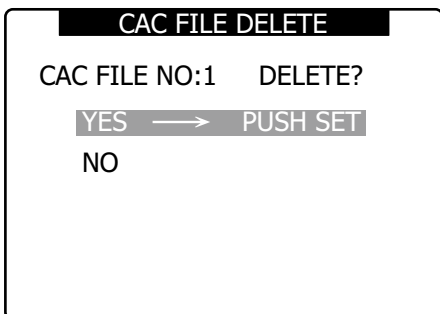
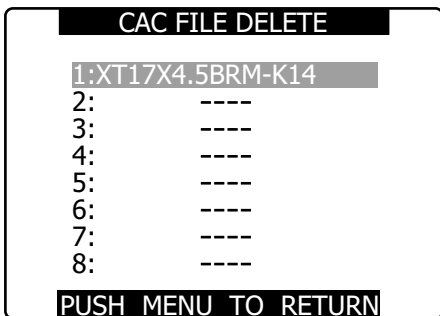
CACファイルの本機から消去する

1 設定メニューのLENS SETUP画面のCAC FILE DELETE項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

2 EXECUTEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



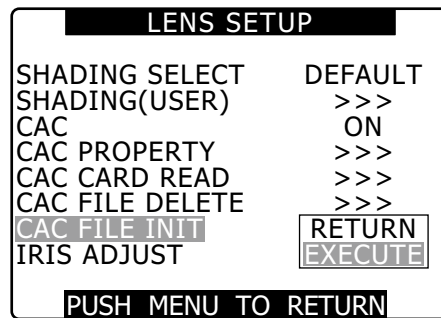
3 消去するCACファイルを選び、確認画面でYESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す
・消去が完了すると表示は----となります。



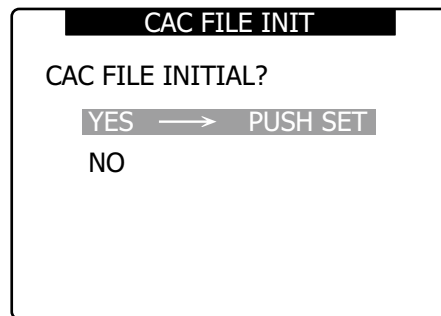
CACファイルを初期化する(工場出荷設定に戻す)

1 設定メニューのLENS SETUP画面のCAC FILE INIT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

2 EXECUTEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



3 確認画面でYESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す
・CAC FILE INIT → PROCESSING → COMPLETED (3つが順次表示されます) と表示されると完了です。
・完了後、表示はLENS SET UP画面に戻ります。



◆ NOTE

本機に読み込みこまれているファイルがすべて消去され、工場出荷時の1つのCACファイルに戻ります。

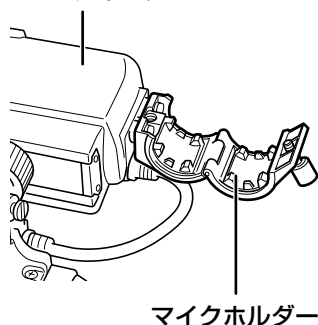
音声入力の準備

本機に入力する音声機器の接続の準備をします。

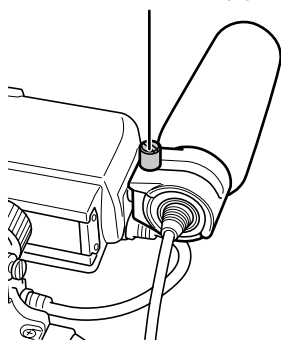
フロントマイクを使用する場合

マイクキットAG-MC200G（別売品）などのマイクを取りつけることができます。

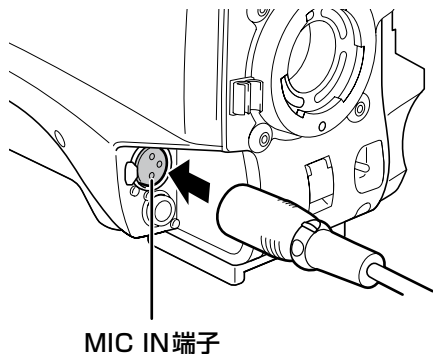
- 1 マイクホルダーを開ける
ビューファインダー



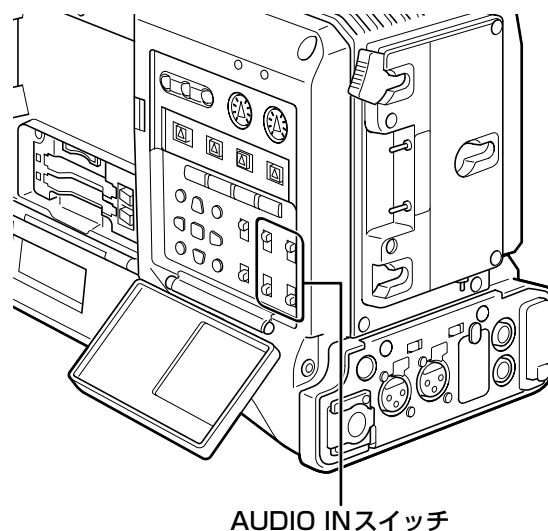
- 2 マイクを取りつけ、固定ネジを締める
ビューファインダー固定ネジ



- 3 マイクの接続ケーブルをカメラのMIC IN端子に接続する

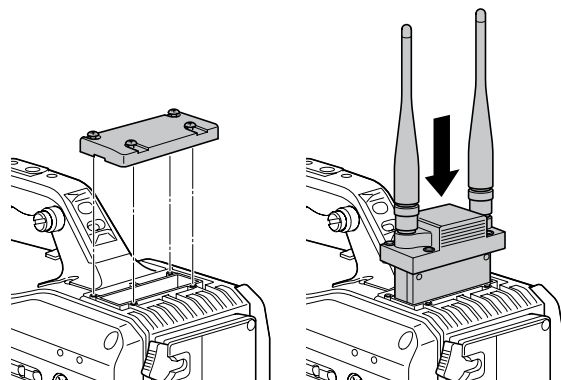


- 4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチをFRONTに切り替える

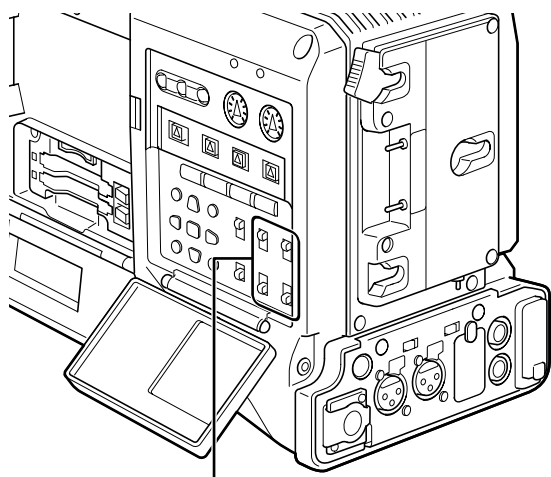


ワイヤレスレシーバーを使用する場合

- 1 ふたを取り外してワイヤレスレシーバーを挿入し、ビス止めする



2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチをW.L.に切り替える



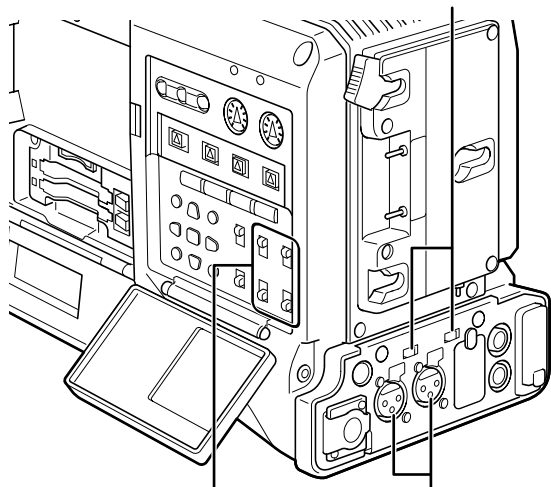
AUDIO INスイッチ

- ・2チャンネル方式のワイヤレスレシーバーを使用する場合は、設定メニューのAUDIO SETUP画面のWIRELESS TYPE項目でDUALを選択してください。

オーディオ機器を使用する場合

- 1 オーディオ機器とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続する
- 2 XLRケーブルを接続したチャンネルのAUDIO INスイッチをREARに切り替える
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチをLINEに切り替える

LINE/MIC/+48V切り替えスイッチ



AUDIO IN端子

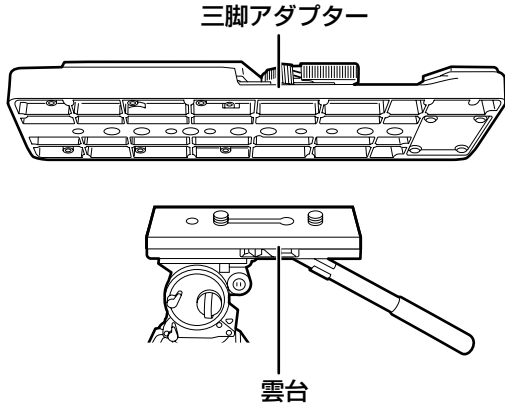
AUDIO INスイッチ

アクセサリーの取り付け

三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、別売の三脚アダプター (SHAN-TM700) を使います。

1 三脚アダプターを三脚に取り付ける

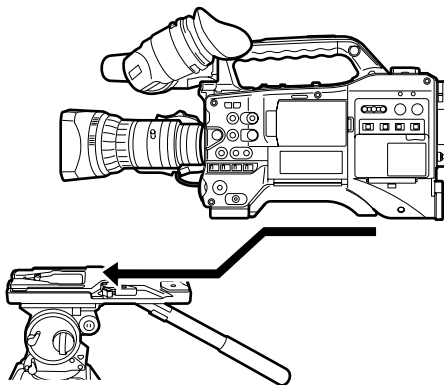


◆ NOTE

本機と三脚アダプターの重心を考慮して、アダプターの穴を選んでください。
また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

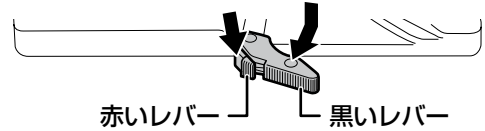
2 本機を三脚アダプターに取り付ける

溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へスライドさせます。



三脚アダプターから取り外す

赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かし、本機を後方にスライドさせて外します。

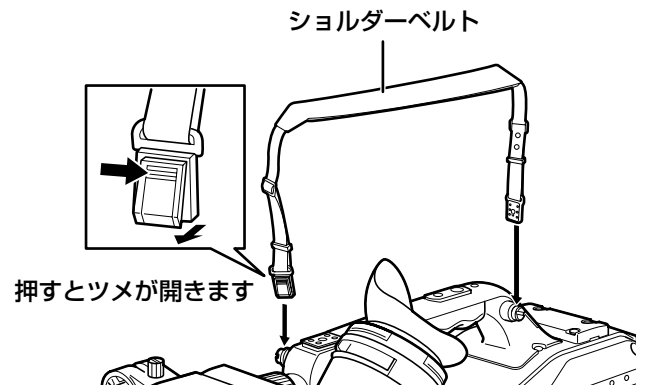


◆ NOTE

本機を取り外したあと、三脚アダプターのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。
ピンが中央に残ったままでは、本機を取り付けができませんのでご注意ください。

ショルダーベルトの取り付け

ショルダーベルト取付金具に取り付けます。
ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

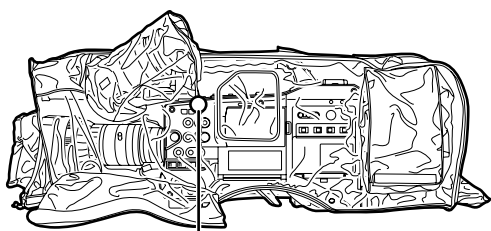


◆ NOTE

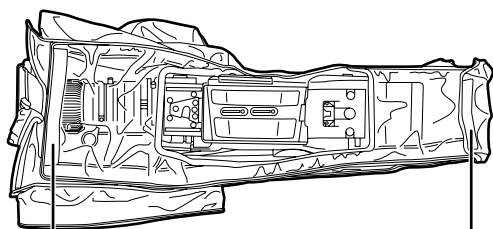
ショルダーベルトが確実に取り付けられていることを、確認してください。

レインカバーの取り付け

レインカバー SHAN-RC700の使用例



ひもを締めます

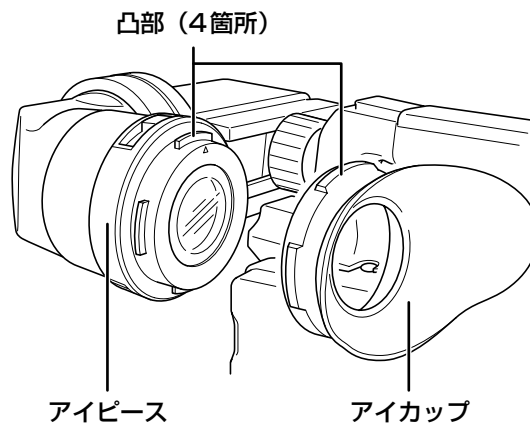


面ファスナーで止めます

面ファスナーで止めます

アイカップの取り付け

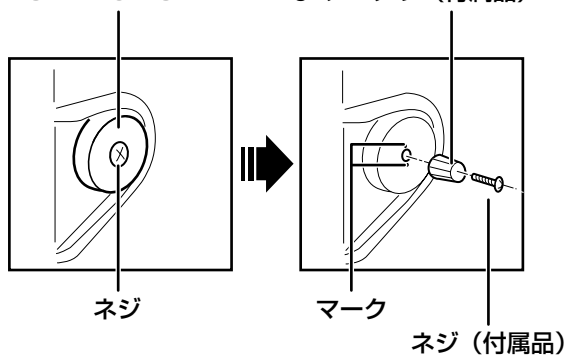
アイピースとアイカップの凸部を合わせて取り付けてください。



FRONT AUDIO LEVELノブの取り付け

FRONT AUDIO LEVELつまみを頻繁に使用する場合、付属のノブを取り付けて、つまみをより操作しやすくすることができます。

FRONT AUDIO LEVELつまみ ノブ (付属品)



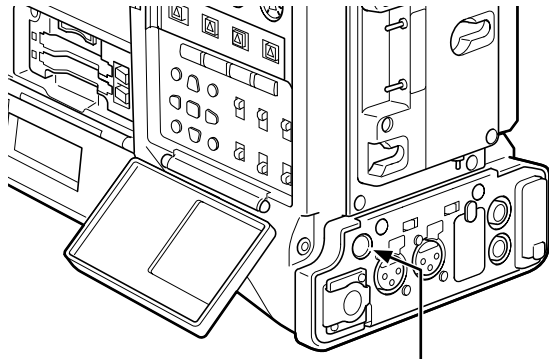
FRONT AUDIO LEVELつまみ中央のネジを外し、本機に付属のノブを、同じく付属品のネジで止めます。このとき、つまみ側のマークと、ノブ側のマークを合わせてください。

DC OUT 端子と外部RECスタート/ストップスイッチの接続

本機のDC OUT 端子からは、1.5 Aの電流を取り出すことが可能です。

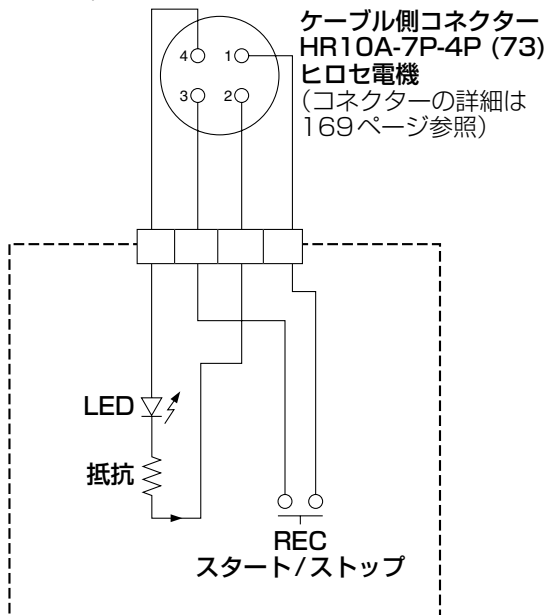
この端子に外部スイッチを接続すると、REC スタート/ストップの制御が可能になります。

また、LEDを接続すると、タリーランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。



DC OUT 端子

(参考接続例)



1 GND

2 TALLY OUT

本機側は、オープンコレクタ出力

TALLY ON :

Lowインピーダンス

TALLY OFF :

Highインピーダンス

3 RECスタート/ストップスイッチ

本機のREC ボタンやレンズのVTR ボタンと並列に接続されます。

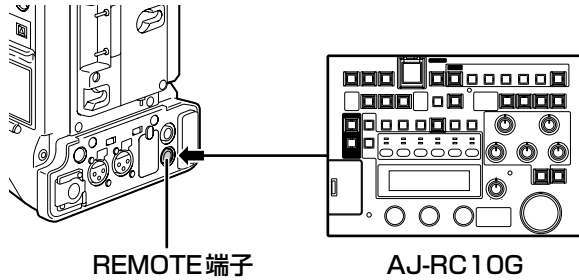
4 +12 V

◆ NOTE:

外部機器を接続する場合、極性を十分にご確認のうえ、接続してください。故障の原因となります。

リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続

- ・リモートコントロールユニットAJ-RC10G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。
- ・AJ-RC10G を接続して本機、およびAJ-RC10GのPOWERスイッチをONにすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。

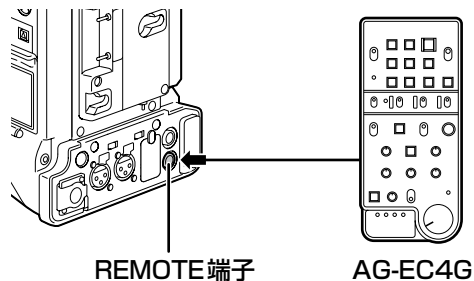


◆ NOTE

- ・専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAJ-RC10GのPOWERスイッチを必ずOFFにしてください。
- ・AJ-RC10Gの専用ケーブル、または専用オプションケーブル以外は、ご使用にならないでください。故障の原因になります。
- ・本機のUSERボタン、MENUボタン機能は、AJ-RC10G接続時には動作しません。
- ・同梱CDのAJ-RC10Gの取扱いガイドを参照してください。
- ・REMOTE端子から取り出す電流については169ページを参照してください。

エクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) の接続

- ・エクステンションコントロールユニットAG-EC4G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。
- ・AG-EC4G を接続して本機、およびAG-EC4GのPOWERスイッチをONにすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。



◆ NOTE

- ・専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAG-EC4GのPOWERスイッチを必ずOFFにしてください。
- ・AG-EC4Gの専用ケーブル、または専用オプションケーブル以外は、ご使用にならないでください。故障の原因になります。
- ・本機のUSERボタン、MENUボタン機能は、AG-EC4G接続時には動作しません。
- ・REMOTE端子から取り出す電流については169ページを参照してください。

第6章 クリップのサムネール操作

クリップとは、一回の撮影によって生成される画像、音声、およびテキストメモ・メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。

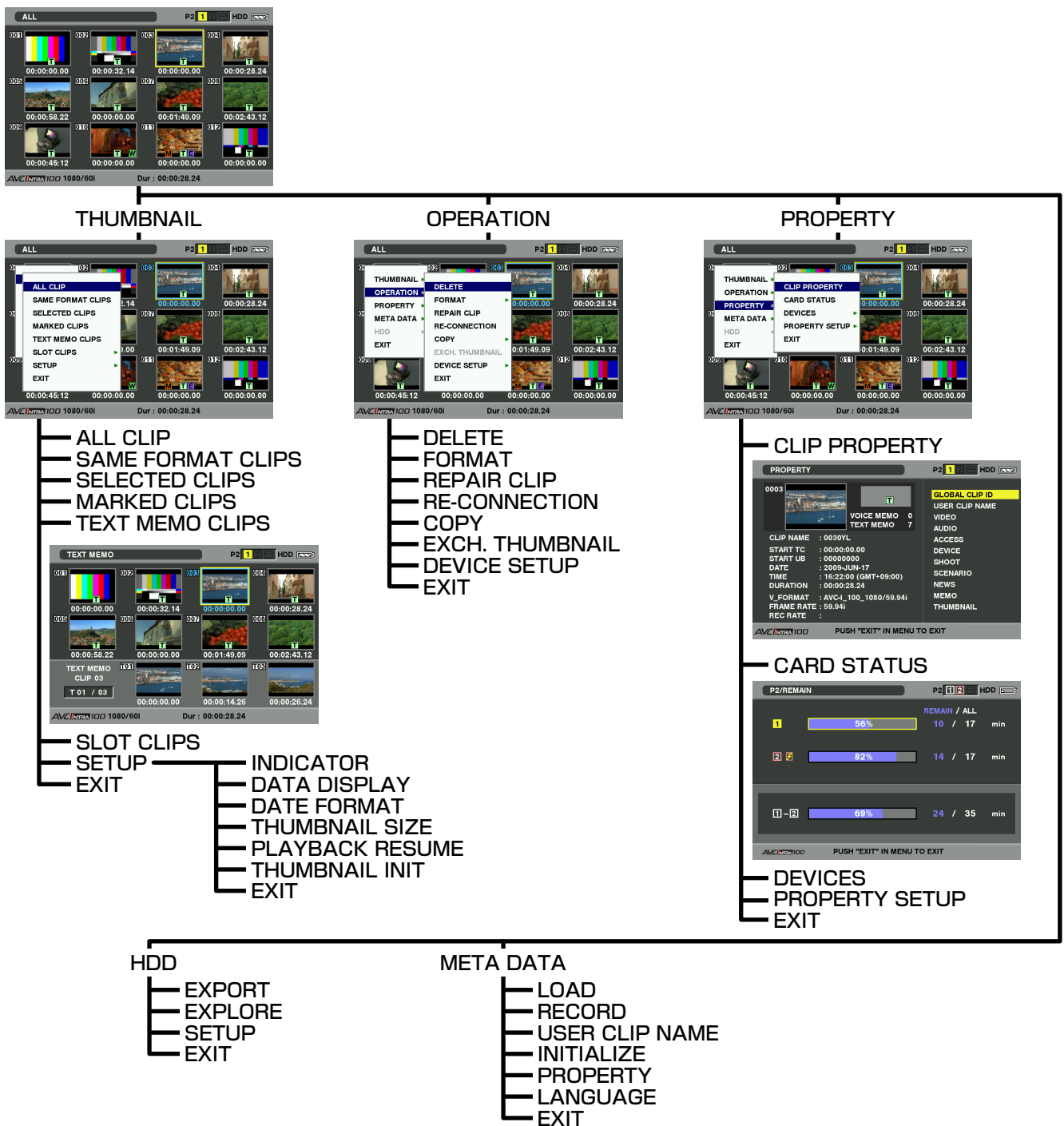
本機は、液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、カーソル・SETボタンを使って以下の操作を行うことができます。

- クリップの再生、削除、コピー、および修復
- クリップのサムネールにテキストメモ、ショットマークを付加、および消去する
- テキストメモを使用してクリップを部分コピーする
- テキストメモを使用してサムネール画像を変更する
- P2カード、SDメモリーカードのフォーマット
- クリップメタデータのSDメモリーカードからのアップロードおよび編集

サムネール操作について

サムネール操作の概要

サムネール画面は以下のような構成になっています。



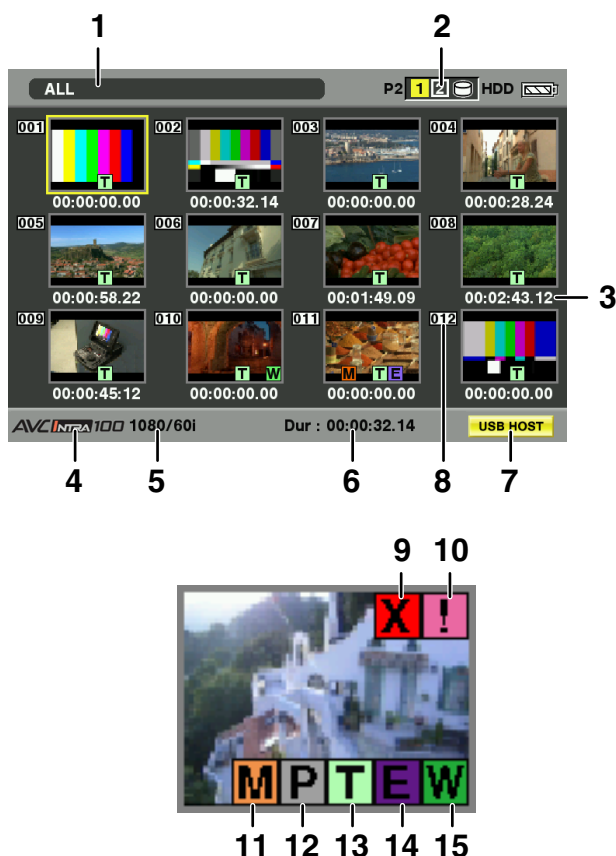
サムネール画面

THUMBNAIL ボタンを押すと、液晶画面にサムネール画面を表示します。もう一度 THUMBNAIL ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。なお、通常の表示からサムネール画面表示に変わったときは、すべてのクリップをサムネール画面に表示します。

また、サムネール画面からサムネールメニューボタンを押すと、サムネールのメニュー操作が可能になります。

◆ NOTE

TCG スイッチを「SET」にして、タイムコードやユーザーズビットを設定しているとき、またはカメラのメニューを操作しているときは THUMBNAIL ボタンは受け付けません。



1 表示状態

画面に表示するサムネールの種類や、その他の情報画面の種類を表示します。

ALL : すべてのクリップを表示しています。

SAME FORMAT :

システムフォーマットと同じフォーマットのクリップを表示しています。ビューファインダーの STATUS 画面に表示されるシステムモードと REC FORMAT を参照してください。

→ 「ビューファインダーの状態表示」(67ページ) 参照

SELECT : SET ボタンで選択したクリップを表示しています。

MARKER : ショットマークが付加されたクリップを表示しています。

TEXT MEMO :

テキストメモデータがあるクリップを表示しています。

SLOT n : 特定の P2 カード内のクリップを表示しています。(n : スロット番号の 1 ~ 2 が入ります)

UPDATING.. :

画面更新などの処理中に表示しています。また更新中は回転するアイコン を表示します。

→ 「サムネール表示の切り替え」(107ページ) 参照

2 スロット番号・HDD状態

ポインターが合わされているクリップが、どの P2 カードに記録されているかを表示します。クリップが記録された P2 カードのスロット番号を、黄色く表示します。クリップが複数の P2 カードにまたがって記録されている場合は、そのクリップが記録された P2 カードのスロット番号のすべてを表示します。また、P2 カードが挿入されているスロット番号を白く表示します。以下のような P2 カードが挿入された場合、スロット番号を桃色の枠で表示します。

- RUN DOWN CARD
(書き換え回数が規定回数を超えた P2 カード)
- DIR ENTRY NG CARD
(ディレクトリー配置が不正規な P2 カード)

USB HDD の表示は以下ようになります。

- USB ホストモード以外 : 「灰色」
- USB ホストモードで非接続の場合 : 「灰色」
- USB ホストモードで HDD 認識し使用可能の場合 : 「白色」
- USB ホストモードで HDD 認識しサムネール表示している場合 : 「黄色」
- USB ホストモードで HDD 認識しコピー操作が不可能の場合 : 「赤色」

3 時間表示

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード / クリップの記録開始時点のユーザーズビット / 撮影時刻 / 撮影日 / 撮影日時 / USER CLIP NAME のいずれかを表示します。

4 記録モード

ポインターの位置のクリップの記録モードを表示します。

5 システムモード

ポインターの位置のクリップのフォーマットを表示します。

6 デュレーション

ポインターの位置のクリップのデュレーションを表示します。

7 USB ホストモードインジケター

USB ホストモードに切り替わっている場合に表示します。

8 クリップ番号

P2 カードに正しく認識されているすべてのクリップに、本機が設定した番号です。番号は、撮影日時が早い順に割り振られます。

記録フォーマットが異なるクリップなど、再生できないクリップは赤色で表示されます。

- 9 **X** 不良クリップインジケーター・
? 不明クリップインジケーター
記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示します。
黄色い不良クリップインジケーターが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。
→「クリップの修復」(111ページ) 参照
赤い不良クリップインジケーターが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できない場合は、P2カードをフォーマットしてください。
P2 規格のフォーマットなどが異なるクリップのときは **?** が表示されます。
- 10 **!** 不完全クリップインジケーター
複数のP2 カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2 カードがP2 カードスロットに挿入されていない場合、表示します。
- 11 **M** ショットマークインジケーター
サムネールにショットマークが付加されたクリップに表示します。
→「ショットマーク記録機能」(44ページ) を参照してください。
- 12 **P** プロキシ付きクリップインジケーター
プロキシが付加記録されているクリップに表示します。
- 13 **T** テキストメモインジケーター
テキストメモデータがあるクリップに表示します。
- 14 **E** エディットコピークリップインジケーター
AJ-HPM110 など、エディットコピー対応機種でエディットコピーを行ったクリップに表示します。エディットコピーについて、詳しくはエディットコピー対応機種の取扱説明書を参照してください。
- 15 **W** ワイドインジケーター
16:9の画角で記録されたクリップに表示します。ただしHDのフォーマットのクリップでは表示しません。

サムネールの選択

サムネール画面では、複数のサムネールを任意に選択できます。

- 1 ポインター（黄色い枠）をカーソルボタンで動かして、選択したいクリップに合わせ、SET ボタンを押す
 - ・ 選択されたクリップのサムネールには青色の枠を表示します。再度SET ボタンを押すと、選択は解除されます。

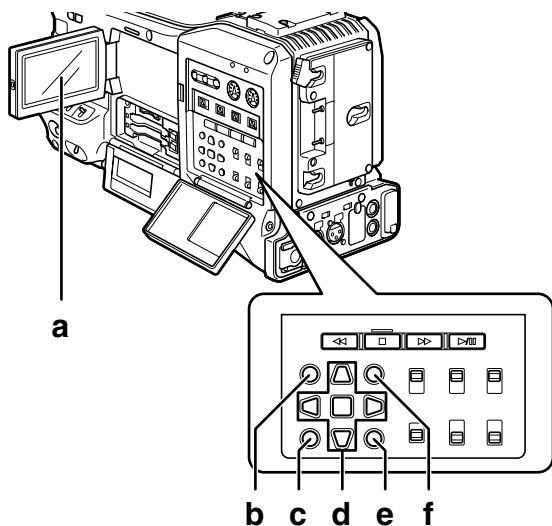
- 2 さらに選択したいクリップがある場合は、1の操作を繰り返す

選択したクリップのみをサムネール画面に表示し、再生することが可能です。

→「サムネール表示の切り替え」(107ページ) 参照

◆ NOTE

- ・ SHIFT ボタンを押しながらカーソルボタンの上下(△/▽)を押すと、ポインターを先頭クリップ/最終クリップへ移動できます。
- ・ クリップを選択した後、別のクリップにポインターを移動し、SHIFT ボタンを押しながらSET ボタンを押すと、直前に選択したクリップからポインター位置までのクリップをまとめて選択できます。
- ・ SHIFT ボタンを押しながらEXIT ボタンを押すと、選択状態のクリップを一括して選択解除できます。



- a 液晶モニター
- b THUMBNAIL ボタン
- c EXIT ボタン
- d ▲▶▼◀カーソルボタン
- SET ボタン
- e サムネールメニューボタン
- f SHIFT ボタン

クリップの再生

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
 - ・ 液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、再生したいクリップに合わせる
- 3 PLAY/PAUSE ボタンを押す
 - ・ ポインターが合わされたクリップが、液晶モニター上で再生されます。
 - ・ カーソルが合わされたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが撮影時刻順に再生され、最後のクリップの再生が終わった時点でサムネール画面に戻ります。

◆ NOTE

- ・ クリップを再生する際は、クリップを選択する（サムネールに青色の枠を表示した状態にする）必要はありません。
- ・ クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。
- ・ クリップの再生中に、REW ボタンを押すと4倍速逆再生、FF ボタンを押すと4倍速再生を行います。通常の再生に戻すにはPLAY/PAUSE ボタンを押します。
- ・ クリップの再生中に、PLAY/PAUSE ボタンを押すと再生を一時停止します。再生の一時停止中、REW ボタンを押すと、そのクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。さらにREW ボタンを押すと、一つ前のクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。再生の一時停止中、FF ボタンを押すと一つ後のクリップの先頭で、再生を一時停止した状態になります。
- ・ クリップの再生中にSTOP ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。

◆ NOTE

- ・ 再生を停止時、ポインターは再生開始時の位置にかかわらず、再生していたクリップの位置に移動します。
- ・ 再度PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ポインターが合わされたクリップの先頭から再生を開始します。直前の停止位置から続けて再生したい場合は、「サムネールの表示設定」(117ページ)のPLAYBACK RESUME 設定をON にしてください。
- ・ THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面を閉じてからPLAY/PAUSE ボタンを押すと、それまで表示していたポインター位置のクリップではなく、先頭の（全クリップ中、記録日時が最も早い）クリップから再生されます。

サムネイル表示の切り替え

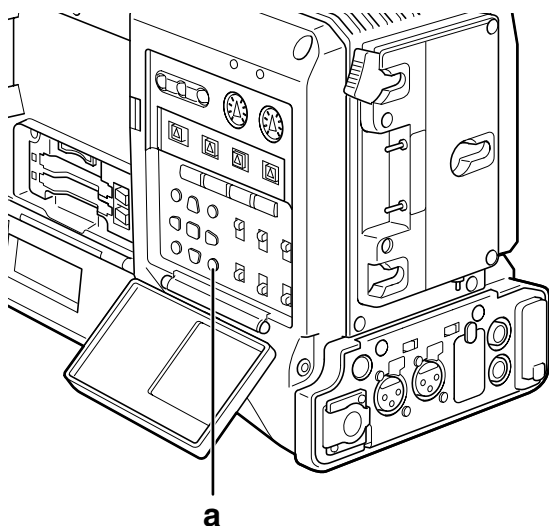
サムネイル画面に表示するクリップを、特定の条件に当てはまるクリップのみに切り替えることができます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

・液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。

2 サムネイルメニューボタンを押す

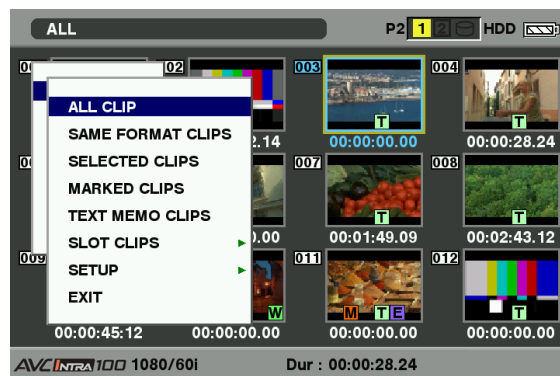
・サムネイルメニューが開きます。



a サムネイルメニューボタン

3 サムネイルメニューより THUMBNAIL を選択する

・それぞれの項目を選択して、サムネイル表示を切り替えることができます。



ALL CLIP :

すべてのクリップを表示します。

SAME FORMAT CLIPS :

同じシステムフォーマットのクリップを表示します。

SELECTED CLIPS :

任意に選択したクリップを表示します。

MARKED CLIPS :

ショットマークが付加されたクリップを表示します。

TEXT MEMO CLIPS :

テキストメモデータがあるクリップを表示します。

SLOT CLIPS :

特定のスロットに挿入されたP2カードに記録されたクリップを表示します。

この項目を選択すると、さらにサブメニューとしてSLOT1からSLOT2を表示しますので、表示したいスロットを選択します。

SETUP :

この項目については「サムネイルの表示設定」(117ページ)を参照してください。

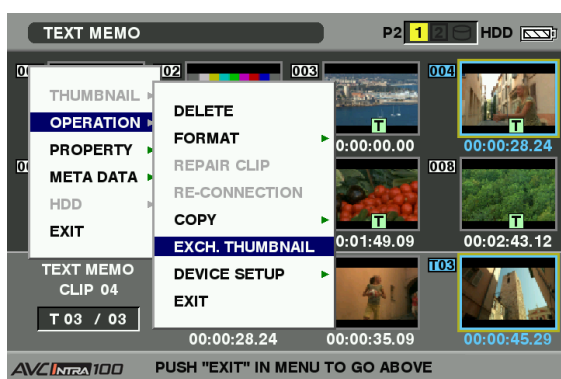
EXIT :

サブメニューを閉じます。

サムネールの変更

サムネールの映像を、あらかじめ記録中や再生中にテキストメモをつけたポイントの映像に置き換えることができます。

- 1 変更したい映像にテキストメモを付加する
・テキストメモを付加する方法については「テキストメモ記録機能」(44ページ)を参照してください。
- 2 サムネールメニュー THUMBNAIL → TEXT MEMO CLIPS を選択し、テキストメモの付いたクリップのサムネール表示にする
- 3 サムネールを変更したいクリップにポインターを合わせてSETボタンを押し、ポインターを下段のテキストメモ表示に移動させる
- 4 置き換えたいサムネールをテキストメモの中から選び、ポインターを合わせてサムネールメニューのOPERATION → EXCH. THUMBNAIL を選択する



- 5 SETボタンを押すと、YES/NO確認画面が表示されるので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択する
・メニューが閉じて、クリップのサムネールが置き換わります。



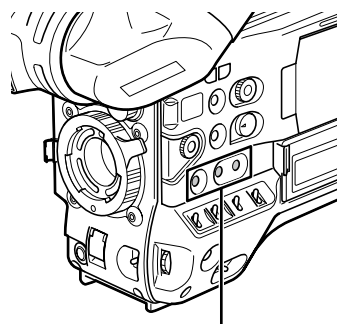
◆ NOTE

サムネールメニュー PROPERTY → CLIP PROPERTY でクリッププロパティを表示させ、THUMBNAIL 項目でサムネールの位置(クリップ先頭からのフレーム数)を確認することができます。通常のサムネールはクリップの先頭ですので、0が表示されます。

ショットマーク

本機は、他のクリップと区別するために、クリップのサムネールにショットマークを付加することができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、ショットマークを付加したいクリップに合わせる
- 3 ショットマーク機能を割り当てたボタン (USER ボタン、またはレンズのRET ボタン) を押す
・ポインターが合わされたクリップのサムネールに、ショットマークが付加されます。ショットマークを削除するには、もう一度ポインターを合わせてショットマーク機能を割り当てたボタン (USER ボタン、またはレンズのRET ボタン) を押します。



USER MAIN/USER 1/USER 2 ボタン

◆ NOTE

- ・ショットマークは記録中にも付加することができます。
- ・記録停止後にショットマークを付加すると、直前に記録したクリップにショットマークをつけることができます。
→ 「ショットマーク記録機能」(44ページ) 参照
- ・複数のP2 カードにまたがるクリップに、ショットマークを付加/削除する場合、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。

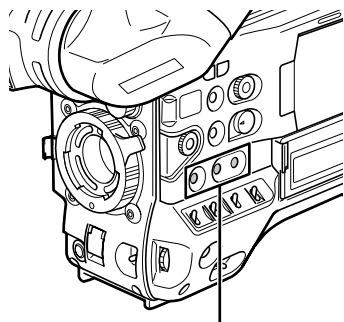
テキストメモ

記録/再生中にテキストメモを付加することができます。またテキストメモを使うことにより、クリップ途中からの再生やクリップの分割コピーが可能になります。

テキストメモを付加する

テキストメモを付加するには、以下の二つの方法があります。

- 記録/再生中にテキストメモ機能を割り当てたボタン (USER ボタン、またはレンズのRET ボタン) を押します。ボタンを押したときの位置にテキストメモを付加します。
- サムネール画面を表示中にテキストメモ機能を割り当てたボタン (USER ボタン、またはレンズのRET ボタン) を押すと、クリップの先頭にテキストメモを付加します。



USER MAIN/USER1/USER2 ボタン

◆ NOTE

テキストメモは1つのクリップにつき、ボイスメモと合わせて100個まで記録できます。ただし、本機ではボイスメモを記録・再生できません。

テキストメモ位置からの再生

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューより THUMBNAIL → TEXT MEMO CLIPS を選択する
・液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネールを表示します。液晶モニター下段には、ポインターで選択されているクリップのテキストメモに関する情報を表示します。

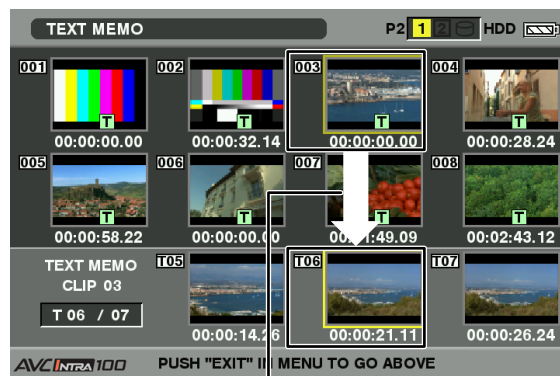
サムネール表示部



テキストメモが関連付けられた静止画像を表示

クリップに付加されたテキストメモの総数を表示

- 3 ポインターを、再生したいテキストメモのあるクリップに合わせ、SET ボタンを押す
・ポインターが液晶モニター下段に移ります。



ポインターが移動します

4 ポインターが下段にある状態のまま、カーソルボタンの左右 (</>) で、ポインターを再生したいテキストメモ番号に合わせ、PLAY/PAUSE ボタンを押す

- ・ポインターが合わされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。
- 再生中にSTOP ボタンを押して止めたり、クリップの終端で再生が終了すると、サムネール画面に戻り、再生を開始したテキストメモのサムネールにポインターは戻ります。
- ・サムネールメニューボタンを押し、EXIT を選択するか、EXIT ボタンを押すと、ポインターがサムネール画面の上段に戻ります。

◆ NOTE

- ・テキストメモの画面を表示中にREC ボタンを押しても撮影を開始することはできません。
- ・再生できないAVC-Intra フォーマットのクリップの場合、テキストメモサムネールは表示されず、灰色になる場合があります。

テキストメモの削除

1 「テキストメモ位置からの再生」(109ページ)の1～3の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択する

2 削除したいテキストメモにポインターを合わせ、SET ボタンを押す

3 サムネールメニューボタンを押し、メニューよりOPERATION→DELETEと選択する

- ・本当に削除するか、YES/NOで確認してきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、テキストメモが消去されます。

テキストメモによるクリップ分割コピー

1 「テキストメモ位置からの再生」(109ページ)の1～3の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択する

2 コピーしたいテキストメモにポインターを合わせ、SET ボタンを押す

- ・テキストメモは複数選択できます。

3 サムネールメニューボタンを押し、OPERATION→COPYと選択する

4 カーソルボタンとSETボタンでコピー先のスロットを選択し、YESを選択する

- ・コピーを実行します。
- ・選択したテキストメモと、その次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後にテキストメモがない場合は、クリップの終端までをコピーします。
- ・複数選択している場合は、それぞれ選択している区間のコピーを行います。
- ・コピー中は、コピーの進捗状況とキャンセルの表示を行います。コピーを途中で中断する場合は、SETボタンを押します。YES/NOの確認画面が表示されますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。

◆ NOTE

テキストメモによるクリップ分割、コピーは、クリップの記録方式に応じてコピー区間が自動的に補正され、コピーされることがあります。

クリップの削除

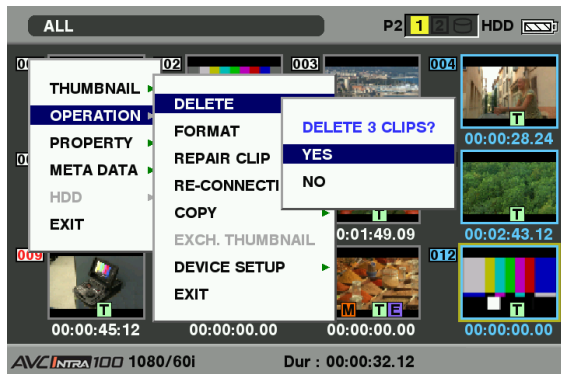
1 THUMBNAIL ボタンを押す

- ・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

2 ポインターをカーソルボタンで動かして、削除したいクリップに合わせ、SET ボタンを押して、クリップを選択する

3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→DELETEと選択する

4 下の画面が表示されるので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択する



- ・クリップが削除されます。このとき選択された(青色の枠で囲まれた)クリップはすべて削除されます。

◆ NOTE

途中で削除を中止するには、SHIFT + EXITまたはSETボタンを押してキャンセルしてください。

途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

クリップの修復

記録中、急に電源が切れる、またはアクセス中のP2カードを取り出したなどの原因で発生した、不具合のあるクリップを修復します。

◆ NOTE

修復が可能なのは、黄色い不良クリップインジケーターがついたクリップのみです。赤い不良クリップインジケーターがついたクリップは削除してください。削除できない場合はP2カードをフォーマットしてください。

ただし修復中に、不良クリップインジケーターが黄色から赤色になり、修復ができない場合があります。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
 - ・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、修復したいクリップ(不具合のあるクリップには不良クリップマークが表示されています)に合わせて、SETボタンを押して、クリップを選択する
- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→REPAIR CLIPと選択する
 - ・本当に修復を行うか確認してきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、クリップが修復されます。

不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップ(連結したクリップ)がカードごとに別々にコピーされるなどで、それぞれが不完全クリップになることがあります。このとき連結機能を使って、1つのクリップ(元の連結したクリップ)にすることができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
 - ・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 カーソルボタンとSETボタンで、連結する不完全クリップを選択する
 - ・通常、不完全クリップ(表示のついたクリップ)のサムネールは並んで表示されています。
- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→RE-CONNECTIONを選択する
 - ・本当に連結を行うか確認してきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、不完全クリップが連結されます。

◆ NOTE

一部のクリップだけ連結しても、元の連結したクリップを構成するすべてのクリップがそろわない場合は、不完全クリップを示す表示がついたままになります。

クリップのコピー

クリップを選択し、任意のスロットのP2カードやSDメモリーカードにコピーすることができます。

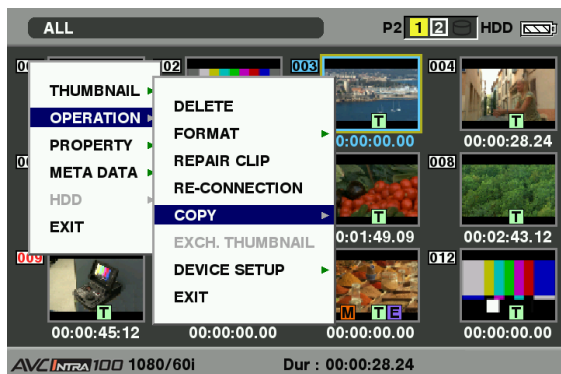
- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
 - ・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、コピーしたいクリップに合わせて、SETボタンを押してクリップを選択する

◆ NOTE

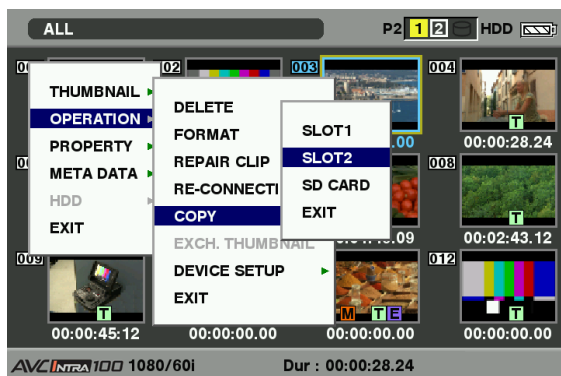
ワンクリップレックで前のクリップに連結して記録可能な状態のとき(「1*CLIP」と表示されているとき)は、クリップのコピー操作はできません。一度メニューを閉じた後、STOPボタンを約2秒間押し続けてクリップ連結を終了させてから、再度操作してください。

3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→COPYと選択する

・コピー先としてスロット1～2、またはSDメモリーカードを選択します。



・本当にコピーを行うか確認してきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、クリップがコピーされます。



◆ NOTE

- ・P2 カードの故障の原因になりますので、コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差しをしたりしないでください。誤って上記のような動作を行った場合、不良クリップができますので、削除してから、再度コピーを行ってください。
- ・P2 カードへのコピーは、クリップの情報がすべてコピーされますが、SDメモリーカード^{*1}へのコピーは映像・音声情報はコピーされず、サムネール、クリップメタデータ、アイコン、ボイスメモ、テキストメモ、プロキシー、リアルタイムメタデータのみのコピーとなります。
- ・コピー先の記録容量が不足している場合、“LACK OF REC CAPACITY!”と表示され、コピーは行われません。コピーするクリップに不良クリップが含まれている場合は“CANNOT COPY!”と表示され、コピーは行われません。また選択したクリップの中に、コピー先のP2カードと同一のカードに記録されたものが含まれる場合もコピーは行われません。
- ・途中でコピーを中止する場合は、SHIFTボタン+EXITボタンまたはSETボタンを押してください。コピー先でコピー中だったクリップは削除されます。
- ・コピー先に同一のクリップが存在するときは“OVERWRITE?”と表示されます。重ね書きを行う場合はYESを、行わない場合はNOを選択してください。

*1 使用するSDメモリーカードについては<SDメモリーカードの使用上の注意> (23ページ)を参照してください。

クリップメタデータの設定

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報をSDメモリーカードから読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。

クリップメタデータの読み込み (メタデータアップロード)

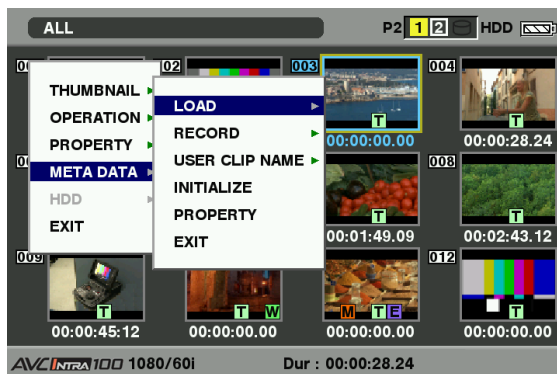
1 クリップメタデータを記述したファイル (メタデータアップロードファイル) が入ったSDメモリーカードを本機に挿入する

2 THUMBNAIL ボタンを押す
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

◆ NOTE

サムネール画面を表示している状態で、DISP/MODE CHK ボタンを押しながらサムネールメニューボタンを押すと手順4へ移ります。

3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからMETA DATA→LOADと選択し、SET ボタンを押す



4 SDメモリーカードにあるメタデータアップロードファイルのファイル名を表示する^{*2}カーソルボタンで読み込むファイルを選択してYESを選択する

- ・読み込みが開始されます。
- ・読み込んだメタデータは電源をOFFにしても保持されます。
- ・読み込んだデータの確認は「読み込んだメタデータの確認および修正」(113ページ)を参照してください。

*2 カーソルボタン (▷) を押すと、カーソル位置のファイル名を100文字までフル表示します。カーソルボタン (◀) を押すと元に戻ります。

クリップメタデータ項目

クリップメタデータには下記の項目があります。下線の入った項目は、SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は、撮影時に自動的に設定されます。メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピューター上でP2ビューアー最新アップデート版を使用することで、SDメモリーカードに書き込むことができます。P2ビューアー最新アップデート版は、下記ウェブサイトのサポートデスクからパーソナルコンピューターにインストールしてください。

<http://panasonic.biz/sav/>

また、使用するSDメモリーカードについては<SDメモリーカードの使用上の注意> (23ページ) を参照してください。

◆ NOTE

P2ビューアー以外で編集したファイルは、「UNKNOWN DATA!」と表示され、読み込めない場合があります。

GLOBAL CLIP ID :

クリップの撮影状態を示すグローバルクリップIDを表示します。

USER CLIP NAME :

ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。^{*1}

VIDEO : [FRAME RATE (フレームレート)] (クリップのフレームレート)、[PULL DOWN (プルダウン)] (プルダウン方式)、[ASPECT RATIO (アスペクト比)] (アスペクト比) を表示します。

AUDIO : [SAMPLING RATE (サンプリングレート)] (記録音声のサンプリング周波数)、[BITS PER SAMPLE (ビットレート)] (記録音声の量子化ビット数) を表示します。

ACCESS :

[CREATOR (作成者)] (クリップの収録者名)、[CREATION DATE (作成日)] (クリップの収録日)、[LAST UPDATE DATE (最終更新日)] (クリップの最終更新日)、[LAST UPDATE PERSON (最終更新者)] (クリップの最終更新者) を表示します。

DEVICE :

[MANUFACTURER (機材メーカー名)] (収録した機材のメーカー名)、[SERIAL NO. (シリアル番号)] (収録した機材のシリアルナンバー)、[MODEL NAME (モデル名)] (収録した機材のモデル名) を表示します。

SHOOT^{*2} :

[SHOOTER (撮影者)] (撮影者名)、[START DATE (撮影開始日)] (撮影開始日)、[END DATE (撮影終了日)] (撮影終了日)、[LOCATION (撮影地情報)] ALTITUDE (高度) /LONGITUDE (経度) /LATITUDE (緯度) /SOURCE/PLACE NAME (撮影地) (撮影地の高度/経度/緯度/それらを得た情報源/場所の名前) を表示します。

SCENARIO :

[PROGRAM NAME (プログラム名)] (番組名)、[SCENE NO. (シーン番号)] (シーンナンバー)、[TAKE NO. (テイク番号)] (テイクナンバー) を表示します。

NEWS : [REPORTER (リポーター)] (リポーター名)、[PURPOSE (取材目的)] (取材目的)、[OBJECT (取材対象)] (取材対象) を表示します。

MEMO^{*3} :

[NO.] (テキストメモの番号)、[OFFSET (記録位置)] (テキストメモが付加されるクリップ先頭からのフレーム位置)、[PERSON (メモ入力者)] (クリップに付加されたテキストメモの記録者)、[TEXT (テキスト情報)] (テキストメモの内容) を表示します。

THUMBNAIL :

サムネールの元となる画像のフレーム位置 (フレームオフセット) や、サイズ (高さ、幅) を表示します。

*1 USER CLIP NAMEの記録方法を選択することが可能です。詳しくは「USER CLIP NAMEの記録方法の選択」(114ページ) を参照してください。

*2 SHOOTのALTITUDE/LATITUDE/LONGITUDEは、本機で撮影時、自動的に設定されません。記録したクリップのプロパティーで設定することは可能です。

*3 MEMOを入力するときはTEXT (テキスト情報) を必ず入力してください。PERSON (メモ入力者)、OFFSET (記録位置) のみの記録はできません。

◆ NOTE

本機では、印刷可能なASCII文字のみ表示が可能です。

読み込んだメタデータの確認および修正

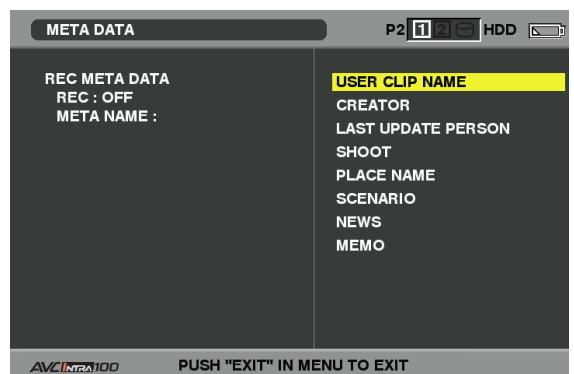
SDメモリーカードから読み込んだメタデータの内容を確認できます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

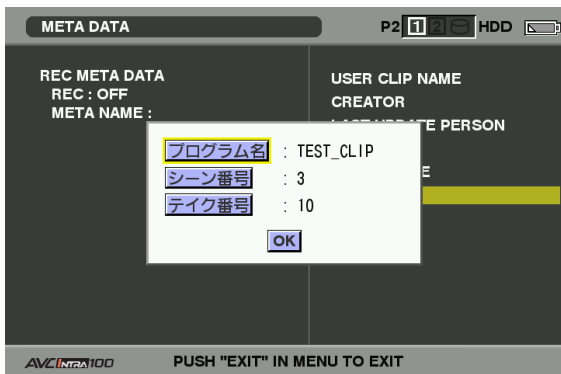
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからMETA DATA→PROPERTYと選択する

・下記の画面が表示されます。



- 3 カーソルボタンでポインターを動かし、確認したい項目に合わせてSETボタンを押す
 ・読み込んだメタデータの各設定内容を確認できます。



- 4 またメタデータの各設定内容を確認中に、カーソルボタンでポインターを動かし、設定内容を変更したい項目に合わせてSETボタンを押す
 ・ソフトウェア画面が表示され、設定内容を変更することができます。



読み込んだメタデータの記録する/しないを設定

サムネールメニューからMETA DATA → RECORD項目でON/OFFを設定します。工場出荷時はOFFに設定されています。

USER CLIP NAMEの記録方法の選択

サムネールメニューからMETA DATA → USER CLIP NAME項目で、USER CLIP NAMEの記録方法を、TYPE1とTYPE2の二通りから選択することができます。

●TYPE1 (工場出荷時の設定)

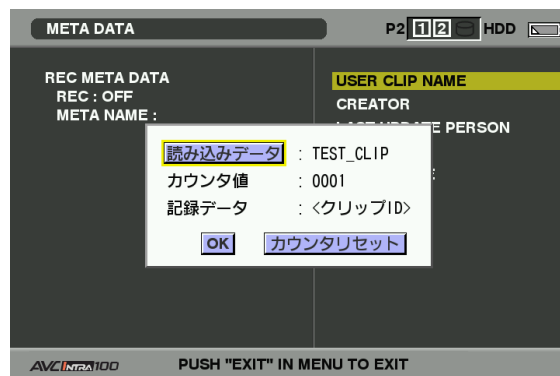
	記録されるUSER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	GLOBAL CLIP IDと同じ (UMIDデータ)

●TYPE2

	記録されるUSER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ +COUNT値 ^{*1}
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	CLIP ID NAMEと同じ

*1 COUNT値は、4桁の数字で表示されます。

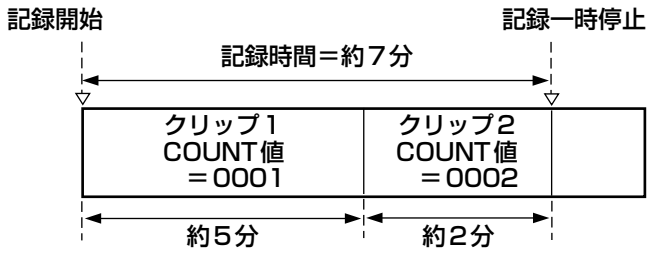
COUNT値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法をTYPE2に設定した状態のとき、撮影を行って新しいクリップを生成するごとに、1ずつ増えます。またCOUNT値は、以下の方法でリセットできます。サムネールメニューからMETA DATA → PROPERTYと選択し、さらにUSER CLIP NAME項目を選択すると、下記の画面が表示されます。「カウンタリセット (COUNT RESET)」にカーソルを合わせ、SETボタンを押すと、COUNT値が1にリセットされます。



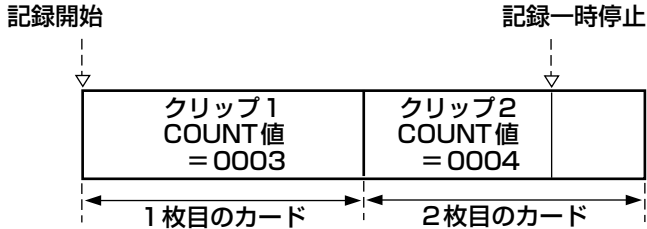
◆ NOTE

本機で8GB以上のP2カードを使用し、1回の連続記録時間が一定時間 (DVCPRO HD、およびAVC-Intra100時:約5分/AVC-Intra50時:約10分) を超える場合、また1回の記録が複数のP2カードにまたがって行われた場合、自動的に別のクリップとして記録されます。このとき、COUNT値はそれぞれのクリップにつけられます。

P2カード1枚での記録（DVCPRO HD）の例



P2カード2枚にまたがって記録する例



なお、P2機器で上記例のようなクリップのサムネール表示、およびプロパティ表示を行った場合、クリップ1のサムネールおよびCOUNT値を表示します。

読み込んだメタデータのクリア

サムネールメニューからMETA DATA→INITIALIZEと選択し、SETボタンを押します。確認画面が表示されますのでYESを選択します。

メタデータの表示言語設定

メタデータを表示するときの表示言語を設定することができます。サムネールメニューからMETA DATA→LANGUAGEと選択し、表示言語を選択してからSETボタンを押します。

言語は

ENGLISH：英語

JAPANESE：日本語

から選択します。

◆ NOTE

- 日本語や中国語を英語で表示した場合や、英語の非表示文字などがある場合は正しく表示されず、「*」で表示します。
- 本機で入力できる文字は英数字のみです。日本語、中国語は入力できません。

プロキシー機能の設定 (オプション)

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を P2 カードスロット 2 に装着すると、プロキシー記録に関する設定を行うことができます。

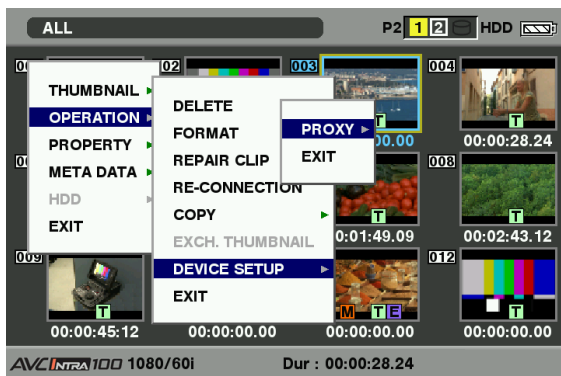
本機の電源が ON の状態でビデオエンコーダーカードを挿入しても認識されません。本機の電源を OFF にしてから、ビデオエンコーダーカードを装着してください。

設定は、サムネイルメニューから OPERATION → DEVICE SETUP → PROXY と選択し、行います。

ビデオエンコーダーカードの取り付け方法と設定内容は、ビデオエンコーダーカードの取扱いガイドを参照してください。

◆ NOTE

・ビューファインダーに「PROXY CARD ERROR」と表示された場合はビデオエンコーダーカードの点検を行うか、プロキシー記録を行わない設定にしてください。



・ワンクリップで前のクリップに連結して記録可能な状態のとき (「1*CLIP」と表示されているとき) は、プロキシー機能の設定はできません。一度メニューを閉じた後、STOP ボタンを約 2 秒間押し続けてクリップ連結を終了させてから、再度操作してください。

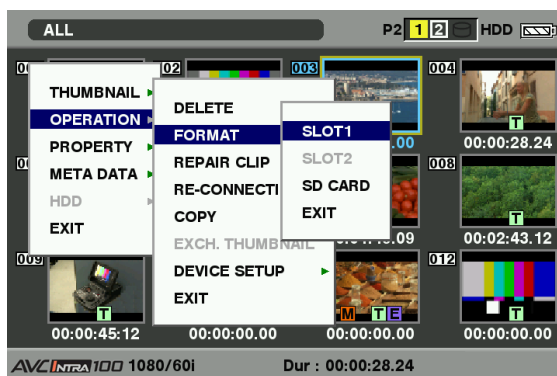
P2 カードのフォーマット

1 THUMBNAIL ボタンを押す
・液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。

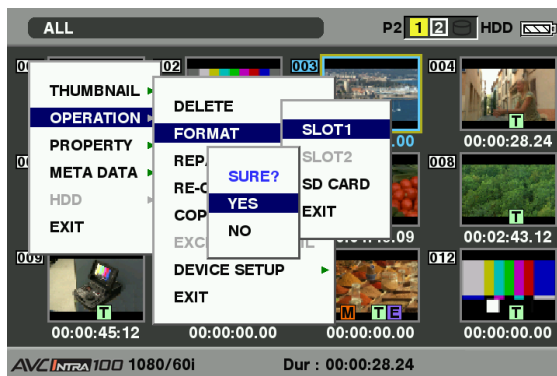
2 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューから OPERATION → FORMAT と選択する

・下記の画面が表示されますので、フォーマットしたい P2 カードが挿入されたスロット番号を選び、SET ボタンを押します。

・フォーマットしない場合は EXIT を選択してください。



3 下記の画面が表示されるので、カーソルボタンと SET ボタンで YES を選択する



・選択した P2 カードがフォーマットされます。

◆ NOTE

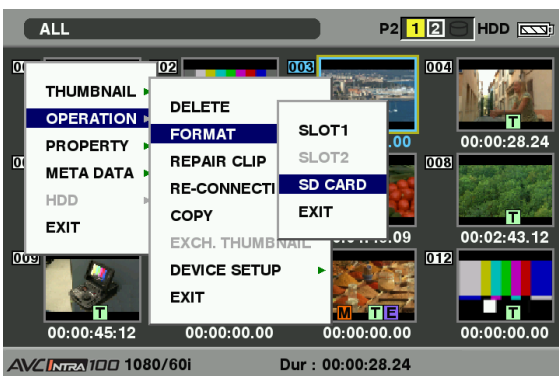
フォーマットにより消去されたデータは、復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

SDメモリーカードのフォーマット

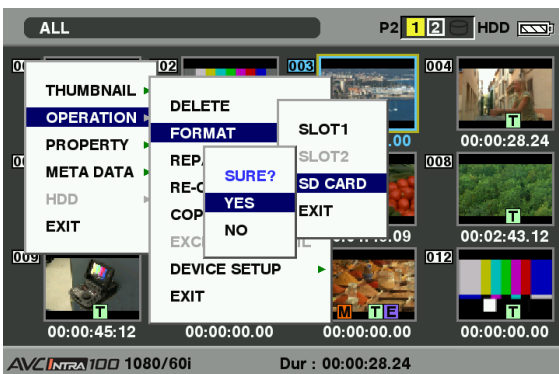
サムネール画面から、SDメモリーカードをフォーマットすることもできます。本機にSDメモリーカードを挿入した状態で、以下の作業を行ってください。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→FORMATと選択する

・下記の画面が表示されますので、“SD CARD”を選び、SET ボタンを押します。
・フォーマットしない場合は“EXIT”を選択してください。



- 3 下の画面が表示されますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択する



・SDメモリーカードがフォーマットされます。

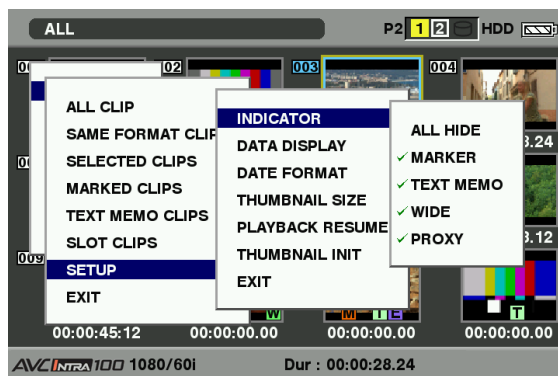
◆ NOTE

- ・SDメモリーカードは、設定メニューのCARD FUNCTIONS画面のSD CARD FORMAT項目からフォーマットすることもできます。
→「SDメモリーカードの操作」(83ページ) 参照
- ・フォーマットにより消去されたデータは、復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

サムネールの表示設定

用途に合わせて、サムネールの表示方法をカスタマイズすることができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからTHUMBNAIL→SETUPと選択する
・下記の画面が表示されます。



INDICATOR :

サムネール上に表示される各種インジケータの表示/非表示状態を選択します。

- ・ALL HIDE :
ON : すべてのインジケータを非表示にします。
OFF : 以下のメニューに従って表示/非表示が設定されます。工場出荷時はこちらに設定されています。
- ・MARKER :
ショットマークインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。
- ・TEXT MEMO :
テキストメモインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。
- ・WIDE :
ワイドインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。
- ・PROXY :
プロキシインジケータの表示・非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

DATA DISPLAY :

クリップの時間表示の部分、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 撮影時刻 (TIME) / 撮影日 (DATE) / 撮影日および時刻 (DATE TIME) / ユーザークリップ名 (USER CLIP NAME) のいずれかから選択できます。工場出荷時はタイムコードに設定されています。

DATE FORMAT :

記録日時を表示順を、年月日 (Y-M-D) / 月日年 (M-D-Y) / 日月年 (D-M-Y) のいずれかから選択できます。工場出荷時は年月日に設定されています。

この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、およびDATA DISPLAYでDATEを選択したときに表示される記録日時に反映します。

THUMBNAIL SIZE :

1画面に表示されるサムネールを、LARGE (サムネールを3×2で表示) / NORMAL (サムネールを4×3で表示)のいずれかから選択できます。工場出荷時はNORMALに設定されています。

PLAYBACK RESUME :

サムネール画面からの再生をSTOPボタンで停止させた後、再度再生を開始したときの再生位置を選択します。

ON : 停止位置から再生します。

OFF : ポインターが合わされたクリップの先頭から再生します。

なお、停止後にポインターを移動させると、この項目の設定にかかわらず、ポインターが合わされたクリップの先頭から再生します。また、すべての再生できるクリップの最後の位置で再び再生を行おうとすると、画面が一瞬フラッシュして、再生できるクリップがないことを知らせます。

THUMBNAIL INIT :

上記サムネールの表示設定を、工場出荷状態にします。カーソルをこの項目に合わせ、SETボタンを押します。確認画面が表示されますのでYESを選択します。

EXIT :

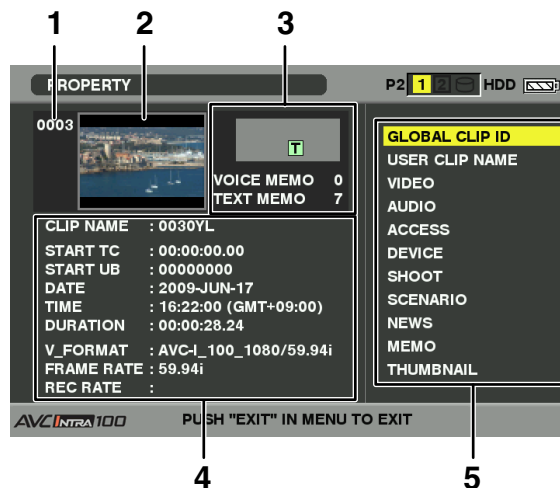
1つ前のメニューに戻ります。

プロパティ

クリップのプロパティ、P2カードの状態を表示します。またクリップのプロパティを表示中に、記録されたクリップメタデータを編集し、書き換えることができます。

クリップのプロパティ

サムネールメニューからPROPERTY → CLIP PROPERTYを選択します。下記の画面が表示されます。



- 1 クリップ番号
- 2 サムネール
- 3 クリップ情報
クリップに付加された各種インジケータ、付加されているテキストメモやボイスメモの数を表示します。また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかけられているとき、マークが表示されます。

◆ NOTE

本機ではボイスメモの記録/再生は行えません。

- 4 クリップ情報
クリップに関するさまざまな情報を表示します。

CLIP NAME :

クリップ名を表示します。

START TC :

記録開始時のタイムコードの値を表示します。

START UB :

記録開始時のユーザズビットの値を表示します。

DATE :

記録した日付を表示します。

TIME :

記録開始時の時刻を表示します。

DURATION :

クリップの長さを表示します。

V_FORMAT :

クリップの記録フォーマットを表示します。

FRAME RATE :

再生フレームレートを表示します。

REC RATE :

記録フレームレートを表示します。(VFR機能を使ってNative記録したクリップにのみ表示します)

5 クリップメタデータ

クリップに関する、より詳しいデータを表示します。ポインターをカーソルボタンで動かし、SETボタンを押して詳しい内容を確認できます。表示されるメタデータについて、詳しくは「クリップメタデータの設定」(112ページ)を参照してください。

記録されたクリップメタデータの修正

1 クリップのプロパティ画面で、修正したいクリップメタデータの詳細画面を表示させる

2 修正したい項目にカーソルボタンでカーソルを合わせる

・変更可能なメタデータ項目は、下図の「CREATOR (作成者)」などのように表示しています。



3 SETボタンを押す

・メタデータ修正の入力画面(ソフトキーボード)が表示されます。
 ・キーボードから文字を入力し、メタデータを修正します。



キーボードの操作については、「読み込んだメタデータの確認および修正」(113ページ)と同様です。

4 キーボードの「OK」ボタンを押す

・修正されたメタデータがクリップに書き込まれ、メタデータの詳細画面に戻ります。

◆ NOTE

- ・SHOOTのLOCATION(撮影地情報)の各項目を削除する場合、単独では削除できません。ALTITUDE(高度)項目を空白に設定することで、他のLONGITUDE(経度)/LATITUDE(緯度)項目も一括して削除されます。
- ・**[I]** 不完全クリップインジケータが付いたクリップは、メタデータを修正できません。複数枚のP2カードにまたがったクリップは、全てのP2カードが挿入された状態でメタデータの修正を行ってください。
- ・MEMO項目は101文字以上付加されている場合、修正できません。

P2カードの状態表示

■ P2カードの状態表示設定

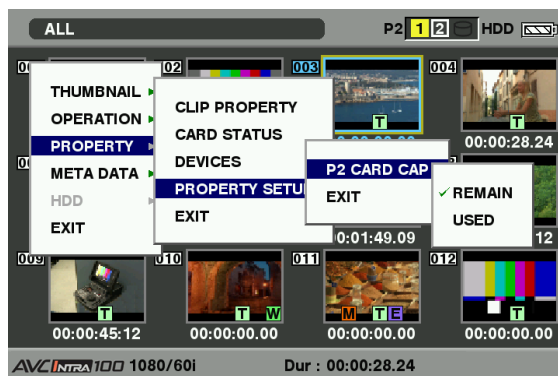
サムネールメニューからPROPERTY→CARD STATUSと選択することで表示するP2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示するか使用容量で表示するか選択できます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

2 サムネールメニューよりPROPERTY→PROPERTY SETUP→P2 CARD CAPと選択する

・下記の画面が表示されますので、P2 CARD CAP項目より、P2カードの状態表示の設定を選択します。



REMAIN :

P2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示します。(工場出荷時はこちらに設定されています)

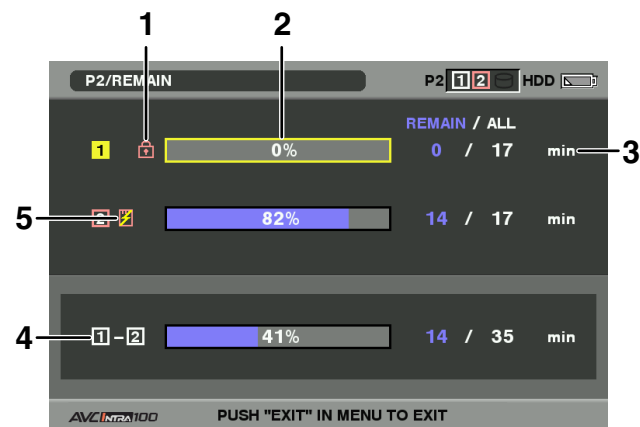
USED :

P2カードの状態表示を、P2カードの使用容量で表示します。

■ P2カードの状態表示設定内容

サムネールメニューからPROPERTY→CARD STATUSと選択します。下記の画面が表示されます。

REMAINを選択した場合：



1 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2 P2カード状態（記録残量）

P2カードの記録残量を、メーターとパーセントで表示します。記録残量が減るとともに、メーターが左に減っていきます。またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR! :

フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED! :

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD! :

P2カードが挿入されていません。また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSET ボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザー IDなどの固有情報を確認できます。

3 P2カード残量 / 総容量

P2カードの記録残量 / 総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2 カードごとの記録残量の合計と総容量が一致しないことがあります。Native 記録でVFR 動作時は、フレームレートによって変化します。

4 スロット記録残量合計

2つのスロットの記録残量を総合計した数値を表示します。ただし、ライトプロテクトがかかっているP2 カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

5 警告カードマーク

P2カードが以下である場合にマークを表示します。

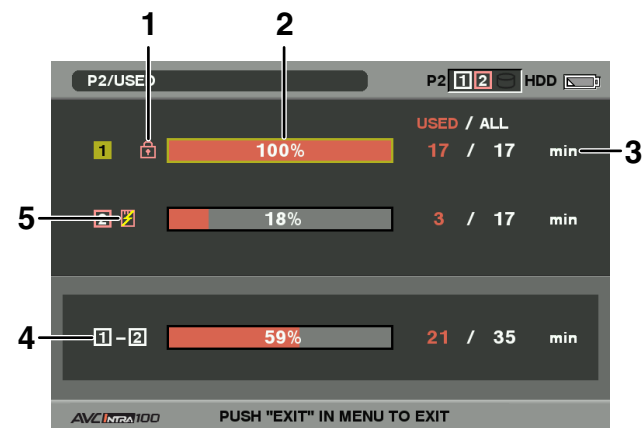
RUN DOWN CARD :

P2カードの規定の書き換え回数を超過しています。

DIR ENTRY NG CARD :

P2カードのディレクトリーの配置が不正規になっています。警告内容は「2.P2カード状態（記録残量）」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

USEDを選択した場合：



1 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2 P2カード状態（使用容量）

P2カードの使用容量を、メーターとパーセントで表示します。使用容量が増えるとともに、メーターが右に増えていきます。またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR! :

フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED! :

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD! :

P2カードが挿入されていません。また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSET ボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザー IDなどの固有情報を確認できます。

3 P2カード使用容量 / 総容量

P2カードの使用容量 / 総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2 カードごとの使用容量の合計と総容量が一致しないことがあります。また、ライトプロテクトがかかっているP2カードの使用容量は、100%使用したもとして表示します。Native記録でVFR動作時は、フレームレートによって変化します。

4 スロット使用容量合計

2つのスロットの使用容量を総合計した数値を表示します。

5 警告カードマーク

P2カードが以下である場合にマークを表示します。

RUN DOWN CARD :

P2カードの規定の書き換え回数を超過しています。

DIR ENTRY NG CARD :

P2カードのディレクトリーの配置が不正規になっています。警告内容は「2.P2カード状態（使用容量）」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

SDメモリーカードの状態表示

SDメモリーカードのフォーマットの状態や、空き容量などを確認できます。

サムネールメニューからPROPERTY→DEVICES→SD CARDを選択します。

SD規格準拠のフォーマットの場合

SD STANDARD : SUPPORTED

と表示されます。

SD規格に準拠していないフォーマットの場合

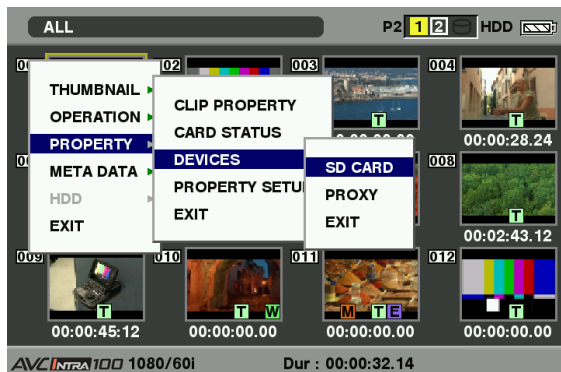
SD STANDARD : NOT SUPPORTED

と表示されます。この場合、正常な読み出し／書き込みができません。本機でフォーマットを行ってください。SDメモリーカードのフォーマットについては、「SDメモリーカードのフォーマット」(117ページ)を参照してください。

◆ NOTE

表示されるSDメモリーカードの残量 (PROXY REM) はプロキシの記録残量の目安になりますが、実際の空き容量とは異なる場合があります。特にClass表記のあるSDまたはSDHCメモリーカードの場合、短い記録を繰り返すと、記録可能な時間は空き容量に比べ大きく減少することがあります。また残量が999 minを超えた場合、999 minと表示します。

なお、残量はSDメモリーカードにプロキシ記録を行う設定になっているときのみ表示します。設定方法は、ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) の取扱いガイドを参照してください。



ビデオエンコーダーカードの状態表示 (オプション)

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着して、サムネールメニューからPROPERTY→DEVICES→PROXYを選択します。

ビデオエンコーダーカードの挿入されているスロットとバージョン情報を表示します。

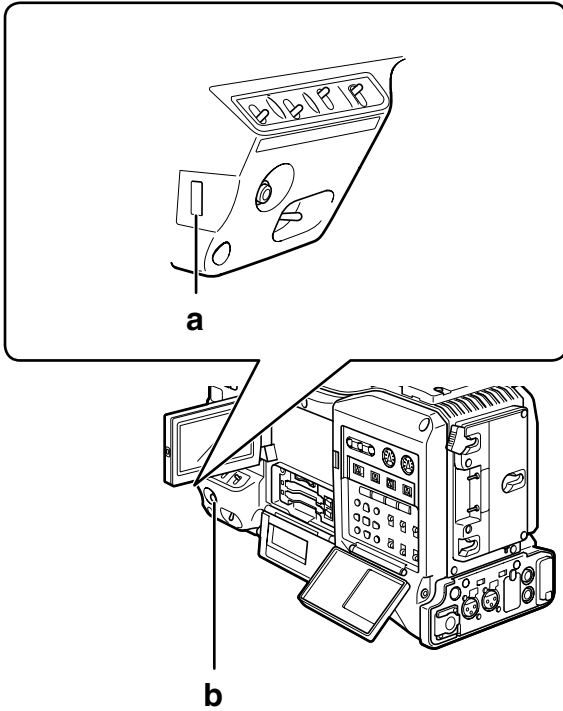
第7章 メニュー操作

ビューファインダー/LCD画面の設定メニュー表示

設定メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて本機の設定を設定メニューで変更することができます。

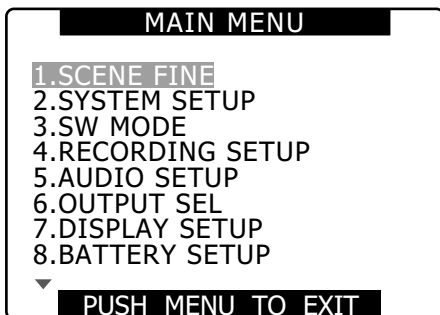
- ・サムネイル設定メニューが表示されている場合は、THUMBNAIL ボタンを押して解除してください。
- ・青文字で表示されている設定メニュー項目は使用できません。



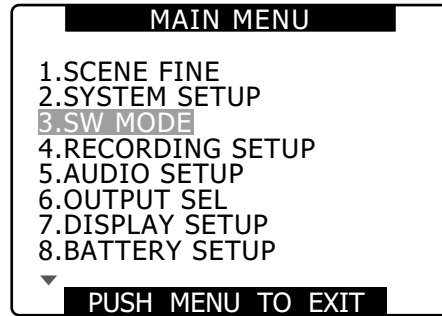
a ジョグダイヤルボタン

b MENUボタン

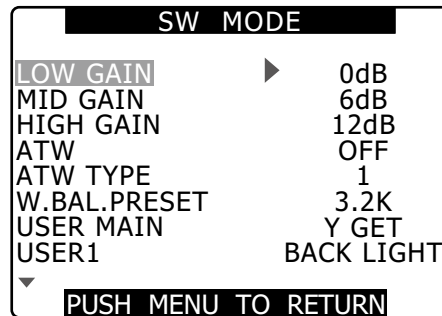
- 1 記録動作以外のおきに、MENU ボタンを押す
 - ・ MENU ボタンは、1 秒程度押し続けてください。
 - ・ 設定メニュー画面がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。



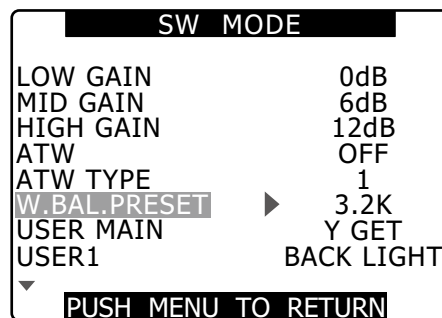
- 2 ジョグダイヤルボタンで設定する機能に反転表示部分を移動させる



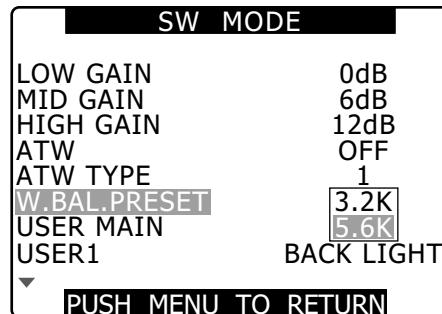
- 3 ジョグダイヤルボタンを押して、設定項目を表示する



- 4 ジョグダイヤルボタンで設定する項目に反転表示部分を移動させる



- 5 ジョグダイヤルボタンを押して設定する



6 ほかの項目を変更する場合は、手順4、5を繰り返す

- ・設定を終了する場合はMENUボタンを押して機能設定メニュー画面に戻ります。

7 ほかの機能を変更する場合は、手順2～5を繰り返す

- ・機能設定メニューを終了する場合は、再度MENUボタンを押して、通常画面に戻ります。

◆ NOTE

■メニューダイレクトクローズ機能

メニュー設定後、MENUボタンを長押しすることで、前設定メニュー画面に戻ることなく、ダイレクトに設定メニュー画面を閉じることができます。

■設定値を早く変化させるには (MASTER PED、H PHASEのみ)

- ・速いUP
ジョグダイヤルボタンを押しながら上へ回し、その位置で押し続けます。
- ・速いDOWN
ジョグダイヤルボタンを押しながら下に回し、その位置で押し続けます。

設定メニュー項目の初期化

設定項目はユーザーファイルとシーンファイルに分けて保存されています。それぞれを工場出荷時の状態に初期化することができます。

ユーザーファイル（シーンファイル以外の全設定項目）を初期化するには

OTHER FUNCTIONS 画面の USER FILE 項目で、INITIAL を選択すると、現在使用しているユーザーファイルの設定メニューを工場出荷時の状態に戻すことができます。

シーンファイル (SCENE FILE) を初期化するには

6つのシーンファイルのうち、初期化するファイルをダイヤルで選択してください。その後、SCENE FILE 画面の LOAD/SAVE/INIT 項目で INITIAL を選択すると、選択したシーンファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

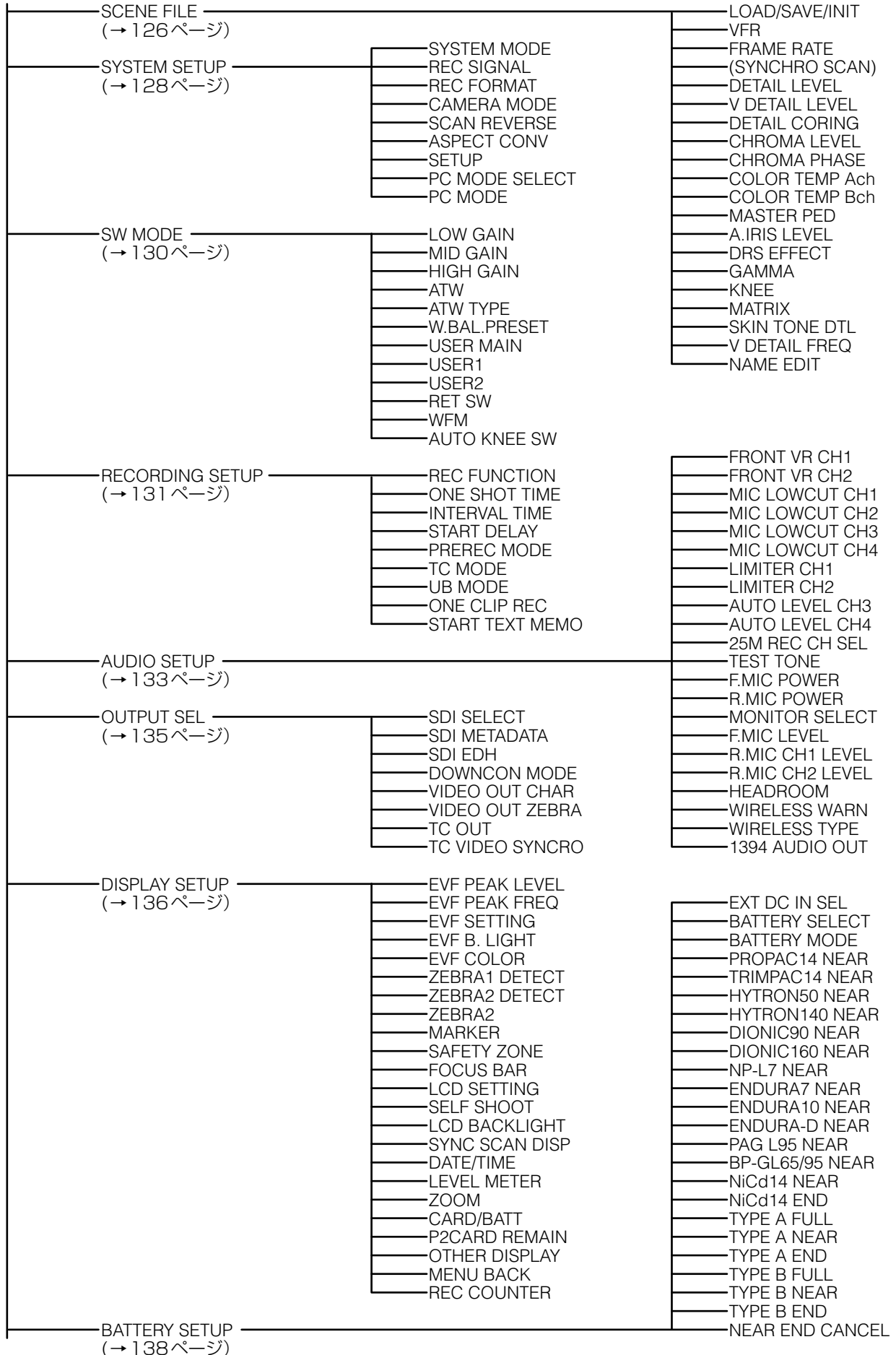
- ・SCENE FILE ダイヤルで選択していないファイルには影響を与えません。

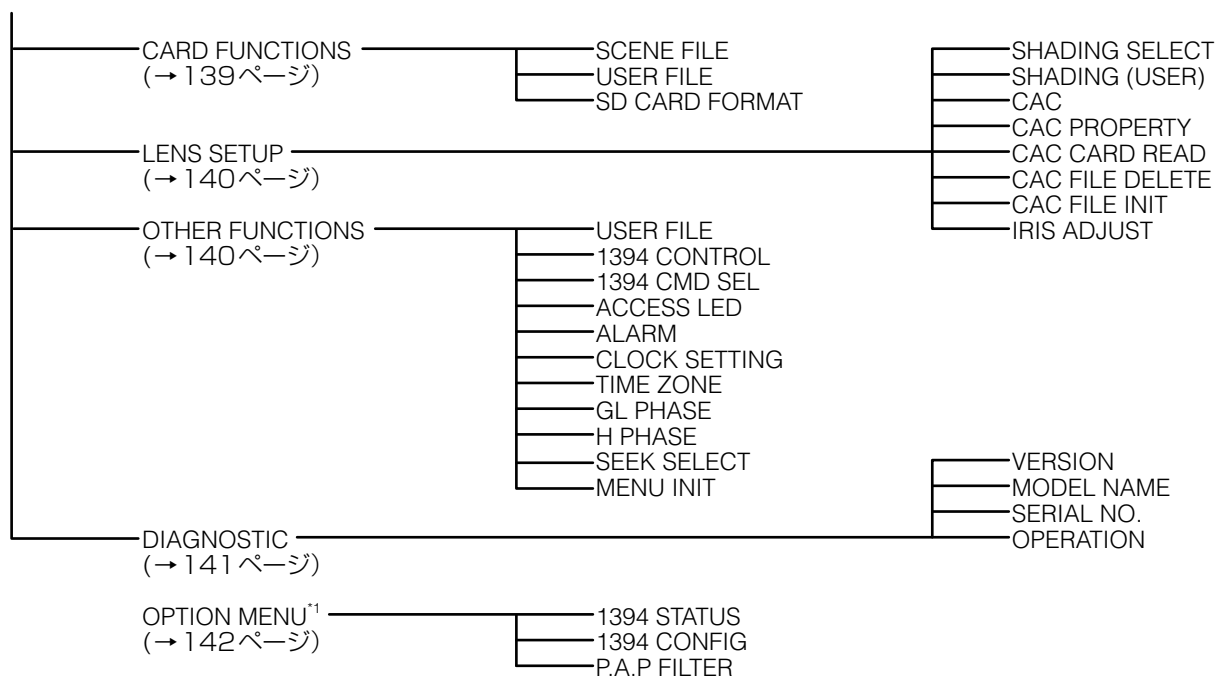
ユーザーファイル・シーンファイルを同時に初期化するには

設定メニューの OTHER FUNCTIONS 画面の MENU INIT 項目で YES を選択すると、ユーザーファイルと6つのシーンファイル全てを工場出荷時の状態に戻すことができます。

設定メニューの構成

MAIN MENU





*1 OPTION MENUは、DISP/MODE CHK ボタンを押しながらMENU ボタンを押したときに表示されます。

メニューの一覧

SCENE FILE 画面

項目	設定内容	備考
LOAD/SAVE/INIT	現在のシーンダイヤル位置 (F1 ~ F6のうちの一つ) に割り付けられたシーンファイルの設定値を、読み出し、保存、初期化します。 LOAD : 本機内メモリーに保存したデータを読み出します。 SAVE : 本機内のメモリーに現在の値を保存します。 INITIAL : 工場出荷値に戻します。	・ 設定を変更しても、現在のシーンダイヤル位置以外のシーンファイルには影響はありません。 ・ ワンクリップレックのクリップ連結継続中は、設定できません。
VFR	720Pでバリエブルフレームレート (VFR) モードの許可、禁止を設定します。 ON : VFRが動作します。 OFF : VFRは動作しません。	・ システムモードが720Pのときのみ設定できます。(720P以外では表示されません) ・ REC SIGNALが1394のときは設定できません。
FRAME RATE	720PでVFR項目がONのとき、撮影の間隔および露光時間を切り替えます。 12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30、32、34、36、40、44、48、54、 <u>60</u> FRAME	・ システムモードが720PでVFR項目がONのときのみ設定できます。(720P以外では表示されません) ・ REC SIGNALが1394のときは設定できません。 ・ 24フレームに切り替えたとき、画面が一瞬乱れる場合があります。
(SYNCHRO SCAN)	テレビ画面を撮影するときなどに使用するシンクロスキャンシャッターのスピードを表示します。 ・ ここでは表示のみ行います。設定は、シンクロスキャン調整スイッチで行ってください。 ・ 設定された値 (表示される値) は、現在のシーンファイルに割り当てられLOAD/SAVE/INIT項目の対象となります。 → 「シンクロスキャンモードの設定」 (53ページ) 参照 1/60.0	・ シンクロスキャンモードに設定されていない場合は、青色で表示されます。また、シンクロスキャン調整スイッチでの設定もできません。
DETAIL LEVEL	画像の輪郭補正 (水平垂直の両方向) の強弱の調整を行います。 -7 ... <u>0</u> *1... +7	
V DETAIL LEVEL	画像垂直方向の輪郭補正の強弱の調整を行います。 -7 ... <u>0</u> *1... +7	
DETAIL CORING	ディテール信号のノイズを除去するレベルを調整します。 -7 ... +<u>5</u> *1... +7 ・ -方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。 ・ +方向にするとノイズが少なくなります。	
CHROMA LEVEL	クロマレベルの調整を行います。 -7 ... <u>0</u> *1... +7	
CHROMA PHASE	クロマ位相の微調整を行います。 -7 ... <u>0</u> *1... +7	
COLOR TEMP Ach	色温度の微調整 (ホワイトバランスAchの調整を行った後の微調整) を行います。 -7 ... <u>0</u> *1... +7	
COLOR TEMP Bch	色温度の微調整 (ホワイトバランスBchの調整を行った後の微調整) を行います。 -7 ... <u>0</u> *1... +7	

*1 SCENE FILE ダイヤルがF1 の場合の工場出荷値です。

___ は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
MASTER PED	映像の基準とする黒のマスターペDESTALの調整を行います。 - 100 ... +15 ^{*1} ... +100	・ジョグダイヤルボタンを押しながら上または下に回し、その位置で押し続けると値が早く変化します。 ・リモートコントロールユニット (AJ-RC10G)、またはエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) が接続されているときは、リモートコントロールユニット、またはエクステンションコントロールユニットのM-PED ボリュームで調整します。
A. IRIS LEVEL	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 - 10 ... 0 ^{*1} ... +10	
DRS EFFECT	DRS (ダイナミックレンジストレッチャー) 機能の高輝度部の圧縮レベルを設定します。 通常の撮影では白飛びする高輝度な部分の映像信号レベルを圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。 1、2、3 ^{*1} ・数値が大きいくほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなり、暗部のノイズも大きくなります。	・1080/30P、1080/24Pのときは、設定できません。
GAMMA	ガンマカーブを選択します。 HD NORM^{*1} : HD撮影に適したガンマ設定です。 LOW : 低輝度部の傾きがゆるやかなガンマカーブを使用し、落ち着いた映像にします。 SD NORM : DVX100 シリーズを継承した通常の映像設定です。 HIGH : 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用し、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストはソフトになります。 B.PRESS : LOWよりコントラストをよりシャープにします。 CINELIKE D : 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINELIKE V : コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 ・CINE-LIKE ガンマを選択したときは、その特徴を十分に活かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く (約 1/2) することをお勧めします。	・DRSが動作中は、設定を変更しても映像は変化しません。
KNEE	白飛びを抑えるために、MOSセンサーが受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル (ニーポイント) を設定します。 HIGH : 高めの設定 (約 100 %から圧縮を開始) MID : 中間の設定 (約 90 %から圧縮を開始) LOW^{*1} : 低めの設定 (約 80 %から圧縮を開始)	・DRSが動作中は、設定を変更しても映像は変化しません。

*1 SCENE FILE ダイヤルがF1の場合の工場出荷値です。

____は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
MATRIX	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 NORM 1 *1 : 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行うときに適した色を表現します。 NORM 2 : NORM1 より鮮やかな色を表現します。 FLUO : 蛍光灯下の屋内で撮影を行うときに適した色を表現します。 CINE-LIKE : 映画感覚の撮影を行うときに適した色を表現します。	
SKIN TONE DTL	肌色ディテールのON/OFFを切り替えます。 ONにすると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 ON、OFF *1	
V DETAIL FREQ	垂直方向のディテールを設定します。 THIN : ディテールを細くします。 MID : ディテールを少し太くします。 THICK : ディテールを太くします。 ・ THINやMIDに設定してプログレッシブモードで撮影した映像を、通常のモニターテレビ(60i: インターレース)で再生した場合、水平の線や水平に近い斜めの線に、ちらつき感が生じます。プログレッシブの環境で再生する場合や、編集などの後処理を行う場合は、THINやMIDに設定することで、THICKに設定したときよりも高解像度の映像が得られます。	
NAME EDIT	シーンファイルダイヤルで選択されているシーンファイルの名前を編集します。	

*1 SCENE FILE ダイヤルがF1 の場合の工場出荷値です。

SYSTEM SETUP 画面

項目	設定内容	備考
SYSTEM MODE	本機の信号フォーマットを設定します。 1080-59.94i、720-59.94P、480-59.94i ・ 設定を変更するとTURN POWER OFFと表示されます。一度本機の電源をOFFにし、再度電源をONにしてください。	・ USB DEVICE モードのときは設定できません。 ・ ワンクリップレックのクリップ連結継続中は、設定できません。
REC SIGNAL	DVCPRO フォーマット時に、入力信号を選択します。 CAMERA : 本機のカメラ撮影信号を記録します。 1394 : DVCPRO/DV 端子の入力信号を記録します。 ・ 電源をONにしたときは、常にCAMERAに設定されます。	・ REC FORMAT 項目がAVC-IntraやDVCPRO HDのNative記録のときは設定できません。 ・ ワンクリップレックのクリップ連結継続中は、設定できません。

____ は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
REC FORMAT	<p>記録のコーデック、および撮影と記録のモードを選択します。 (SYSTEM MODEが1080-59.94iの場合) AVC-I100/60i、AVC-I100/30PN、AVC-I100/24PN： AVC-I 100コーデックで記録します。撮影・記録はそれぞれ60i、30PN (Native記録)、24PN (Native記録) となります。</p> <p>AVC-I 50/60i、AVC-I 50/30PN、AVC-I 50/24PN： AVC-I50コーデックで記録します。撮影・記録はそれぞれ60i、30PN (Native記録)、24PN (Native記録) となります。</p> <p>DVCPROHD/60i： DVCPRO HDコーデックで記録します。撮影モードはCAMERA MODE項目で設定できます。記録は60i固定です。 (SYSTEM MODEが720-59.94Pの場合) AVC-I100/60P、AVC-I100/30PN、AVC-I100/24PN： AVC-I 100コーデックで記録します。撮影・記録はそれぞれ60i、30PN (Native記録)、24PN (Native記録) となります。</p> <p>AVC-I 50/60P、AVC-I 50/30PN、AVC-I 50/24PN： AVC-I50コーデックで記録します。撮影・記録はそれぞれ60i、30PN (Native記録)、24PN (Native記録) となります。</p> <p>DVCPRO HD/60P、DVCPRO HD/30PN、DVCPRO HD/24PN： DVCPRO HDコーデックで記録します。撮影・記録はそれぞれ60P、30PN (Native記録)、24PN (Native記録) となります。 (SYSTEM MODEが480-59.94iの場合) DVCPRO50/60i、DVCPRO/60i、DV/60i： それぞれDVCPRO50、DVCPRO、DVのコーデックで記録します。撮影モードはCAMERA MODE項目で選択できます。記録は60i固定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SYSTEM MODE項目の設定が1080iまたは720Pで、REC SIGNALが1394のときは設定できません。 ・USB DEVICEモードでは設定できません。 ・ワンクリップレックのクリップ連結継続中は、設定できません。
CAMERA MODE	<p>1080-59.94iのDVCPRO HDコーデックおよび480-59.94iのときのカメラ撮影モードを設定します。 60i、30P、24P、24PA</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SYSTEM MODE項目が720-59.94Pに設定されているときは表示されません。 ・以下の場合、設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> -REC SIGNAL項目が1394に設定されているとき -SYSTEM MODE項目の設定が1080-59.94iで、REC FORMAT項目の設定がDVCPROHD/60i以外のとき -ワンクリップレックのクリップ連結継続中のとき
SCAN REVERSE	<p>フィルム用レンズやアナモフィックレンズを装着したとき、画像が反転するのを補正します。 ON、OFF</p>	
ASPECT CONV	<p>480iで記録する映像のアスペクト比を選択します。 SIDE CROP：サイドクロップ (左右両端をカットします) LETTER BOX：レターボックス (上下に黒い帯を追加します) SQUEEZE：スクイーズ (水平方向に圧縮します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SYSTEM MODE項目が1080-59.94i、720-59.94Pのときは設定できません。

____は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
SETUP	480iでの映像信号のセットアップレベルを設定します。 0% ：VIDEO OUT出力、記録上ともセットアップ0%になります。 7.5% A ：VIDEO OUT出力はセットアップ7.5%、記録上はセットアップ0%になります。	
PC MODE SELECT	PC MODE項目をONに設定し、外部機器をUSB接続したときの本機の動作モードを設定します。 USB HOST ：外部ハードディスクドライブを本機にUSB2.0で接続して使用するモードを選択します。(→144ページ) USB DEVICE ：パーソナルコンピューターなどに本機をUSB2.0で接続して、P2カードをマスストレージとして使用するモードを選択します。(→143ページ)	・PC MODE項目がONに設定されているときは、設定できません。
PC MODE	本機をPC MODE SELECT項目で選択したモードで動作させます。 ON ：PC MODEで動作します。 OFF ：PC MODEを停止し、通常の動作に戻ります。 ・電源をONにしたときは、常にOFFに設定されます。	・ワンクリップレックのクリップ連結継続中は、設定できません。

SW MODE画面

項目	設定内容	備考
LOW GAIN	GAINスイッチのL位置に割り当てるゲイン値を設定します。 - 3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB	
MID GAIN	GAINスイッチのM位置に割り当てるゲイン値を設定します。 - 3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB	
HIGH GAIN	GAINスイッチのH位置に割り当てるゲイン値を設定します。 - 3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB	
ATW	ATW（自動追尾式ホワイトバランス）機能を、WHITE BALスイッチに割り当てることができます。(→52ページ) Bch ：WHITE BALスイッチをB位置にしたときに、ATW機能を動作させます。 OFF ：WHITE BALスイッチにはATW機能を割り付けません。	・WHITE BALスイッチをB位置にしてこのメニューをBchに設定しているとき、ATWを割り当てたUSERボタンを押しても、ATW動作をOFFにすることはできません。
ATW TYPE	ATW（自動追尾式ホワイトバランス）機能の動作タイプを選択します。 1 ：標準的なATW動作です。 2 ：設定1よりも追従する光源色の範囲を制限したATW動作です。光源判断間違いのリスクを低減します。	
W.BAL.PRESET	WHITE BALスイッチのPRST位置に割り当てる色温度を設定します。 3.2K、5.6K	

____は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
USER MAIN	USER MAIN ボタンに割り当てる機能を設定します。 REC REVIEW、SPOTLIGHT、BACKLIGHT、ATW、ATWLOCK、GAIN : 24dB、Y GET、DRS、TEXT MEMO、SLOT SEL、SHOT MARK、MAG A. LVL、PRE REC、PC MODE、WFM、FBC →「USER ボタンへの機能割り当て」(55 ページ)	・リモートコントロールユニット (AJ-RC10G)、またはエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) が接続されているときは、SPOTLIGHT、BACKLIGHT 機能は動作しません。
USER1	USER1 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容はUSER MAIN 項目と同じです。 BACKLIGHT (工場出荷時の設定) →「USER ボタンへの機能割り当て」(55 ページ)	
USER2	USER2 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容はUSER MAIN 項目と同じです。 TEXT MEMO (工場出荷時の設定) →「USER ボタンへの機能割り当て」(55 ページ)	
RET SW	レンズのRET ボタンに割り当てる機能を設定します。 REC REVIEW、TEXT MEMO、SHOT MARK、INHIBIT ・INHIBIT を選択すると、RET ボタンの機能は動作しません。	
WFM	WFM を割り当てたUSER ボタンを押したときに、液晶モニターに表示するウェーブフォームの種類を選択します。 WAVE : 波形で表示します。 VECTOR : ベクトルで表示 WAVE/VECT : ボタンを押すごとに、OFF → WAVE (波形) → VECTOR (ベクトル) → OFF の順に切り替わります。	
AUTO KNEE SW	OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチの機能を選択します。 ON : AUTO KNEE ON 位置にすると AUTO KNEE 機能が動作します。 OFF : AUTO KNEE ON 位置にしても AUTO KNEE 機能は動作しません。 DRS : AUTO KNEE ON 位置にすると DRS (ダイナミックレンジストレッチャー機能) が動作します。(→ 11 ページ)	・1080/30P、1080/24P のときは、DRS を選択しても ON を選択したときと同じ動作になります。

RECORDING SETUP 画面

項目	設定内容	備考
REC FUNCTION	特殊記録モードを設定します。 NORMAL : 特殊記録を行いません。 INTERVAL : インターバル記録を設定します。 ONE SHOT : ワンショット記録を設定します。 LOOP : ループ記録を設定します。 →「特殊な記録機能について」(40 ページ) ・電源を ON にした時は、常に NORMAL に設定されます。	・以下の場合は、設定できません。 -REC SIGNAL 項目の設定が 1394 のとき -REC FORMAT 項目で Native 記録を設定しているとき -SYSTEM MODE 項目の設定が 1080-59.94i または 480-59.94i で、CAMERA MODE 項目を 24P または 24PA に設定しているとき -ワンクリップのクリップ連結継続中のとき
ONE SHOT TIME	ワンショット記録の記録時間を設定します。 1frm、2frm、4frm、8frm、16frm、1s →「ワンショット記録」(41 ページ) 参照	・REC FUNCTION 項目の設定が ONE SHOT の場合のみ設定できます。

____ は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
INTERVAL TIME	インターバル記録を行うときのインターバル時間を設定します。 2frm、4frm、8frm、16frm、1s、2s、5s、10s、30s、1min、5min、10min →「インターバル記録」(40ページ) 参照	・ REC FUNCTION項目の設定がINTERVALの場合のみ設定できます。
START DELAY	インターバル記録、ワンショット記録での記録開始を約1秒遅延させます。 ON、OFF	・ REC FUNCTION項目の設定がINTERVALまたはONE SHOTの場合のみ設定できます。
PREREC MODE	PRE RECを設定します。 ON、OFF →「プリレック」(40ページ) 参照	・ 以下の場合は、設定できません。 - REC SIGNAL項目の設定が1394のとき - SYSTEM MODE項目の設定が720-59.94PでVFR項目の設定がONのとき - REC FORMAT項目でNative記録を設定しているとき - SYSTEM MODE項目の設定が1080-59.94iまたは480-59.94iで、CAMERA MODE項目を24Pまたは24PAに設定しているとき - REC FUNCTION項目の設定がNORMAL以外のとき
TC MODE	本機内蔵のタイムコードジェネレーターのカウント補正を設定します。 DF ：ドロップフレームモードでカウントします。 NDF ：ノンドロップフレームモードでカウントします。 →「タイムコードの設定」(62ページ) 参照	・ 24P、24PA、24PNで動作しているときは設定できません。常にNDFでカウントします。
UB MODE	本機のユーザーズビットに記録する内容を設定します。 USER、TIME、DATE、EXT、TCG、FRM.RATE →「ユーザーズビットの設定」(60ページ) 参照	
ONE CLIP REC	ワンクリップレックモードを設定します。 ON、OFF →「ワンクリップレック」(42ページ) 参照	・ 以下の場合は設定できません。 - REC FUNCTION項目がNORMAL以外のとき - REC SIGNAL項目が1394のとき - VFR項目がONのとき
START TEXT MEMO	記録開始するたびに、自動的に記録開始位置にテキストメモを付加する機能を設定します。 ON、OFF	・ REC FUNCTION項目がNORMAL以外のときは設定できません。 ・ この項目をONにして付加されるテキストメモは、記録開始位置を示すものです。 テキストメモを文字情報として記録する場合は、「クリップメタデータの設定」(112ページ)を参照してください。

____は工場出荷値です。

AUDIO SETUP画面

項目	設定内容	備考
FRONT VR CH1	CH1入力に対するフロントボリュウムの有効/無効を設定します。 FRONT ：CH1がフロントマイク入力の場合に、フロントボリュウムが有効になります。 W.L. ：CH1がワイヤレス入力の場合にフロントボリュウムが有効になります。 REAR ：CH1がリア入力の場合にフロントボリュウムが有効になります。 ALL ：CH1がフロント、ワイヤレス、リアのどの入力であってもフロントボリュウムが有効になります。 OFF ：CH1に対してはフロントボリュウムは無効です。	・AUDIO SELECT CH1スイッチがAUTOの場合は、自動調整モードになるため、この項目の設定には関係なくフロントボリュウムは無効になります。
FRONT VR CH2	CH2入力に対するフロントボリュウムの有効/無効を設定します。 設定内容は、FRONT VR CH1と同じです。 OFF （工場出荷時の設定）	・AUDIO SELECT CH2スイッチがAUTOの場合は、自動調整モードになるため、この項目の設定には関係なくフロントボリュウムは無効になります。
MIC LOWCUT CH1* ¹	CH1のマイクロカットフィルターを設定します。 FRONT ：フロントマイク入力の場合にはたらきます。 W.L. ：ワイヤレス入力の場合にはたらきます。 REAR ：リアマイク入力の場合にはたらきます。 OFF ：どの入力にもOFFになります。	
MIC LOWCUT CH2* ¹	CH2のマイクロカットフィルターを設定します。 設定内容は、MIC LOWCUT CH1と同じです。 OFF （工場出荷時の設定）	
MIC LOWCUT CH3* ¹	CH3のマイクロカットフィルターを設定します。 設定内容は、MIC LOWCUT CH1と同じです。 OFF （工場出荷時の設定）	
MIC LOWCUT CH4* ¹	CH4のマイクロカットフィルターを設定します。 設定内容は、MIC LOWCUT CH1と同じです。 OFF （工場出荷時の設定）	
LIMITER CH1	CH1のリミッタを設定します。 ON 、 OFF	・AUDIO SELECT CH1スイッチがAUTOの場合は、自動調整モードになるため、この項目の設定には関係なくリミッタははたらきません。
LIMITER CH2	CH2のリミッタを設定します。 ON 、 OFF	・AUDIO SELECT CH2スイッチがAUTOの場合は、自動調整モードになるため、この項目の設定には関係なくリミッタははたらきません。
AUTO LEVEL CH3	CH3のレベル設定方法を選択します。 ON ：自動調整モードになります。（リミッタははたらきません） OFF ：レベルは固定になります。（リアのライン入力以外の入力系統に対してはリミッタがはたらきます）	
AUTO LEVEL CH4	CH4のレベル設定方法を選択します。 設定内容は、AUTO LEVEL CH3と同じです。 ON （工場出荷時の設定）	

*1 マイクロカットフィルターを適用した時の周波数特性は200 Hz～10 kHzになります。

項目	設定内容	備考
25M REC CH SEL	DVCPRO、およびDVフォーマット時、記録するオーディオCHを選択します。 2CH ：CH1、CH2のみを記録します。 4CH ：4チャンネルすべてを記録します。	・以下の場合は、設定できません。 -SYSTEM MODE項目の設定が1080i-59.94iまたは720-59.94Pのとき - SYSTEM MODE項目の設定が480-59.94iで、REC FORMAT項目の設定がDVCPRO50コーデックのとき -REC SIGNAL項目の設定が1394のとき（1394の入力状態に従います。） -ワンクリップレックのクリップ連結継続中のとき
TEST TONE	テスト信号を選択します。 NORMAL ：OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチをBARSに、AUDIO INスイッチのCH1をFRONTに切り替えたとき、CH1/2/3/4にテストトーンを出力します。 ALWAYS ：OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチをBARSに切り替えたとき、常にCH1/2/3/4にテストトーンを出力します。 CHSEL ：OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチをBARSに切り替えたとき、AUDIO INスイッチのCH1、またはCH2がFRONTに設定されているチャンネルにテストトーンを出力します。（CH3/4には出力しません） OFF ：テストトーンは出力しません。	
F.MIC POWER	フロントマイクのリファントム電源を設定します。 ON、OFF	
R.MIC POWER	リアマイクのリファントム電源を設定します。 ON ：リアのLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを+48Vにしたとき、リファントム電源がマイクに供給されます。 OFF ：LINE/MIC/+48V切り替えスイッチを+48Vにしたときも、リファントム電源はマイクに供給されません。	
MONITOR SELECT	MONITOR SELECTスイッチをSTにしたときの、AUDIO OUT、イヤホンおよびスピーカーへの出力信号を設定します。 STEREO、MIX	
F.MIC LEVEL	フロントマイクの入力レベルを選択します。 -40dB、-50dB、-60dB	
R.MIC CH1 LEVEL	リアマイクCH1の入力レベルを選択します。 -50dB、-60dB	
R.MIC CH2 LEVEL	リアマイクCH2の入力レベルを選択します。 -50dB、-60dB	
HEADROOM	ヘッドルーム（基準レベル）を設定します。 18dB、20dB	
WIRELESS WARN	ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪いとき、警告を出すかどうかを設定します。 ON、OFF	
WIRELESS TYPE	ワイヤレスレシーバーのタイプを選択します。 SINGLE ：1チャンネル式 DUAL ：2チャンネル式 ・DUAL選択している場合、1チャンネルタイプのワイヤレスレシーバーを装着すると、CH2、CH4をW.L.にしても無音となります。	

____は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
1394 AUDIO OUT	DVCPRO または DV モードで 1394OUT に出力する AUDIO チャンネルを選択します。 CH1/CH2、CH3/CH4	・ SYSTEM MODE 項目の設定が 480-59.94i で REC FORMAT 項目の設定が DVCPRO または DV の場合のみ設定できます。

OUTPUT SEL 画面

項目	設定内容	備考
SDI SELECT	SDI OUT 端子から出力される信号フォーマットの種類を設定します。 AUTO : SYSTEM MODE 項目の設定に従います。 1080i *1 : SYSTEM MODE 項目の設定が 720-59.94P でも 1080-59.94i で出力します。 480i : SYSTEM MODE 項目の設定とは関係なく、480-59.94i 固定出力となります。	・ SYSTEM MODE 項目の設定が 480-59.94i の場合は設定できません。常に 480i で出力されます。
SDI METADATA	SDI OUT のメタデータ (UMID) 重畳を設定します。 ON : メタデータを重畳します。 OFF : メタデータを重畳しません。	
SDI EDH	SDI OUT が SD 信号 (480i) のとき、EDH の重畳を設定します。 ON : EDH を重畳します。 OFF : EDH を重畳しません。	
DOWNCON MODE	HD モード (1080i、720P) のとき、ダウンコンバート出力 (VIDEO OUT および 480i の SDI OUT) のモードを設定します。 SIDE CROP、LETTER BOX、SQUEEZE	・ SYSTEM MODE 項目の設定が 480-59.94i の場合は設定できません。
VIDEO OUT CHAR	VIDEO OUT にキャラクターを重畳するかどうかを選択します。 ON : キャラクターを重畳します。 OFF : キャラクターを重畳しません。	・ リモートコントロールユニット (AJ-RC10G)、またはエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) が接続されているときは、この設定は無効となり、リモートコントロールユニット側、またはエクステンションコントロールユニット側からの設定に従います。
VIDEO OUT ZEBRA	VIDEO OUT にゼブラパターンを重畳するかどうかを選択します。 ON : VIDEO OUT 端子からの映像にもゼブラパターンを表示します。 OFF : VIDEO OUT 端子からの映像にはゼブラパターンは表示されません。	
TC OUT	TC OUT 端子から出力されるタイムコードの種類を設定します。 TCG : 常に本機のタイムコードジェネレーターの値を出力します。 TCG/TCR : カメラ映像出力時はタイムコードジェネレーター値を、再生映像出力時は、再生されたタイムコード値を出力します。	
TC VIDEO SYNCRO	TC OUT 端子から出力されるタイムコードの出力遅延を設定します。 TC IN : TC IN 端子の入力を遅延なしに出力します。 VIDEO OUT : VIDEO OUT 端子の出力映像の遅延に合わせて出力します。	

*1 SYSTEM MODE 項目の設定が 720-59.94P で 1080i を選択した場合は、映像確認用としてご使用ください。

DISPLAY SETUP画面

項目	設定内容	備考
EVF PEAK LEVEL	ビューファインダーおよび液晶モニターのピーキングレベルを調整します。 -7...0...+7	
EVF PEAK FREQ	ビューファインダーおよび液晶モニターのピーキング周波数を調整します。 HIGH 、 LOW	
EVF SETTING	ビューファインダーの輝度とコントラストをサブ画面で調整します。 (サブ画面) EVF BRIGHTNESS EVF CONTRAST	
EVF B.LIGHT	ビューファインダーのバックライトの明るさを調整します。 HIGH 、 NORMAL 、 LOW	
EVF COLOR	ビューファインダーの映像をカラーで表示するか、白黒で表示するかを選択します。 ON ：カラーで表示します。 OFF ：白黒で表示します。	
ZEBRA1 DETECT	右側に傾いたゼブラパターン1のレベルを設定します。 50% ... 70% ... 109%	
ZEBRA2 DETECT	左側に傾いたゼブラパターン2のレベルを設定します。 50% ... 85% ... 109%	
ZEBRA2	ZEBRA2のタイプを選択します。(→76ページ) ON 、 SPOT 、 OFF	
MARKER	ビューファインダーと液晶モニターに表示するセンターマーカのON/OFFを設定します。(→75ページ) ON 、 OFF	
SAFETY ZONE	ビューファインダーと液晶モニターに表示するセーフティゾーンを設定します。(→75ページ) 90% 、 4:3 、 13:9 、 14:9 、 OFF	・SYSTEM MODE項目の設定が480-59.94iで、ASPECT CONV項目の設定がSIDE CROPのときは、4:3、13:9、14:9を選択してもセーフティゾーンは表示されません。
FOCUS BAR	フォーカスの合っている度合いをバーの大きさで表示する機能を設定します。 ON ：フォーカスバーを表示します。 OFF ：フォーカスバーを表示しません。	・フォーカスアシストボタンには連動しません。
LCD SETTING	液晶モニターに表示する映像のカラーレベル、輝度、コントラストをサブ画面で調整できます。 (サブ画面) LCD COLOR LEVEL LCD BRIGHTNESS LCD CONTRAST	
SELF SHOOT	対面撮影を行うときの液晶画面の表示を設定します。 NORMAL ：左右を反転しません。 MIRROR ：左右を反転して表示します。 ・MIRRORに設定したときは、対面撮影時液晶モニターの状態表示はされません。	
LCD BACKLIGHT	液晶モニターのバックライトの明るさを調整します。 HIGH 、 NORMAL 、 LOW	
SYNC SCAN DISP	シンクロスキャンシャッターの表示を選択します。 sec ：シャッタースピードを分数で表示します。 deg ：シャッターの開角度の目やすを表示します。	・設定を切り替えたとき、明るさが変わる場合があります。

項目	設定内容	備考
DATE/TIME	日付と時間の表示を設定します。 TIME ：時、分、秒を表示します。 DATE ：年、月、日を表示します。 TIME&DATE ：時、分、秒と年、月、日とを表示します。 OFF ：表示しません。	
LEVEL METER	オーディオレベルメーターの表示を設定します。 ON、OFF	
ZOOM	レンズのズーム値の表示を設定します。 ON、OFF	
CARD/BATT	P2カードの残量とバッテリーの残量の表示を設定します。 ON、OFF	
P2CARD REMAIN	P2カードの記録残量表示の種類を選択します。 ONE-CARD ：現在記録しているカードの残量を表示します。 TOTAL ：2枚の合計残量を表示します。	
OTHER DISPLAY	その他の情報表示を設定します。 PARTIAL ：一部の情報を表示します。 ALL ：全ての情報を表示します。 OFF ：表示しません。	
MENU BACK	設定メニューを表示中、バックグラウンドの透過率を下げ、文字を際立たせるかどうかを選択します。 ON ：バックグラウンド透過率を下げます。(ただしLCD SETTING、EVF SETTINGSのサブ画面は透過率は上がりません) OFF ：バックグラウンド透過率は上がりません。	
REC COUNTER	記録時のカウンター動作を設定します。 TOTAL ：COUNTER RESET ボタンでリセットするまで積算してカウントを続けます。 CLIP ：記録開始時にカウント値をクリアし、撮影単位の時間をカウントします。	

BATTERY SETUP画面

項目	設定内容	備考
EXT DC IN SEL	外部DC電源の種類を設定します。 AC ADAPTER : ACアダプター BATTERY : バッテリー	
BATTERY SELECT	バッテリーのタイプを設定します。 PROPAC14 、 TRIMPAC14 、 HYTRON50 、 HYTRON140 、 DIONIC90 、 DIONIC160 、 NP-L7 、 ENDURA7 、 ENDURA10 、 ENDURA-D 、 PAG L95 、 BP-GL65/95 、 NiCd14 、 TYPE A 、 TYPE B	
BATTERY MODE	ニアエンドを設定します。 AUTO : BATTERY SELECTで選択したバッテリーで、自動に設定されます。 MANUAL : ニアエンド電圧を手動で設定します。	
PROPAC14 NEAR	PROPAC14のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.5V ~ 15.0V	
TRIMPAC14 NEAR	TRIMPAC14のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.4V ~ 15.0V	
HYTRON50 NEAR	HYTRON50のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.4V ~ 15.0V	
HYTRON140 NEAR	HYTRON140のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.1V ~ 15.0V	
DIONIC90 NEAR	DIONIC90のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.7V ~ 15.0V	
DIONIC160 NEAR	DIONIC160のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.3V ~ 15.0V	
NP-L7 NEAR	NP-L7のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.6V ~ 15.0V	
ENDURA7 NEAR	ENDURA7のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.4V ~ 15.0V	
ENDURA10 NEAR	ENDURA10のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.4V ~ 15.0V	
ENDURA-D NEAR	ENDURA-Dのニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.4V ~ 15.0V	
PAG L95 NEAR	PAG L95のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.8V ~ 15.0V	
BP-GL65/95 NEAR	BP-GL65/95のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.4V ~ 15.0V	
NiCd14 NEAR	NiCd14のニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.5V ~ 15.0V	
NiCd14 END	NiCd14のエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調整できます) 11.0V ~ 13.1V ~ 15.0V	

___は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
TYPE A FULL	TYPE Aのフル電圧を設定します。(0.1 V単位で調整 できます) 12.0V ~ 15.7V ~ 17.0V	
TYPE A NEAR	TYPE Aのニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位 で調整できます) 11.0V ~ 13.7V ~ 15.0V	
TYPE A END	TYPE Aのエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調 整できます) 11.0V ~ 13.3V ~ 15.0V	
TYPE B FULL	TYPE Bのフル電圧を設定します。(0.1 V単位で調整 できます) 12.0V ~ 16.0V ~ 17.0V	
TYPE B NEAR	TYPE Bのニアエンド電圧を設定します。(0.1 V単位 で調整できます) 11.0V ~ 13.1V ~ 15.0V	
TYPE B END	TYPE Bのエンド電圧を設定します。(0.1 V単位で調 整できます) 11.0V ~ 12.8V ~ 15.0V	
NEAR END CANCEL	バッテリーニアエンド警告のキャンセルを設定しま す。 ON、OFF ・ONに設定したときは、DISP/MODE CHK ボタン を押すことで、ワーニングランプ、タリールランプの 点滅を止めることができます。	

CARD FUNCTIONS 画面

項目	設定内容	備考
SCENE FILE	SDメモリーカードへシーンファイルの読み書きをし ます。 FILE SELECT : シーンファイル (1 ~ 4) を選択し ます。 READ : SDメモリーカードに保存されたシーンファ イル (1 ~ 4) の設定値を選択して読み出します。 WRITE : SDメモリーカードに現在のシーンファイル (1 ~ 4) の設定値を保存します。 TITLE RELOAD : タイトル一覧を更新します。	・ワンクリップレックのクリップ連結継 続中は、設定できません。
USER FILE	SDメモリーカードへユーザーファイル (SCENE FILE以外の項目) の読み書きをします。 FILE SELECT : ユーザーファイル (1 ~ 4) を選択 します。 READ : SDメモリーカードに保存されたユーザーファ イル (1 ~ 4) の設定値を読み出します。 WRITE : SDメモリーカードに現在のユーザーファ イル (1 ~ 4) の設定値を保存します。 TITLE RELOAD : タイトル一覧を更新します。	・ワンクリップレックのクリップ連結継 続中は、設定できません。
SD CARD FORMAT	SDメモリーカードをフォーマットします。	・ワンクリップレックのクリップ連結継 続中は、設定できません。

・各設定データファイルの操作は、再生中や設定メニューのSYSTEM SETUP画面のPC MODE項目をONに設定してい
るときは、エラーになることがあります。PC MODE項目をOFFにしてから操作してください。

____は工場出荷値です。

LENS SETUP 画面

項目	設定内容	備考
SHADING SELECT	シェーディング補正のパラメーターを設定します。 DEFAULT ：標準レンズの設定 USER1 ：ユーザー設定 1 USER2 ：ユーザー設定 2 USER3 ：ユーザー設定 3 OFF ：シェーディング補正 OFF	
SHADING (USER)	SHADING SELECT の USER1、2、3 にシェーディングパラメーターを設定します。	・以下の場合は設定できません。 -SHADING SELECT 項目が DEFAULT または OFF のとき
CAC	レンズの収差補正 (CAC) 機能を動作させるかどうかを設定します。 ON ：CAC 動作可能な場合は動作させます。 OFF ：CAC 動作ははたらきません。	
CAC PROPERTY	現在、使用している CAC ファイルの番号、および本体読み込み済みの CAC ファイルの情報を表示します。	
CAC CARD READ	SD メモリーカードから CAC ファイルを読み込みます。	・ワンクリップレックのクリップ連結継続中は、設定できません。
CAC FILE DELETE	本体に読み込み済みの CAC ファイルの一覧を表示し、その内から選択したものを削除します。	
CAC FILE INIT	本体に読み込み済みの CAC ファイルを工場出荷時の CAC ファイルに初期化します。	
IRIS ADJUST	アイリスを強制的に設定します。 F2.8、F16	

OTHER FUNCTIONS 画面

項目	設定内容	備考
USER FILE	本機内部のメモリーに対し、ユーザーファイルの保存、読み出し、初期化を行います。(→82 ページ参照) LOAD、SAVE、INITIAL ・SCENE FILE 画面の項目には影響を与えません。	・以下の場合は設定できません。 -USB DEVICE モードに設定されているとき -ワンクリップレックのクリップ連結継続中のとき
1394 CONTROL	本機から DVCPRO/DV 端子に接続された外部機器を制御する場合の制御方法を設定します。(→149 ページ参照) EXT ：外部機器のみ制御し、本機への記録は行いません。 BOTH ：外部機器と本機の両方を制御し、同時記録を行います。 CHAIN ：本機の記録残量が終端付近になると自動的に外部機器に記録を行います。 OFF ：制御しません。	・AVC-Intra モード、および DVCPRO HD の Native モードでは設定できません。 ・インターバル記録、ワンショット記録、ループレックのときは設定できません。
1394 CMD SEL	本機から DVCPRO/DV 端子に接続された外部機器を制御する場合の、外部機器側の記録停止の状態を設定します。 REC_P ：REC/PAUSE 状態にします。 STOP ：STOP 状態にします。	・AVC-Intra モード、および DVCPRO HD の Native モードでは設定できません。 ・インターバル記録、ワンショット記録、ループレックのときは設定できません。
ACCESS LED	P2 カードのアクセス LED を点灯させるかどうかを設定します。 ON、OFF	
ALARM	警告時に出力するアラーム音を設定します。 HIGH、LOW、OFF	

___ は工場出荷値です。

項目	設定内容	備考
CLOCK SETTING	内蔵のカレンダー（日時）を設定します。 →「内蔵時計の日付/時刻の設定」（28ページ）参照	
TIME ZONE	世界標準時（GMT）に対する時間差を設定します。 - 12:00...+9:00...+13:00 →「内蔵時計の日付/時刻の設定」（28ページ）参照	・MENU INIT項目およびUSER FILEのINITIAL項目で初期化を行っても、初期化されません。
GL PHASE	HD（1080i、720P）モードのとき、GENLOCK IN端子に入力された信号に、位相をロックさせる出力信号を選択します。（→66ページ参照） HD SDI ：HD SDI出力が位相ロックします。 COMPOSITE ：ダウンコンバートされたコンポジット信号（VIDEO OUTの信号およびSDI OUTの480i信号）が位相ロックします。	・SYSTEM MODE項目が480-59.94iのときは設定できません。
H PHASE	GENLOCK IN端子に入力された信号に、位相をロックさせる際に水平位相を調整します。 - 512...0...+511	・ジョグダイヤルボタンを押しながら上または下に回し、その位置で押し続けると値が早く変化します。
SEEK SELECT	再生一時中に、FF、REWボタンを押して頭出しする位置を選択します。 CLIP ：クリップの先頭 CLIP&T ：クリップの先頭と、テキストメモの付加	
MENU INIT	シーンファイルF1～F6すべてとユーザーファイルを含む設定メニュー全体を工場出荷時の状態に戻します。	・以下の場合は設定できません。 -USB DEVICEモードに設定されているとき -ワンクリップレックのクリップ連結継続中のとき

DIAGNOSTIC 画面

項目	設定内容	備考
VERSION	本機の全ファームウェアのバージョンを表示します。 サブ画面を開くと、それぞれのファームウェアのバージョンを確認できます。 (サブ画面) CAM SOFT ：カメラマイコンのソフトウェア SYSCON SOFT ：システム制御マイコンのソフトウェア P2CS BL2-1 ：P2制御マイコンのブートプログラム1 P2CS BL2-2 ：P2制御マイコンのブートプログラム2 P2CS KR ：P2制御マイコンのカーネル P2CS AP ：P2制御マイコンのアプリケーションソフトウェア VUP ：本機のファームウェア全体をアップデートするシステムのソフトウェア VUP FS ：本機のアップデートのファイルシステム CAM1 FPGA ：カメラ1FPGAのコンフィグレーションROM CAM2 FPGA ：カメラ2FPGAのコンフィグレーションROM CAM3 FPGA ：カメラ3FPGAのコンフィグレーションROM DM FPGA ：メインFPGAのコンフィグレーションROM	
MODEL NAME	本機の製品名を表示します。	
SERIAL NO.	本機の製造番号を表示します。	
OPERATION	本機の通電時間を表示します。	

____は工場出荷値です。

OPTION MENU 画面

DISP/MODE CHK ボタンを押したままにして、撮影状態の内容が表示されてから、MENU ボタンを押すと表示されます。

- ノンリニア編集時に接続状態を確認するときに使用します。
- 画作り効果を切り替えたいときに使用します。

項目	設定内容	備考
1394 STATUS	1394 状態表示サブ画面が表示されます。 (サブ画面) FORMAT : 入力、もしくは出力されている信号のフォーマット RATE : 入力、もしくは出力されている信号の転送レート 60/50 : 入力、もしくは出力されている信号の方式 CH : 入力、もしくは出力されているチャンネルの値 SPEED : 入力、もしくは出力されている信号の転送速度 STATUS : IEEE1394 デジタルインターフェースで入力、もしくは出力されている信号の状態 VIDEO : 入力、もしくは出力されるビデオ信号の状態 AUDIO : 入力、もしくは出力されるオーディオ信号の状態	
1394 CONFIG	1394 拡張用メニューが表示されます。 DFLT、1 ~ 255 ・通常は DFLT のままでご使用ください。	
P.A.P FILTER ^{*1}	3次元適応処理技術により画質を向上させる画像フィルターの種類を選択できます。 TYPE1 : 3次元適応効果によりノイズ感を極力抑えた画作りに適した設定 TYPE2 : 3次元適応効果を抑え、自然な画作りに適した設定	この項目は SCENE FILE、USER FILE として SD メモリーカードに読み書きできません。

*1 3次元適応処理を駆使した PAP (Progressive Advanced Processing) 技術により画像を高感度、高画質にする映像処理回路

第8章 外部機器との接続

USB2.0端子での接続機能

USBデバイスモードでの パーソナルコンピューターと の接続

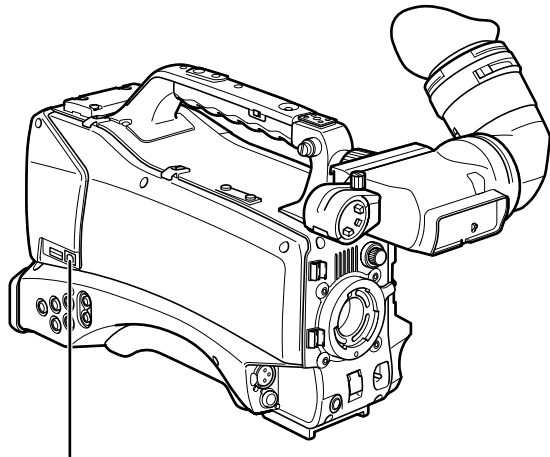
外部パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続することにより、本機に挿入されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。

パーソナルコンピューターとの接続手順

1 USB2.0端子にUSBケーブルを接続する

◆ NOTE

- ・本機にUSB2.0ケーブルは同梱されていません。市販のUSB2.0対応ケーブル（ノイズ対策のためのシールド処理などが施されているもの）をご用意ください。
- ・USBケーブルの長さは5 mまで対応していますが、なるべく3 m以内のケーブルのご使用をお勧めします。



USB2.0端子 (DEVICE)

- ##### 2 設定メニューのSYSTEM SETUP画面のPC MODE SELECT項目をUSB DEVICEに設定し、PC MODE項目をONに設定する
- メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

SYSTEM SETUP	
SYSTEM MODE	1080-59.94i
REC SIGNAL	CAMERA
REC FORMAT	AVC-I100/60i
CAMERA MODE	60i
SCAN REVERSE	OFF
ASPECT CONV	SIDE CROP
SETUP	0%
PC MODE SELECT	▶USB DEVICE
▼	
PUSH MENU TO EXIT	

◆ NOTE

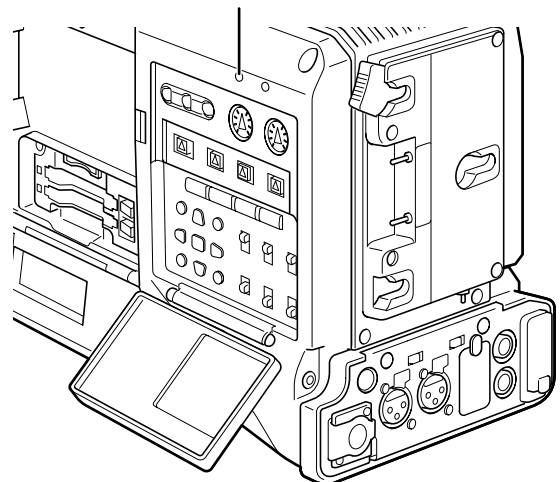
設定メニューのSW MODE画面のUSER MAIN/USER1/USER2項目で、PC MODEをそれぞれのUSERボタンに割り当てることができます。ただし、メニューを開いている間は、USERボタンを押しても動作しません。

USB接続を初めて行うときには、本機付属のCD-ROMからP2ソフトウェアをパーソナルコンピューターにインストールしてください。USBドライバーは「AG-HPX370」を選択してください。USBドライバーはWindowsのみ対応しています。詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

◆ NOTE

- ・パーソナルコンピューターにはUSB専用ドライバーをインストールする必要があります。
 - ・本機は、USB2.0にのみ対応しています。USB2.0対応のパーソナルコンピューターをご使用ください。
 - ・パーソナルコンピューターとUSB接続する場合は本機1台のみに行ってください。
 - ・USBを接続して使用するときは、P2カードを抜かないでください。
 - ・USB接続中は、P2カードアクセスLEDは、アクセス中以外は消灯します。
 - ・USBデバイスで動作中は、記録・再生動作やクリップのサムネイル操作はできません。
 - ・USBデバイスで動作中は、P2カードの残量や状態は表示されません。また、SDI OUT端子や、DVCPRO/DV端子からオーディオは出力されず、AUDIOレベルメーターも振れません。
- ・USB接続状態中は、本機側面のUSBランプが点灯します。また、ビューファインダー画面の中央にUSB DEVICE CONNECTと表示されます。正常に接続できていない場合はUSBランプは点滅し、表示はDISCONNECTになります。

USBランプ



(ビューファインダーの画面表示)



3 USBモードを終了する

以下の3通りの方法があります。

- ・本機のPOWERスイッチをOFFにする
- ・設定メニューのSYSTEM SETUP画面のPC MODE項目をOFFに切り替える
- ・PC MODEを割り当てたUSERボタンを押す

USBホストモード

USB2.0対応のハードディスクドライブ（HDD）1台と接続して、カードデータの保存や、保存したクリップのサムネイル閲覧、P2カードへの書き戻しができます。

USBホストモードへの切り替え

1 設定メニューのSYSTEM SETUP画面のPC MODE SELECT項目をUSB HOSTに設定し、PC MODE項目をONにする

- ・USBホストモードに切り替わります。
- ・USBホストモード中は、本機側面のUSB LEDが点灯します。また、ビューファインダー画面の中央にUSB HOST CONNECTと表示されます。ハードディスクが正常に接続できていない場合はUSB LEDは点滅し、表示はDISCONNECTになります。
- ・USERボタンにPC MODEを割り当てている場合、機能を割り当てているUSERボタンを押すことでUSBホストモードと通常モードの切り替えができます。ただし、サムネイルモード中は、USERボタンを押しても切り替えできません。
→「USERボタンへの機能割り当て」(55ページ)参照

2 THUMBNAIL ボタンを押す

- ・サムネイル画面に移行します。
- ・画面の右下にUSB HOSTが表示されていることを確認してください。
- ・ハードディスクドライブが接続されている場合は、右上のHDDマークが点灯します。ただし、マークが赤く点灯している場合はコピー不可能なハードディスクドライブを示します。ハードディスクドライブの種類を確認してください。
→HDDマークについては「サムネイル画面」(104ページ)参照



◆ NOTE

USB HOSTモードでは、P2カードの再生はできませんが、カメラ映像や外部入力記録はできません。また、ハードディスクに書き込まれたクリップは、P2カードに書き戻さなければ再生できません。
→「P2カードへの書き戻し」(147ページ)参照

3 USBホストモードを終了する

以下の3通りの方法があります。

- ・本機のPOWERスイッチをOFFにする。
 - ・サムネイル画面を閉じた状態で、設定メニューのSYSTEM SETUP画面のPC MODE項目をOFFに切り替える
 - ・PC MODEを割り当てたUSERボタンを押す*1
- *1 サムネイルモード中は、USERボタンを押してもUSBホストモードを終了できません。

USBホストモードの使い方

使用できるハードディスクドライブ

- ・USB2.0で接続できるハードディスクドライブ
- ・P2 STORE (AJ-PCS060G 別売品)

◆ NOTE

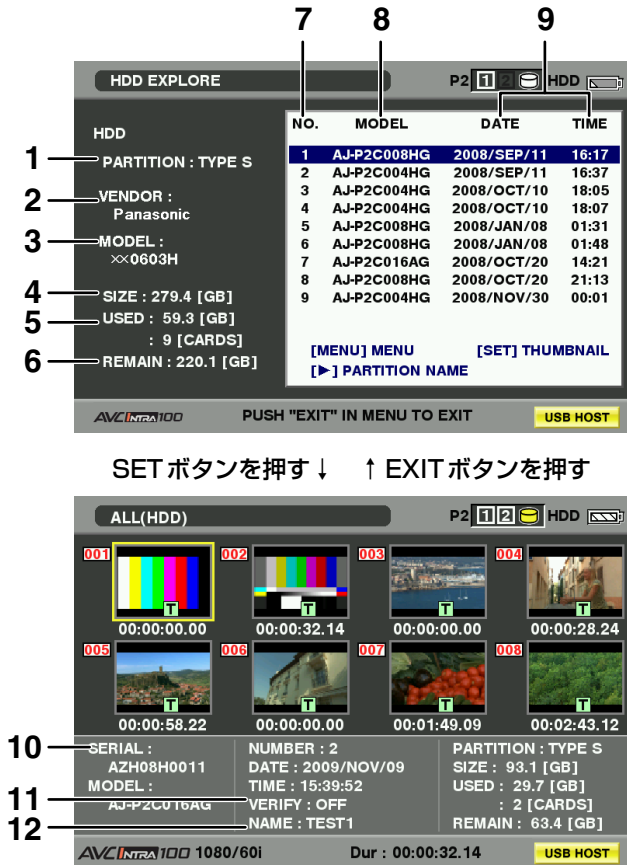
- ・USBバスパワー(5 V, 0.5 A)にも対応していますが、ハードディスクドライブによっては起動できないものもあります。その場合はハードディスクドライブへ別途電力を供給してください。
- ・ハードディスク接続中は、コピーやフォーマットなどに支障のないよう、本機にも十分に充電されたバッテリー、またはACアダプターをご使用ください。
- ・電源が入っていないハードディスクドライブであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。またハードディスクドライブ以外の機器でも、ハブなどを介してハードディスクドライブと一緒に接続しないでください。
- ・2 TB以上のハードディスクドライブには対応していません。

ハードディスクドライブ情報の表示

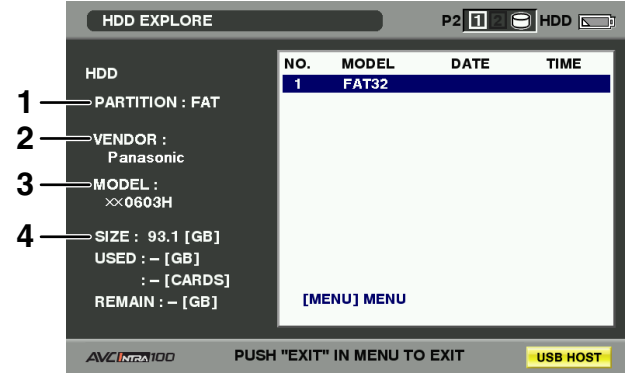
USB接続したハードディスクドライブの情報を、以下の方法で見ることができます。

- 1 USBホストモードへ切り替える
→「USBホストモードへの切り替え」(144ページ)参照
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続する
- 3 THUMBNAIL ボタンを押し。サムネール画面を表示する
- 4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択する
・画面がハードディスクドライブの情報表示画面に切り替わります。

TYPE SまたはP2 STOREの場合



FATの場合



1 PARTITION

ハードディスクドライブの種類を表示します。ハードディスクドライブのタイプによって、操作できる機能が異なります。

HDDタイプ	特徴	操作できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み/書き戻しするための特殊形式です。本機でFORMATを行うと、この形式になります。	サムネール表示、カード単位での書き込み/書き戻し、クリップ単位での書き戻し、フォーマット
P2STORE	P2 STORE (AJ-PCS060G) のことです。書き込みはできません。	サムネール表示、カード単位での書き戻し、クリップ単位での書き戻し
FAT	パーソナルコンピュータなどで先頭の基本パーティションがFAT16、またはFAT32になっており、そのパーティションのルートに「CONTENTS」ディレクトリーが必要なHDDです。	サムネール表示、クリップ単位での書き戻し、フォーマット ※ フォーマット後は、「TYPE S」のHDDとして扱えます。
OTHER	上記以外のHDDです。※ ルートに「CONTENTS」ディレクトリーがない場合やNTFSなどのFAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット ※ フォーマット後は、「TYPE S」のHDDとして扱えます。

2 VENDOR

ハードディスクドライブのベンダー名を表示します。

3 MODEL

ハードディスクドライブのモデル名を表示します。

4 SIZE

ハードディスクドライブの総容量を表示します。

5 USED

ハードディスクドライブの使用量を容量 (単位 : GB) と使用P2カード領域 (単位 : 枚数) で表示します。

6 REMAIN

ハードディスクドライブの残量を容量（単位：GB）で表示します。

7 パーティション番号

ハードディスクドライブ内のパーティション（P2 カード一枚分の単位）番号を表示します。

◆ NOTE

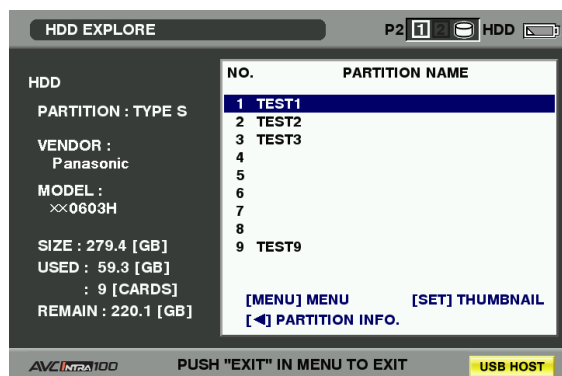
画面の表示は10個までです。パーティションが11個以上ある場合、カーソルボタン（▽）で下にスクロールして表示してください。

8 MODEL

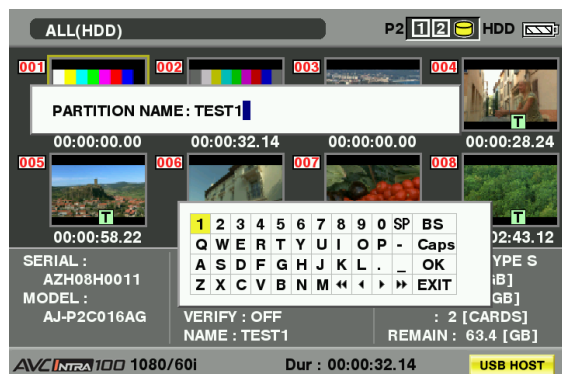
パーティション内のデータがもともと記録されていたP2カードのモデル名を表示します。

◆ NOTE

カーソルボタン（▷）を押すと、PARTITION NAMEに切り替えることができます。カーソルボタン（◁）で元のモデル名表示に戻ります。



PARTITION NAME はハードディスクドライブのサムネール表示中にOPERATION メニューのCHANGE PARTITION NAME を選択し、ソフトウェアキーボードから入力することができます。（最大20文字）



9 DATE/TIME

パーティション内のデータが記録された日時を表示します。

10 SERIAL

パーティション内のデータがもともと記録されていたP2カードのシリアル番号を表示します。

11 VERIFY

パーティション内のデータを記録したときのベリファイの設定とベリファイ結果を表示します。

ON:FINISHED :

ベリファイを実施し、ベリファイ結果が一致しています。

ON:FAILED :

ベリファイを実施していますが、ベリファイ結果が一致していません。

OFF :

ベリファイを実施していません。

--- :

ベリファイの情報がありません。

◆ NOTE

- ・FAT タイプのハードディスクドライブであっても、1001 個目以降のクリップは表示できません。
- ・FAT でフォーマットされたハードディスクドライブの場合、最初の1パーティションのみ、情報を表示します。
- ・P2 STORE (AJ-PCS060G) に無効なパーティションがあるときは、パーティション情報をグレーで表示します。

12 NAME

PARTITION NAME を表示します。

ハードディスクドライブのフォーマット

- 1 USB HOSTモードへ切り替える
→ 「USBホストモードへの切り替え」(144ページ) 参照
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続する
- 3 サムネールボタンを押し、サムネール画面を表示する
- 4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択する
・画面がハードディスクドライブの情報表示画面に切り替わります。

5 メニューからOPERATION→FORMAT(HDD)を選択し、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択する

- ・再度確認メッセージが出るので、YESを選択すると、ハードディスクドライブのフォーマットが行われます。
- ・フォーマット後は、「TYPE S」のハードディスクドライブとして扱えます。

◆ NOTE

ハードディスクドライブのフォーマットを行うとハードディスクドライブの内容はすべて消去されます。なお、一部分のパーティションだけを選択して消去することはできません。

ハードディスクドライブへの書き込み

1 USB HOSTモードへ切り替える →「USBホストモードへの切り替え」(144ページ)参照

2 ハードディスクドライブをUSB接続する ハードディスクドライブを本機でフォーマットしていない場合は、「ハードディスクドライブのフォーマット」(146ページ)に従って、ハードディスクドライブをフォーマットしてください。

3 P2カードを挿入する

4 サムネールボタンを押し、サムネール画面を表示する

5 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPORTを選択して、ハードディスクドライブへ書き込みたいデータが記録されたP2カードのスロットを指定する

6 YESを選択する

- ・書き込みを開始します。
- ・書き込み中は進捗バーを表示します。書き込みを中断したい場合は、SETボタンを押し、CANCELの確認に対してYESを選択すると処理を中断します。
- ・書き込みが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示します。

◆ NOTE

- ・書き込み時のベリファイをやめる場合は、サムネールメニューよりHDD→SETUPでVERIFYをOFFに設定します。書き込み完了までの時間が早くなりますがデータの書き込み確認は行いません。
- ・ALL SLOTを選択すると、本機に挿入されている全てのP2カードを一括してハードディスクドライブに書き込みます。

◆ NOTE

- ・ハードディスクドライブタイプがTYPE Sである場合、カード単位で書き込みを行うことができます。最大23枚のP2カードをハードディスクドライブへ保存することができます。また、ハードディスクドライブに記録されたP2カードのデータは、パーソナルコンピューターなどでは、それぞれ別のドライブとして認識されます。
- ・不良クリップを含むP2カードをハードディスクドライブに書き込むときは、コピーする前に不良クリップを修復することをお勧めします。
- ・ベリファイ中に処理を中断しても、そのP2カードからハードディスクドライブへの書き込みはすでに終了しています。

P2カードへの書き戻し

ハードディスクドライブからクリップを選択して書き戻しができます。

1 USB HOSTモードへ切り替える →「USBホストモードへの切り替え」(144ページ)参照

2 ハードディスクドライブをUSB接続する

3 書き戻すP2カードをスロットへ挿入する

4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択して、読み出すデータが入ったパーティションに移動し、SETボタンで選択する

5 ハードディスクドライブからP2カードへ書き込むクリップをサムネールから選択する

6 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりOPERATION→IMPORT→SELECTED CLIPSと選択し、書き戻すP2カードのスロットを選択する

7 YESを選択する

- ・P2カードへの書き戻しを開始します。
- ・書き戻しが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示します。

◆ NOTE

- ・クリップを選択して書き込む場合はベリファイは実施しません。

ハードディスクドライブタイプがTYPE SかP2STOREである場合、カード単位で書き戻しを行うこともできます。書き戻し先のP2 カードはあらかじめフォーマットしておいてください。

1 USB HOSTモードへ切り替える
→「USBホストモードへの切り替え」(144ページ)参照

2 ハードディスクドライブをUSB接続する

3 書き戻すP2カードをスロットへ挿入する

4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択して、読み出すデータが入ったパーティションに移動し、SETボタンで選択する

5 サムネールメニューよりOPERATION→IMPORT→ALLと選択し、書き込みを行う空のP2カードが挿入されたスロットを選択する

6 YESを選択する
・カードへの書き込みを開始します。

・書き戻しが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示します。

◆ NOTE

- ・異なる品番のP2カードへパーティション単位でのインポートはできません。クリップ単位でインポートを実施してください。
- ・書き戻し時のベリファイをやめる場合は、サムネールメニューよりHDD→SETUPでVERIFYをOFFに設定します。書き戻し完了までの時間が早くなりますがデータの書き戻し確認は行いません。
- ・クリップを、そのクリップが元々記録されていたP2 カードではない別のP2 カードに書き戻したとき、書き戻したクリップが不完全クリップになることがあります。この場合はクリップの連結を行ってください。
→「不完全クリップの連結」(111ページ)参照

ハードディスクドライブ使用時のご注意

- ・ハードディスクドライブ (P2 STORE (AJ-PCS060G) 含む) は以下の条件でご使用ください。
 - ハードディスクドライブの動作補償範囲内 (温度など) で使用する。
 - ハードディスクドライブを振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ・ハードディスクドライブによっては正しく動作しないことがあります。
- ・USB変換ケーブルで接続されたSATA (シリアルATA) やPATA (パラレルATA) インターフェースのハードディスクドライブは認識できない場合があります。
- ・コピーには十分な容量のハードディスクドライブをご使用ください。
- ・フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やハードディスクドライブの電源を切ったりしないでください。本機およびハードディスクドライブの電源の再起動が必要になります。なお、本機の電源には十分に充電されたバッテリー、またはACアダプターをご使用ください。
- ・ハードディスクドライブは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。
- ・ハードディスクドライブの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本機からのコピーで使用したハードディスクドライブを他のパーソナルコンピュータなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびハードディスクドライブのデータは保証できません。
- ・下記ウェブサイトのサポートデスクで配布しているドライブマウントコンバーターを使用すると、ハードディスクドライブを接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

DVCPRO/DV 端子での接続

DVCPRO/DV 端子に入力された信号の記録

- 1 1394ケーブル (DVケーブル) を接続する
→ 「1394 接続時のご注意」(150ページ) 参照
・接続先の機器と本機の信号フォーマットが同じであることを確認します。
- 2 IEEE1394 インターフェースから入力する場合、設定メニューのSYSTEM SETUP画面のREC SIGNAL項目を1394にする
・HD (1080i、720P) の場合、SYSTEM SETUP画面のREC FORMAT項目でDVCPRO HD/60iまたはDVCPRO HD/60Pを選択してください。
AVC-Intra フォーマットやDVCPRO HDのNative記録ではIEEE1394インターフェースから入力することはできません。

◆ NOTE

- ・設定メニューのSYSTEM SETUP画面のSYSTEM MODE項目とREC FORMAT項目で設定したフォーマットと同じ信号を、IEEE1394インターフェースから入力してください。フォーマットが異なる場合、正しくP2カードに記録されません。通常の1倍速再生以外の再生信号を入力したときは、記録される映像や音声、またはEE系の画像と音声は保証されません。
→ 「エラー表示」(157ページ) 参照
- ・オーディオ信号の入力は、DVCPRO/DV端子からの入力信号になります。
- ・IEEE1394インターフェースから入力されるオーディオ信号が32 kHz/4CH (12 bit) の場合、48 kHz/4CH (16 bit) としてP2カードに記録されます。
- ・GENLOCK IN端子を使って、外部の基準信号に同期させることはできません。
- ・VIDEO OUT端子、またはAUDIO OUT端子から出力される信号は、実際の入力信号と異なります。モニター用として使用してください。
- ・下記の機能は動作しません。
 - ・プリレック機能
 - ・ループレック機能
 - ・インターバル記録、ワンショット記録機能
 - ・ワンクリップレック機能

タイムコードとユーザースビット

- ・IEEE1394インターフェースからの入力を選択している場合、TC IN端子から入力されるタイムコードやユーザースビットをP2カードに記録することはできません。
- ・IEEE1394インターフェースからの入力を選択している場合、TC OUT端子から出力されるタイムコードは、VIDEO OUT端子から出力される映像信号と同期していません。

サブコード領域のタイムコードとユーザースビット

- ・IEEE1394インターフェースからの入力を選択している場合とTCGスイッチをF-RUNの位置にしている場合、DVCPRO/DV端子から入力されているサブコード領域のタイムコードをP2カードに記録することができます。
- ・DVCPRO/DV端子から入力されているユーザースビットをP2カードに記録する場合は、設定メニューのRECORDING SETUP画面のUB MODE項目をEXTに設定してください。

VAUX領域のタイムコードとユーザースビット

IEEE1394インターフェースからの入力を選択している場合、本機の設定メニューやスイッチの位置に関わらず、常にDVCPRO/DV端子から入力されているVAUX領域のタイムコードとユーザースビットをP2カードに記録します。

UMID (Unique Material Identifier) 情報の記録

IEEE1394インターフェースからの入力を選択している場合、DVCPRO/DV端子から入力されているUMID情報をP2カードに記録します。UMID情報が存在しない場合は、本機で生成して記録します。
また、本機がDVモードで動作しているときは、UMID情報が記録されません。

1394 接続による 外部機器制御

DVCPRO/DV 端子に、バックアップ記録用の外部機器を接続して、記録開始/停止の制御を行うことができます。

- 1 1394ケーブル (DVケーブル) を接続する
→「1394接続時のご注意」(このページ) 参照
・設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面の1394 CONTROL項目をBOTHに設定します。

- 2 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面の1394 CMD SEL項目で外部機器が受け取る記録停止コマンドの種類を設定する
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(122ページ) 参照

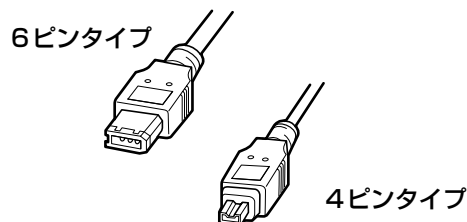
◆ NOTE

- ・本機をREC RUN設定にした状態で、外部機器を接続してバックアップ記録を行っている場合、本機に挿入したP2カードの容量がなくなったまま記録を継続すると、DVCPRO/DV端子から出力されるタイムコードの歩進が停止したままになりますのでご注意ください。
- ・記録開始→停止→記録開始の操作を素早く行うと、外部機器側にてバックアップ記録されないことがあります。
- ・AVC-IntraフォーマットやDVCPRO HDのNative記録モード選択時は、1394接続での外部機器の制御はできません。
- ・インターバル記録、ワンショット記録、ループレックのときは、1394接続での外部機器制御はできません。

1394接続時のご注意

- ・本機から電源は、供給されません。
- ・1394ケーブルを接続する場合は、下記のことを必ずお守りください。
 - ・ほかの機器とは、1対1で接続してください。
 - ・DVCPRO/DV端子に1394ケーブルを接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
 - ・エラー (1394INITIAL ERROR) が表示される場合は、1394ケーブルを差し直すか、本機の電源を一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてください。
 - ・本機ならびに接続するすべての機器は接地 (アース) した状態 (または共通のGNDに接続した状態) でご使用ください。接地できない場合は、まず接続されたすべての機器の電源OFFにしてから、1394ケーブルの抜き差しを行ってください。
 - ・4ピン型の端子を持つ機器と本機を接続する場合は、本機の端子 (6ピン型) を先に接続してください。

- ・6ピン型の端子の付いたパーソナルコンピュータと接続する場合は、1394ケーブルをDVCPRO/DV端子の形状通りに接続してください。プラグを逆に差し込むと、本機の破損につながりますのでご注意ください。



- ・接続された機器の電源ON/OFF、およびI/Fケーブルの抜き差しなどで、AV信号が乱れることがあります。
- ・入力信号の切り替え時やモード移行のときに、システムが安定するまで数秒かかることがあります。システムが安定したあとに、記録動作を行ってください。
- ・IEEE1394インターフェース入力選択で記録する場合、またはIEEE1394インターフェースで出力される信号に対してはAUDIO LEVELボリュームは動作しません。
- ・パーソナルコンピュータ等のアプリケーションソフトウェア (編集ソフト) で本機を制御する場合、下記のことに注意してください。
 - ・クリップの任意の位置につなぎ撮りを行うことはできません。常に、最新のクリップの後ろに連続してつなぎ撮りが行われます。
 - ・本機のサムネール画面を閉じた状態で使用してください。サムネール画面が開いた状態では、アプリケーションソフトウェアで正しく制御できません。
- ・特殊再生時には、IEEE1394インターフェース出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。これらのビデオ、オーディオ信号をほかの機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。
- ・出力データのフォーマットが、DVまたはDVCPROの場合は、IEEE1394インターフェースから出力されるオーディオチャンネルCH1/CH2またはCH3/CH4を設定メニューのAUDIO SETUP画面の1394 AUDIO OUT項目で選択できます。

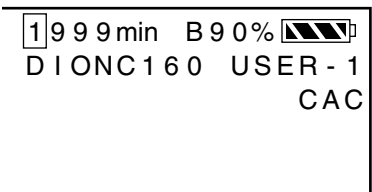
第9章 保守・点検


撮影前の点検

撮影する前に下記の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。カラービデオモニターを使って画像のチェックをすることをお勧めします。

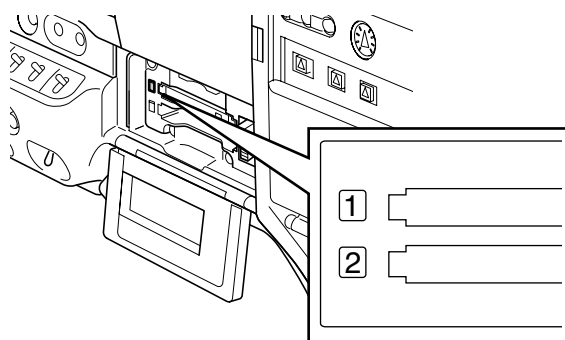
点検の準備

- 1 充電済みのバッテリーを取り付ける
- 2 POWERスイッチをONにし、ビューファインダー画面のバッテリー残量表示を確認する
・バッテリー残量が少ないときは、十分に充電したバッテリーと交換してください。



1 999 min B 90% 
D I O N C 1 6 0 U S E R - 1
C A C

- 3 P2カードをカードスロットに挿入し、スロットカバーを閉める
・P2カードを挿入したカードスロットのP2カードアクセスLEDが、オレンジ色に点灯したか確認します。2つのカードスロットにP2カードを挿入した場合、最初に挿入した（最初にアクセスが完了した）P2カードのP2カードアクセスLEDのみがオレンジ色に点灯し、それ以降に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDは、緑色に点灯します。
・P2カードを挿入したP2カードスロットのP2カードアクセスLEDが緑色に点滅したまま、または消灯している場合、そのP2カードに記録することはできません。



カメラ部の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの動作を確認する
・画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの動作を確認する
・手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整がはたらくことを確認する
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認する
- 5 絞りを自動調整モードに戻し、GAINスイッチの設定をL、M、Hと切り替えて下記の項目を確認する
・設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
・設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 6 エクステンダ付きのレンズを装着しているときは、エクステンダを使用位置にし、正常にはたらくことを確認する

メモリー記録部の点検

「P2カード記録の点検」から「イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。

P2カード記録の点検

- 1 ビューファインダー画面の表示で、P2カードの記録残量が充分か確認する
→「画面の表示」(68ページ) 参照
- 2 REC ボタンを押し、下記の項目を確認する
 - ・ P2アクセスLEDがオレンジ色に点滅する。
 - ・ ビューファインダー画面のREC表示が点灯する。
 - ・ ビューファインダー画面にSYSTEM警告が表示されない。
- 3 REC ボタンをもう一度押す
 - ・ P2アクセスLEDがオレンジ色の点灯になり、ビューファインダー画面のREC表示が消えることを確認します。
- 4 ハンドル部のREC ボタンを使って、2～3と同じ動作を確認する
 - ・ レンズのVTRボタンについても同様に確認します。
- 5 THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面に切り替え、サムネールより今撮影したクリップを再生する
 - ・ 再生が正常に動作することを確認します。
- 6 P2カードをP2カードスロットに2枚挿入している場合は、SLOT SEL を割り当てたUSER ボタンを押して、記録対象のP2カードを切り替える
 - ・ 2～3、5の操作を行い、記録・再生が正常に動作することを確認します。

音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチをAUTOにする
- 2 AUDIO IN スイッチをFRONTにする
- 3 MIC IN 端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH1/CH2両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認する

音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO IN スイッチをFRONTにする
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチをMANにする
- 3 AUDIO LEVEL CH1/CH2 つまみを回す
 - ・ 右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

イヤホン、スピーカーの点検

- 1 MONITOR つまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認する
- 2 イヤホンをPHONES 端子に接続する
 - ・ スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 3 MONITOR つまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認する

外部マイクを使う場合の点検

- 1 外部マイクをREAR1、REAR2端子に接続する
- 2 AUDIO INスイッチをREARにする
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じてMICと+48Vに切り替える
 - ・MIC：内部電源供給方式のマイク
 - ・+48V：外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、ビューファインダー/LCD画面の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認する
 - ・1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネルごとに点検することもできます。

時計、タイムコード、ユーザズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザズビットを設定する
→「ユーザズビットの設定」(60ページ) 参照
- 2 タイムコードを設定する
→「タイムコードの設定」(62ページ) 参照
- 3 TCGスイッチをR-RUNにする
 - ・COUNTERボタンを押して、ビューファインダー/LCD画面にTCを表示させます。
- 4 RECボタンを押す
 - ・記録が開始するとともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、RECボタンを押す
 - ・記録が停止し、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。
- 6 TCGスイッチをF-RUNにする
 - ・カウンター表示部の数値が、記録に関係なく変わることを確認します。
- 7 DISP/MODE CHKボタンを押し続け、ビューファインダー/LCD画面に表示される日付と時刻を確認する
 - ・DATE、TIME、タイムゾーンが正確でない場合は、日付/時刻を正しく設定してください。
 - 「内蔵時計の日付/時刻の設定」(28ページ) 参照

◆ NOTE

DATE、TIME、タイムゾーンの設定による日時データは、クリップに記録され、サムネール操作時の再生順などに影響しますのでご注意ください。

メンテナンス

アイピースのお手入れ

■ 外側のレンズが汚れたとき

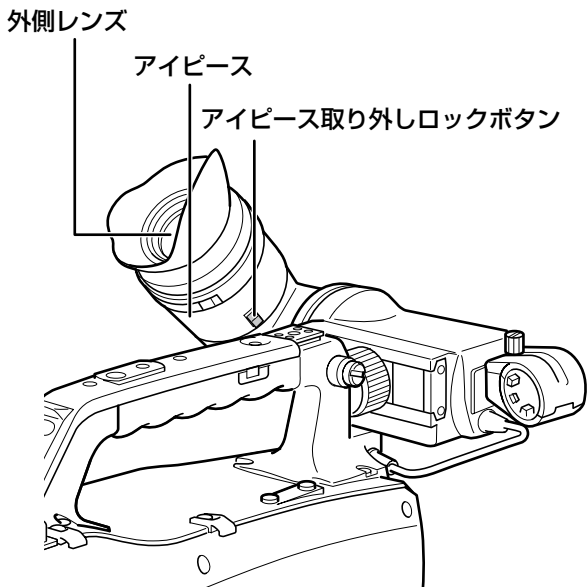
表面のほこりを、やわらかいはけやブローブラシなどで、払い落とした後、市販のレンズクリーナー（およびレンズクリーニングペーパー）で拭いてください。

■ 内側のレンズやアイピースの内部にほこりが付着したとき

アイピースを取り外して除去してください。
表面のほこりを、やわらかいはけやブローブラシなどで、払い落としてください。

◆ NOTE

汚れやほこりをとるとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。



アイピースを取り外すには

アイピース取り外しロックボタンをスライドさせた状態で、アイピースを時計回りの方向に回転させます。

アイピースを取り付けるには

アイピース取り外しロックボタンの凸部をビューファインダー本体の目印に合わせてアイピースをはめ込み、ロックツマミがカチッと音がするまでアイピースを反時計回りの方向に回転させます。

◆ NOTE

野外でアイピースを上へ向けたまま、放置したり、カメラセットを持ち運んだりしないでください。太陽光熱によりアイピースの内部が破損します。

ビューファインダー内のクリーニング

ビューファインダー内の液晶画面にほこりが付着したときは、アイピースを取り外して除去してください。
→「アイピースを取り外すには」（このページ）参照
液晶画面に付着したほこりを、やわらかいはけやブローブラシなどで、払い落としてください。

◆ NOTE

汚れやほこりをとるとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。
半年以上、本機の電源を入れることなく放置した場合、内蔵電池が消耗し、ビューファインダー/LCD画面に☹の表示が出る場合があります。

その場合は、外部DC電源またはバッテリーを接続し、本機の電源をOFFにしたまま約4時間待機することにより内蔵電池の充電が完了しますので、充電完了後に日時を設定してください。

充電後も☹が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

警告システム

警告内容一覧

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNINGランプ、ビューファインダー画面のランプ、およびアラームが異常発生を知らせます。

優先	警告の種類	ビューファインダー/LCD画面表示	タリールランプ	ワーニングランプ	アラーム音 ^{*6}	警告の内容と記録再生動作	対策
1	システムエラー	SYSTEM ERROR 要因表示 ^{*1} 赤く点滅	4回/秒で点滅	4回/秒で点滅	連続音	P2マイコン、または制御の異常です。動作は停止します。	要因表示 ^{*1} を確認し、販売店にご相談ください。
2	P2カード取り出し異常	TURN POWER OFF 赤く点滅	4回/秒で点滅	4回/秒で点滅	連続音	アクセス中のP2カードを取り出したため、内部メモリーに異常が発生しています。アクセスLEDが2つとも橙点滅します。	電源OFFにしてください。取り出したP2カードのクリップに異常がある場合、修復を行ってください。
3	バッテリーエンド	LOW BATTERY 赤く点滅、バッテリー残量バーが空状態で点滅します。(設定メニューで表示をOFFに設定していても表示します)	1回/秒で点滅	点灯	連続音	バッテリーの消耗です。記録再生は停止します。さらに電圧が下がると自動的に電源OFFになります。	バッテリーを交換します。
4	P2カード記録エンド	☒ FULL 赤く点滅	記録終了後に4回/秒で点滅	記録終了後に点灯	記録終了後に連続音	P2カードの記録容量がなくなりました。記録を停止します。 ^{*3}	不要なクリップを消去するか、新しいカードを入れます。
5	記録異常	REC WARNING 要因表示 ^{*2} 赤く点滅	4回/秒で点滅	4回/秒で点滅	4回/秒の断続音	記録の異常です。記録を停止する場合と継続する場合があります。 ^{*4}	一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてから、記録/再生の確認を行ってください。正常に記録できない場合はP2カードを交換してください。
6	基準信号の乱れ	TEMPORARY PAUSE IRREGULAR FRM SIG 赤く点滅	4回/秒で点滅	4回/秒で点滅	4回/秒の断続音	GENLOCK INの入力信号の乱れなどで正常に記録が行えず、一時待機しています。クリップは分割されます。 ・信号が正常に戻ると記録を再開します。ただし、インターバル記録、ワンショット記録、ループレックのときは、記録再開しません。	GENLOCK INの信号を確認してください。
7	ワイヤレスレシーバーの受信低下	WIRELESS RF 赤く点滅	4回/秒で点滅(記録のみ)	4回/秒で点滅	無	ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪いことを示します。記録は継続されますがワイヤレスマイク受信ができていません。	マイクの電源やレシーバーの受信状態をチェックしてください。
8	1394接続異常	1394 INITIAL ERROR 赤く点滅	記録中に4回/秒で点滅	記録中に4回/秒で点滅	無	DVCPRO/DV端子の接続に異常があるか、または信号が正しく入出力できていません。	本機や相手機器の接続を確認し、再度接続して、一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてください。

優先	警告の種類	ビューファインダー/LCD画面表示	タリランプ	ワーニングランプ	アラーム音 ^{*6}	警告の内容と記録再生動作	対策
9	バッテリーニアエンド	バッテリー残量バーが1個点滅 (MENUで表示をOFFにしても表示されます)	1回/秒で点滅	1回/秒で点滅	無	バッテリーの消耗間近です。動作は継続されます。 ^{*5}	必要に応じて、バッテリーを交換します。
10	P2カード記録ニアエンド	P2CARD残量表示が点滅	記録中に1回/秒で点滅	記録中に1回/秒で点滅	無	P2カード残り2分未満 (残量表示が1分以下) になった。記録中のみ警告します。	必要に応じて、P2カードを交換するか、追加挿入します。

*1 P2 SYSTEM ERROR 要因表示

- ・ P2 MICON ERROR : P2マイコンが応答していません
- ・ P2 CONTROL ERROR : P2記録制御に異常が発生
- ・ CAM MICON ERROR : カメラマイコンが応答していません

*2 REC WARNING 要因表示

- ・ CARD ERROR * : P2CARD異常 (*には異常カードのスロット番号を表示)。記録は停止します。
- ・ REC RAM OVERFLOW : 記録RAMのオーバーフロー。記録は停止します。
- ・ PULL DOWN ERROR : 24P、30Pの映像ブルダウン異常。記録は継続します。
- ・ OVER MAX# CLIPS : 1枚のP2カード内に記録できるクリップ数の最大値 (1000個) を超えて記録しようとした。
- ・ ERROR : その他の記録異常

*3 下記の操作を行うと、警告は止まります。

- ・ 再生系操作ボタンを押したとき
- ・ THUMBNAIL ボタンを押したとき
- ・ P2カードを抜いたり、別のカードを挿入したとき

*4 下記の操作を行うと、警告は止まります。

- ・ RECボタンを押したとき
- ・ 再生系操作ボタンを押したとき
- ・ THUMBNAIL ボタンを押したとき
- ・ カードをすべて抜いたとき

*5 NEAR END CANCEL 項目をONに設定すると、DISP/MODE CHK ボタンを押すことにより、警告を止めることができます。

*6 アラーム音が鳴っているときは、本機のスピーカーとイヤホンに入力音声が出力されません。なお、警告中にDISP/MODE CHK ボタンを押すと、アラーム音だけを止めることができます。

サムネール操作およびUSB ホストモードでの警告/エラー表示

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
	CANNOT CHANGE!	AVC-Intra100またはAVC-Intra50で、サムネールが生成できず灰色になっているクリップは、テキストメモ位置でのサムネール変更はできません。	SYSTEM MODE項目をクリップに合わせて設定してください。
	CANNOT COPY!	コピーができません。	コピーの条件を確認してください。
	CANNOT DELETE !	コンテンツバージョンが不整合または不良のクリップが含まれています。	機器とコンテンツのバージョンを合わせる。または不良クリップを修復してください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT RECONNECT!	複数枚のP2カードにまたがって記録したクリップではないコンテンツを選んでいるなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	修復できないコンテンツを選んでいるなどで修復ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT REPAIR IN SELECTION!	選択したクリップの一部が修復できませんでした。	—
	CARD FULL!	P2、SDカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です。	正常な範囲のデータを設定してください。
	LACK OF REC CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。
	MISSING CLIP!	複数枚のP2カードにまたがって記録されたクリップに、すべてのP2カードが挿入されていない状態でショットマークをつけようとしている。	またがって記録されたすべてのP2カードを挿入し、クリップの  不完全クリップインジケータを表示しなくなるのを確認してからショットマークをつけてください。
	NO CARD!	P2、SDカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	NO FILE!	指定されたファイルが存在していません。	ファイルを確認してください。
	NO SD CARD!	SDメモリーカードがありません。	SDメモリーカードを挿入してください。
	SAME CLIP IS SELECTED!	既にコピーしたクリップと元のクリップを選択しているため、コピーできません。	選択したクリップを確認し、コピー元のクリップか、コピーされたクリップのいずれかを選択から外してからコピーを実行してください。
	TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。
	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	コンテンツバージョンが不整合、または不良コンテンツが含まれています。	<ul style="list-style-type: none"> 機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。 不良クリップがある場合（コピー時にコピー先に不良クリップがある場合を含む）、不良クリップを修復するか削除してください。
	UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。
USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。	
WRITE PROTECTED!	P2、SDカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。	

項目	メッセージ	内容	対応
ソフト キー ボード	CANNOT CHANGE!	テキストメモがない状態で「PERSON (メモ入力者)」項目を入力しようとしている。	「TEXT (テキスト情報)」項目を先に入力してください。
	CANNOT SET! INVALID VALUE!	入力された値が異常です。	入力値を変更してください。
HDD (USB ホスト モード)	CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2カードを確認してください。
	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。	HDDの状態や接続を確認してください。
	CANNOT FORMAT!	初期化できません。	接続しているHDDを変更してください。
	CANNOT RECOGNIZE HDD!	接続先のターゲットが正しく認識できません。	HDDの電源を入れ直すか、接続するHDDを変更してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。
	HDD CAPACITY FULL!	HDDの空き容量が足りません。	接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	HDD DISCONNECTED!	HDDとの接続が切断されました。	USBを付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの容量、形式が不一致のため、コピーできません。	同一品番のP2カードを使用するか、クリップ単位でインポートしてください。
	P2 CARD IS UNFORMATTED!	P2カードが未フォーマットです。	フォーマットされたP2カードを使用してください。
	PLEASE FORMAT P2 CARD!	HDD→P2へのインポート時に、P2カードが記録済のためコピーできない警告です。	コピー先のP2カードが空でないため、コピーできません。P2機器でフォーマットした後に再度コピーを行ってください。
	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	HDDの最大パーティション数は23ですので、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	TOO MANY TARGETS!	複数の機器が接続しています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどが接続されています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。	
VERIFICATION FAILED!	コピー後のコンペアが不一致でした。	再度コピーを行ってください。	

第10章 保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証とアフターサービスについて

故障・修理・お取り扱いなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店にお申し付けください。
お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

- ・保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- ・部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- ・保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...
保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■保証期間経過後の修理は...
修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-HPX375
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデート方法には下記の2通りがあります。

1 専用ツールP2 Status Loggerで確認し、アップデートする方法

PASS (P2 Asset Support System) に会員登録をいただいたお客様のみ、ご利用することができます。

PASSにログインして専用ツール (P2_Status_Logger) を使用すると、お使いの機器のバージョン情報の確認や、必要なファームウェアのページへリンクしてのダウンロードが可能になります。

P2_Status_Loggerのダウンロードおよび使い方については、PASSにログイン後のページを参照ください。

その他、会員登録をいただくといろいろな特典を受けることができます。詳細はPASS (P2 Asset Support System) のサイト (http://panasonic.biz/sav/pass_j/) をご確認ください。

2 ご使用機器本体でバージョンを確認しアップデートする方法

設定メニューのDIAGNOSTIC画面で本機のバージョンを確認のうえ、下記NOTEに記載されたサイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

◆ NOTE

・アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

・本機で使用するSDメモリーカードは、SDまたはSDHC規格に準拠したものをお使いください。
また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

第11章 さくいん

1

MENU 1394 AUDIO OUT	135
MENU 1394 CMD SEL	140
MENU 1394 CONFIG	142
MENU 1394 CONTROL	140
MENU 1394 STATUS	142
1394接続	150

2

MENU 25M REC CH SEL	134
---------------------	-----

A

MENU A.IRIS LEVEL	127
ABB	52
MENU ACCESS LED	140
MENU ALARM	140
MENU ASPECT CONV	129
ATW	52
MENU ATW	130
MENU ATW TYPE	130
MENU AUDIO SETUP画面	133
MENU AUTO KNEE SW	131
MENU AUTO LEVEL CH3	133
MENU AUTO LEVEL CH4	133

B

MENU BATTERY MODE	138
MENU BATTERY SELECT	138
MENU BATTERY SETUP画面	138
MENU BP-GL65/95 NEAR	138

C

CAC	94
MENU CAC	140
MENU CAC CARD READ	140
MENU CAC FILE DELETE	140
MENU CAC FILE INIT	140
MENU CAC PROPERTY	140
MENU CAMERA MODE	129
MENU CARD/BATT	137
MENU CARD FUNCTIONS画面	139
MENU CHROMA LEVEL	126
MENU CHROMA PHASE	126
MENU CLOCK SETTING	141
MENU COLOR TEMP Ach	126
MENU COLOR TEMP Bch	126

D

MENU DATE/TIME	137
DC電源	90
MENU DETAIL CORING	126
MENU DETAIL LEVEL	126
MENU DIAGNOSTIC画面	141
MENU DIONIC160 NEAR	138
MENU DIONIC90 NEAR	138
MENU DISPLAY SETUP画面	136
MENU DOWNCON MODE	135
DRS	55

MENU DRS EFFECT	127
DVCPRO/DV端子	149

E

MENU ENDURA10 NEAR	138
MENU ENDURA7 NEAR	138
MENU ENDURA-D NEAR	138
MENU EVF COLOR	136
MENU EVF B.LIGHT	136
MENU EVF PEAK FREQ	136
MENU EVF PEAK LEVEL	136
MENU EVF SETTING	136
MENU EXT DC IN SEL	138

F

FBC	54
MENU F.MIC LEVEL	134
MENU F.MIC POWER	134
MENU FOCUS BAR	136
MENU FRAME RATE	126
FRONT AUDIO LEVELつまみ	57
FRONT AUDIO LEVELノブ	100
MENU FRONT VR CH1	133
MENU FRONT VR CH2	133

G

MENU GAMMA	127
GENLOCK	66
MENU GL PHASE	141

H

MENU HEADROOM	134
MENU HIGH GAIN	130
MENU H PHASE	141
MENU HYTRON140 NEAR	138
MENU HYTRON50 NEAR	138

I

INTERVAL REC	40
MENU INTERVAL TIME	132
MENU IRIS ADJUST	140

K

MENU KNEE	127
-----------	-----

L

MENU LCD BACKLIGHT	136
MENU LCD SETTING	136
LCD画面	122
MENU LENS SETUP画面	140
MENU LEVEL METER	137
MENU LIMITER CH1	133
MENU LIMITER CH2	133
MENU LOAD/SAVE/INIT	126
LOOP REC	41
MENU LOW GAIN	130

M

MENU MAIN MENU.....	124
MENU MARKER.....	136
MENU MASTER PED.....	127
MENU MATRIX.....	128
MENU MENU BACK.....	137
MENU MENU INIT.....	141
MENU MIC LOWCUT CH1.....	133
MENU MIC LOWCUT CH2.....	133
MENU MIC LOWCUT CH3.....	133
MENU MIC LOWCUT CH4.....	133
MENU MID GAIN.....	130
MODE CHECK.....	74
MENU MODEL NAME.....	141
MENU MONITOR SELECT.....	134

N

MENU NAME EDIT.....	128
Native VFR記録.....	37
Native記録.....	36
MENU NEAR END CANCEL.....	139
MENU NiCd14 END.....	138
MENU NiCd14 NEAR.....	138
MENU NP-L7 NEAR.....	138

O

ONE CLIP REC.....	42、132
ONE SHOT REC.....	41
MENU ONE SHOT TIME.....	131
MENU OPERATION.....	141
MENU OPTION MENU画面.....	142
MENU OTHER DISPLAY.....	137
MENU OTHER FUNCTIONS画面.....	140
MENU OUTPUT SEL画面.....	135

P

MENU P2CARD REMAIN.....	137
P2カード.....	30
入れる.....	30
書き戻し.....	147
記録時間.....	32
状態.....	31
状態表示.....	74
取り出す.....	30
フォーマット.....	116
ライトプロテクト.....	31
MENU PAG L95 NEAR.....	138
MENU PC MODE.....	130
MENU PC MODE SELECT.....	130
PRE REC.....	40
MENU PREREC MODE.....	132
MENU PROPAC14 NEAR.....	138
PROXY.....	43、116

R

MENU R.MIC CH1 LEVEL.....	134
MENU R.MIC CH2 LEVEL.....	134
MENU R.MIC POWER.....	134
MENU REC COUNTER.....	137

MENU REC FORMAT.....	129
MENU REC FUNCTION.....	131
MENU RECORDING SETUP画面.....	131
REC REVIEW.....	43
MENU REC SIGNAL.....	128
MENU RET SW.....	131

S

MENU SAFETY ZONE.....	136
MENU SCAN REVERSE.....	129
MENU SCENE FILE.....	139
MENU SCENE FILE画面.....	126
MENU SD CARD FORMAT.....	139
MENU SDI EDH.....	135
MENU SDI METADATA.....	135
MENU SDI SELECT.....	135
SDメモリーカード.....	23
入れる.....	83
状態表示.....	121
操作.....	83
取り扱い.....	83
取り出す.....	83
フォーマット.....	83、117
MENU SEEK SELECT.....	141
MENU SELF SHOOT.....	136
MENU SERIAL NO.....	141
MENU SETUP.....	130
MENU SHADING (USER).....	140
MENU SHADING SELECT.....	140
SHOT MARK.....	44
MENU SKIN TONE DTL.....	128
MENU START DELAY.....	132
MENU START TEXT MEMO.....	132
MENU SW MODE画面.....	130
SYNCHRO SCAN.....	53
MENU SYNCHRO SCAN.....	126
MENU SYNC SCAN DISP.....	136
MENU SYSTEM MODE.....	128
MENU SYSTEM SETUP画面.....	128

T

MENU TC MODE.....	132
MENU TC OUT.....	135
MENU TC VIDEO SYNCRO.....	135
MENU TEST TONE.....	134
THUMBNAIL.....	103
MENU TIME ZONE.....	141
MENU TRIMPAC14 NEAR.....	138
MENU TYPE A END.....	139
MENU TYPE A FULL.....	139
MENU TYPE A NEAR.....	139
MENU TYPE B END.....	139
MENU TYPE B FULL.....	139
MENU TYPE B NEAR.....	139

U

MENU UB MODE.....	132
USB.....	143
デバイスモード.....	143
ホストモード.....	144
MENU USER1.....	131
MENU USER2.....	131
USER CLIP NAME.....	114
MENU USER FILE.....	139、140
MENU USER MAIN.....	131
USER ボタン.....	55

V

MENU V DETAIL FREQ.....	128
MENU V DETAIL LEVEL.....	126
MENU VERSION.....	141
VFR.....	37
MENU VFR.....	126
MENU VIDEO OUT CHAR.....	135
MENU VIDEO OUT ZEBRA.....	135

W

MENU W.BAL.PRESET.....	130
MENU WFM.....	131
MENU WIRELESS TYPE.....	134
MENU WIRELESS WARN.....	134

Z

MENU ZEBRA1 DETECT.....	136
MENU ZEBRA2.....	136
MENU ZEBRA2 DETECT.....	136
MENU ZOOM.....	137

あ

頭出し.....	45
アップデート.....	160
アンダークランク撮影.....	39

い

色収差補正.....	94
インターバル記録.....	40

う

ウェーブフォームモニター機能.....	79
---------------------	----

え

液晶モニター.....	78
エラー表示.....	71、157

お

オーディオ拡大表示.....	75
オートトラッキングホワイトバランス.....	52
オートブラックバランス.....	52
オーバークランク撮影.....	39
音声入力.....	56

か

外部DC電源.....	90
外部機器制御.....	150
外部電源.....	90
カウンター.....	66

き

記録機能.....	40、47
記録フォーマット.....	47

く

クリップ.....	103
コピー.....	111
再生.....	106
削除.....	110
修復.....	111
プロパティ.....	118
メタデータ.....	112
連結.....	111

け

警告システム.....	155
警告表示.....	71

こ

コネクター信号.....	169
--------------	-----

さ

再生.....	45
撮影.....	35
サムネール.....	103
切り替え.....	107
選択.....	106
変更.....	108
メニュー.....	103
三脚.....	99

し

シーンファイル.....	84
シーンファイルデータ.....	84
視度調整.....	80
シネライクガンマ.....	38
シャッタースピード.....	53
シャッターモード.....	53
ショットマーク.....	44
ショルダーベルト.....	99
シンクロスキャン.....	53

す

スタンダードVFR記録.....	37
寸法図.....	165

■せ

セーフティーゾーン	75
設定メニュー	122
基本操作	122
初期化	123
ゼブラパターン	76
センターマーカー	75

■た

ダイナミックレンジストレッチャー	11
タイムコード	62
タイムゾーン	28
タイムデータ	58
対面撮影	79

■つ

通常記録	35、36
通常再生	45

■て

定格	165
テキストメモ	44
電子シャッター	53

■と

時計	28
----------	----

■な

内蔵電池	154
------------	-----

■に

日時	28
----------	----

■ね

ネイティブVFR記録	37
ネイティブ記録	36

■は

バッテリー	88
設定	88
取り付け	88
早送り再生	45
早戻し再生	45
バリアブルフレームレート	37

■ひ

ビューファインダー	80
画面表示	68
状態表示	67
設定	80
調整	80

■ふ

ファームウェア	160
フォーカスアシスト	77
フォーマット	
P2カード	116
SDメモリーカード	83、117
ハードディスク	146
ブラックバランス	51
フラッシュバンド補正	54
フランジバック調整	92
プリレック	40
プルダウン記録	36
プロキシー	43、116
プロパティ	118
フロントマイク	97

■へ

変速再生	45
------------	----

■ほ

ホットスワップ記録	43
ホワイトシェーディング補正機能	93
ホワイトバランス	51

■ま

マイク	97
-----------	----

■め

メタデータ	112
メニュー	
サムネールメニュー	103
設定メニュー	122

■ゆ

ユーザズビット	60
---------------	----

■り

リモートコントロール	102
------------------	-----

■る

ループレック	41
--------------	----

■れ

レインカバー	100
レックレビュー機能	43
レンズ	91
取り付け	91
調整	92

■ろ

録音レベル	56
-------------	----

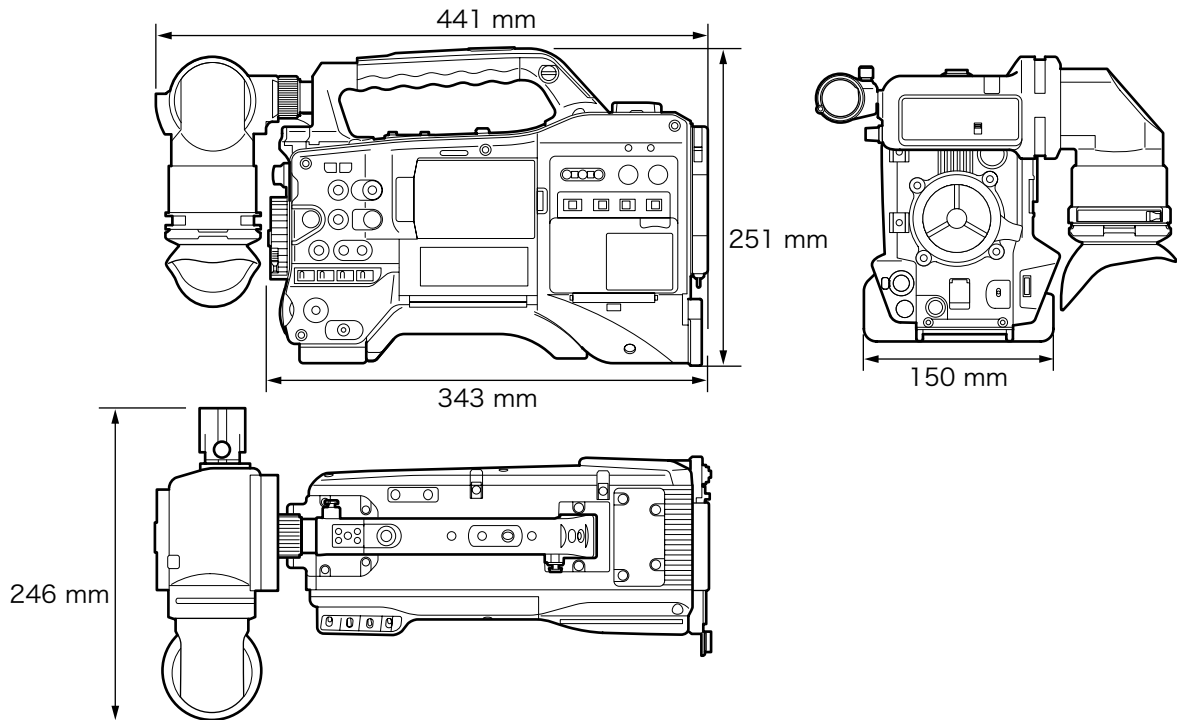
■わ

ワイヤレスレシーバー	97
ワンクリップレック	42、132
ワンショット記録	41

第12章 仕様

寸法図・定格

寸法図



定格

総合

電源：	DC12 V (11 V ~ 17 V)
消費電力：	19 W (付属品レンズ、3.2型液晶モニター使用時)

は安全項目です。

動作周囲温度/湿度：	0 °C ~ 40 °C / 10 % ~ 85 % (相対湿度)
保存温度：	-20 °C ~ 60 °C
質量：	約3.6 kg (本体のみ)
	約5.0 kg (付属品レンズ、付属品レンズフード含む)

外形寸法：	
(本体のみ)	246 mm (幅) × 251 mm (高さ) × 441 mm (奥行) (突起部を除く)
(付属品レンズ装着時)	246 mm (幅) × 251 mm (高さ) × 549 mm (奥行) (突起部を除く)

カメラ部

撮像素子：	1/3型プログレッシブ、220万画素、3MOS
レンズマウント：	1/3型バヨネット式
色分解光学系：	プリズム方式
NDフィルター：	4ポジション (CLEAR、1/4ND、1/16ND、1/64ND)
ゲイン切り替え：	-3、0、+3、+6、+9、+12、+24 dB
シャッター速度：	・60i/60pモード：1/60 (OFF)、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒 ・30pモード：1/30 (OFF)、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒 ・24pモード：1/24 (OFF)、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒
シャッター速度 (シンクロスキャン)：	・60i/60pモード：1/60.0 ~ 1/249.8 ・30pモード：1/30.0 ~ 1/249.8 ・24pモード：1/24.0 ~ 1/249.8
シャッター速度 (スロー)：	・60i/60pモード：1/15、1/30 ・30pモード：1/7.5、1/15 ・24pモード：1/6、1/12
シャッター開角度：	3 deg ~ 359.5 deg、0.5 degステップで設定可能
フレームレート：	12/15/18/20/21/22/24/25/26/27/28/30/32/34/36/40/44/48/54/ 60 fps (フレーム/秒)
感度：	F10 (2000 lx、3200 K、89.9 %反射、1080/59.94i)
最低被写体照度：	0.4 lx (F1.6、ゲイン+24 dB、シャッタースピード1/30秒)
水平解像度：	1000TV本以上 (中心)

メモリーカードレコーダー部

記録メディア：	P2 Card
記録フォーマット：	AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DVフォーマット 切り替え
記録再生時間：	AVC-Intra 100/DVCPRO HD： 8 GB × 1 約8分 16 GB × 1 約16分 32 GB × 1 約32分 64 GB × 1 約64分 AVC-Intra 50/DVCPRO50： 8 GB × 1 約16分 16 GB × 1 約32分 32 GB × 1 約64分 64 GB × 1 約128分 DVCPRO/DV： 8 GB × 1 約32分 16 GB × 1 約64分 32 GB × 1 約128分 64 GB × 1 約256分 上記の時間は、1クリップとして連続記録したときのものです。記録するクリップ数によって は全体の記録時間は上記より短くなる場合があります。
記録ビデオ信号：	1080/59.94i、1080/29.97p、1080/29.97pN、1080/23.98p、 1080/23.98pA、1080/23.98pN、720/59.94p、720/29.97p、720/29.97pN、 720/23.98p、720/23.98pN、480/59.94i、480/29.97p、480/23.98p、 480/23.98pA

デジタルビデオ部

サンプリング周波数：	AVC-Intra 100/DVCPRO HD： Y：74.1758 MHz、P _B /P _R ：37.0879 MHz
	DVCPRO50： Y：13.5 MHz、P _B /P _R ：6.75 MHz
	DVCPRO： Y：13.5 MHz、P _B /P _R ：3.375 MHz
量子化：	AVC-Intra 100/AVC-Intra 50：10 bits
	DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DV：8 bits
ビデオ圧縮方式：	AVC-Intra 100/AVC-Intra 50： MPEG-4 AVC/H.264 Intra Profile
	DVCPRO HD： DV-Based Compression (SMPTE 370M)
	DVCPRO50/DVCPRO： DV-Based Compression (SMPTE 314M)
	DV： DV Compression (IEC 61834-2)

デジタルオーディオ部

記録オーディオ信号：	AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/DVCPRO HD： 48 kHz/16 bits、4CH
	DVCPRO50： 48 kHz/16 bits、4CH
	DVCPRO/DV： 48 kHz/16 bits、2CH/4CH切り替え
ヘッドルーム：	20 dB/18 dBメニュー切り替え可

ビデオ入出力部

GENLOCK IN：	BNC × 1、1.0 V [P-P]、75 Ω
VIDEO OUT：	BNC × 1、1.0 V [P-P]、75 Ω
SDI OUT：	・ BNC × 2、0.8 V [P-P]、75 Ω、 ・ HD/SDメニュー切り替え可

オーディオ入出力部

MIC IN：	・ XLR、3ピン ・ +48 V対応 ・ -40 dBu/-50 dBu/-60 dBuメニュー切り替え可
AUDIO IN：	・ XLR × 2、3ピン (CH1、CH2) ・ LINE/MIC/+48V切り替え可 ・ LINE：0 dBu ・ MIC：-50 dBu/-60 dBuメニュー切り替え可
WIRELESS：	25ピン、D-SUB、-40 dBu
AUDIO OUT：	ピンジャック × 2 (CH1/CH2)、出力：316 mV、600 Ω
イヤホン：	φ 3.5 mmステレオミニジャック × 1
スピーカー：	28 mm径、丸形 × 1

その他入出力部

TC IN :	BNC × 1、0.5 V [P-P] ~ 8 V [P-P]、10 kΩ
TC OUT :	BNC × 1、ローインピーダンス、2.0 V ± 0.5 V [P-P]
IEEE1394 :	6ピン、デジタル入出力、IEEE1394に準拠
DC IN :	XLR × 1、4ピン、DC12 V (DC11.0 V ~ 17.0 V)
DC OUT :	4ピン、DC12 V (DC11.0 V ~ 17.0 V)、最大出力電流1.5 A
REMOTE :	10ピン
LENS :	12ピン
USB2.0 (DEVICE) :	Type-B、4ピンUSB ver.2.0準拠
USB2.0 (HOST) :	Type-A、4ピンUSB ver.2.0準拠

モニター部

液晶モニター :	3.2型液晶カラーモニター、約92.1万ドット、(16 : 9)
----------	----------------------------------

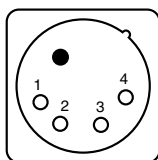
ビューファインダー部

液晶モニター :	0.45型液晶カラーモニター、約122.6万ドット相当、(16 : 9)
----------	--------------------------------------

コネクタ信号の内容

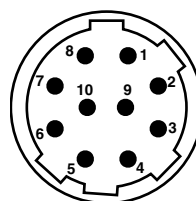
DC IN	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12 V

パナソニック品番：K1AA104H0038
 メーカー品番：HA16RX-4P (SW1) (76) 【ヒロセ電機】



REMOTE	
1	CAM DATA (H)
2	CAM DATA (C)
3	CAM CONT (H)
4	CAM CONT (C)
5	R/C ON
6	R/C VIDEO OUT
7	R/C VIDEO GND
8	NC
9	UNREG +12 V (最大0.6 A)
10	GND

パナソニック品番：K1AY110JA001
 メーカー品番：HR10A-10R-10SC (71) 【ヒロセ電機】

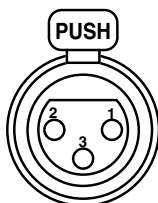


◆ NOTE

外部からの供給電源は、極性を正しくご使用ください。

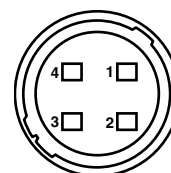
FRONT MIC IN	
1	GND
2	AUDIO IN (H)
3	AUDIO IN (C)

パナソニック品番：K1AY103A0001
 メーカー品番：HA16PRM-3SG(72) 【ヒロセ電機】



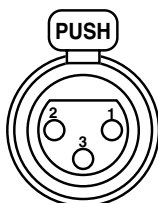
DC OUT	
1	GND
2	R TALLY (オープンコレクタ)
3	REC SW
4	UNREG +12 V (最大1.5 A)

パナソニック品番：K1AY104J0001
 メーカー品番：HR10A-7R-4SC (73) 【ヒロセ電機】



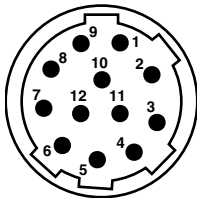
AUDIO IN	
1	GND
2	AUDIO IN (H)
3	AUDIO IN (C)

パナソニック品番：K1AY103A0001
 メーカー品番：HA16PRM-3SG (72) 【ヒロセ電機】



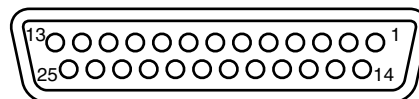
LENS	
1	RET-SW
2	REC
3	GND
4	IRIS-AUTO
5	IRIS-CONT
6	UNREG + 12 V (最大0.4 A)
7	IRIS-POSI
8	IRIS-G-MAX
9	EXT-POSI
10	ZOOM-POSI
11	FOCUS-POSI
12	SPARE

パナソニック品番 : K1AY112JA001
 メーカー品番 : HR10A-10R-12SC (71) 【ヒロセ電機】



ワイヤレスレシーバーインターフェース		
1	CH-1 SHIELD	GND
2	CH-1 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力 : CH1 HOT
3	CH-1 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力 : CH1 COLD
4	GND	GND
5	UNREG + 12 V	ワイヤレスレシーバーへの電源
6	RX ON	ワイヤレスレシーバーへの電源リモート出力
7	RF WARN	ワイヤレスレシーバーからのRFワーニング入力
8	RM5	未使用
9	RM4	未使用
10	SPARE 1	未使用
11	SPARE 2	未使用
12	EXT CLK	未使用
13	CLK SHIELD	未使用
14	CH-2 SHIELD	GND
15	CH-2 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力 : CH2 HOT
16	CH-2 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力 : CH2 COLD
17	+ 5.6 V	ワイヤレスレシーバーへの電源
18	VIDEO OUT	未使用
19	VIDEO RET	未使用
20	VIDEO EN	未使用
21	RM 1 (RM CLK)	未使用
22	RM 2 (RM DATA)	未使用
23	RM 3 (RM WR)	未使用
24	RM + 5 V	未使用
25	RM GND	未使用

パナソニック品番 : K1GB25A00010
 メーカー品番 : HDBB-25S (05) 【ヒロセ電機】



パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2010